

# 第6次信濃町長期振興計画 住民意識調査報告書

平成 31 年3月



# 目次

第1章 調査設計.....	2
1 アンケート調査の目的.....	4
2 調査実施概要.....	4
3 調査内容.....	5
4 調査結果を確認する際の注意.....	5
第2章 調査結果の要点.....	6
1 信濃町での暮らしの現状.....	8
2 信濃町に対する愛着度.....	9
3 信濃町での定住意向.....	11
4 自由記述の整理.....	14
5 施策の現状評価・重要度からみる今後の方向性.....	15
第3章 調査結果.....	32
第1節 住民アンケート、高校生アンケート結果.....	34
回答者属性.....	34
1. 施策の現状評価・重要度の分析.....	42
2. 施策全体の分析.....	70
(1) 町の環境・体制に対する現状評価と重要度の分析.....	70
(2) 住民の行動と今後意向に関する分析.....	92
3. 信濃町への意識や暮らし全般に関する分析.....	113
4. 18歳以下の意向に関する分析.....	125
5. 地域における支え合いに関する分析.....	133
第2節 中学生アンケート結果.....	144
1. 回答者の属性.....	146
2. 中学卒業後の進路.....	149
3. 信濃町に対する意識.....	150
4. ふるさと学習について.....	153
巻末資料：調査票.....	157
1 19歳以上の住民対象の調査票.....	159
2 18歳以下の住民対象の調査票.....	174
3 小中学生に対する調査票.....	190



# 第1章 調査設計



## 1 アンケート調査の目的

本調査は、2020年度から2029年度のまちづくりの方針を示す「第6次信濃町長期振興計画」の策定に向けて、第5次長期振興計画の取組を振り返るとともに、住民の考えを把握し、これからの信濃町において重視すべき政策・施策、今後より一層重視される「協働」のあり方を検討するための材料を収集するとともに、まちの「将来像」を抽出することを目的として実施した。

併せて、策定期間が重なる第4期信濃町地域福祉計画の検討に質するデータ（住民の地域福祉に対する意識、ご近所との関わり方、支え合いの状況・意向など）を収集した。

## 2 調査実施概要

住民アンケートの調査の概要を以下に示す。

図表 1 調査概要

	住民アンケート	高校生アンケート	小中学生アンケート
調査対象	19歳以上の住民 (平成30年4月1日時点) 2,282名	15～18歳の住民 (平成30年4月1日時点) 218名	小中学校 7～9年生 180名
調査方法	質問紙法		
配布方法	郵送		学校を通じて 配布・回収
回答方法	郵送とWEBによる回答を並行して行った		
調査期間	平成30年7月13日(金)～29(日)		平成30年7月17日 (火)～23日(月)
サンプリング	住民基本台帳から無作為抽出	住民基本台帳に登録がある者	全員
転居・ 回答拒否等	27件	0件	0件

図表 2 調査対象別 回答方法別 回収数(回収率)

		回答方法		合計	配布数	回収率
		郵送(紙)	WEB			
対象	15～18歳	64件	8件	72件	218件	33.0%
	19歳以上	960件	58件	1,018件	2,282件	44.6%
	合計	1,024件	66件	1,090件	2,500件	43.6%

		回答件数	配布数	回収率
対象	中学生	132件	180件	73.3%

### 3 調査内容

---

主な調査内容は以下のとおりである。

#### (1) 住民アンケート、高校生アンケートの調査内容

- ・回答者属性
- ・信濃町の愛着、定住意向、暮らしの満足度 等
- ・町政への関心、情報収集方法
- ・信濃町の状況・環境に対する評価とさらに進めるべきこと
- ・個人の行動と今後の意向
- ・今後のまちづくり
- ・地域の支えあいの状況
- ・生活における困りごと
- ・(15歳～18歳のみ) 高校卒業後の進路
- ・(15歳～18歳のみ) ふるさと学習に対する評価

#### (2) 小中学生アンケートの調査内容

- ・回答者属性
- ・信濃町の愛着、定住意向、暮らしの満足度 等
- ・今後のまちづくり
- ・ふるさと学習に対する評価

### 4 調査結果を確認する際の注意

---

- ・無回答が存在する設問があるため、回答数の総数（以下、Nと表記する）は、有効回答者数と一致しない場合がある。
- ・割合（パーセント）は小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100にならない場合がある。



## 第2章 調査結果の要点



本章では、調査結果の要点について示す。

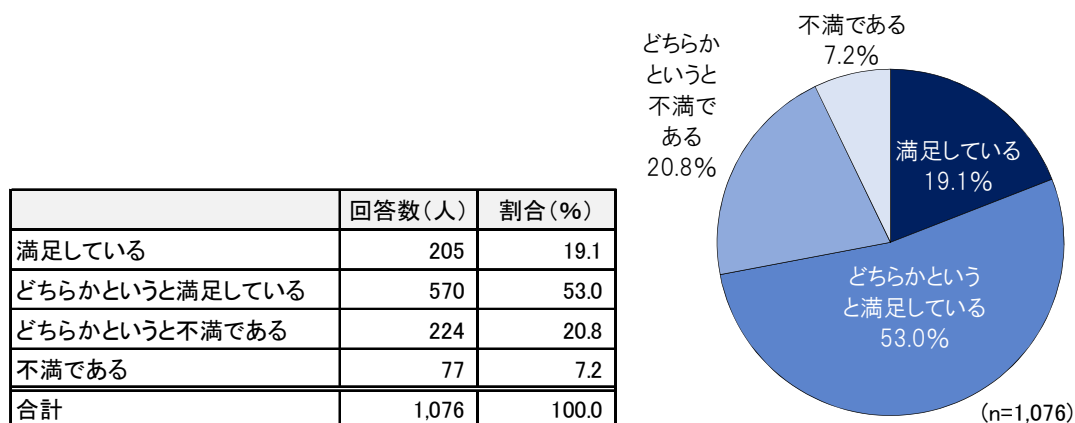
## 1 信濃町での暮らしの現状

### 信濃町での暮らしの満足度は72.1%である

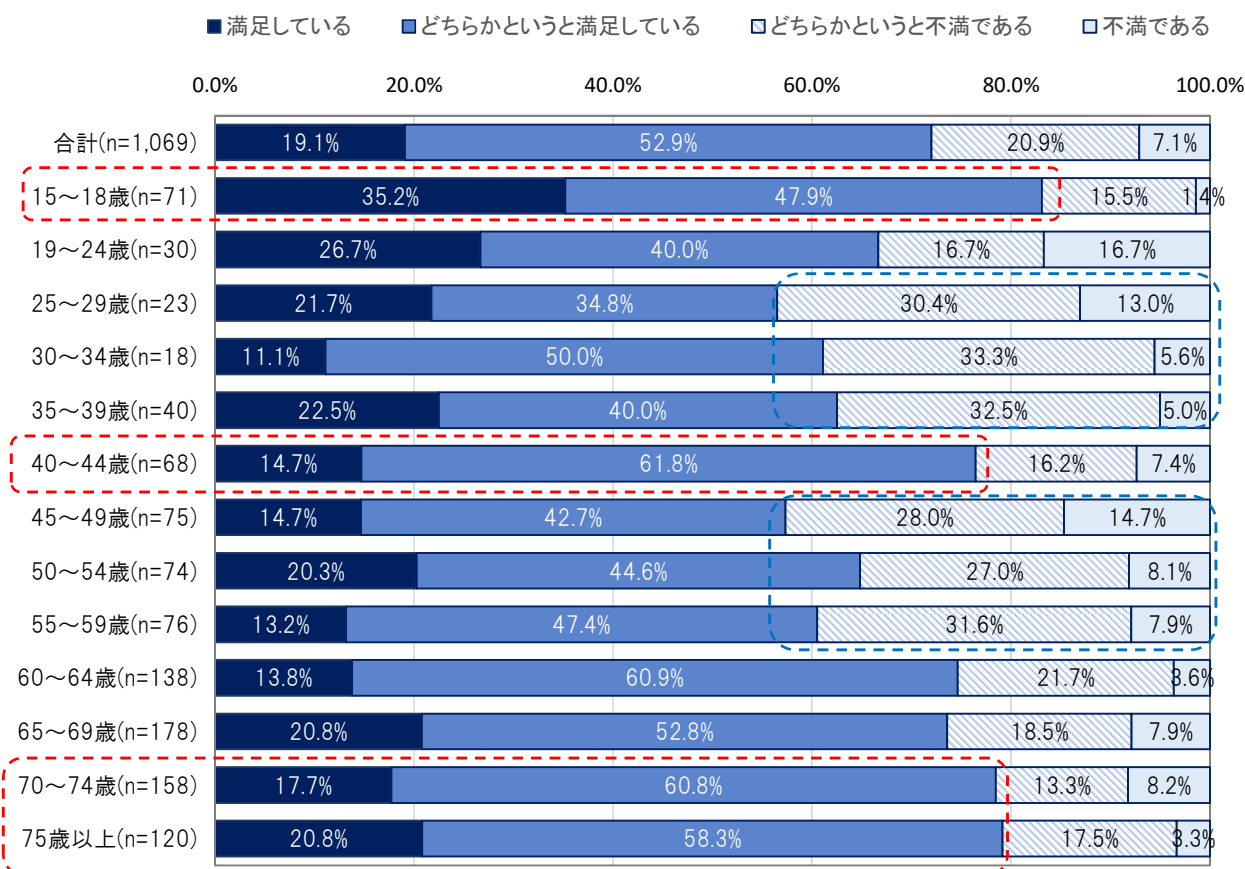
信濃町での暮らしの満足度は、「満足している」「どちらかという満足している」を合わせると72.1%である。

年代別にみると、15～18歳、40～44歳、70歳以上では、現状評価が回答者全体よりも高くなっている。40～44歳を除き25～59歳では「どちらかという不満である」「不満である」の割合が回答者全体の倍以上になっている。

図表 3 信濃町での暮らしの満足度



図表 4 【年代別】信濃町での暮らしの満足度



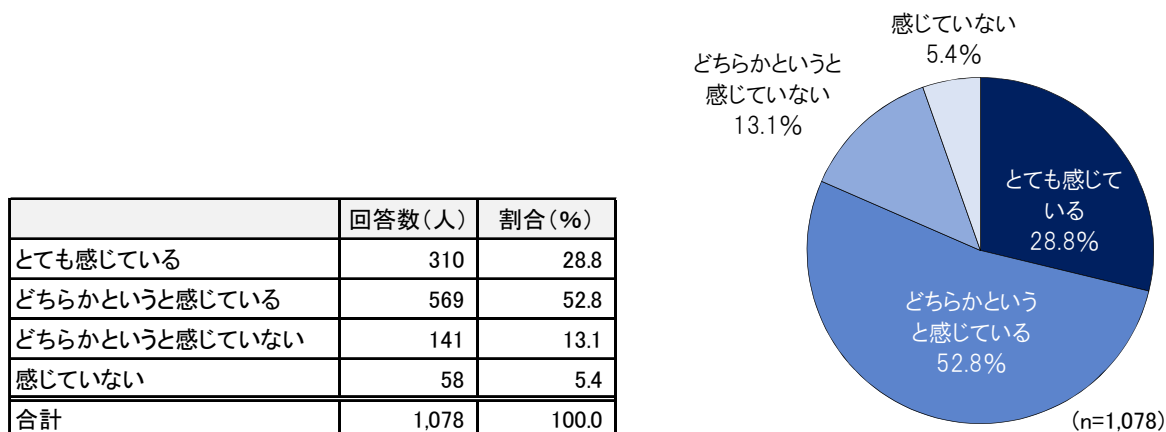
## 2 信濃町に対する愛着度

信濃町に愛着を感じている割合は81.6%であった  
 平成26年度調査に比べると、20代以下、50代では「とても感じている」割合は上昇した

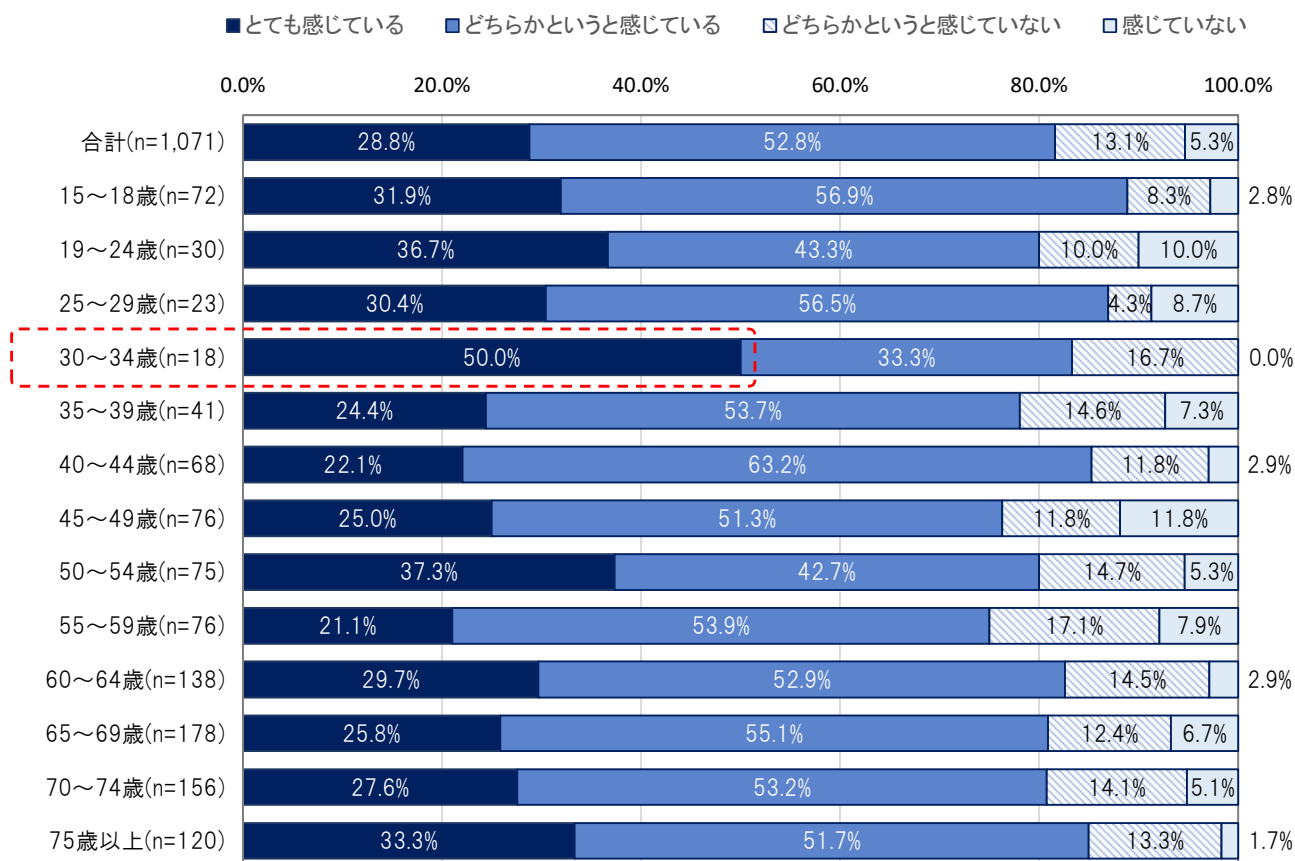
信濃町に愛着を「とても感じている」割合は28.8%、「どちらかというと感じている」割合が52.8%で、合わせて81.6%であった。

年代別にみると、30-34歳では「とても感じている」が50.0%となっており、他の年代よりも愛着度が高い。

図表5 信濃町に対する愛着



図表6 【年代別】 信濃町に対する愛着

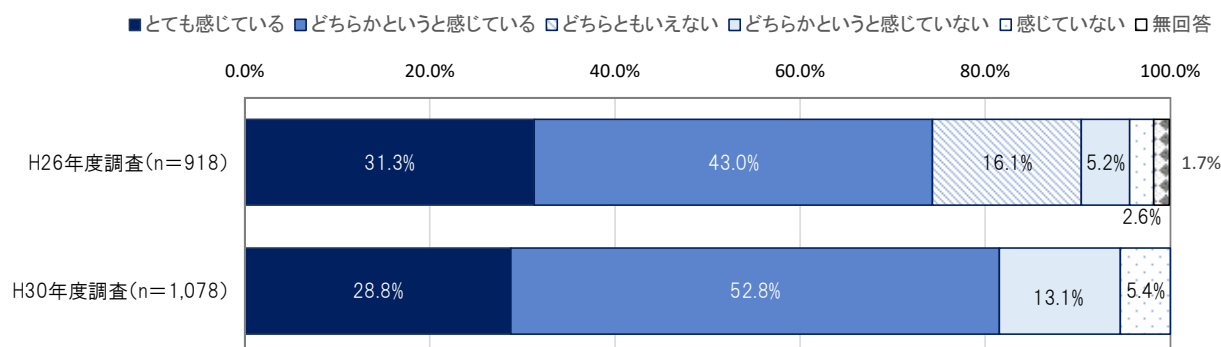


平成 26 年度調査結果と比較すると、平成 26 年調査では「とても感じている」が 31.3%だったが、今回の調査では 28.8%に低下した。逆に「どちらかというと感じている」割合は 43.0%から 52.8%に上昇している。「とても感じている」「どちらかというと感じている」を合わせた割合は、7.3 ポイント上昇している。

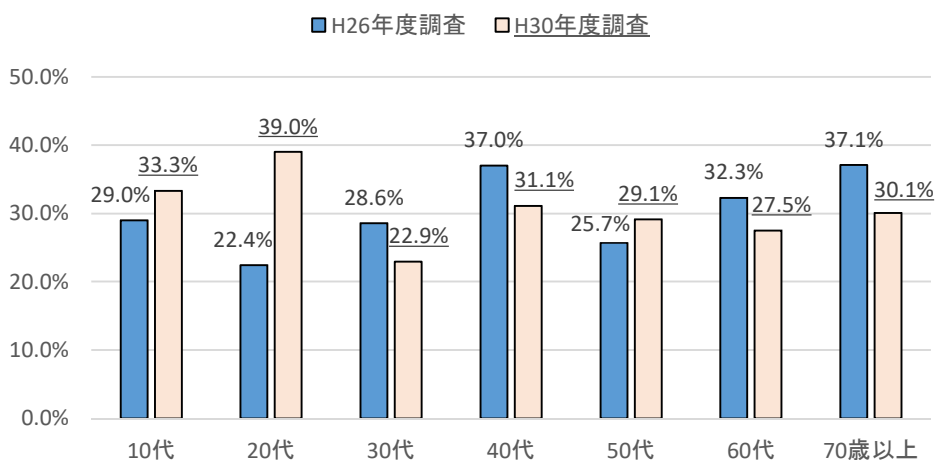
年代別に「とても感じている」割合の変化をみると、20 代以下、50 代で上昇している。特に、20 代は 16.6 ポイント上昇している。

30 代、40 代、60 代以上では低下している。70 歳以上では 7.0 ポイント低下している。

図表 7 【経年比較】信濃町に愛着を感じるか



図表 8 【経年比較 年代別】信濃町に愛着を「とても感じている」と回答した割合



※平成 26 年度調査では、本調査にはない「どちらともいえない」という選択肢がある。  
また、集計に「無回答」が含まれるなどの違いがあるため、単純な比較はできない。

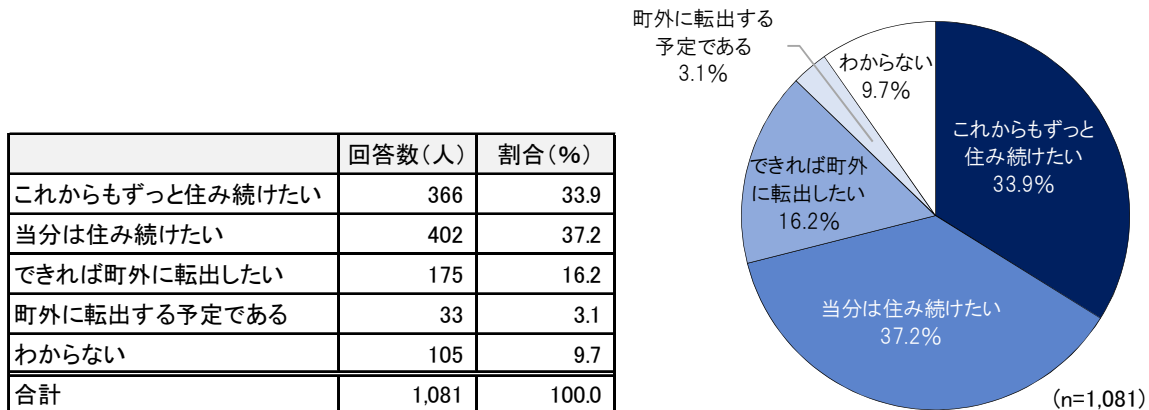
### 3 信濃町での定住意向

信濃町に「ずっと住み続けたい」割合は71.1%。平成26年度調査時より低下した30代以下では「ずっと住み続けたい」割合は上昇した。逆に、40代以上では低下した

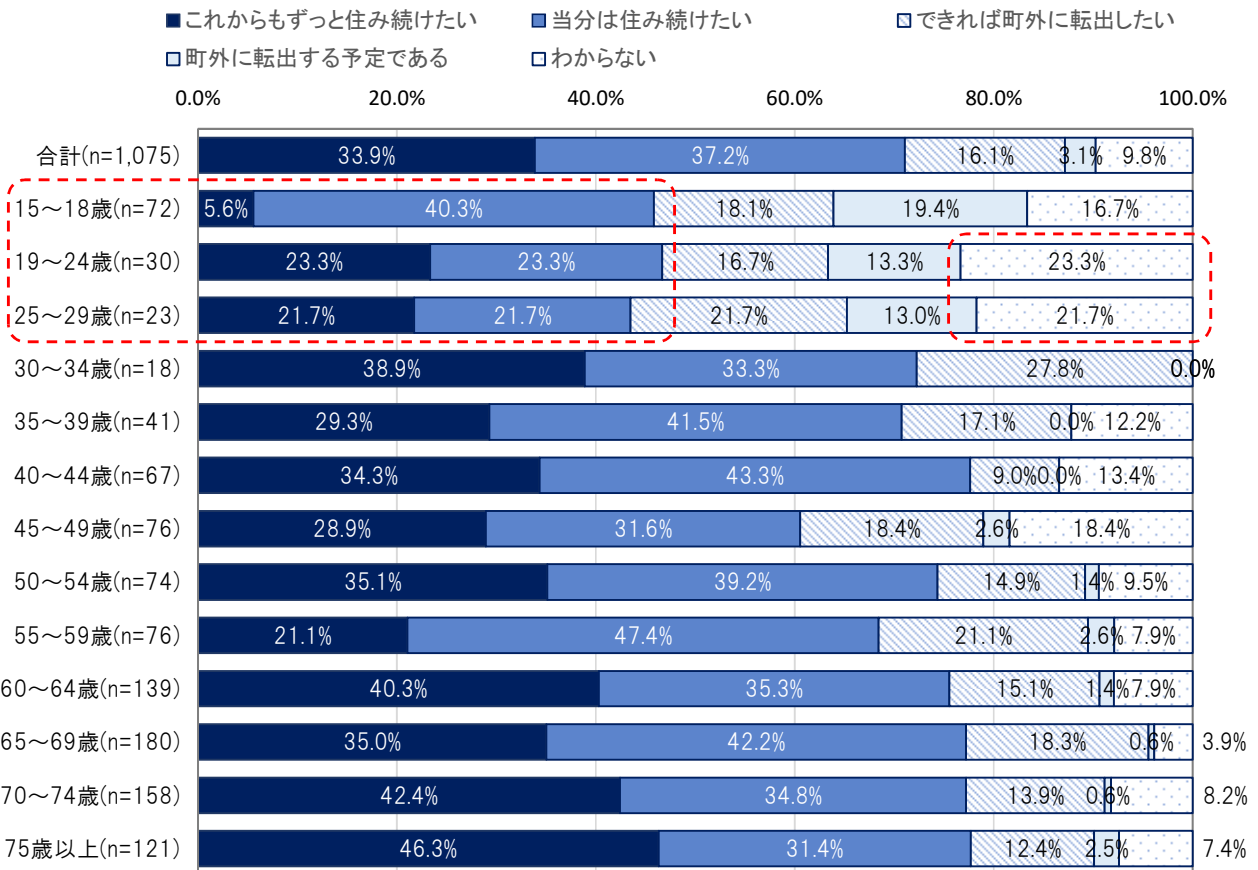
信濃町での定住意向では、「これからもずっと町内に住み続けたい」割合が33.9%、「当分は住み続けたい」割合が37.2%で、あわせて71.1%であった。

年代別にみると、15～29歳は回答者全体よりも定住意向は低い。また、19～29歳では「わからない」の割合が20%以上であり、若い世代は定住の意向が定まっていない者が多いことがうかがえる。

図表 9 定住意向



図表 10 【年代別】定住意向

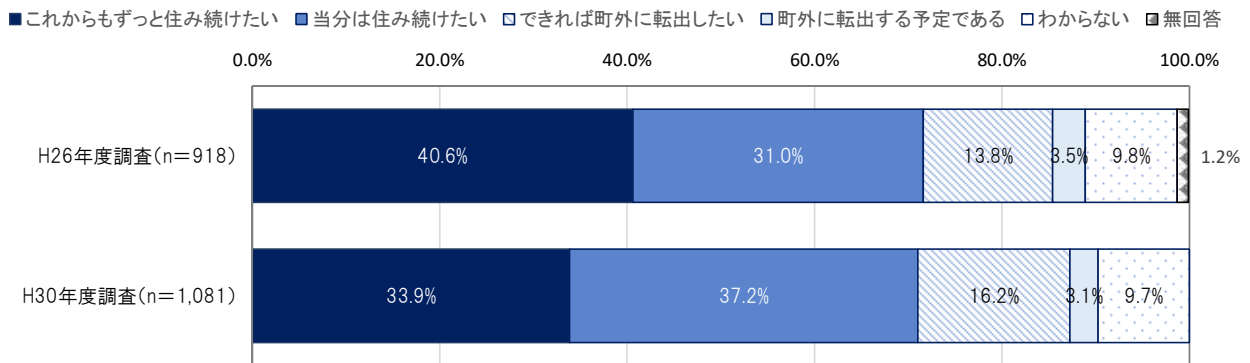


集計方法が異なるため参考となるが、平成 26 年度調査結果と今回の調査結果を比較する。

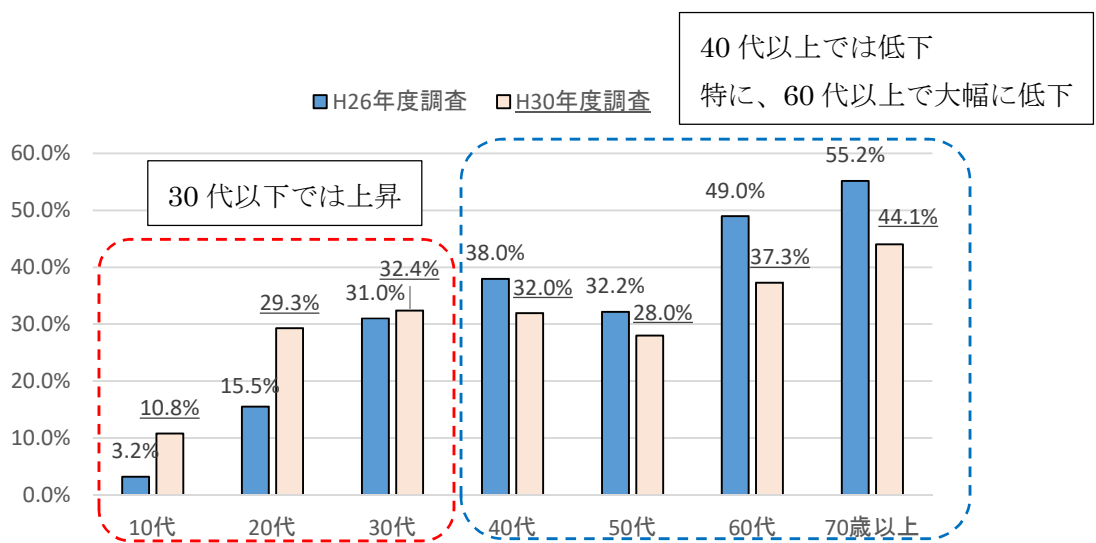
「これからもずっと住み続けたい」の割合が低下し、「当分は住み続けたい」の割合が上昇している。年代別に「これからもずっと住み続けたい」の割合の変化をみると、10代～30代の若い世代においては上昇している。特に20代は13.8ポイント上昇している。

一方、40代以上では低下している。特に60歳代、70歳以上では11ポイント以上低下している。

図表 11 【経年比較】定住意向



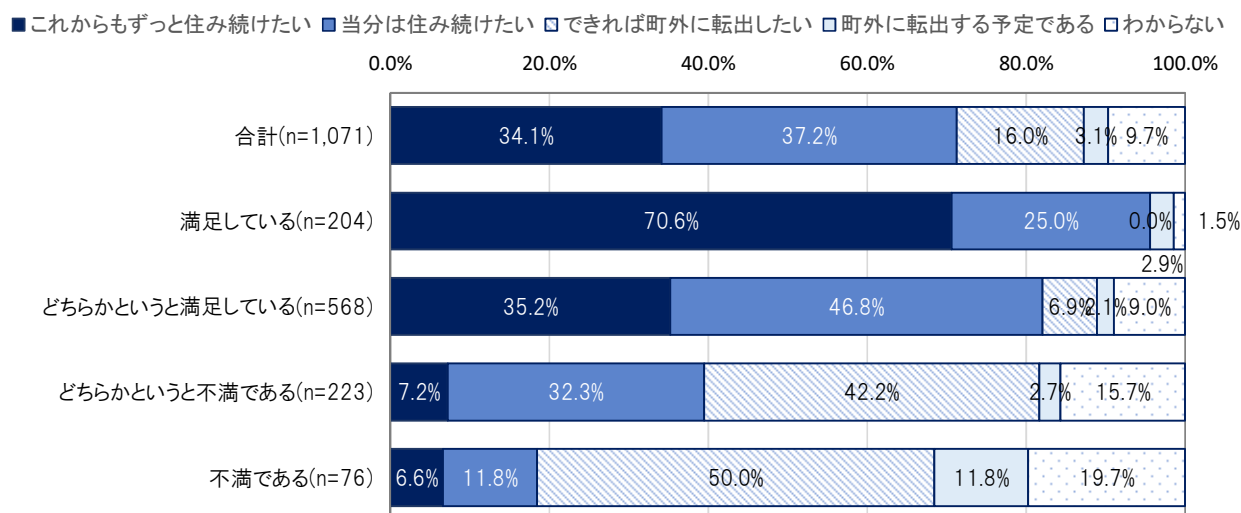
図表 12 【経年比較】年代別「これからもずっと住み続けたい」と回答した割合



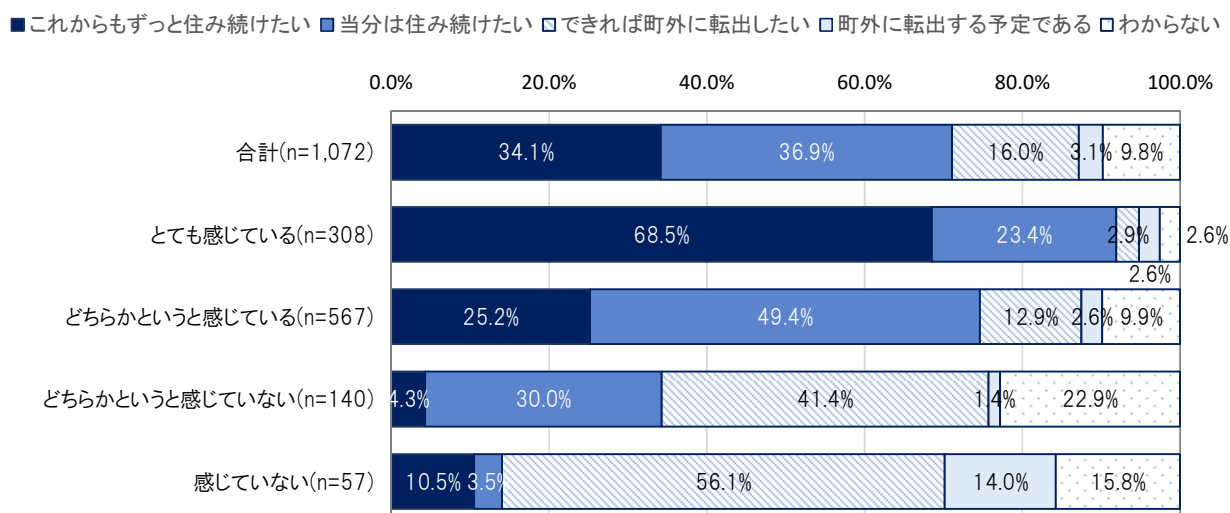
※平成 26 年度調査では、集計に「無回答」を加えているため、単純な比較はできない

暮らしの満足度、愛着度別に定住意向を確認すると、暮らしの満足度、愛着度ともに高いほど定住意向が高くなっている。暮らしの満足度、愛着度を高めることで定住意向を高められる可能性がある。

図表 13 【暮らしの満足度別】 定住意向



図表 14 【愛着度別】 定住意向





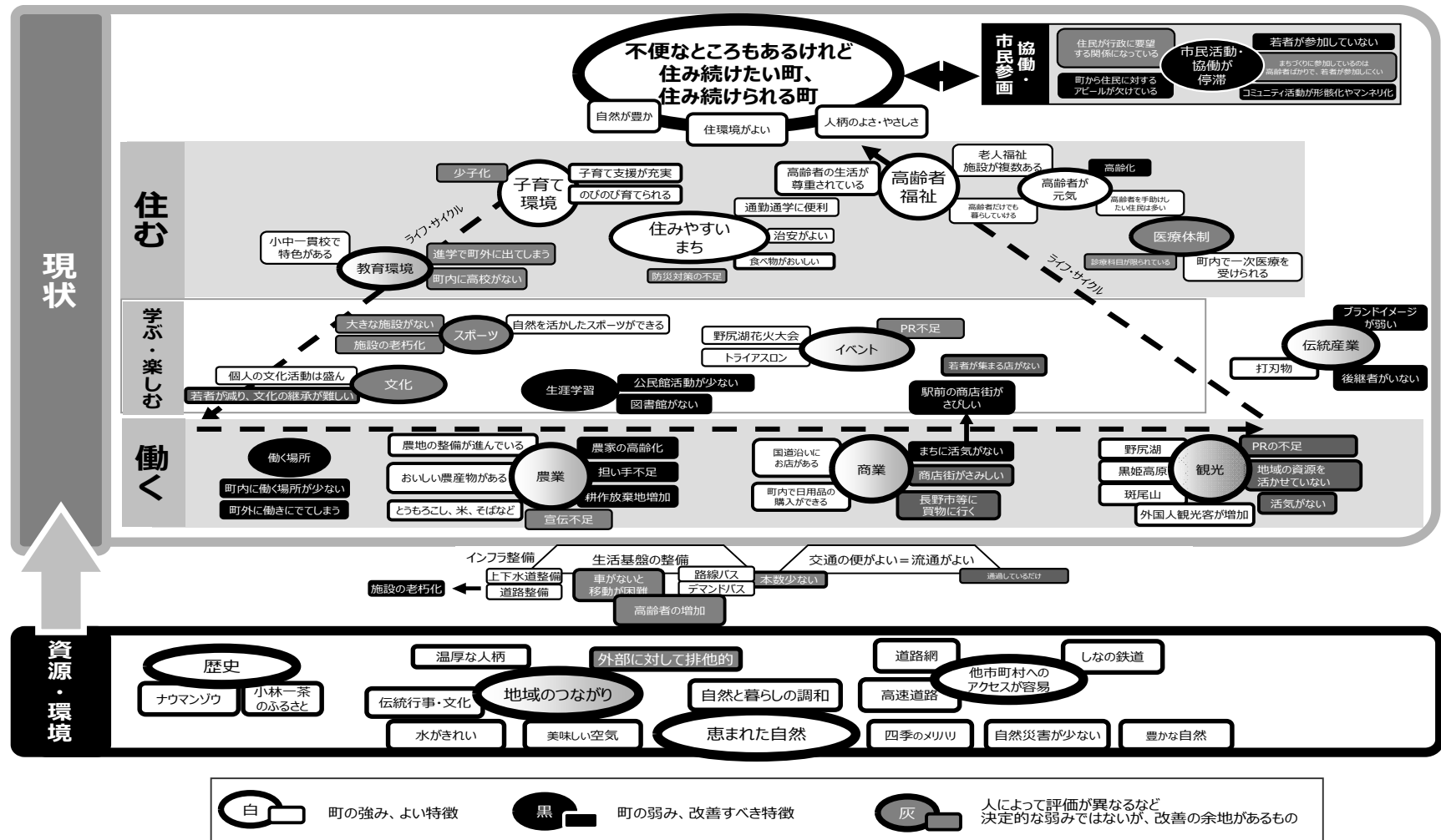
#### 4 自由記述の整理

信濃町の良いところとしては、「自然が豊か」「景色」「町の雰囲気」「水がおいしい」「農業・農産物」「気候・災害がない」「人のやさしさ・人とのつながり」などがあげられている。

信濃町の課題としては、「少子高齢・人口減少」「働く場所の確保」「商業施設の少なさ」「移動手段の充実」「生活環境の改善」などがあげられている。

今後、10年間で目指すべきまちの方向性としては「住み続けたい町」「生きがい、住みがいがある町」「若者が帰ってくる町」があげられている。

図表 15 自由記述の整理



## 5 施策の現状評価・重要度からみる今後の方向性

施策の現状評価・重要度や住民の取組状況や回答保留の比率から、今後、町が注力すべき分野を明らかにする。

### (1) 施策評価指標の設定の考え方

まず、施策評価の設定の考え方について示す。

施策の評価及び今後の施策方向性の導出を検討するため、第5次長期振興計画の政策体系に沿い、調査項目を設定した。調査項目は、第5次長期振興計画の施策ごとのアウトカム（成果）とした。

アウトカムは、町が行う施策ごとの「環境・体制整備」の状況に対する評価及び町が整備した環境・体制を利活用した住民一人ひとりの「意識や行動」の変容を把握することで測定した。

#### ① 項目設定の考え方

カテゴリー		項目設定の考え方
町の環境・体制		<ul style="list-style-type: none"> <li>●原則として、主語は「信濃町は」である</li> <li>●行政が行う「環境・体制整備」の状況について把握する</li> <li>●「現状評価」と「さらに力を入れるべきか（重要度）」について把握する</li> </ul>
住民の行動	施策成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>●主語は「あなたは（回答者は）」である</li> <li>●行政の環境・体制整備、働きかけ（意識啓発）等による、住民の意識・行動変容について把握する</li> <li>●「現在、取り組んでいるか」「今後の取組意向」について把握する</li> </ul>

#### ◆調査項目設定（例）

まちづくりの柱1：みんなが健康で安心して暮らせるまちづくり

施策(1)健康づくりの推進

施策(2)健康づくり体制の整備

- ・【町の環境・体制】：健康づくりに取り組みやすい環境が整っている
- ・【住民の行動：施策成果】：健康づくりに継続的に取り組んでいる

② 調査項目

調査票は、以下のように設定した。

**信濃町の環境・体制の調査項目**

		①現在の信濃町の状況					②さらに進めるべきか					
		そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	
<b>【設問番号】</b>		1	2	3	4	0	1	2	3	4	0	
(記入例)												
健康づくり・医療・福祉	1	健康づくりに取り組みやすい環境が整っている	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	2	必要な医療サービスを受けられる体制が整っている	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	3	ご近所で、支え合い、助け合える関係が築かれている	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0

**住民の取組に関する調査項目**

		①あなたの現在の取組状況					②あなたの今後の意向		
		あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	わからない	たいさらに取り組み	現状のまま	予定減らしていく
<b>【設問番号】</b>		1	2	3	4	0	1	2	3
(記入例)									
1	健康づくりに継続的に取り組んでいる	1	2	3	4	0	1	2	3
2	ご近所同士で交流し、困った時に助け合える関係を築いている	1	2	3	4	0	1	2	3
3	ご近所の高齢者を温かく見守り、必要な時には手助けしている	1	2	3	4	0	1	2	3
4	自分の経験や知識をいかして社会に参加している	1	2	3	4	0	1	2	3

### ③ 集計・評価方法

施策の現状評価・重要度や住民の取組状況から、今後、信濃町が注力すべき分野を明らかにする。

現状評価・重要度、現在の住民の取組については平均点を算出し、中心傾向（回答がどのような評価に集中していたか）から評価を行った。

平均点は、選択肢「そう思う」～「そう思わない」、住民の現在の取組については選択肢「あてはまる」～「あてはまらない」にそれぞれ4点～1点の点数を設定し、その点数の総和を回答数で除すことによって算出した。評価の基準は、「現状評価」と「現在の住民の取組」については中央値（2.50）とした。「重要度」については、すべての項目の点数が中央値（2.50）を上回っていることから中央値を基準とすることができないため、全施策の平均点（3.39）をとした。「今後の住民の取組」は、選択肢がほかの項目と異なるため「さらに取組たい」の割合を基準とした。

住民の今後の取組意向については、回答に占める「さらに取り組みたい」の割合で評価した。

なお、判断の保留を意味する「わからない」や「無回答」は、評価に影響を与えないように、計算から除外した。「わからない」（回答保留）については、その割合が高い場合、当該施策に関する町の状況について把握・理解している住民の割合が少ない、関心が薄い、重要性を感じていない、もしくは、住民が施策の成果を判断できるまで周知されていないなどの可能性がある。

#### 1) 選択肢の得点化

町の状況や環境、重要度に関する設問

そう思う	→4点
ややそう思う	→3点
あまりそう思わない	→2点
そう思わない	→1点

「現在の住民の取組」に関する設問

あてはまる	→4点
ややあてはまる	→3点
あまりあてはまらない	→2点
あてはまらない	→1点

平均点の中央値は 2.50 である。中央値は、平均点の高低を判断する際の基準値とする。平均点が中央値より高い場合は肯定的な評価をした者や重要だと考えている者が多く、中央値以下の場合には否定的な評価者が多いとみることができる。

重要度については、すべての項目で平均点が 3.00 を超えているため、全施策の平均点（3.39）を評価基準とした。

#### 2) 平均値の算出方法

回答者A 4点  
回答者B 3点  
回答者C 2点  
回答者D 3点  
回答者E 2点  
・・・  
回答者X X点

(4点+3点+2点+3点+2点+・・・+X点)

÷回答者の人数=平均点

## (2) 今後の方向性

前述した「現状評価」「重要度」「現在の住民の取組」「今後の住民の取組」の基準から、下表の分類を行った。

### ①行政と住民が協働して取り組む施策

分類	施策
(ア) 行政が場を整え、住民や事業者が主体的に取り組む施策	健康づくりの推進、高齢者福祉の充実、ごみの排出量削減、観光産業の振興
(イ) 取り組んでいる住民が少ないため、行政がきっかけをつくり住民の取組が拡大するようにすべき施策	住民主体のまちづくり、地域における子育て環境の整備、公共交通の運行、災害への備えの充実

### ②行政が主体となって進める施策

施策
(ア) 障がい者福祉の充実
(イ) 社会福祉の充実
(ウ) 持続可能な農業の実現
(エ) 働く機会の確保
(オ) 広域行政の推進
(カ) 住民がまちづくりに参加するための環境整備
(キ) 行政運営の効率化

以下に、分類ごとの分析結果をまとめる。

#### ① 行政と住民が協働して取り組む施策

##### (ア) 行政が場を整え、住民や事業者が主体的に取り組む施策

###### i. 健康づくりの推進

地域医療に関連する項目である「健康づくりに取り組みやすい環境が整っている」の現状評価の平均点は2.45、重要度は3.36である。

また、住民の取組を確認した項目の「健康づくりに継続的に取り組んでいる」の平均点は2.61、今後の取組意向（「さらに取り組みたい」と回答した割合）は44.50%とどちらも高くなっている。

健康づくりに対する住民の現在の取組、今後の取組意向は高いことから、行政は、住民の健康づくりを促進する場や機会を支援することで、予防医療を進めることができると考えられる。予防医療の取組が広まることで、医療費の削減につながる。

図表 16 健康づくりに関する項目の現状評価、重要度

番号	項目	現状評価 現在の 信濃町の 状況	重要度 さらに 進める べきか
1	健康づくりに取り組みやすい環境が整っている	2.45	3.36

図表 17 健康づくりに関する項目の住民の現在の取組と今後の取組意向

番号	項目	現在の取組 平均点	「さらに取り組 みたい」割合 (%)
1	健康づくりに継続的に取り組んでいる	2.61	44.50

ii. 高齢者福祉の充実

高齢者福祉に関連する項目である「高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる環境が整っている」の現状評価の平均点は2.28、重要度の平均点は3.44で、「高齢者が知識や経験をいかして、生きがいを感じ、豊かに暮らせる環境が整っている」の現状評価の平均点は2.28、重要度は3.30である。評価が低い理由としては、「在宅療養を支援する体制が整っていない」「軽度の場合の入居先（デイサービス）が少ない」ことなどがあげられている。

一方、住民の取組を確認した項目の「ご近所の高齢者を温かく見守り、必要な時には手助けしている」の平均点は2.56、今後の取組意向（「さらに取り組みたい」と回答した割合）は42.92%どちらも高くなっている。

今後、益々高齢者が増加することが見込まれるなか、町は訪問看護ステーション、地域包括支援センターを中心とした高齢者に対する支援体制の充実を進めるとともに、今後は、高齢者に対する住民同士の助け合いをさらに促進する活動が望まれる。

また、「自分の経験や知識をいかして社会に参加している」の平均点は2.15、今後の取組意向（「さらに取り組みたい」と回答した割合）は32.92%と低くなっている。高齢者の社会参加を進めることが必要である。

図表 18 高齢者福祉に関する項目の現状評価、重要度

番号	項目	現状評価 現在の 信濃町の 状況	重要度 さらに 進める べきか
4	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる環境が整っている	2.28	3.44
5	高齢者が知識や経験をいかして、生きがいを感じ、豊かに暮らせる環境が整っている	2.28	3.30

図表 19 高齢者福祉に関する項目の住民の現在の取組と今後の取組意向

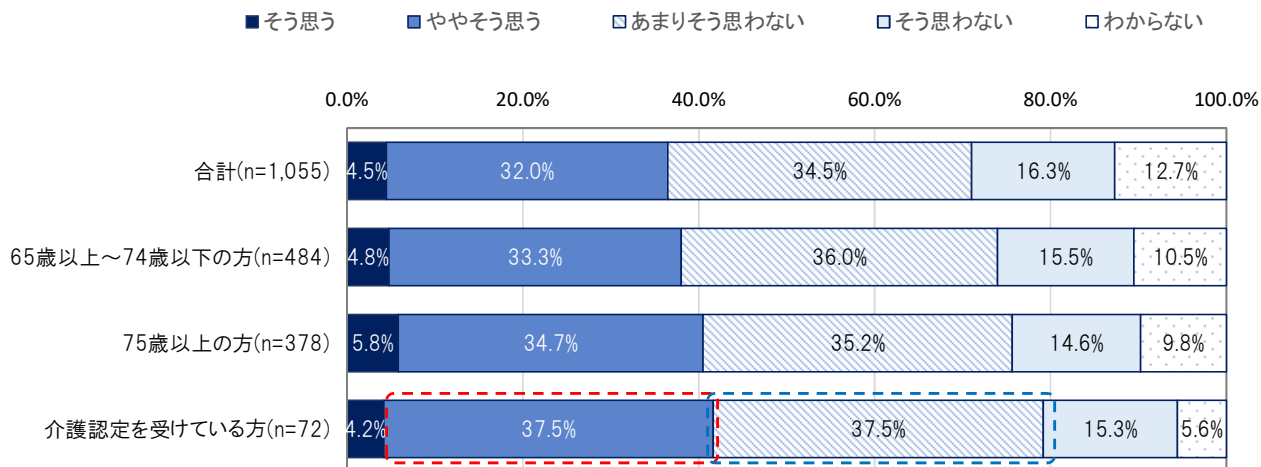
番号	項目	現在の取組 平均点	「さらに取り組 みたい」割合 (%)
3	ご近所の高齢者を温かく見守り、必要な時には手助けしている	2.56	42.92
4	自分の経験や知識をいかして社会に参加している	2.15	32.92

なお、同居家族に介護認定を受けている者がいる回答者に絞った集計結果をみると、回答者全体（合計）と比べ、「ややそう思う」の割合が高くなっているが、「あまりそう思わない」の割合も高くなっている。回答保留（「わからない」）の割合が回答者全体よりも低くなっているため、町の支援体制を把握している者も低い評価をしていると考えられる。

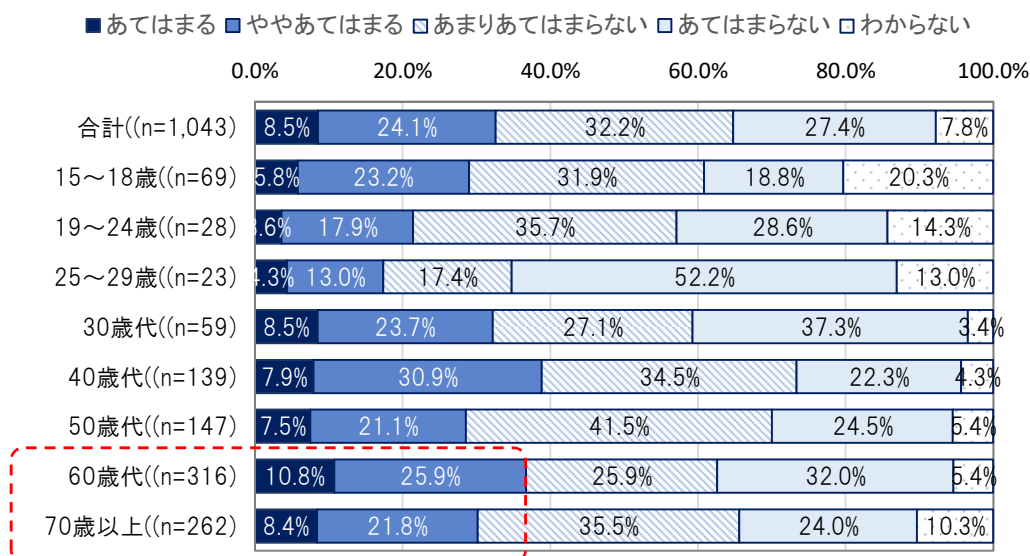
一方、「自分の経験や知識をいかして社会に参加している」かを年代別にみると、高齢者においても「あてはまる」「ややあてはまる」の割合は回答者全体（合計）とほぼ同じ水準となっている。

図表 20 【同居家族 高齢者、介護認定者の有無別】

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる環境が整っていると思うか



図表 21 【年代別】自分の経験や知識をいかして社会に参加しているか



### iii. ごみの排出量削減

環境保全に関連する項目である「身のまわりにおいて、ごみの発生を減らす取組が日常的に行われている」の現状評価の平均点は 2.57、重要度の平均点は 3.46 と高くなっている。

また、住民の現在の取組については「簡易包装されたものを選択して買うなど、ごみの発生を減らしている」「ごみの分別を徹底し、リサイクルに取り組んでいる」の平均点はそれぞれ 2.74、3.30 と高い。今後の取組意向（「さらに取り組みたい」と回答した割合）も 50%を超えており、今後も住民の取組が期待できる分野である。

図表 22 環境保全に関する項目の現状評価、重要度

番号	項目	現状評価 現在の 信濃町の 状況	重要度 さらに 進める べきか
15	身のまわりにおいて、ごみの発生を減らす取組が日常的に行われている	2.57	3.46

図表 23 環境保全に関する項目の住民の現在の取組と今後の取組意向

番号	項目	現在の取組 平均点	「さらに取り組 みたい」割合 (%)
11	簡易包装されたものを選択して買うなど、ごみの発生を減らしている	2.74	51.06
12	ごみの分別を徹底し、リサイクルに取り組んでいる	3.30	57.68

### iv. 観光産業の推進

観光産業に関連する項目である「四季を通じて観光客が訪れている」の現状評価の平均点は 2.34、重要度の平均点は 3.43 で、「幅広い世代に喜ばれる観光地である」の現状評価の平均点は 2.28、重要度の平均点は 3.42 である。どちらの項目も現状評価は低く、重要度は高い。

しかし、近年、観光入込客数の減少幅は小さくなっており、長野県「観光地利用者統計調査」によると平成 28 年の観光入込客数は 85 万 7 千人となっている。また、外国人延べ宿泊者数は増加が続いており、平成 29 年度には 13,221 人となるなど、明るい兆候も見える。

一方、住民の取組を確認した項目の「町外の知人や友人などに地域の四季の魅力を伝えている」「観光客に快く対応している」の今後の取組意向（「さらに取り組みたい」と回答した割合）は 36.75%、36.46%とやや低いものの、現在の取組の平均点はそれぞれ 2.59、2.73 で中央値よりも高くなっている。住民は観光について町を PR したり、観光客を快く迎え入れたりすることに現在でもある程度取り組んでいるため、今まで以上に力を入れて取り組みたいという意向は低いものと推測される。

このような状況を踏まえて、行政はこれまで以上に住民が町について深く知り、誇りや愛着をもって情報を発信し続けることができる環境を整える必要がある。



図表 24 観光産業に関する項目の現状評価、重要度

番号	項目	現状評価 現在の 信濃町の 状況	重要度 さらに 進める べきか
27	四季を通じて観光客が訪れている	2.34	3.43
28	幅広い世代に喜ばれる観光地がある	2.28	3.42

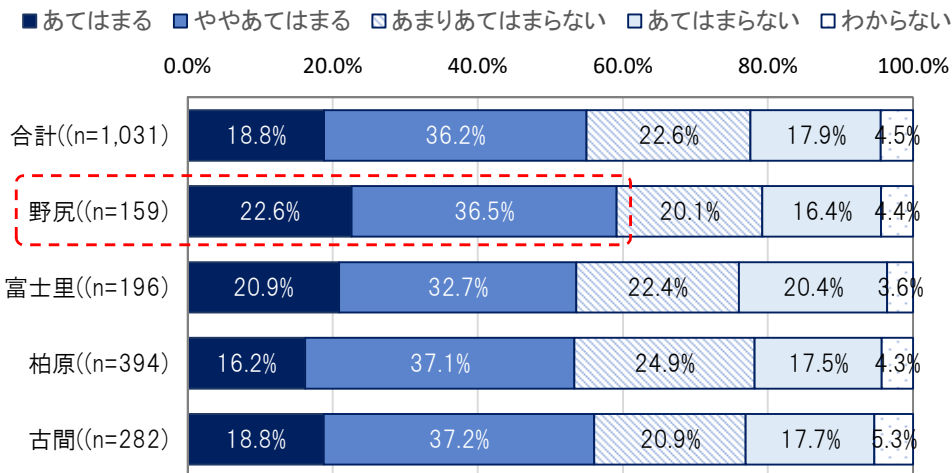
図表 25 観光産業に関する項目の住民の現在の取組と今後の取組意向

番号	項目	現在の取組 平均点	「さらに取り組 みたい」割合 (%)
17	町外の知人や友人などに地域の四季の魅力を伝えている	2.59	36.75
18	観光客に快く対応している	2.73	36.46

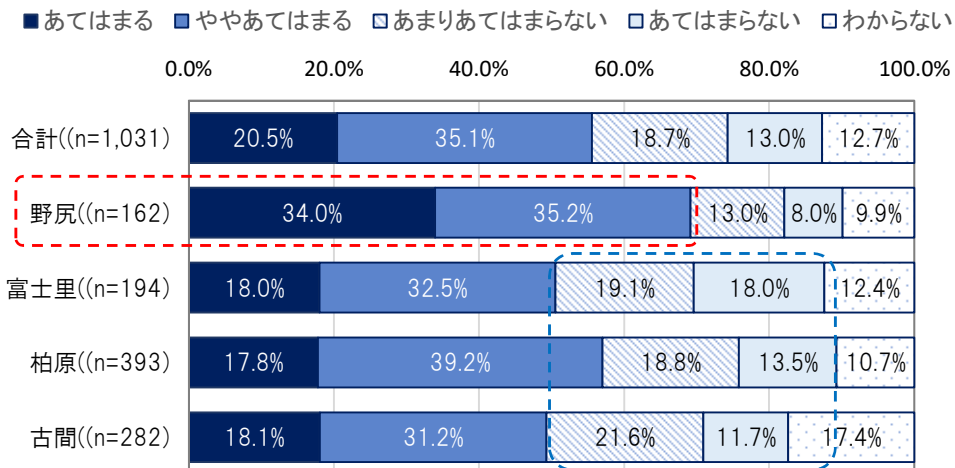
なお、居住地別に現在の取組状況を見ると、観光地がある野尻地区においては、「地域の四季の魅力を伝えている」「観光客に快く対応している」における「あてはまる」「ややあてはまる」を合わせた割合が、回答者全体よりも高くなっている。

富士里地区、柏原地区、古間地区では、「観光客に快く対応している」における「あてはまらない」「ややあてはまらない」を合わせた割合がやや高くなっている。

図表 26 【居住地別】町外の知人や友人などに地域の四季の魅力を伝えている



図表 27 【居住地別】観光客に快く対応している



(イ) 取り組んでいる住民が少ないため、町がきっかけをつくり住民の取組が拡大するようにすべき施策

i. 住民主体のまちづくりの推進

住民主体のまちづくりに関連する項目である「住民と行政がパートナーとして連携している」「地域住民によるコミュニティ活動が行われている」の現状評価の平均点はそれぞれ 2.17、2.44 と低くなっている。「住民と行政がパートナーとして連携している」の重要度は 3.42 と高くなっている。

住民の現在の取組項目である「まちをよくするアイデアを考えている」「行政と協力したまちづくり活動に積極的に参加している」「組、自治会などのまちづくり活動に積極的に参加している」の平均点は 2.00 前後と低い。また、今後の取組意向（「さらに取り組みたい」と回答した割合）でも 30% 程度と低くなっている。

住民主体のまちづくりをさらに進めるべきと考えているものの、住民は主体的に参加していきたいという意向は低くなっている。住民主体のまちづくりは、行財政が縮小するなか、信濃町をより住みやすい町とするために必要なことである。町がその必要性を周知するとともに、そのような場をつくり、住民をまちづくりに巻き込んでいく必要がある。

図表 28 住民主体のまちづくりに関する項目の現状評価、重要度

番号	項目	現状評価 現在の 信濃町の 状況	重要度 さらに 進める べきか
44	住民と行政がパートナーとして連携している	2.17	3.42
45	地域住民によるコミュニティ活動が行われている	2.44	3.27

図表 29 住民主体のまちづくりに関する項目の住民の現在の取組と今後の取組意向

番号	項目	現在の取組 平均点	「さらに取り組みたい」割合 (%)
28	まちをよくするアイデアを考えている	2.03	30.97
29	行政と協力したまちづくり活動に積極的に参加している	1.75	24.59
30	組、自治会などのまちづくり活動に積極的に参加している	2.17	24.72

ii. 地域における子育て環境の整備

子育て分野においては、「子どもが安全に楽しく過ごせる環境が整っている」「保育サービスが充実している」については、現状評価が 2.50 を超えており、子育て環境に対する評価は高い。

しかし、住民の取組に関する項目である「ご近所の子どもをあたたく見守り、必要に応じてサポートしている」「地域で子どもの健全育成に携わっている」の平均点はそれぞれ 2.33、1.85、今後の取組意向（「さらに取り組みたい」と回答した割合）は 38.37%、29.86% と低い。

子育て環境の整備は進んでいるが、地域で子どもを育てていくという意向が低く、今後は、地域が主体的に子育て支援を行う機運を醸成する必要がある。

図表 30 子育てに関する項目の現状評価、重要度

番号	項目	現状評価 現在の 信濃町の 状況	重要度 さらに 進める べきか
9	子どもが安全に楽しく過ごせる環境が整っている	2.55	3.40
10	保育サービスが充実している	2.87	3.38

図表 31 子育てに関する項目の住民の現在の取組と今後の取組意向

番号	項目	現在の取組 平均点	「さらに取り組 みたい」割合 (%)
6	ご近所の子どもをあたたかく見守り、必要に応じてサポートしている	2.33	38.37
7	地域で子どもの健全育成に携わっている	1.85	29.86

### iii. 公共交通の運行

公共交通に関連する項目の「公共交通により、日常生活に必要な移動ができる環境が整っている」の現状評価の平均点は2.01、重要度は3.41である。

一方で、住民の取組を確認した項目の「公共交通を積極的に利用している」の平均点は1.81、今後の取組意向（「さらに取り組みたい」と回答した割合）は23.42%とどちらも低くなっている。

公共交通の運行はさらに進めるべきと考えている住民が多いものの、利用意向が低い。地域における公共交通の利便性、効率性を十分に議論する必要がある。

図表 32 公共交通に関する項目の現状評価、重要度

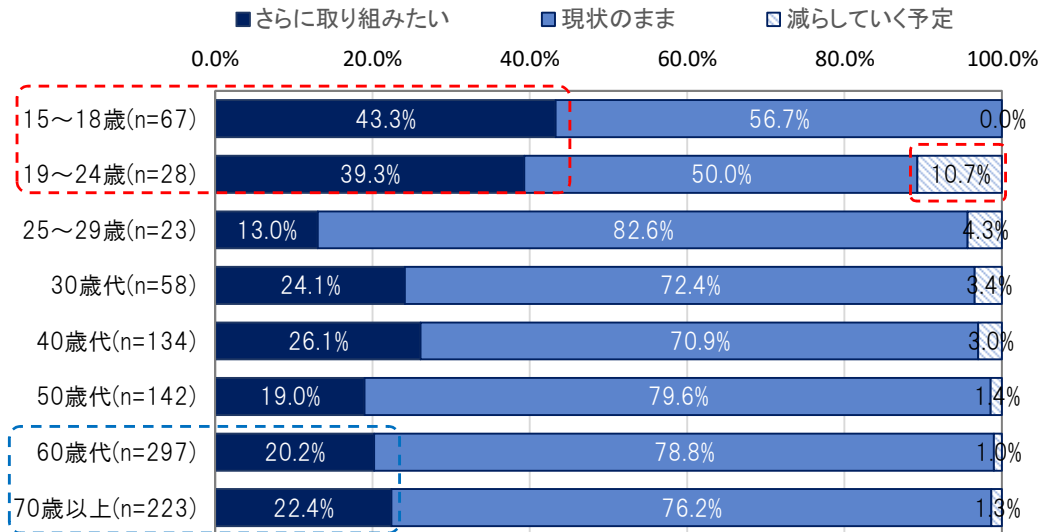
番号	項目	現状評価 現在の 信濃町の 状況	重要度 さらに 進める べきか
18	公共交通により、日常生活に必要な移動ができる環境が整っている	2.01	3.41

図表 33 公共交通に関する項目の住民の現在の取組と今後の取組意向

番号	項目	現在の取組 平均点	「さらに取り組 みたい」割合 (%)
13	公共交通を積極的に利用している	1.81	23.42

また、「公共交通を積極的に利用している」の今後の取組意向を年代別にみると、15～18歳、19～24歳では「さらに取り組みたい」割合が40%前後と高くなっている。15～18歳（高校生の世代）は通学にしの鉄道を利用しているため、高くなったものと考えられる。そのほかの年代では20%前後と低くなっている。公共交通の主要ターゲットとしている60歳以上でも「さらに取り組みたい」割合は低い。また、19～24歳は「減らしていく予定」の割合が10.7%とほかの年代に比べて高い。

図表 34 【年代別】公共交通の利用に対する今後の取組意向



iv. 災害への備え

防災に関連する項目の「地域において、地震や大雨などへの備えができていない」の現状評価の平均点は2.33、重要度は3.49となっており、現状評価は低く、重要度は高い。調査実施期間が西日本豪雨の直後であったため、影響を受けた可能性がある。

評価が低い理由としては、「ハザードマップが配られているが、災害時にどのように行動すればよいか具体的なことがわからない」といった声がある。

また、住民の取組を確認した項目の「自主防災活動に参加している」の平均点は2.10で、今後の取組意向（「さらに取り組みたい」と回答した割合）は30.45%と低い。

多くの住民が災害への備えをさらに進めるべきと考えているが、実際の行動には移していない。災害への備えは行政の取組だけでは十分ではなく、一人ひとりの備えが減災に繋がることを住民に周知し、住民の取組を拡大する必要がある。

図表 35 災害への備えに関する項目の現状評価、重要度

番号	項目	現状評価 現在の 信濃町の 状況	重要度 さらに 進める べきか
23	地域において、地震や大雨などへの備えができていない	2.33	3.49

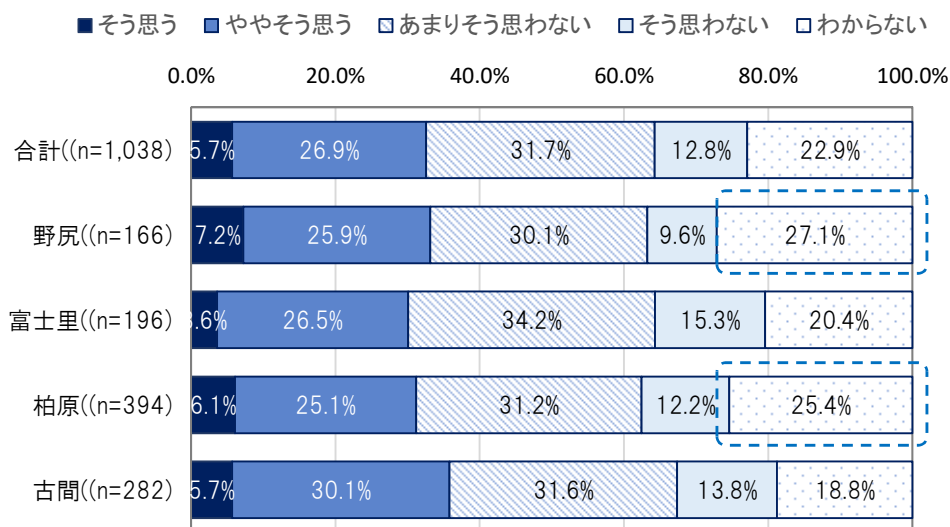
図表 36 災害への備えに関する項目の住民の現在の取組と今後の取組意向

番号	項目	現在の取組 平均点	「さらに取り組みたい」割合 (%)
15	自主防災活動に参加している	2.10	30.45

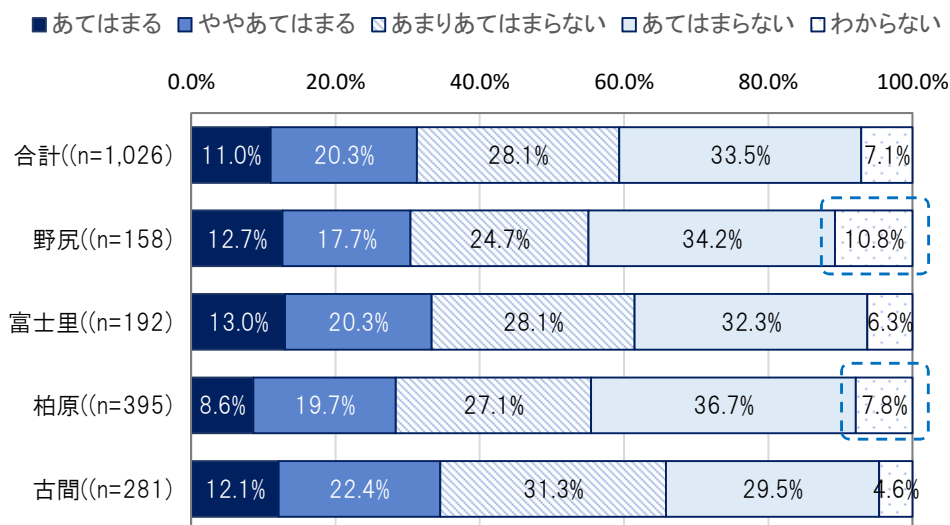
居住地別にみると、野尻地区、柏原地区において、「地域において、地震や大雨などへの備えができていない」「自主防災活動に参加している」の「わからない」の割合が回答者全体（合計）よりも高くなって

おり、地域の災害への備えについて関心が低い住民が多いことがうかがえる。

図表 37 【居住地別】地域において、地震や大雨などへの備えができている



図表 38 【居住地別】自主防災活動に参加している



② 行政が主体となって進める施策

以下に、行政が主体となって進める施策のうち現状評価が特に低いものについてまとめる。

(ア) 障がい者福祉の充実

障がい者福祉の項目である「障がいのある人が安心して生活できる地域である」「障がいのある人が社会参加できる環境が整っている」の現状評価の平均点はそれぞれ 2.06、1.98、重要度はどちらも 3.37 となっており、障がい者福祉の充実が求められている。

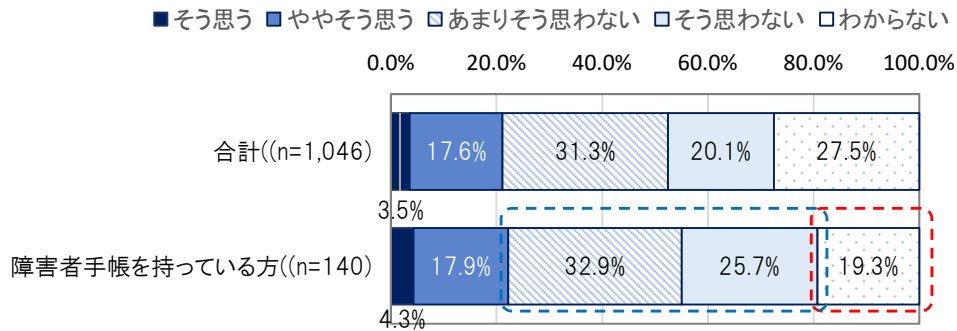
図表 39 障がい者福祉に関する項目の現状評価、重要度

番号	項目	現状評価 現在の 信濃町の 状況	重要度 さらに 進める べきか
6	障がいのある人が安心して生活できる地域である	2.06	3.37
7	障がいのある人が社会参加できる環境が整っている	1.98	3.37

同居家族に受益者となる障害者手帳を持っている方の有無で現状評価をみると、「障がいのある人が安心して生活できる地域である」「障がいのある人が社会参加できる環境が整っている」のどちらも回答者全体（合計）に比べて「わからない」の割合が低く、「そう思わない」「ややそう思わない」の割合が高くなっている。

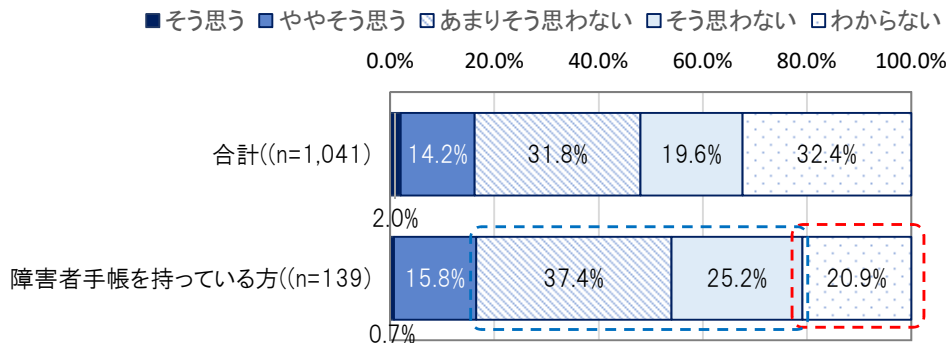
図表 40 【同居家族 障害者手帳を持っている方の有無別】

障がいのある人が安心して生活できる地域である



図表 41 【同居家族 障害者手帳を持っている方の有無別】

障がいのある人が社会参加できる環境が整っている



### (イ) 社会福祉の充実

社会福祉の項目である「生活に困ったときに相談できる体制がある」の現状評価の平均点は、2.28、重要度は3.37となっており、日常生活の困りごとの相談体制の充実が求められている。

図表 42 社会福祉に関する項目の現状評価、重要度

番号	項目	現状評価 現在の 信濃町の 状況	重要度 さらに 進める べきか
8	生活に困った時に相談できる体制がある	2.28	3.37

### (ウ) 持続可能な農業の実現

農業に関連する項目の「遊休荒廃農地が少なくなっている」の現状評価の平均点は1.74、重要度は3.32となっている。

農業協同組合に対するヒアリングによると、これまで多くの農地の耕作を担ってきた農業法人、集落営農組合に参加している人材の高齢化が進んでおり、今後10年で担い手の減少がさらに深刻化することが予想される。

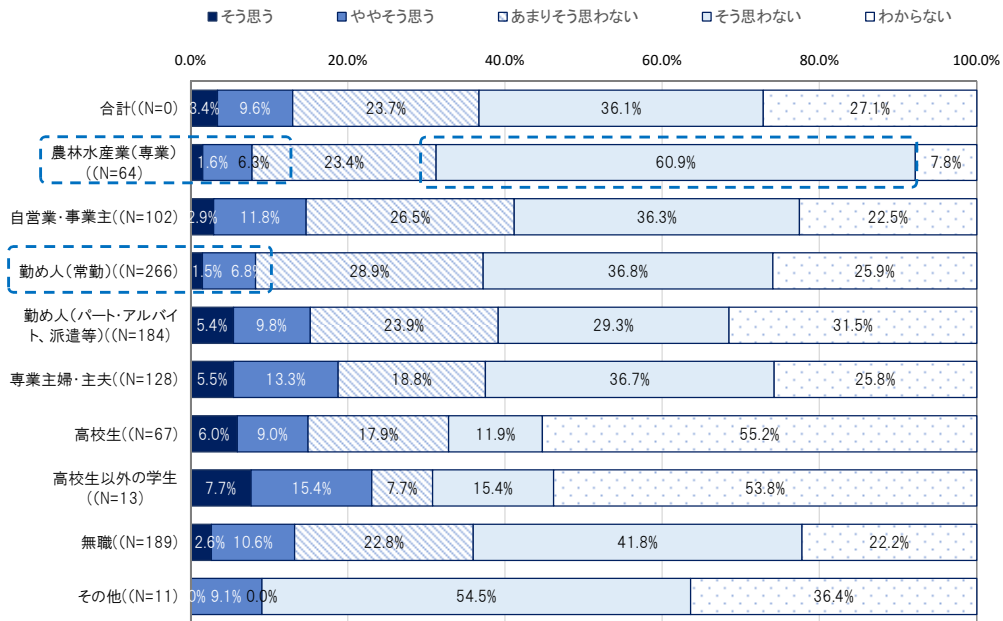
担い手の確保は、個々の農業従事者だけでは難しいことから、町が新規就農者に対する支援や就農希望者と農地のマッチング、町内外の法人との連携強化などにより、農業の継続を図る必要がある。

図表 43 持続可能な農業の実現に関する項目の現状評価、重要度

番号	項目	現状評価 現在の 信濃町の 状況	重要度 さらに 進める べきか
34	遊休荒廃農地が少なくなっている	1.74	3.32

職業別に集計をすると「農林水産業」と兼業農家が含まれていると考えられる「常勤の勤め人」の現状評価は全回答者よりも低くなっている。特に「農林水産業」においては「そう思わない」が60.9%と高くなっており、現場の危機感は大きいものと考えられる。

図表 44 【職業別】遊休荒廃農地が少なくなっていると思うか



(エ) 働く機会の確保

働く場所の確保に関連する項目の「町内に住みながら、働きたい仕事をみつけられる」の現状評価の平均点は 1.78、重要度の平均点は 3.42 で、「起業しやすい環境が整っている」の現状評価の平均点は 1.83、重要度の平均点は 3.33 である。

商工会に対するヒアリングによると、現在は、景気が好調であることも背景に、起業件数が高市町村に比較して多く、町内に小さいながらも雇用の場は広がっている状況である。

今後は、商工会と連携した産業支援、開設予定の「信濃町ノマドワークセンター」(仮称)等を活用し、町内外の事業者による町内での雇用の機会を増やすことが必要である。

また、周辺市町への良好なアクセスがあることをいけば、信濃町に住みながら町外で働くことも可能である。行政は、周辺市町の求人情報の充実も含めて、雇用機会の確保に努める必要がある。

図表 45 働く機会の確保に関する項目の現状評価、重要度

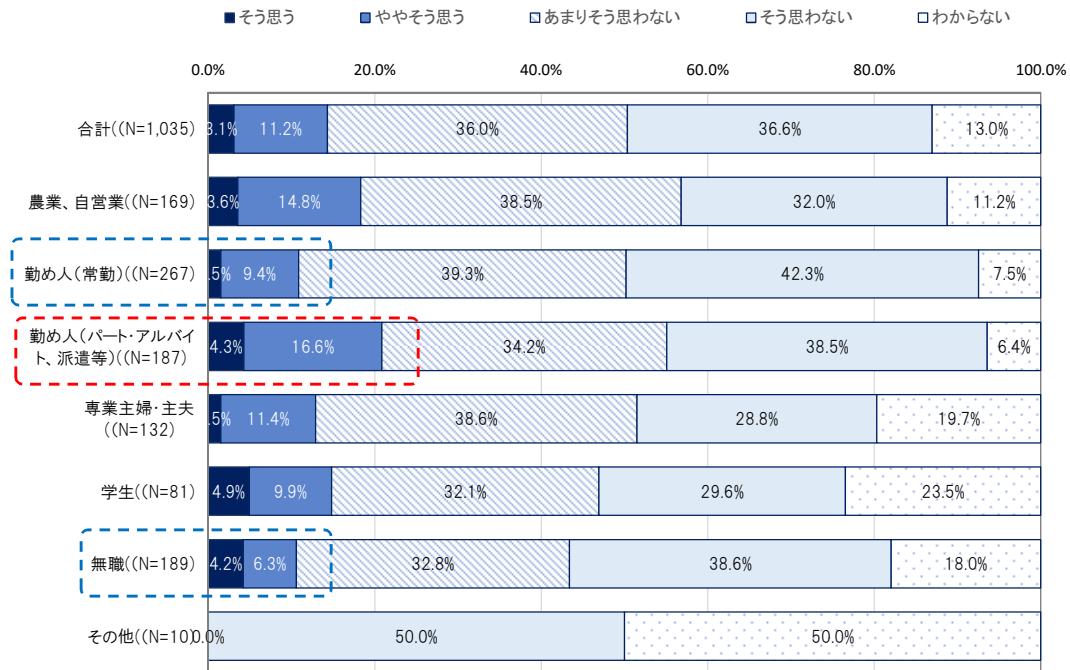
番号	項目	現状評価 現在の 信濃町の 状況	重要度 さらに 進める べきか
31	町内に住みながら、働きたい仕事をみつけられる	1.78	3.42
32	起業しやすい環境が整っている	1.83	3.33

職業別にみると、当事者である「常勤の勤め人」「無職」の現状評価が回答者全体よりも低い。反対に、「パート・アルバイト等非常勤でない勤め人」の評価は回答者全体よりも高い。

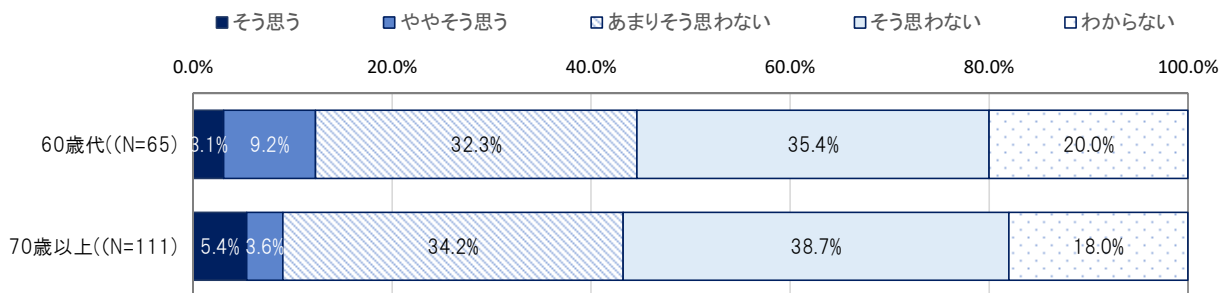
なお、「無職」の回答者については 60 歳以上の者が大半を占めている。60 歳代においては肯定的評価(「そう思う」「ややそう思う」の割合の合計)が 12.3%、70 歳以上では 9.0%と非常に低くなっている。70 歳以上の回答者は、自身のことよりも若者の仕事を不安に感じていると考えられる。



図表 46 【職業別】 町内に住みながら、働きたい仕事をみつけられると思うか



図表 47 【60代以上の無職のみ】 町内に住みながら、働きたい仕事をみつけられると思うか



(オ) 広域行政の推進

広域行政に関する項目である「近隣市町村と連携した効率的な行政運営が取り組まれている」の現状評価の平均点は 2.10、重要度の平均点は 3.37 である。

縮小する行財政においては、近隣市町村と連携し、効率的な行政運営によるコスト削減が求められることから、広域行政の推進が求められる。

図表 48 広域行政の推進に関する項目の現状評価、重要度

番号	項目	現状評価 現在の 信濃町の 状況	重要度 さらに 進める べきか
52	近隣市町村と連携した効率的な行政運営が取り組まれている	2.10	3.37

### (カ) 広報・広聴の環境整備

広報・広聴の環境整備に関する項目である「町政の情報が入手しやすい地域である」「住民の声が町政に届けやすい地域である」の現状評価の平均点はそれぞれ 2.38、2.11 と低くなっている。「住民の声が町政に届けやすい地域である」の重要度の平均点は 3.44 となっている。

広報・広聴の体制を充実させても住民に届くとは限らない。まず、まちづくりに参加する住民を増加させたいうえで、情報を拡散してもらったり、意見を集めるといった工夫が必要である。

図表 49 広報・広聴の環境整備に関する項目の現状評価、重要度

番号	項目	現状評価 現在の 信濃町の 状況	重要度 さらに 進める べきか
53	町政の情報が入手しやすい地域である	2.38	3.35
54	住民の声が町政に届けやすい地域である	2.11	3.44

### (キ) 行政運営の効率化

住民がまちづくりに参加するための環境整備に関する項目である「効果的で効率的な行政運営が図られている」の現状評価の平均点は 2.08 をとなっている。重要度の平均点は 3.46 となっている。

現在、信濃町の経常収支比率は 90.5% と高く、弾力性が低い財政状況となっており、さらに効率的な行政運営が必要である。

図表 50 行政運営に関する項目の現状評価、重要度

番号	項目	現状評価 現在の 信濃町の 状況	重要度 さらに 進める べきか
55	効果的で効率的な行政運営が図られている	2.08	3.46

## 第3章 調査結果

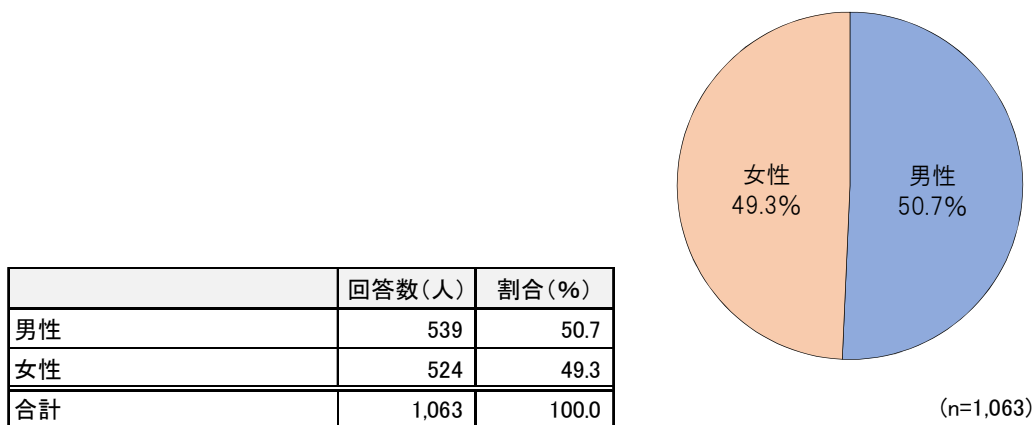


## 第1節 住民アンケート、高校生アンケート結果

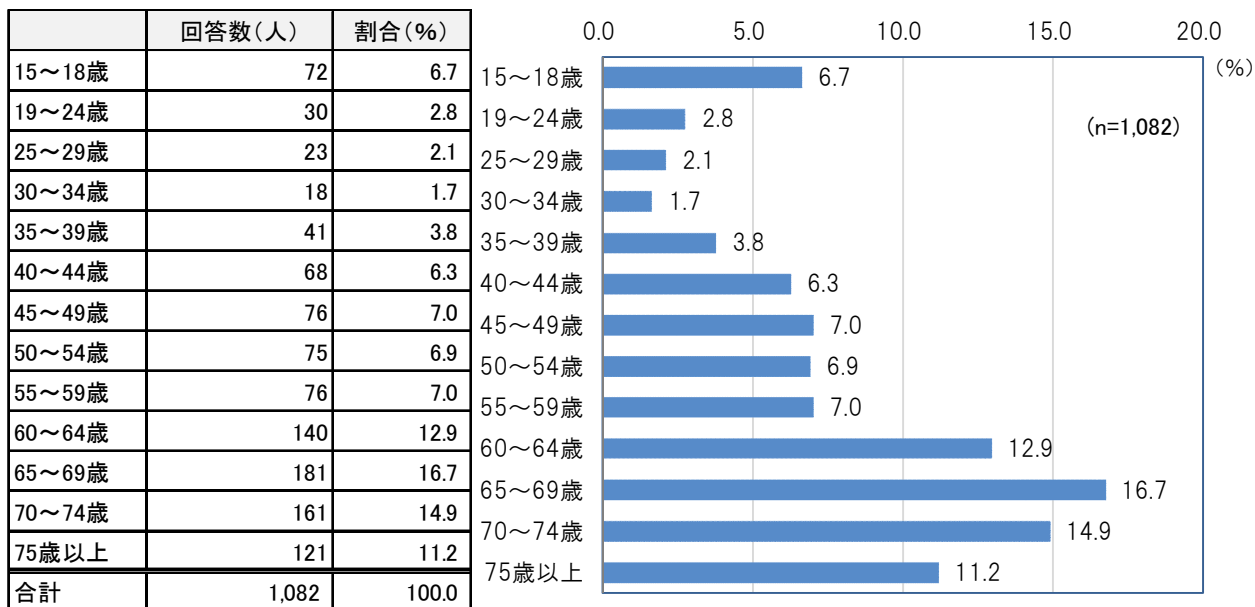
### 回答者属性

- ・回答者の性別は、「男性」50.7%、「女性」49.3%とほぼ同数である。
- ・年齢別では、「60～64歳」が16.7%と最も多く、「70～74歳」が14.9%と続く。「19歳～24歳」、「25～29歳」「30～34歳」は3%未満である。60歳以上の回答が55.7%を占めている

図表 51 性別



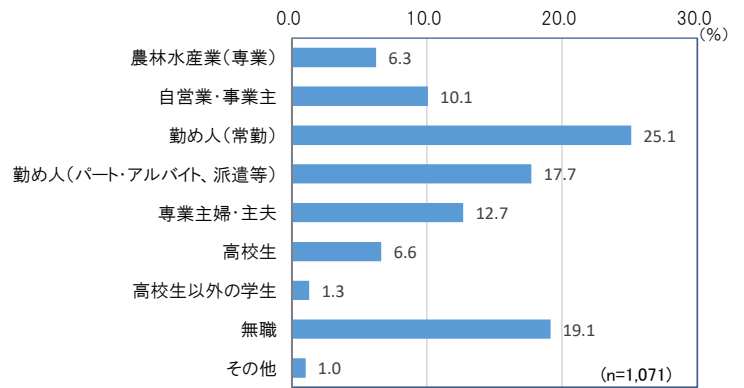
図表 52 年代



- ・職業では、「常勤の勤め人」が25.1%と最も多く、「無職」が19.1%と続く。
- ・居住地区別では、「柏原」が37.7%、「古間」が27.7%、「富士里」が19.2%、「野尻」が16.0%である。
- ・年代別居住地区では、「野尻」が60歳以上の回答がやや多い、「富士里」は29歳以下の回答が少ない。

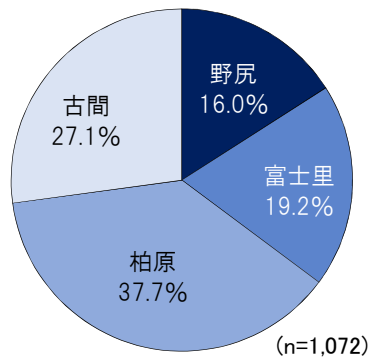
図表 53 職業

	回答数(人)	割合(%)
農林水産業(専業)	67	6.3
自営業・事業主	108	10.1
勤め人(常勤)	269	25.1
勤め人(パート・アルバイト、派遣等)	190	17.7
専業主婦・主夫	136	12.7
高校生	71	6.6
高校生以外の学生	14	1.3
無職	205	19.1
その他	11	1.0
合計	1,071	100.0

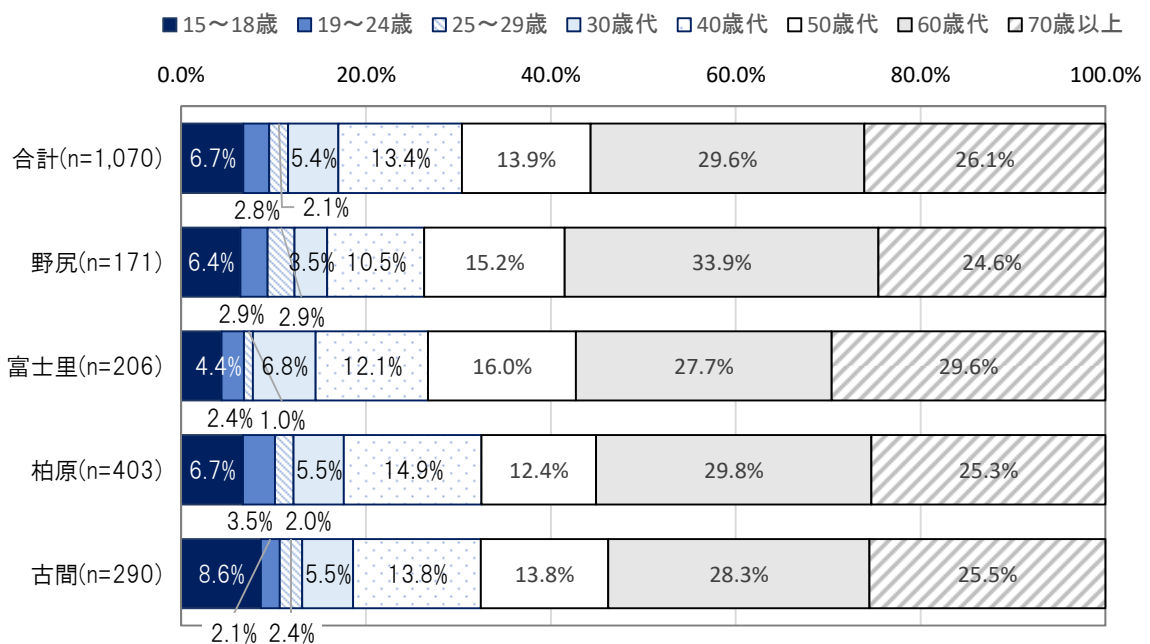


図表 54 居住地区

	回答数(人)	割合(%)
野尻	171	16.0
富士里	206	19.2
柏原	404	37.7
古間	291	27.1
合計	1,072	100.0



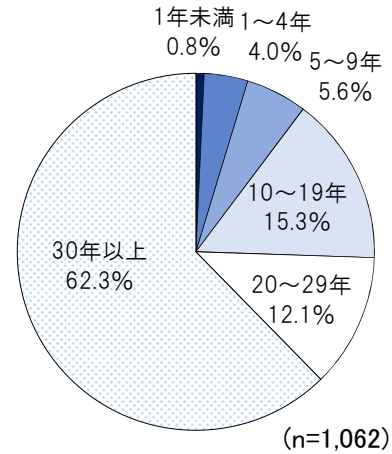
図表 55 居住地区別年代



- ・居住年数では、「30年以上」が最も多い。
- ・出身地では「信濃町」が62.1%で最も多い。次いで、多いのは「県外」である。
- ・「県外」の内訳をみると、隣県である新潟県や東京都をはじめとする関東圏が多い。

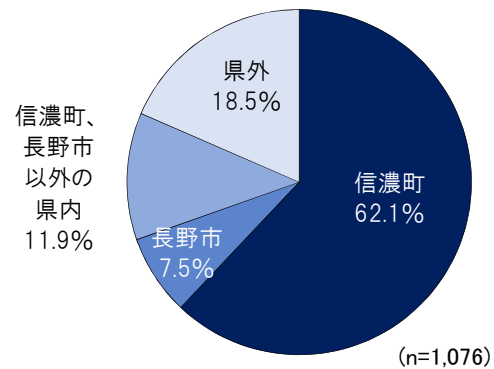
図表 56 居住年数

	回答数(人)	割合(%)
1年未満	8	0.8
1～4年	42	4.0
5～9年	59	5.6
10～19年	162	15.3
20～29年	129	12.1
30年以上	662	62.3
合計	1,062	100.0



図表 57 出身地

	回答数(人)	割合(%)
信濃町	668	62.1
長野市	81	7.5
信濃町、長野市以外の県内	128	11.9
県外	199	18.5
合計	1,076	100.0



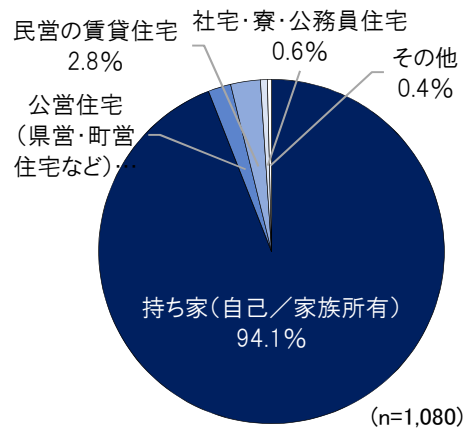
図表 58 出身地 (町外の内訳)

県内市町村	回答数(人)	他都道府県	回答数(人)
須坂市	19	新潟県	42
飯綱町	18	東京都	42
中野市	11	神奈川県	16
飯山市	7	埼玉県	12
松本市	5	千葉県	5
千曲市	3	群馬県	4
山ノ内町	2	愛知県	9
佐久市	2	大阪府	9
小布施町	2	兵庫県	7
その他	15	北海道	3
		青森県	3
		その他	39
		その他のうち海外	3

- ・住まいの状況では、「持ち家」が94.1%と圧倒的に多い。
- ・農地の所有状況は、「所有している」割合が60.9%である。

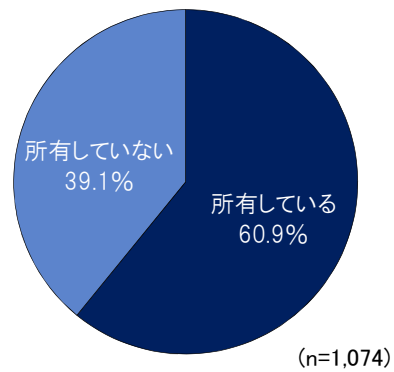
図表 59 住まいの状況

	回答数(人)	割合(%)
持ち家(自己/家族所有)	1,016	94.1
公営住宅(県営・町営住宅など)	23	2.1
民営の賃貸住宅	30	2.8
社宅・寮・公務員住宅	7	0.6
その他	4	0.4
合計	1,080	100.0



図表 60 農地の所有状況

	回答数(人)	割合(%)
所有している	654	60.9
所有していない	420	39.1
合計	1,074	100.0

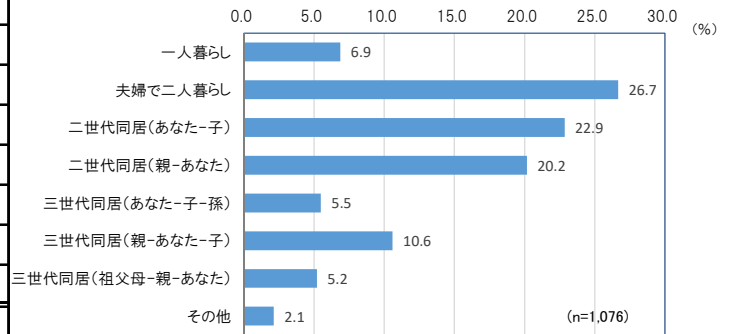




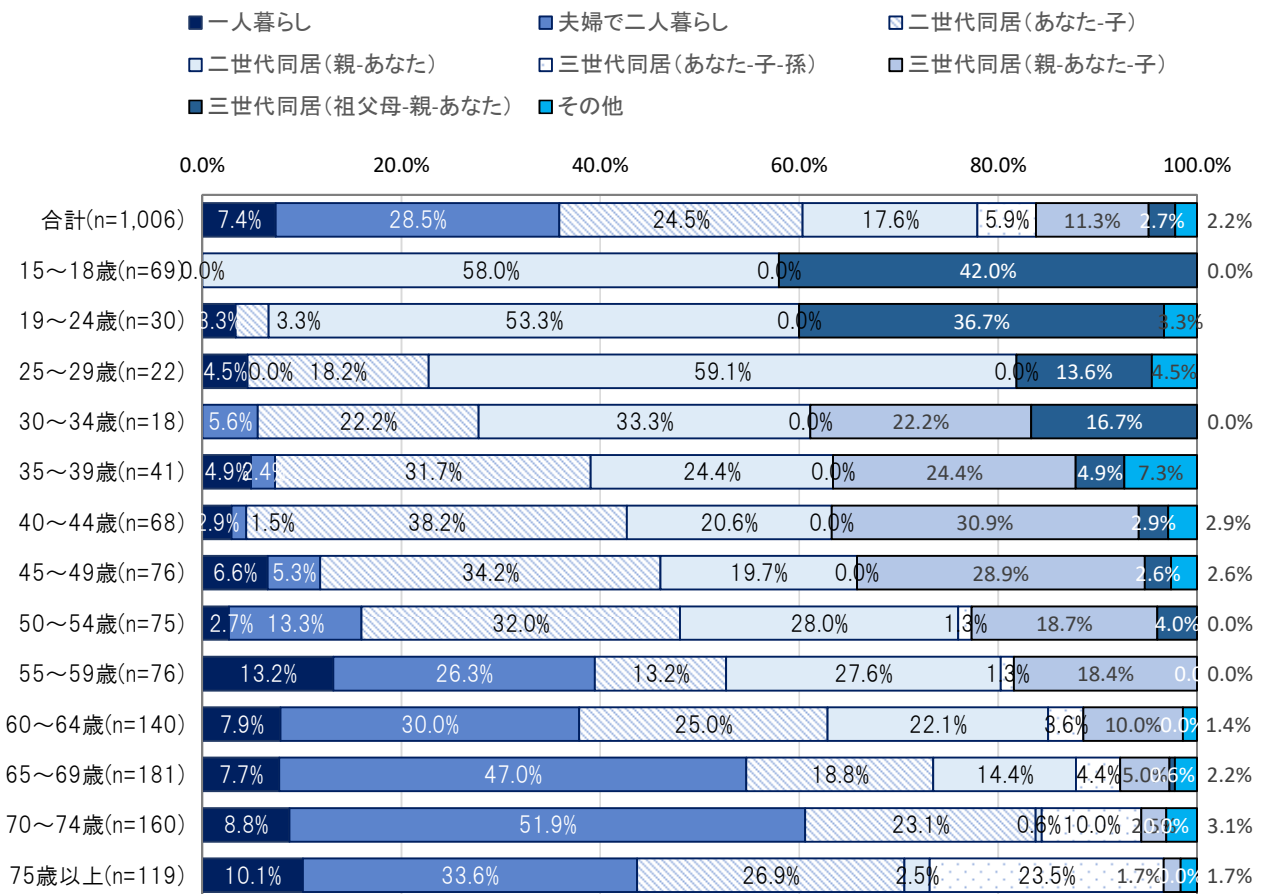
- ・世帯状況では、「夫婦で二人暮らし」26.7%で最も多い。
- ・年代別では、55歳以上で「一人暮らし」または「夫婦二人暮らし」の割合が高くなっている。
- ・同居家族では、「65歳以上～74歳以下の方」「75歳以上の方」が多くなっている。

図表 61 世帯状況

	回答数(人)	割合(%)
一人暮らし	74	6.9
夫婦で二人暮らし	287	26.7
二世帯同居(あなた-子)	246	22.9
二世帯同居(親-あなた)	217	20.2
三世帯同居(あなた-子-孫)	59	5.5
三世帯同居(親-あなた-子)	114	10.6
三世帯同居(祖父母-親-あなた)	56	5.2
その他	23	2.1
合計	1,076	100.0

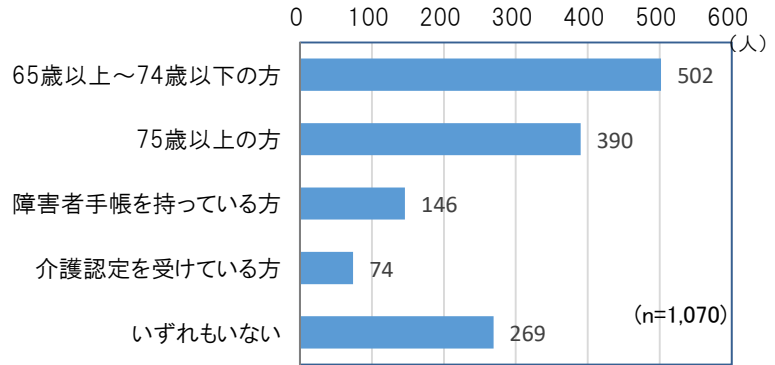


図表 62 年代別世帯状況



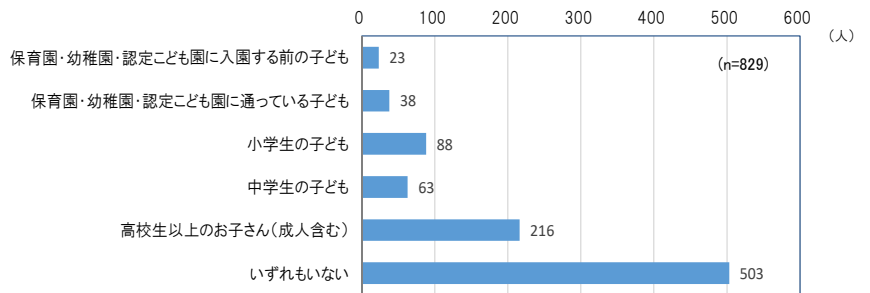
図表 63 同居家族 [複数回答]

	回答数(人)
65歳以上～74歳以下の方	502
75歳以上の方	390
障害者手帳を持っている方	146
介護認定を受けている方	74
いずれもない	269



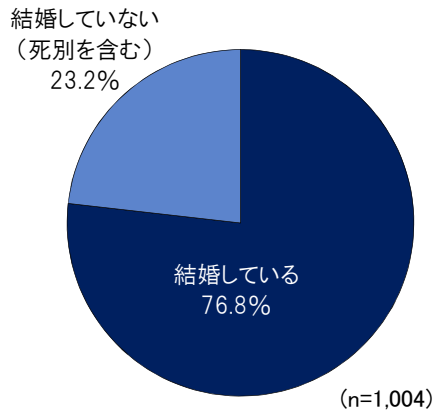
図表 64 子どもの同居状況 [複数回答]

	回答数(人)
保育園・幼稚園・認定こども園に入園する前の子ども	23
保育園・幼稚園・認定こども園に通っている子ども	38
小学生の子ども	88
中学生の子ども	63
高校生以上のお子さん(成人含む)	216
いずれもない	503



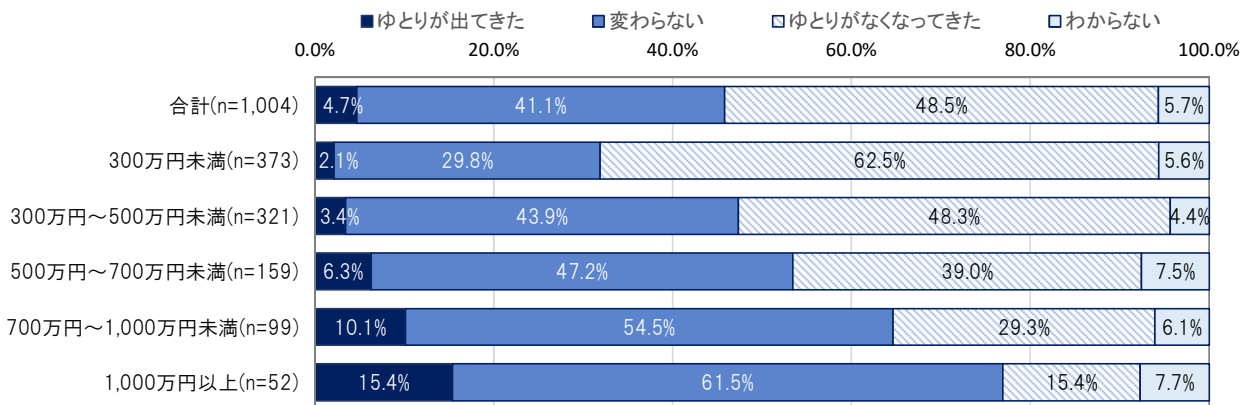
図表 65 結婚の有無 (17歳以下の回答を除く)

	回答数(人)	割合(%)
結婚している	771	76.8
結婚していない(死別を含む)	233	23.2
合計	1,004	100.0



・5年前と比べた暮らし向きの変化を年収別にみると、年収が高くなるほどゆとりが出てきている。逆に年収が低くなるほどゆとりがなくなっている。

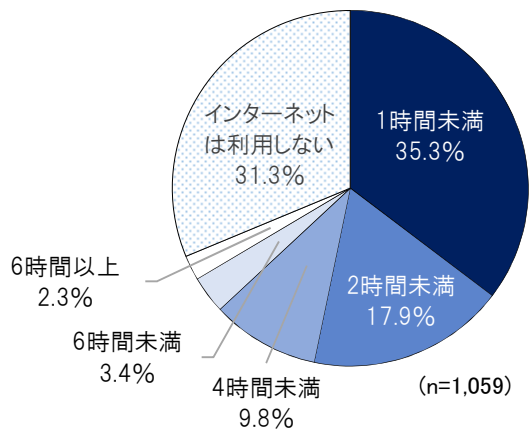
図表 66 年収別5年前と比べた暮らし向きの変化



・インターネットを利用する時間では「1時間未満」が35.3%と最も多い。2時間未満までで半数以上を占めている。  
 ・一方、「インターネットは利用しない」割合が31.3%と2番目に多い。

図表 67 インターネットを利用する時間

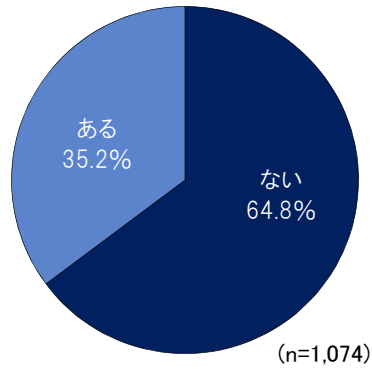
	回答数(人)	割合(%)
1時間未満	374	35.3
2時間未満	190	17.9
4時間未満	104	9.8
6時間未満	36	3.4
6時間以上	24	2.3
インターネットは利用しない	331	31.3
合計	1,059	100.0



- ・本を読む習慣が「ある」割合は35.2%である。
- ・本を読む習慣がある者のひと月あたりに読む本の冊数は、「2～3冊」が42.2%で最も多い。次いで、「1冊」が38.2%となっている。

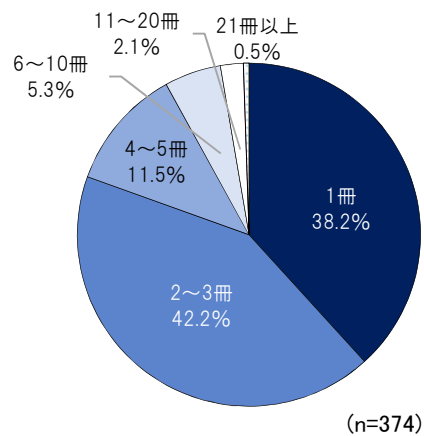
図表 68 本を読む習慣の有無

	回答数(人)	割合(%)
ない	696	64.8
ある	378	35.2
合計	1,074	100.0



図表 69 ひと月あたりに読む本の冊数 (本を読む習慣がある者のみ)

	回答数(人)	割合(%)
1冊	143	38.2
2～3冊	158	42.2
4～5冊	43	11.5
6～10冊	20	5.3
11～20冊	8	2.1
21冊以上	2	0.5
合計	374	100.0



## 1. 施策の現状評価・重要度の分析

本節では、まちづくりの柱ごと施策の現状評価、重要度、住民の取組状況の分析結果を示す。  
 施策の評価、重要度、住民の取組状況の評価の考え方は、10 ページに示した。

### (1) まちづくりの柱ごとの分析

以下に、第5次長期振興計画のまちづくりの柱ごとに結果を示す。

#### ① まちづくりの柱1：みんなが健康で安心して暮らせるまちづくり（健康づくり・医療・福祉）

まちづくりの柱1「みんなが健康で安心して暮らせるまちづくり（健康づくり・医療・福祉）」の施策と調査項目は以下のとおりである。

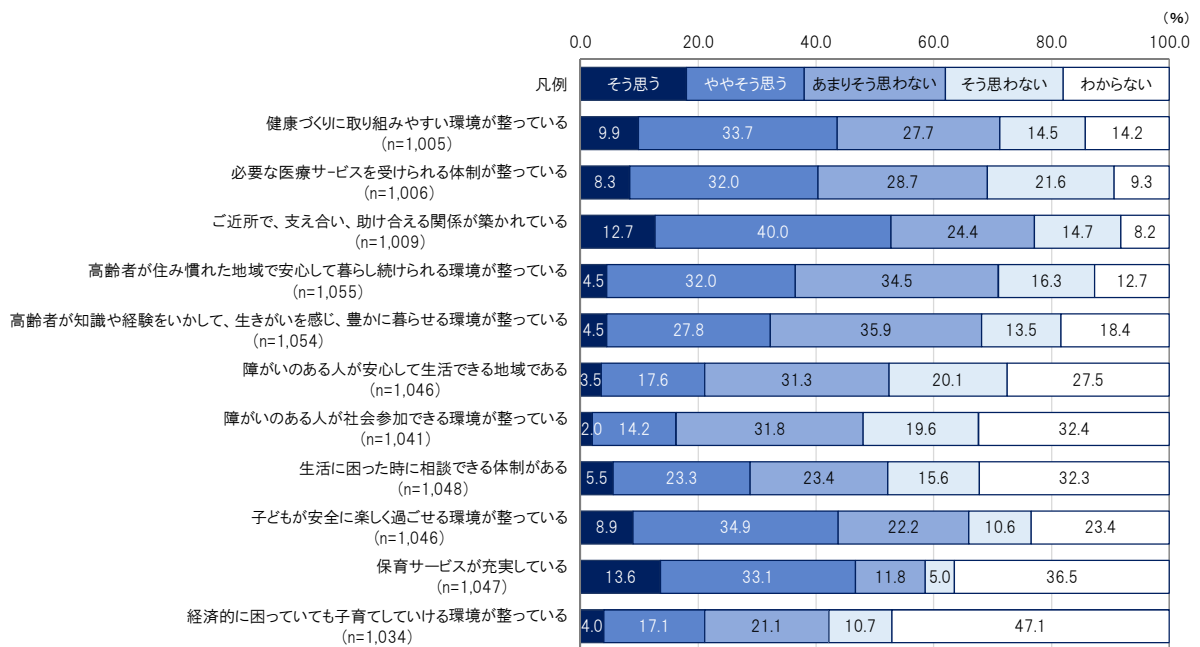
まちづくりの柱	分野	施策	町の環境・体制	重要度	住民の行動
みんなが健康で安心して暮らせるまちづくり	第1節 ピンピンコロリ・健康づくり	1. 保健	(1)健康づくりの推進	健康づくりに取り組みやすい環境が整っている	健康づくりに継続的に取り組んでいる
			(2)健康づくり体制の整備		
		2. 地域医療	(1)信越病院の整備	必要な医療サービスを受けられる体制が整っている	-
	(2)地域医療活動の充実				
	(3)救急医療体制の確立				
	第2節 福祉のまちづくり	1. 地域福祉	(1) 住民の支え合いによるまちづくり	ご近所で、支え合い、助け合える関係が築かれている	ご近所同士で交流し、困った時に助け合える関係を築いている
			(2) 利用者の立場に立ったまちづくり		
			(3) 安心して快適に暮らせるまちづくり		
		2. 高齢者福祉	(1) 在宅福祉サービスの充実	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる環境が整っている	ご近所の高齢者を温かく見守り、必要な時には手助けしている
			(2) 施設福祉サービスの充実		
			(3) 生きがい対策の推進		
		3. 障がい者（児）福祉	(1) 「こころのバリアフリー」の実現	障がいのある人が安心して生きられる地域である	障害のある人が必要としているときに手助けをしている
			(2) 保健・福祉サービスの充実	障がいのある人が社会参加できる環境が整っている	-
			(3) 自立・自己実現のための支援		
			(4) 障がい者が住みよいまちづくり		
4. 低所得者福祉		(1) 生活自立への支援	生活に困った時に相談できる体制がある	-	
第3節 安心して子を産み育てることのできる環境づくり		1. 子育て環境	(1) 地域の子育て環境の整備	子どもが安全に楽しく遊べる環境が整っている	ご近所の子どもをあたたく見守り必要に応じてサポートしている
	(2) 保育サービスの充実		保育サービスが充実している	地域で子どもの健全育成に携わっている	
	(3) 子育て家庭への経済的支援		経済的に困っていても子育てしていける環境が整っている	-	

(ア) 度数分布による分析

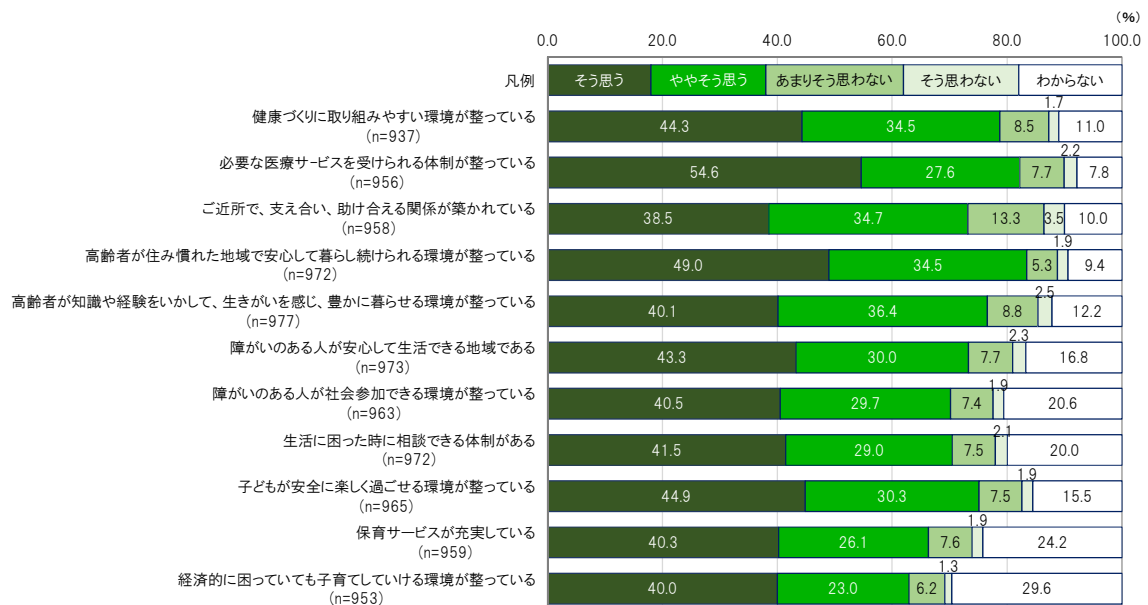
1) 町の環境・体制に対する現状評価（全回答者）

- ・町の環境・体制に対する現状評価をみると、「ご近所で、支え合い、助け合える関係が築かれている」は肯定的評価の割合（「そう思う」、「ややそう思う」を合わせた割合）が52.7%ともっとも高い。次いで高いのは「保育サービスが充実している」である。「障がいのある人が安心して生活できる地域である」「障がいのある人が社会参加できる環境が整っている」「経済的に困っていても子育てしていける環境が整っている」は肯定的評価の割合が低い。
- ・他方、「障がいのある人が安心して生活できる地域である」「障がいのある人が社会参加できる環境が整っている」「保育サービスが充実している」「経済的に困っていても子育てしていける環境が整っている」は「わからない」の割合も高く、支援制度が浸透していないことがうかがえるため、周知が必要である。
- ・今後、さらに進めるべき施策で肯定的評価の割合が最も高いのは「高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる環境が整っている」である。

図表 70 **現状評価** みんなが健康で安心して暮らせるまちづくり



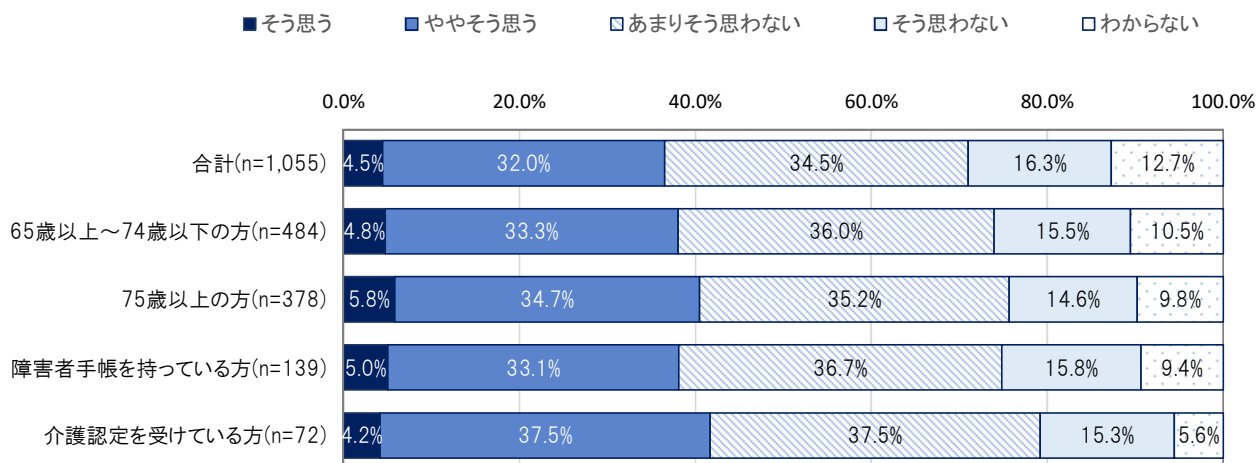
図表 71 **重要度（さらに進めるべきか）** みんなが健康で安心して暮らせるまちづくり



2) 受益者に限定した現状評価

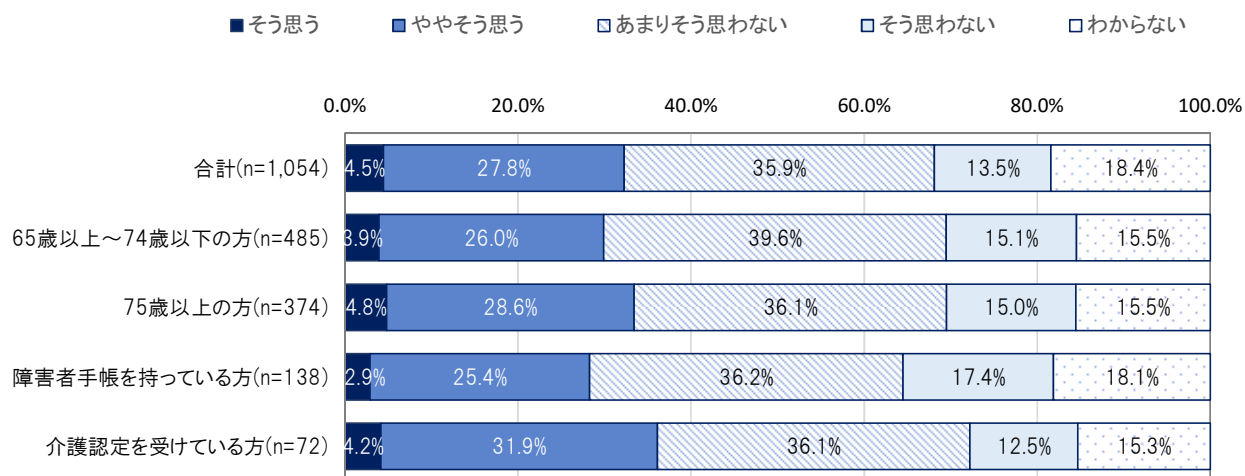
図表 72 同居家族別の現状評価

「高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる環境が整っている」



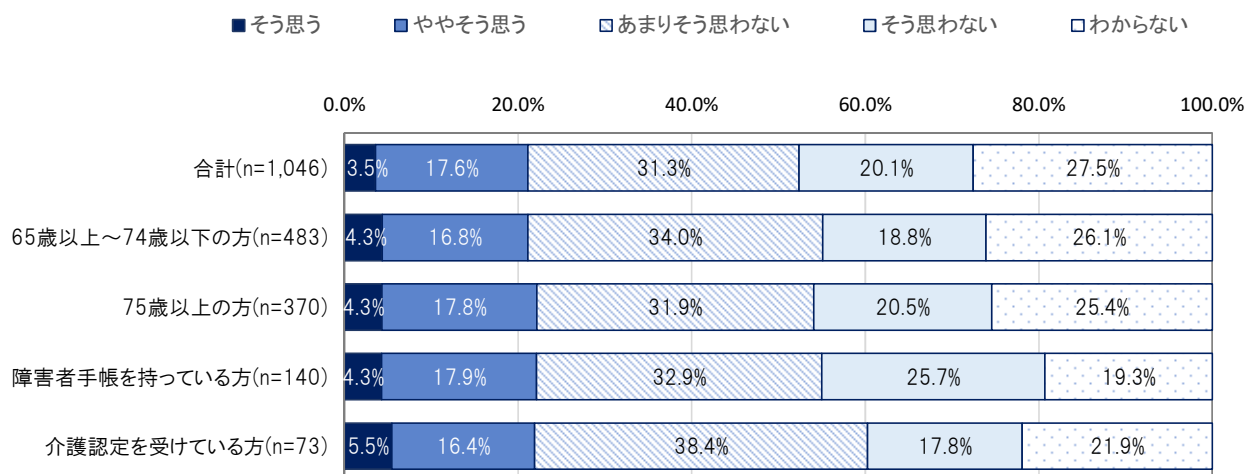
図表 73 同居家族別の現状評価

「高齢者が知識や経験をいかして、生きがいを感じ、豊かに暮らせる環境が整っている」



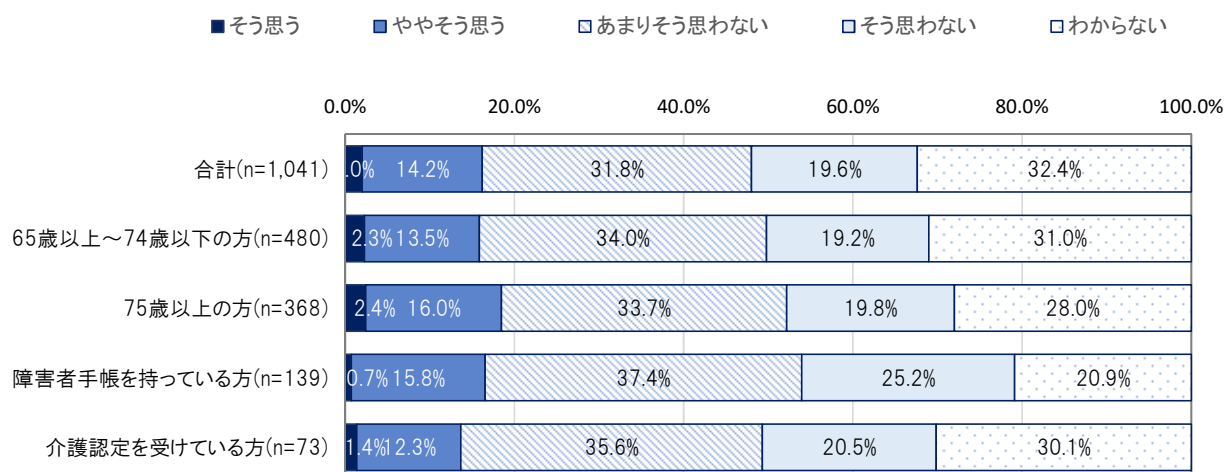
図表 74 同居家族別の現状評価

「障がいのある人が安心して生活できる地域である」



図表 75 同居家族別の現状評価

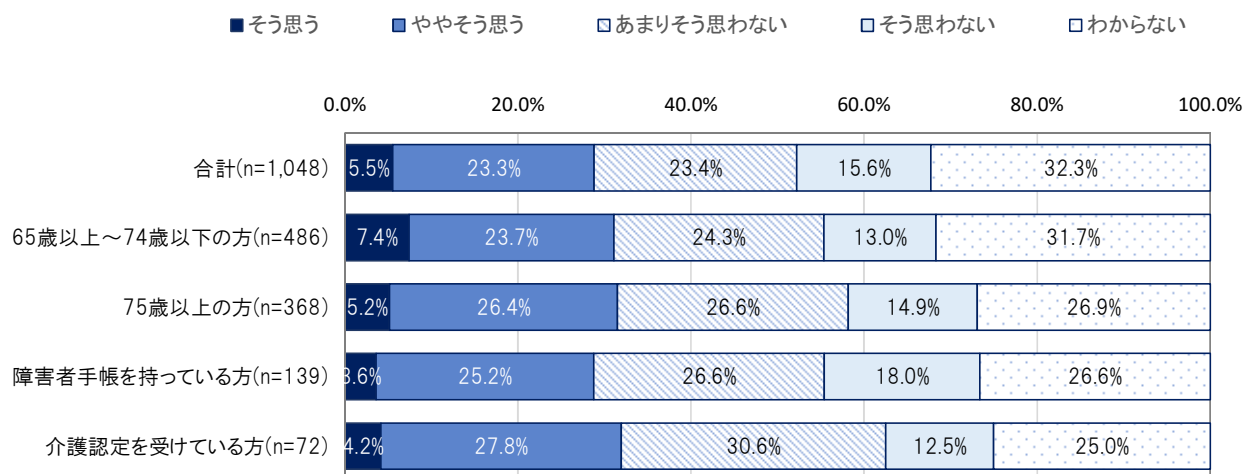
「障がいのある人が社会参加できる環境が整っている」





図表 76 同居家族別の現状評価

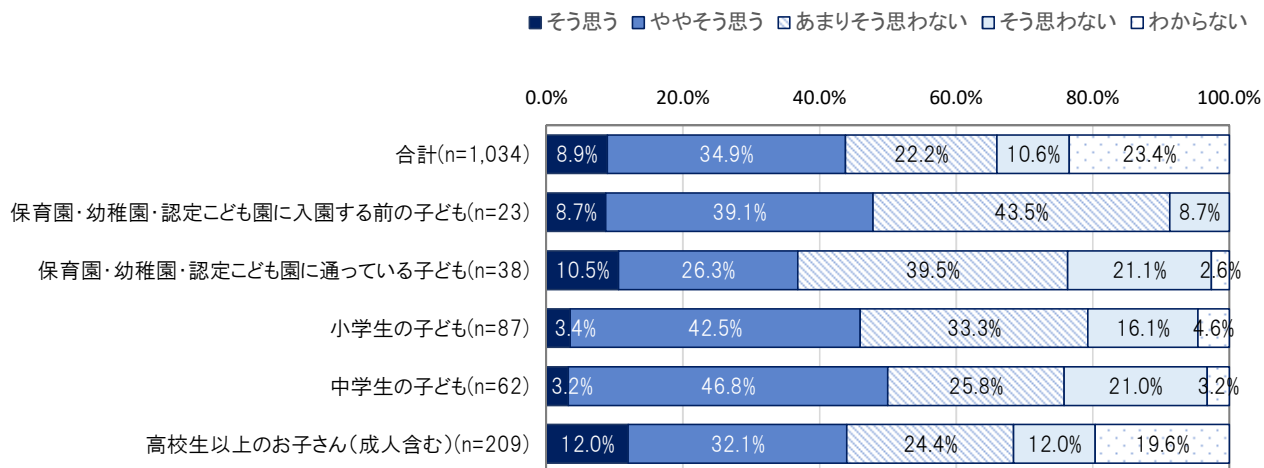
「生活に困った時に相談できる体制がある」



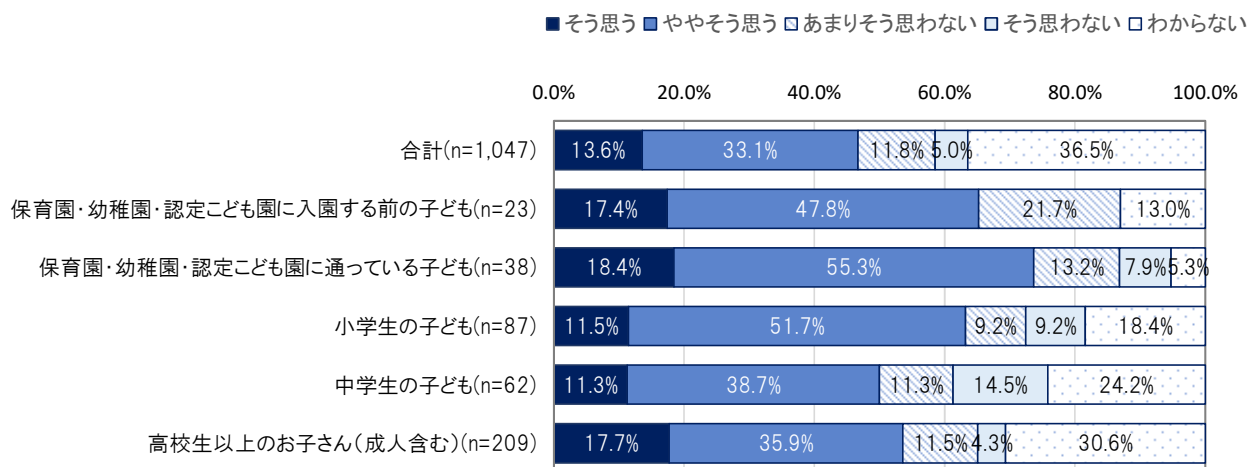
i. 同居家族（子ども有無）の違いによる現状評価（関連する項目のみ）

図表 77 同居家族別の現状評価

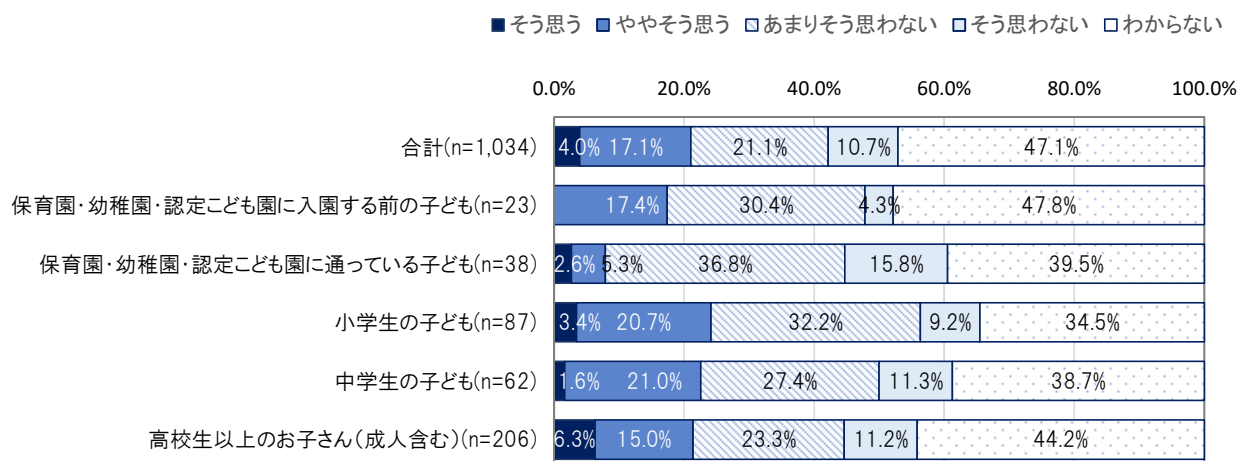
「子どもが安全に楽しく過ごせる環境が整っている」



図表 78 同居家族別の現状評価  
「保育サービスが充実している」



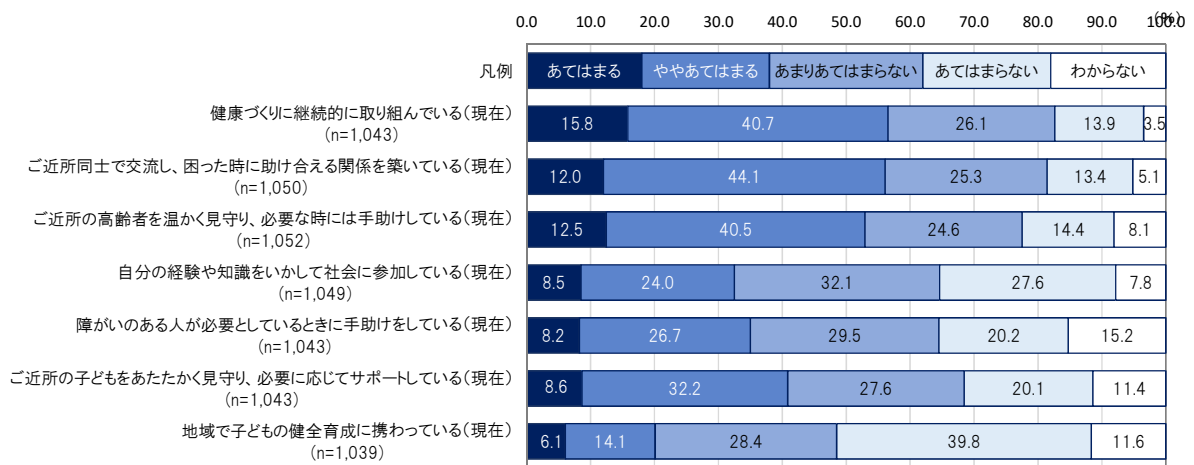
図表 79 同居家族別の現状評価  
「経済的に困っていても子育てしていける環境が整っている」



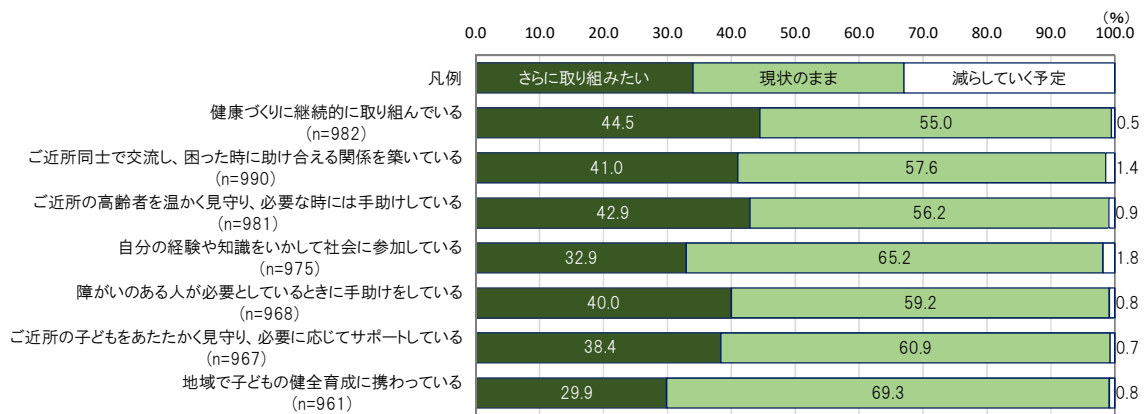
### 3) 住民の行動の現状と意向

- ・現在の住民の行動としては、「健康づくりに継続的に取り組んでいる」は取り組んでいる割合（「あてはまる」、「ややあてはまる」を合わせた割合）が 56.5%と最も高い。次いで、「ご近所同士で交流し、困った時に助け合える関係を築いている」であり、56.1%が取り組んでいる。また、「地域で子どもの健全育成に携わっている」は取り組んでいる人の割合が 20.2%と低い。
- ・今後の意向では、「健康づくりに継続的に取り組んでいる」に「さらに取組たい」割合は 44.5%で最も高い。一方で、「地域で子どもの健全育成に携わっている」は「さらに取組たい」割合が 29.9%と低い。

図表 80 【**現在**】住民の行動 みんなが健康で安心して暮らせるまちづくり



図表 81 【**今後の意向**】住民の行動 みんなが健康で安心して暮らせるまちづくり



(イ) 平均点による分析

- ・町の環境・体制に対する現状評価は、「ご近所で、支え合い、助け合える関係が築かれている」「子どもが安全に楽しく過ごせる環境が整っている」「保育サービスが充実している」については、中央値の2.5を超えており、肯定的な評価者が多いことがうかがえる。「経済的に困っていても子育てしていける環境が整っている」は「わからない」の割合が高くなっている。
- ・住民の行動については、「健康づくりに継続的に取り組んでいる」「ご近所同士で交流し、困った時に助け合える関係を築いている」「ご近所の高齢者を温かく見守り、必要な時には手助けしている」については現在取り組んでいる者が比較的多いことがうかがえる。

※中央値である2.5点より高い場合は肯定的な評価者が多く、中央値以下の場合には否定的な評価者が多いといえる

図表 82 【町の環境・体制】現状評価と重要度 みんなが健康で安心して暮らせるまちづくり

番号	項目	現状評価:現在の信濃町の状況			重要度:更に進めるべきか		
		合計回答数	わからない割合(%)	平均点	合計回答数	わからない割合(%)	平均点
1	健康づくりに取り組みやすい環境が整っている	1,005	14.2	2.45	937	11.0	3.36
2	必要な医療サービスを受けられる体制が整っている	1,006	9.3	2.30	956	7.8	3.46
3	ご近所で、支え合い、助け合える関係が築かれている	1,009	8.2	2.55	958	10.0	3.20
4	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる環境が整っている	1,055	12.7	2.28	972	9.4	3.44
5	高齢者が知識や経験をいかして、生きがいを感、豊かに暮らせる環境が整っている	1,054	18.4	2.28	977	12.2	3.30
6	障がいのある人が安心して生活できる地域である	1,046	27.5	2.06	973	16.8	3.37
7	障がいのある人が社会参加できる環境が整っている	1,041	32.4	1.98	963	20.6	3.37
8	生活に困った時に相談できる体制がある	1,048	32.3	2.28	972	20.0	3.37
9	子どもが安全に楽しく過ごせる環境が整っている	1,046	23.4	2.55	965	15.5	3.40
10	保育サービスが充実している	1,047	36.5	2.87	959	24.2	3.38
11	経済的に困っていても子育てしていける環境が整っている	1,034	47.1	2.27	953	29.6	3.44

図表 83 【住民の行動】 みんなが健康で安心して暮らせるまちづくり

番号	項目	現在の住民の取り組み状況		
		合計回答数	わからない割合	平均点
1	健康づくりに継続的に取り組んでいる	1,043	3.5	2.61
2	ご近所同士で交流し、困った時に助け合える関係を築いている	1,050	5.1	2.58
3	ご近所の高齢者を温かく見守り、必要な時には手助けしている	1,052	8.1	2.56
4	自分の経験や知識をいかして社会に参加している	1,049	7.8	2.15
5	障がいのある人が必要としているときに手助けをしている	1,043	15.2	2.27
6	ご近所の子どもをあたたく見守り、必要に応じてサポートしている	1,043	11.4	2.33
7	地域で子どもの健全育成に携わっている	1,039	11.6	1.85

## ②まちづくりの柱2：安心安全な生活をおくれるまちづくり（自然環境・景観・住環境）

まちづくりの柱2：「安心安全な生活をおくれるまちづくり」の施策と調査項目は以下のとおりである。

まちづくりの柱		分野	施策	町の環境・体制	重要度	住民の行動：成果	
安心安全な生活をおくれるまちづくり	第1節 自然の恵みを楽しむまちづくり	1. 環境共生	(1) 環境に関する総合的な指針づくり	湖沼、河川、山林などにおいて豊かな自然環境が保たれている		自然について学び触れ合うなど、自然環境保全を意識している	
			(2) 自然環境の保全と再生				
			(3) 自然の恵みの活用				
		2. 景観形成	(4) 地球環境の保全とエネルギーの有効利用	身のまわりにおいて、太陽光発電や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える取組が日常的に行われている		太陽光利用や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える暮らしをしている	
			(1) 景観形成に関する指針づくりと啓発等の推進	自然、田園環境に溶け込んだ美しいまちなみである		家のまわりの手入れを行うなど、景観保全に心がけている	
			(2) 自然景観の保全				
	(3) 社会的景観の向上と緑化の推進						
	第2節 ゴミを克服するまちづくり	1. 環境衛生	(1) 3R運動の促進	身のまわりにおいて、ごみの発生を減らす取組が日常的に行われている		簡易包装されたものを選択的に買うなど、ごみの発生を減らしている	
			(2) ごみの適正処理の推進				
			(3) ごみ処理の広域化の推進				
			(4) し尿処理体制の充実				
		2. 環境保全	(1) 公害の防止	ポイ捨て、不法投棄が少ないまちである		-	
			(2) 生活環境の保全				
			(3) ポイ捨て・不法投棄対策の推進				
		第3節 自然と調和した機能的な地域基盤づくり	1. 市街地	(1) 市街地整備体制の充実	第2節 ゴミを克服するまちづくり 1. 環境衛生の設問と同じ項目で評価する「身のまわりにおいて、ごみの発生を減らす取組が日常的に行われている」		-
				(2) 市街地の整備検討			
			2. 道路網	(1) 幹線道路の整備促進	道路網が整備され、快適に移動ができる環境が整っている		-
	(2) 生活道路の整備						
	3. 公共交通		(1) しなの鉄道北しなの線の利用促進	公共交通により、日常生活に必要な移動ができる環境が整っている		公共交通を積極的に利用している	
			(2) バス交通の維持・確保				
	4. 地域情報・通信網		(1) 行政情報化の推進	-		-	
			(2) 地域情報化の推進	HPやSNSなどにより、行政情報を取得する環境が整っている		-	
	第4節 住みよい生活環境づくり	1. 住環境	(1) 定住・移住促進施策の総合的推進	-		-	
			(2) 住宅・住環境の整備	-		-	
(3) 快適で安全な住まいづくりの促進			公園・緑地等の整備され、良好な生活環境が整っている		-		
(4) 公園・緑地等の整備							
(5) 畜場の整備・管理			-		-		
2. 上水道		(1) 水源の確保と水資源の有効利用	-		-		
		(2) 上水道施設の整備					
		(3) 水道経営基盤の強化					
3. 下水道		(1) 下水道施設の計画的改修・更新	-		-		
		(2) 下水道経営の安定化					
	(3) 下水道等未整備地域への対応						

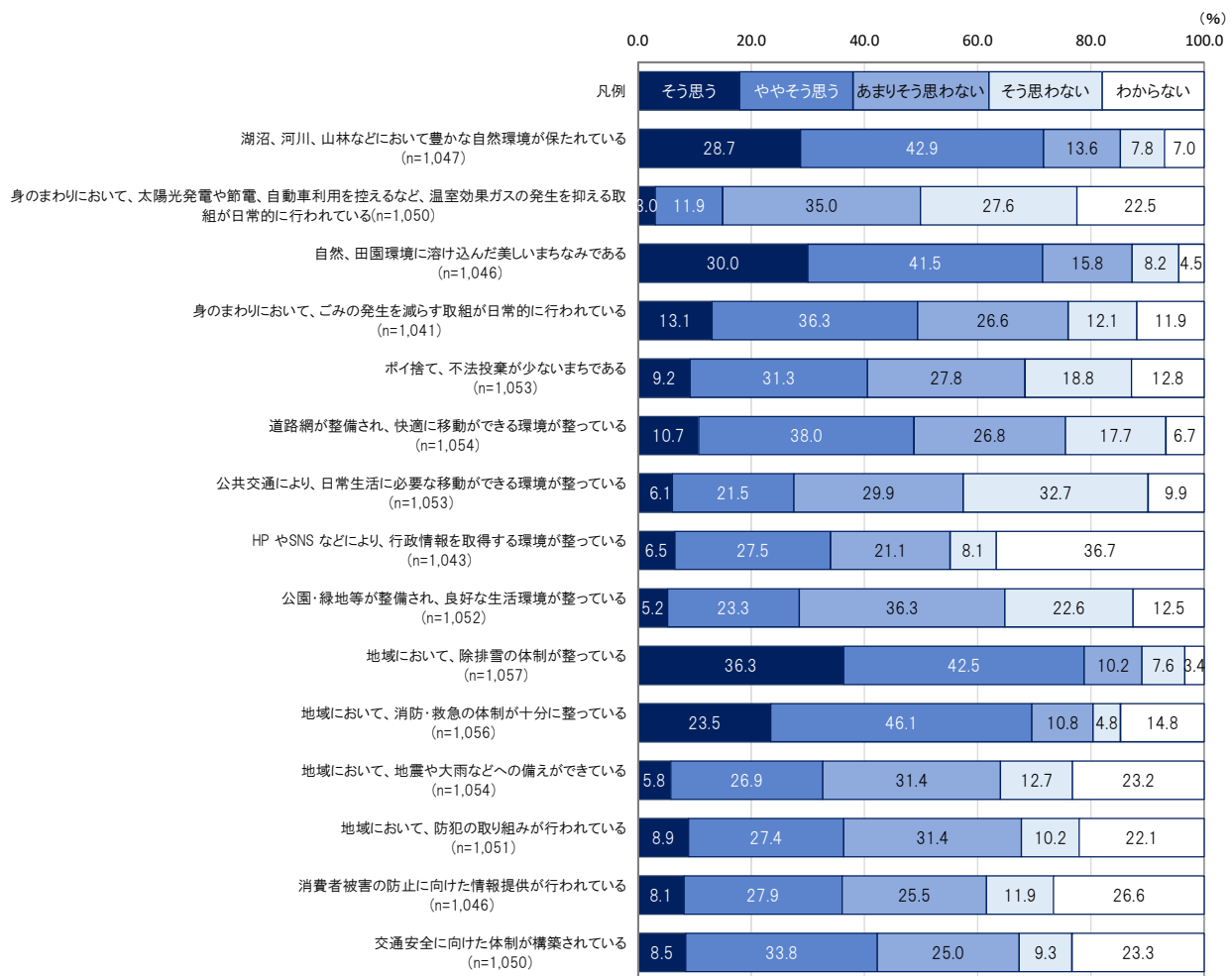
まちづくりの柱		分野	施策	町の環境・体制	重要度	住民の行動・成果	
安心安全な生活をおくれるまちづくり	4. 雪対策	(1) 克雪対策の推進	地域において、除排雪の体制が整っている			家の周りの除雪をしている	
		(2) 利雪対策の推進					
	1. 消防	(1) 予防活動の推進	地域において、消防・救急の体制が十分に整っている			自主防災活動に参加している	
		(2) 消防・救急体制の充実					
	2. 防災	(1) 防災・減災体制の強化	地域において、地震や大雨などへの備えができています			-	
		(2) 自主防災組織の育成					
		(3) 治山・治水対策の促進					
	3. 防犯・消費者保護・交通安全	(1) 防犯体制の充実	地域において、防犯の取組が行われている			-	
		(2) 青少年の犯罪・非行の防止					
		(3) 消費者対策の推進	消費者被害の防止に向けた情報提供が行われている				
		(4) 交通安全施設の整備	交通安全に向けた体制が構築されている			-	
		(5) 交通安全意識の高揚					
							自動車や自転車のマナーを意識している

(ア) 度数分布による分析

1) 町の環境・体制に対する現状評価の項目

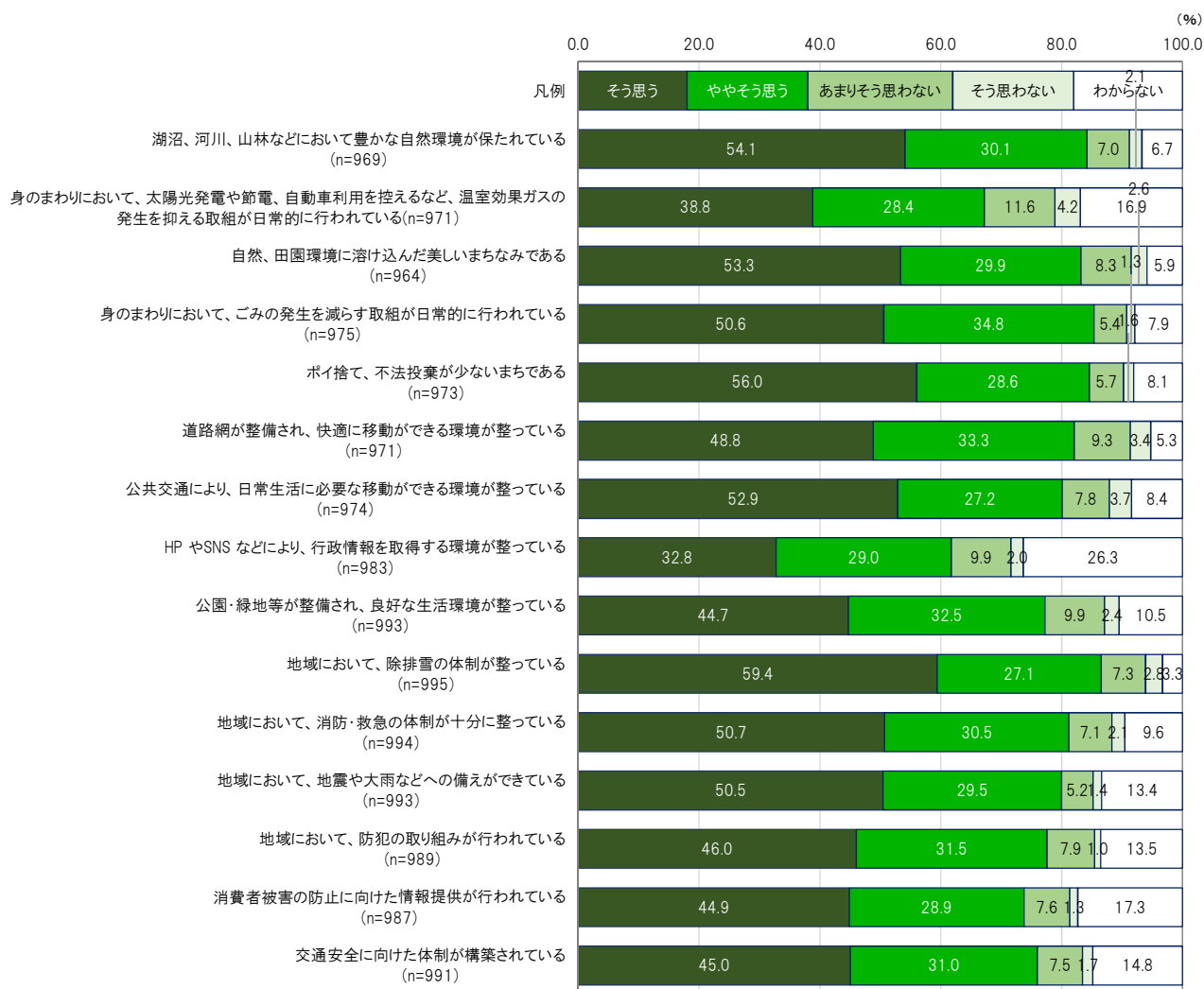
- ・町の環境・体制に対する現状評価では、「地域において、除排雪の体制が整っている」「湖沼、河川、山林などにおいて豊かな自然環境が保たれている」「自然、田園環境に溶け込んだ美しいまちなみである」の肯定的評価の割合（「そう思う」、「ややそう思う」を合わせた割合）が高くなっている。肯定的評価が最も低いのは、「身のまわりにおいて、太陽光発電や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える取組が日常的に行われている」である。
- ・今後の重要度（さらに進めるべき施策）では、「地域において、除排雪の体制が整っている」が最も高く、逆に低いのは「HP や SNS などにより、行政情報を取得する環境が整っている」である。

図表 84 **現状評価** 安心安全な生活をおくれるまちづくり



図表 85 今後の重要度（さらに進めるべきか）

安心安全な生活をおくれるまちづくり

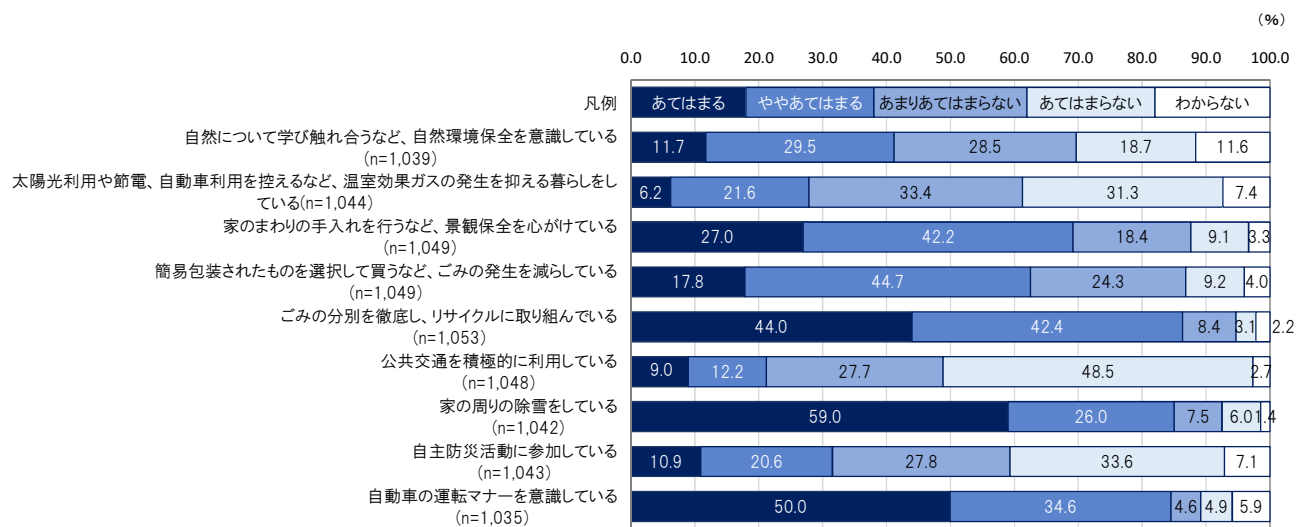




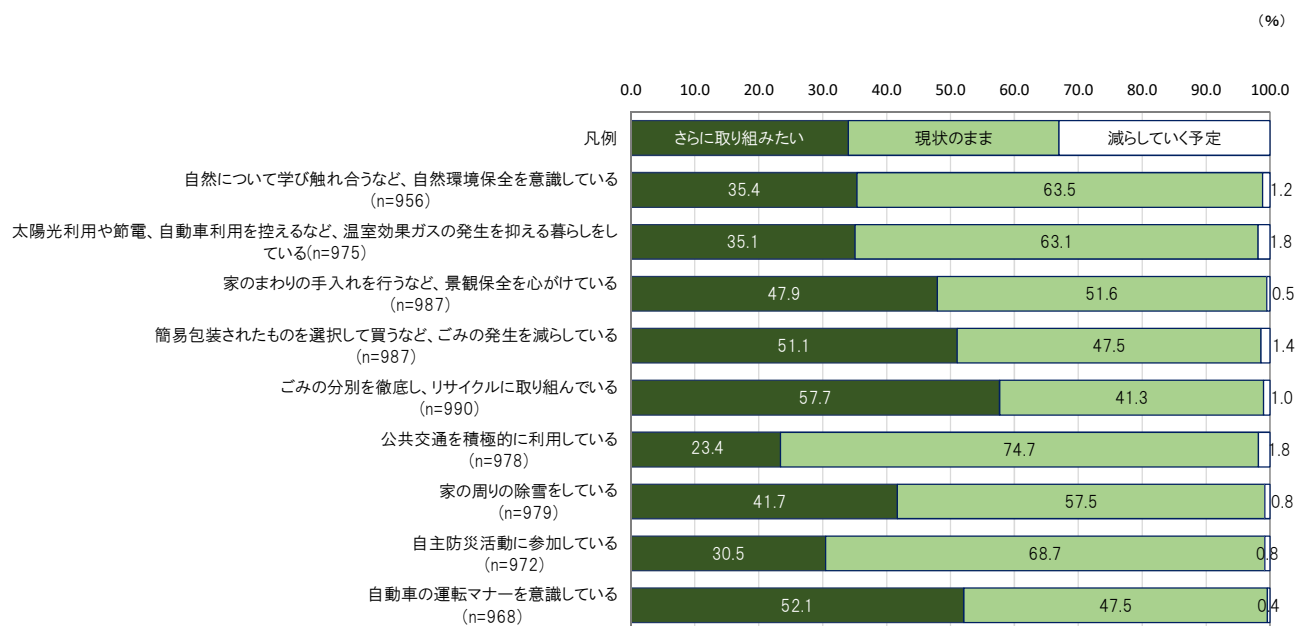
## 2) 住民の行動の現状と意向

- 住民の行動では、「ごみの分別を徹底し、リサイクルに取り組んでいる」「家の周りの除雪をしている」「自動車の運転マナーを意識している」に取り組んでいる割合（「あてはまる」、「ややあてはまる」を合わせた割合）が8割を超えている。一方で「公共交通を積極的に利用している」「太陽光利用や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える暮らしをしている」が取り組んでいる割合が低い。
- 今後の意向では、「ごみの分別を徹底し、リサイクルに取り組んでいる」「自動車の運転マナーを意識している」の「さらに取り組みたい」割合が高い。逆に「公共交通を積極的に利用している」「自主防災活動に参加している」の「さらに取り組みたい」割合が低い。

図表 86 【現在】住民の行動 安心安全な生活をおくれるまちづくり



図表 87 【今後の意向】住民の行動 安心安全な生活をおくれるまちづくり



(イ) 平均点による分析

- ・町の環境・体制の現状評価の平均点をみると「湖沼、河川、山林などにおいて豊かな自然環境が保たれている」「自然、田園環境に溶け込んだ美しいまちなみである」「身のまわりにおいて、ごみの発生を減らす取組が日常的に行われている」「HP や SNS などにより、行政情報を取得する環境が整っている」「地域において、除排雪の体制が整っている」「地域において、消防・救急の体制が十分に整っている」「交通安全に向けた体制が構築されている」で 2.5 点より高く、肯定的に評価されている。
- ・住民の行動に関しては、「家のまわりの手入れを行うなど、景観保全を心がけている」「簡易包装されたものを選択して買うなど、ごみの発生を減らしている」「ごみの分別を徹底し、リサイクルに取り組んでいる」「家の周りの除雪をしている」「自動車の運転マナーを意識している」で 2.5 を超えている。

※中央値である 2.5 点より高い場合は肯定的な評価者が多く、中央値以下の場合には否定的な評価者が多い

図表 88 【町の環境・体制】現状評価と重要度 安心安全な生活をおくれるまちづくり

番号	項目	現在の信濃町の状況			更に進めるべきか		
		合計回答数	わからない割合	平均点	合計回答数	わからない割合	平均点
12	湖沼、河川、山林などにおいて豊かな自然環境が保たれている	1,047	7.0	2.99	969	6.7	3.46
13	身のまわりにおいて、太陽光発電や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える取組が日常的に行われている	1,050	22.5	1.88	971	16.9	3.23
14	自然、田園環境に溶け込んだ美しいまちなみである	1,046	4.5	2.98	964	5.9	3.42
15	身のまわりにおいて、ごみの発生を減らす取組が日常的に行われている	1,041	11.9	2.57	975	7.9	3.46
16	ポイ捨て、不法投棄が少ないまちである	1,053	12.8	2.36	973	8.1	3.51
17	道路網が整備され、快適に移動ができる環境が整っている	1,054	6.7	2.45	971	5.3	3.35
18	公共交通により、日常生活に必要な移動ができる環境が整っている	1,053	9.9	2.01	974	8.4	3.41
19	HP や SNS などにより、行政情報を取得する環境が整っている	1,043	36.7	2.51	983	26.3	3.26
20	公園・緑地等が整備され、良好な生活環境が整っている	1,052	12.5	2.13	993	10.5	3.34
21	地域において、除排雪の体制が整っている	1,057	3.4	3.11	995	3.3	3.48
22	地域において、消防・救急の体制が十分に整っている	1,056	14.8	3.04	994	9.6	3.43
23	地域において、地震や大雨などへの備えができています	1,054	23.2	2.33	993	13.4	3.49
24	地域において、防犯の取り組みが行われている	1,051	22.1	2.45	989	13.5	3.42
25	消費者被害の防止に向けた情報提供が行われている	1,046	26.6	2.44	987	17.3	3.42
26	交通安全に向けた体制が構築されている	1,050	23.3	2.54	991	14.8	3.40

図表 89 住民の行動 安心安全な生活をおくれるまちづくり

番号	項目	現在の住民の取り組み状況		
		合計回答数	わからない割合	平均点
8	自然について学び触れ合うなど、自然環境保全を意識している	1,039	11.6	2.39
9	太陽光利用や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える暮らしをしている	1,044	7.4	2.03
10	家のまわりの手入れを行うなど、景観保全を心がけている	1,049	3.3	2.90
11	簡易包装されたものを選択して買うなど、ごみの発生を減らしている	1,049	4.0	2.74
12	ごみの分別を徹底し、リサイクルに取り組んでいる	1,053	2.2	3.30
13	公共交通を積極的に利用している	1,048	2.7	1.81
14	家の周りの除雪をしている	1,042	1.4	3.40
15	自主防災活動に参加している	1,043	7.1	2.10
16	自動車の運転マナーを意識している	1,035	5.9	3.38

### ③まちづくりの柱3：地域の環境を活かした産業のまちづくり（産業振興）

まちづくりの柱3：地域の環境を活かした産業のまちづくりの施策と設問項目は以下のとおりである。

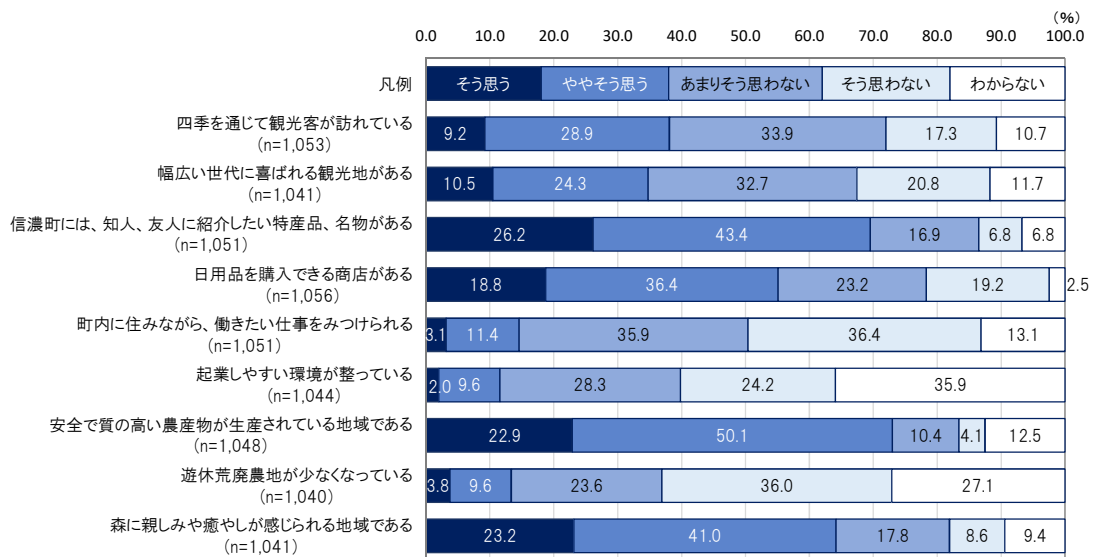
まちづくりの柱		分野	施策	町の環境・体制	重要度	住民の行動：成果	
地域の環境を活かした産業のまちづくり	第1節 滞在・体験型観光のまちづくり	1. 観光	(1) 四季を通じた観光のまちづくり	四季を通じて観光客が訪れている		知人や友人などに地域の四季の魅力を伝えている	
			(2) 子どもと中高年にやさしい観光地づくり	幅広い世代に喜ばれる観光地である		-	
			(3) おもてなしのまちづくり	-		観光客に快く対応している	
			(4) 自然と共生した観光漁業の推進	-		-	
	第2節 信濃町ブランドづくり	1. ブランド化	(1) 農産物等のブランド化の推進	信濃町には、知人、友人に紹介したい特産品、名物がある			-
			(2) 地域資源の商品化に向けた取組の推進				
	第3節 地元商業が活性化 するまちづくり	1. 商業	(1) 買物しやすい商業環境づくり	日用品を購入できる商店がある			食材や日用品は町内のお店で購入するようにしている
			(2) 商店街の連携強化				
	第4節 環境を活用・配慮した工業づくり	1. 工業	(1) 地域企業の支援				-
			(2) 伝統的工芸品産業の支援				
			(3) 新たな地域産業の育成				
			(4) 優良企業等の誘致				
	第5節 安定した雇用環境づくり	1. 労働環境	(1) 雇用機会の確保	町内に住みながら、働きたい仕事をみつけられる			-
			(2) 福利厚生充実	-			-
	-	-	-		【新規項目】 起業しやすい環境が整っている		-
	第6節 循環型の農業環境づくり	1. 農業	(1) 農業生産等の振興		-		-
			(2) 農業基盤の整備	安全で質の高い農産物が生産されている地域である			地元産の農作物を意識的に食べている
			(3) 農村環境の整備				
		2. 農地活用	(1) 耕作放棄地の有効活用	遊休荒廃農地が少なくなっている			-
	第7節 森林資源を有効利用したまちづくり	1. 林業	(1) 林業生産の促進		-		-
(2) 森林の多面的機能の保全			森に親しみ癒やしが感じられる地域である			-	
(3) 健康と癒しの森推進事業等による「癒しのまち信濃町」づくりの推進						-	

(ア) 度数分布による分析

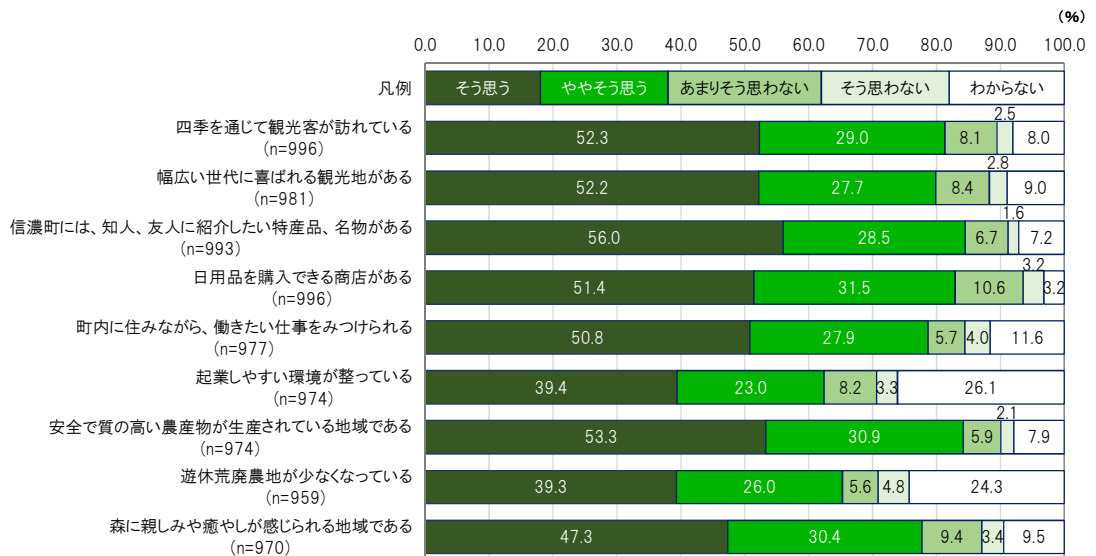
1) 町の環境・体制に対する現状評価の項目

- ・町の環境・体制に対する現状評価では、「信濃町には、知人、友人に紹介したい特産品、名物がある」が肯定的評価の割合（「そう思う」、「ややそう思う」を合わせた割合）が69.6%であり、最も高い。次いで、「安全で質の高い農産物が生産されている地域である」が続く。一方、「起業しやすい環境が整っている」は11.6%と最も低い。また、「遊休荒廃農地が少なくなっている」「町内に住みながら、働きたい仕事をみつけられる」も10%台と低くなっている。
- ・「起業しやすい環境が整っている」「遊休荒廃農地が少なくなっている」は、「わからない」の割合も高くなっている。
- ・今後の重要度（さらに進めるべき施策）では、「そう思う」「ややそう思う」の割合が高く、「起業しやすい環境が整っている」「遊休荒廃農地が少なくなっている」以外の項目で7割を超えている。

図表 90 **現状評価** 地域の環境を活かした産業のまちづくり



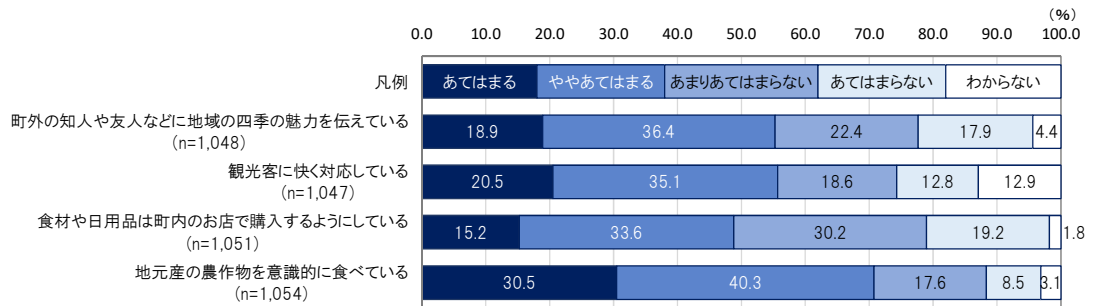
図表 91 **今後の重要度（さらに進めるべきか）** 地域の環境を活かした産業のまちづくり



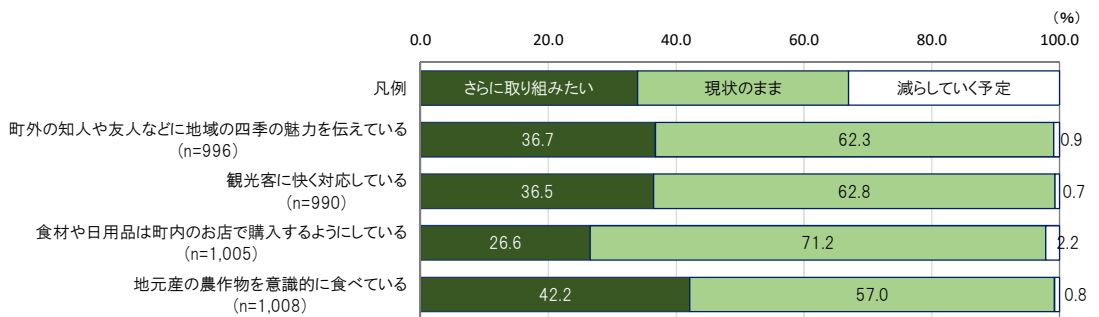
## 2) 住民の行動の現状と意向

- ・住民の行動では、「地元産の農作物を意識的に食べている」に取り組んでいる割合（「あてはまる」、「ややあてはまる」を合わせた割合）が70.8%と最も高い。一方で、「食材や日用品は町内のお店で購入するようにしている」に取り組んでいる人の割合は比較的低い。
- ・今後の取組意向でも「地元産の農作物を意識的に食べている」は「さらに取り組みたい」割合が高く、「食材や日用品は町内のお店で購入するようにしている」は比較的低くなっている。

図表 92 【現在】住民の行動 地域の環境を活かした産業のまちづくり



図表 93 【今後の意向】住民の行動 地域の環境を活かした産業のまちづくり



## (イ) 平均点による分析

- ・町の環境・体制の現状評価の平均点をみると「信濃町には、知人、友人に紹介したい特産品、名物がある」「日用品を購入できる商店がある」「安全で質の高い農産物が生産されている地域である」「森に親しみや癒やしが感じられる地域である」で2.5を超えており、肯定的に評価されている。
- ・住民の行動に関しては、「食材や日用品は町内のお店で購入するようにしている」以外の項目で2.5を超えている。

※中央値である2.5点より高い場合は肯定的な評価者が多く、中央値以下の場合には否定的な評価者が多い

図表 94 **現状評価と重要度** 地域の環境を活かした産業のまちづくり

番号	項目	現在の信濃町の状況			更に進めるべきか		
		合計回答数	わからない割合	平均点	合計回答数	わからない割合	平均点
27	四季を通じて観光客が訪れている	1,053	10.7	<b>2.34</b>	996	8.0	<b>3.43</b>
28	幅広い世代に喜ばれる観光地がある	1,041	11.7	<b>2.28</b>	981	9.0	<b>3.42</b>
29	信濃町には、知人、友人に紹介したい特産品、名物がある	1,051	6.8	<b>2.95</b>	993	7.2	<b>3.50</b>
30	日用品を購入できる商店がある	1,056	2.5	<b>2.56</b>	996	3.2	<b>3.35</b>
31	町内に住みながら、働きたい仕事をみつけられる	1,051	13.1	<b>1.78</b>	977	11.6	<b>3.42</b>
32	起業しやすい環境が整っている	1,044	35.9	<b>1.83</b>	974	26.1	<b>3.33</b>
33	安全で質の高い農産物が生産されている地域である	1,048	12.5	<b>3.05</b>	974	7.9	<b>3.47</b>
34	遊休荒廃農地が少なくなっている	1,040	27.1	<b>1.74</b>	959	24.3	<b>3.32</b>
35	森に親しみや癒やしが感じられる地域である	1,041	9.4	<b>2.87</b>	970	9.5	<b>3.34</b>

図表 95 **住民の行動** 地域の環境を活かした産業のまちづくり

番号	項目	現在の住民の取り組み状況		
		合計回答数	わからない割合	平均点
17	町外の知人や友人などに地域の四季の魅力を伝えている	1,048	4.4	<b>2.59</b>
18	観光客に快く対応している	1,047	12.9	<b>2.73</b>
19	食材や日用品は町内のお店で購入するようにしている	1,051	1.8	<b>2.46</b>
20	地元産の農作物を意識的に食べている	1,054	3.1	<b>2.96</b>

#### ④まちづくりの柱4：全国に誇れる教育・文化のまちづくり（教育・文化）

まちづくりの柱4：全国に誇れる教育・文化のまちづくりの施策と調査項目は以下のとおりである。

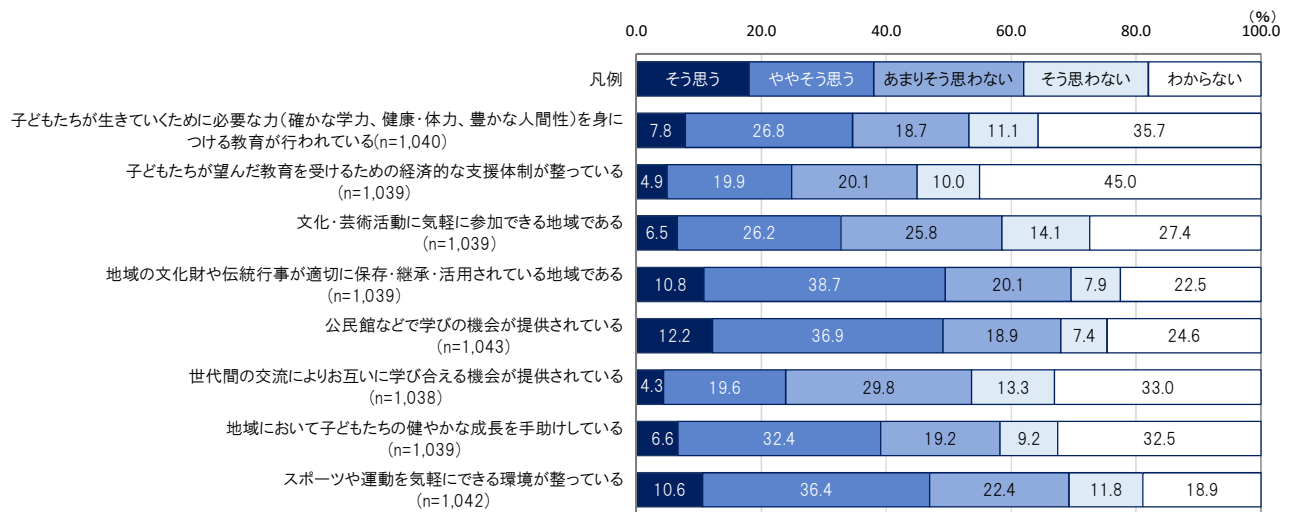
まちづくりの柱		分野	施策	町の環境・体制	重要度	住民の行動・成果
全国に誇れる教育・文化のまちづくり	第1節 全国に誇れる質の高い教育環境づくり	1. 質の高い教育環境	(1)教育行政に関する総合的な指針づくり	子どもたちが生きていくために必要な力(確かな学力、健康・体力、豊かな人間性)を身につける教育が行われている		-
			(2)小中一貫教育の推進			-
			(3)教育相談体制の充実			-
			(4)幼児期の教育の推進			-
			(5)子どもや若者の夢の実現への支援	子どもたちが望んだ教育を受けるための経済的な支援体制が整っている		-
	第2節 文化の薫り高いまちづくり	1. 地域文化	(1)文化・芸術活動の促進	文化・芸術活動に気軽に参加できる地域である		文化・芸術に参加したり、鑑賞したりしている
			(3)文化交流活動拠点の充実			-
			(2)伝統文化の保存・活用	地域の文化財や伝統行事が適切に保存・継承・活用されている地域である		地域の伝統的な行事に参加している
			(4)観光資源としての役割の強化	-		-
	第3節 多様な学習ニーズと世代間交流を促す環境づくり	生涯学習	(1)生涯学習情報の提供	公民館などで学びの機会が提供されている		公民館などで提供されている学びの場に参加している
			(2)生涯学習施設の整備・充実			
			(3)生涯学習活動の促進	世代間の交流によりお互いに学び合える機会が提供されている		積極的に世代間交流をしている
			(4)読書のまちづくりの推進	-		-
	第4節 地域全体で子どもを守り、育てる教育環境づくり	1. 地域教育環境	(1)地域全体で子どもを育てる環境の整備	地域において子どもたちの健やかな成長を手助けしている		地域・学校と連携した教育活動に参加している
			(2)子どもの安全対策の推進			地域の子どもたちにあいさつや声かけをしている
	第5節 スポーツ活動が充実したまちづくり	1. スポーツ・レクリエーション	(1)スポーツ・レクリエーションの振興	スポーツや運動を気軽に行える環境が整っている		日ごろ、スポーツや運動を行っている
			(2)スポーツ施設の整備・充実			

(ア) 度数分布による分析

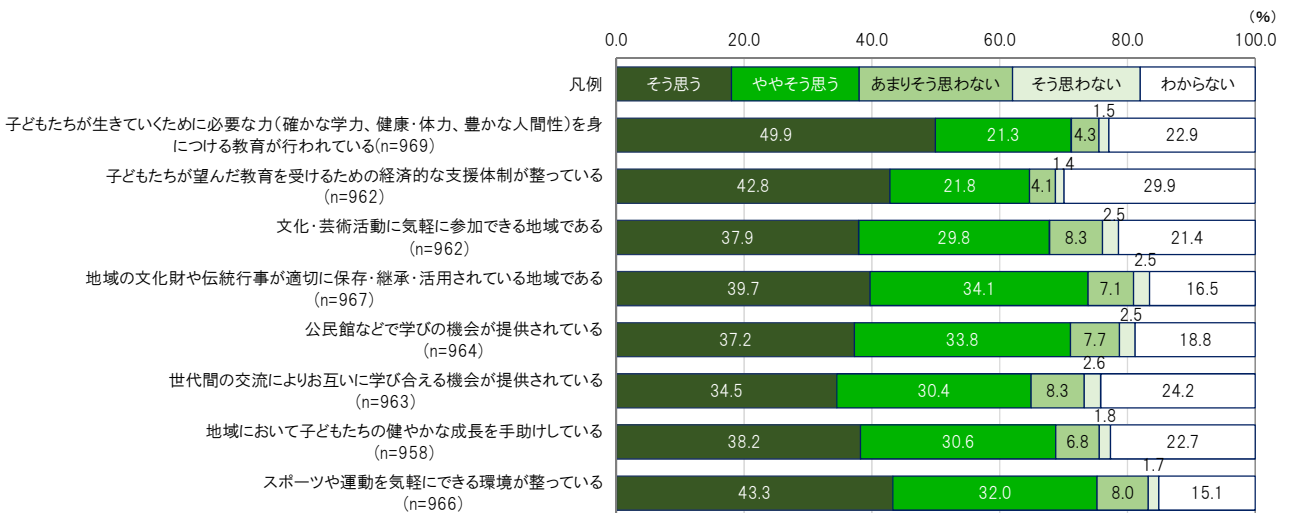
1) 町の環境・体制に対する現状評価（全回答者）

- ・町の環境・体制に対する現状評価では「地域の文化財や伝統行事が適切に保存・継承・活用されている地域である」「公民館などで学びの機会が提供されている」が肯定的評価の割合（「そう思う」、「ややそう思う」を合わせた割合）が他の項目よりも高い。
- ・今後の重要度（さらに進めるべき施策）では、どの項目も「そう思う」、「ややそう思う」を合わせた割合が60%を超えている。
- ・現状評価、今後の重要度ともに「わからない」の割合が他の施策に比べて全体的に高くなっている。

図表 96 **現状評価** 全国に誇れる教育・文化のまちづくり



図表 97 **今後の重要度（さらに進めるべきか）** 全国に誇れる教育・文化のまちづくり

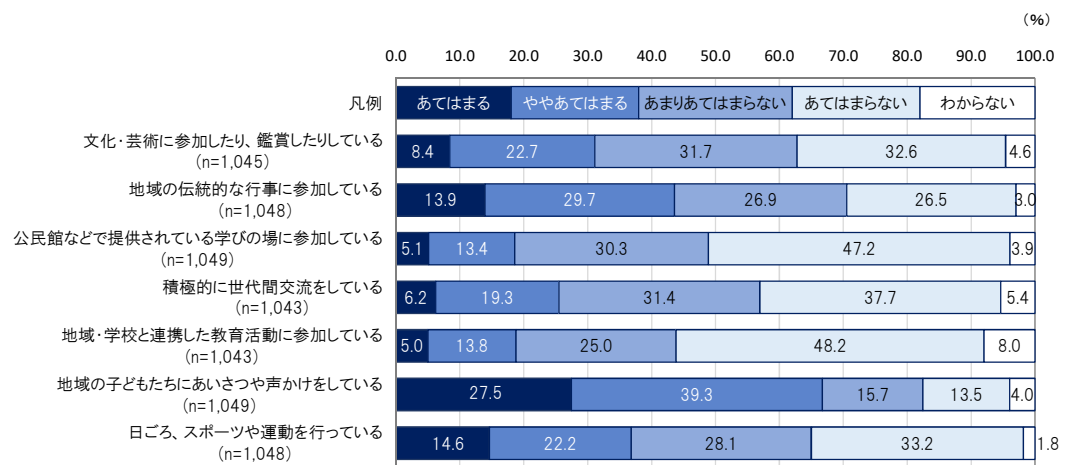




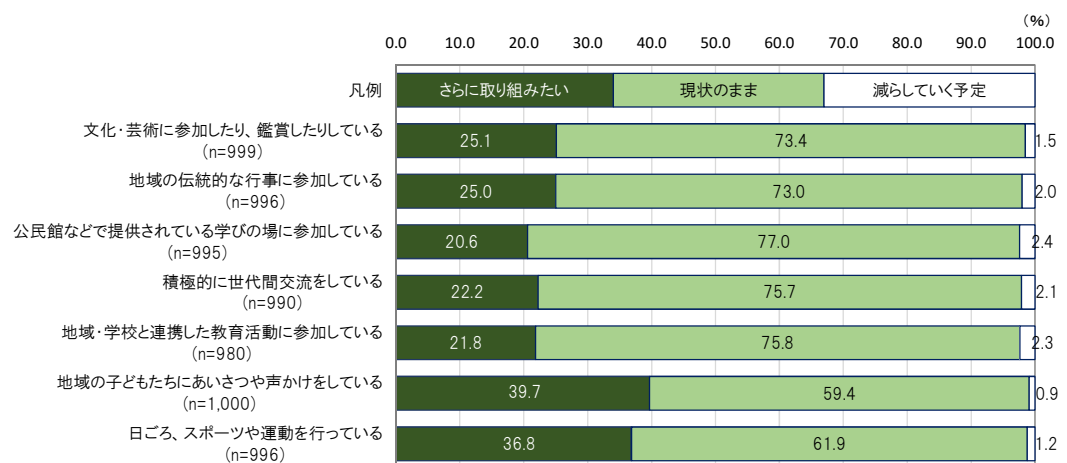
## 2) 住民の行動の現状と意向

- ・住民の行動では、「地域の子どもたちにあいさつや声かけをしている」に取り組んでいる割合（「あてはまる」、「ややあてはまる」を合わせた割合）は、66.7%と最も高い。一方で「公民館などで提供されている学びの場に参加している」「地域・学校と連携した教育活動に参加している」は取り組んでいる割合は20%に満たない。
- ・今後の意向では、「地域の子どもたちにあいさつや声かけをしている」「日ごろ、スポーツや運動を行っている」に「さらに取り組みたい」割合がやや高くなっているが、そのほかの項目は20%台にとどまっている。

図表 98 【現在】住民の行動 全国に誇れる教育・文化のまちづくり



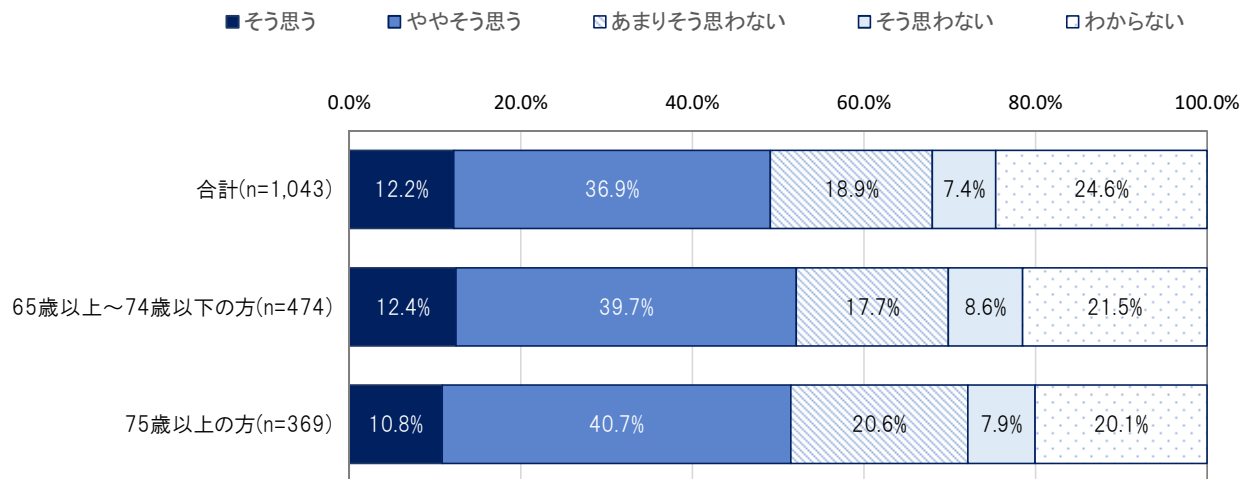
図表 99 【今後の意向】住民の行動 全国に誇れる教育・文化のまちづくり



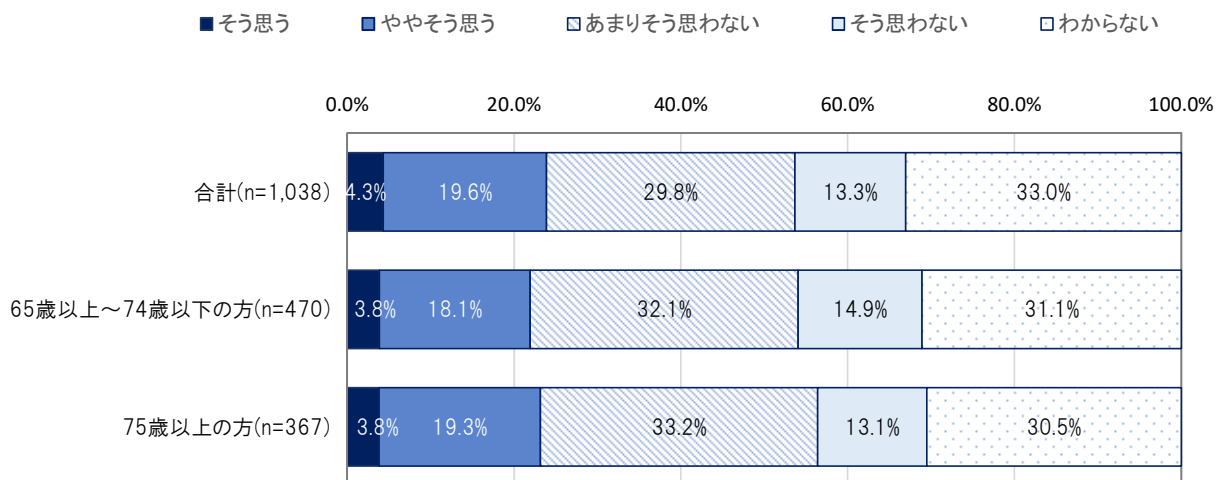
3) 世帯の構成別現状評価

i. 本人を含む同居家族の年代（65歳以上）の違いによる現状評価（関連する項目のみ）

図表 100 公民館などで学びの機会が提供されている

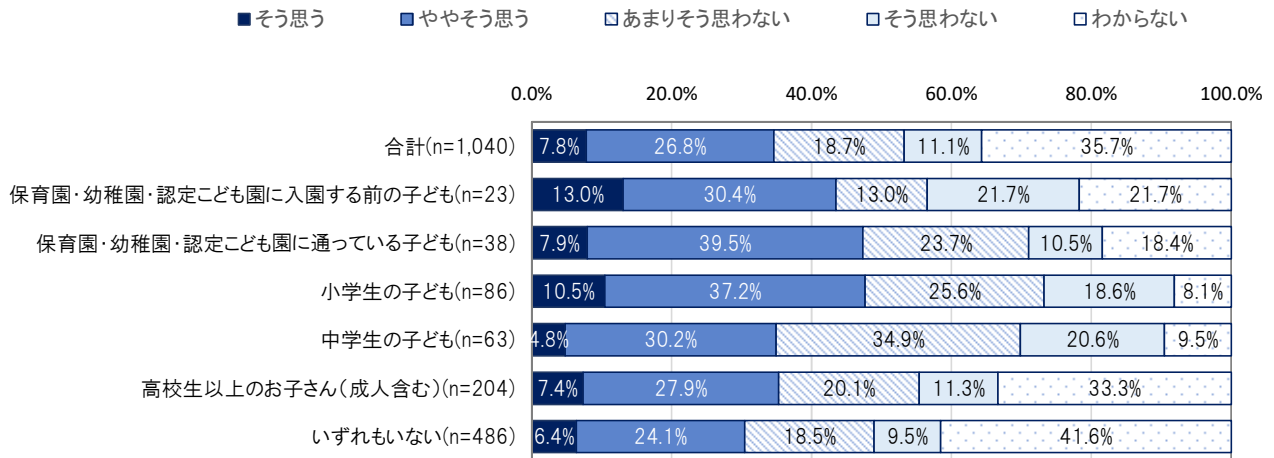


図表 101 世代間の交流によりお互いに学び合える機会が提供されている

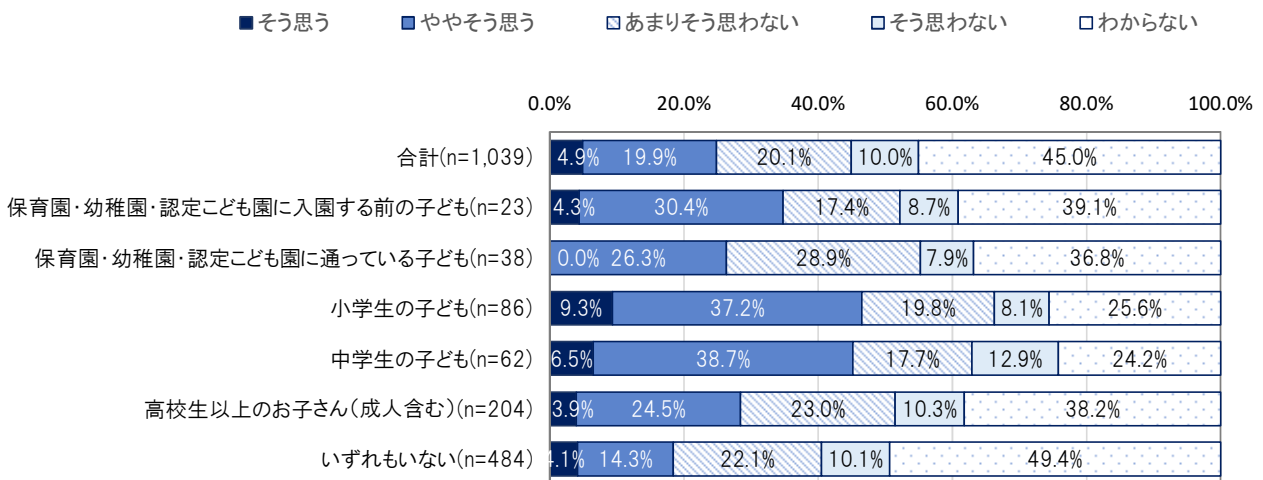


ii. 同居家族（子ども有無）の違いによる現状評価（関連する項目のみ）

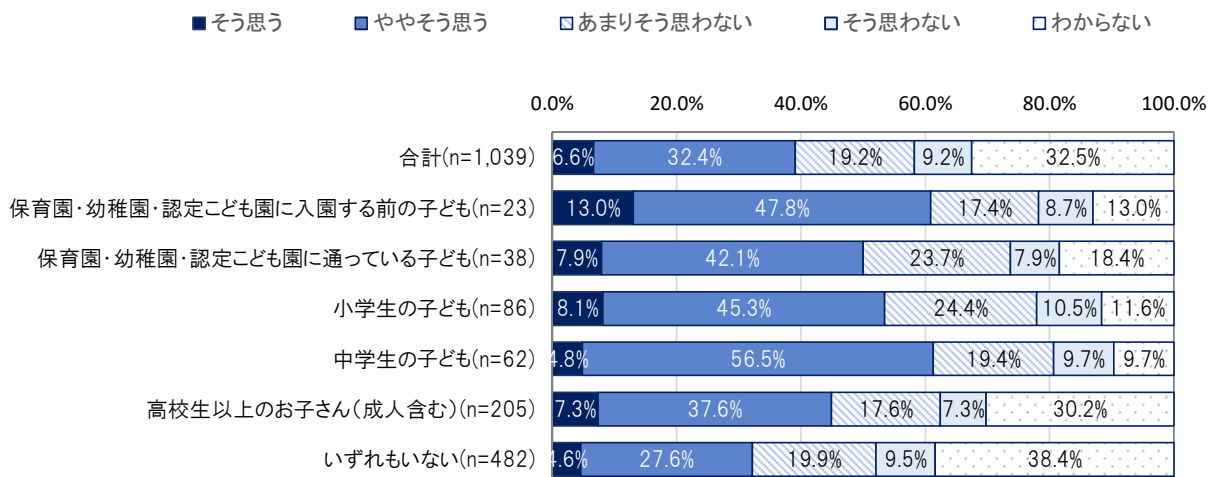
図表 102 子どもたちが生きていくために必要な力（確かな学力、健康・体力、豊かな人間性）を身につける教育が行われている



図表 103 子どもたちが望んだ教育を受けるための経済的な支援体制が整っている



図表 104 地域において子どもたちの健やかな成長を手助けしている



## (イ) 平均点による分析

- ・町の環境・体制の現状評価の平均点をみると、「地域の文化財や伝統行事が適切に保存・継承・活用されている地域である」「公民館などで学びの機会が提供されている」「地域において子どもたちの健やかな成長を手助けしている」「スポーツや運動を気軽にできる環境が整っている」は2.5を超えている。
- ・住民の行動に関しては、「地域の子どもたちにあいさつや声かけをしている」以外の項目で2.5未満となっている。

※中央値である2.5点より高い場合は肯定的な評価者が多く、中央値以下の場合には否定的な評価者が多い

図表 105 **現状評価と重要度** 全国に誇れる教育・文化のまちづくり

番号	項目	現在の信濃町の状況			更に進めるべきか		
		合計回答数	わからない割合	平均点	合計回答数	わからない割合	平均点
36	子どもたちが生きていくために必要な力(確かな学力、健康・体力、豊かな人間性)を身につける教育が行われている	1,040	35.7	<b>2.49</b>	969	22.9	<b>3.55</b>
37	子どもたちが望んだ教育を受けるための経済的な支援体制が整っている	1,039	45.0	<b>2.36</b>	962	29.9	<b>3.51</b>
38	文化・芸術活動に気軽に参加できる地域である	1,039	27.4	<b>2.35</b>	962	21.4	<b>3.31</b>
39	地域の文化財や伝統行事が適切に保存・継承・活用されている地域である	1,039	22.5	<b>2.68</b>	967	16.5	<b>3.33</b>
40	公民館などで学びの機会が提供されている	1,043	24.6	<b>2.72</b>	964	18.8	<b>3.30</b>
41	世代間の交流によりお互いに学び合える機会が提供されている	1,038	33.0	<b>2.22</b>	963	24.2	<b>3.28</b>
42	地域において子どもたちの健やかな成長を手助けしている	1,039	32.5	<b>2.54</b>	958	22.7	<b>3.36</b>
43	スポーツや運動を気軽にできる環境が整っている	1,042	18.9	<b>2.56</b>	966	15.1	<b>3.38</b>

図表 106 **住民の行動** 全国に誇れる教育・文化のまちづくり

番号	項目	現在の住民の取り組み状況		
		合計回答数	わからない割合	平均点
21	文化・芸術に参加したり、鑑賞したりしている	1,045	4.6	<b>2.07</b>
22	地域の伝統的な行事に参加している	1,048	3.0	<b>2.32</b>
23	公民館などで提供されている学びの場に参加している	1,049	3.9	<b>1.76</b>
24	積極的に世代間交流をしている	1,043	5.4	<b>1.94</b>
25	地域・学校と連携した教育活動に参加している	1,043	8.0	<b>1.73</b>
26	地域の子どもたちにあいさつや声かけをしている	1,049	4.0	<b>2.84</b>
27	日ごろ、スポーツや運動を行っている	1,048	1.8	<b>2.19</b>

⑤ まちづくりの柱5：住みたい・住み続けたい住民主体のまちづくり  
(住民協働・人権・行財政)

まちづくりの柱5：住みたい・住み続けたい住民主体のまちづくりの施策と調査項目は以下のとおりである。

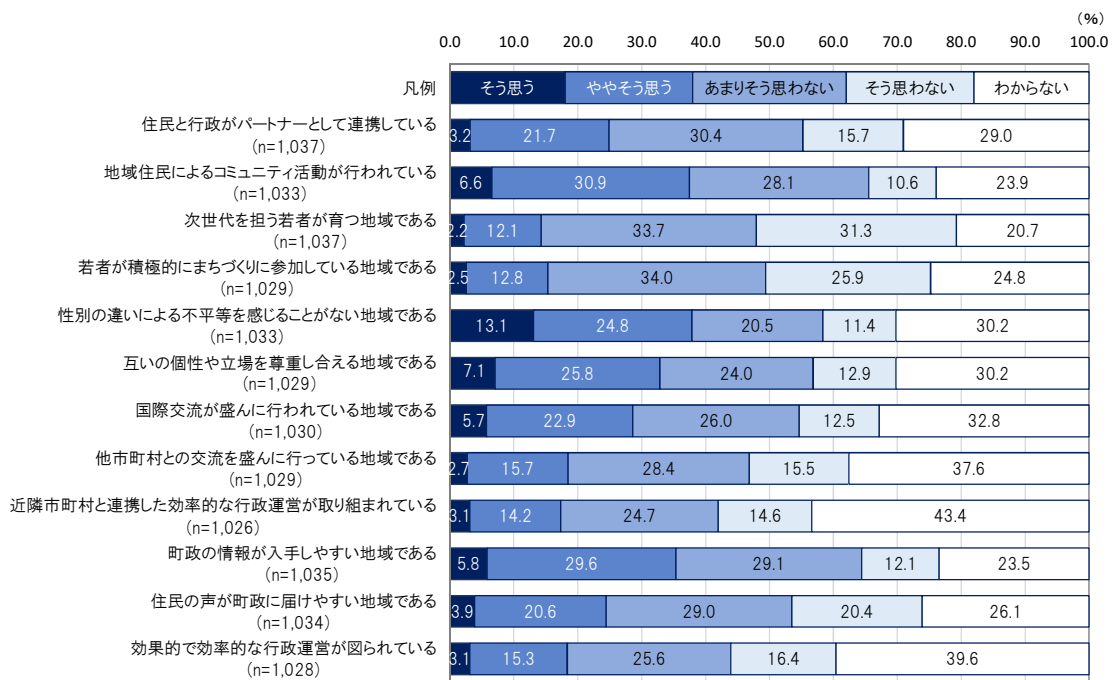
まちづくりの柱	分野	施策	町の環境・体制	重要度	住民の行動・成果	
住みたい・住み続けたい住民全体のまちづくり	第1節 官民協働によるまちづくり	1. まちづくり	(1)住民参画・協働に関する指針づくり	住民と行政がパートナーとして連携している	まちをよくなるアイデアを考えている	
			(2)住民と行政の協働のまちづくりの推進		行政と協力したまちづくり活動に積極的に参加している	
			(3)コミュニティ活動の活性化	地域住民によるコミュニティ活動が行われている	組、自治会などのまちづくり活動に積極的に参加している	
			(4)ボランティア活動の促進	-	-	
	第2節 共に生きるまちづくり	1. 青少年活動	(1)青少年の交流促進	次世代を担う若者が育つ地域である	まちづくりの柱2第3節 安心して子を産み育てることのできる環境づくり(1)地域の子育て環境の整備の設問で評価 「地域で子どもの健全育成に携わっている」	
			(2)まちづくりへの参画促進	若者が積極的にまちづくりに参加している地域である	-	
		2. 男女共同参画	(1)男女共同参画に関する指針づくり	性別の違いによる不平等を感じることがない地域である	-	
			(2)男女共同参画社会への意識改革の推進		-	
			(3)男女共同参画の社会環境づくり		-	
			(4)暴力の防止に向けた取組の推進		-	
		3. 人権尊重	(1)人権教育・啓発の指導者の養成	互いの個性や立場を尊重し合える地域である	-	
			(2)人権教育・啓発の推進		-	
			(3)人権相談の充実		-	
		4. 国際交流・地域間交流	(1)国際交流の促進	国際交流が盛んに行われている地域である	国際交流イベントに参加している	
			(2)地域間交流の促進	他市町村との交流を盛に行っている地域である	他市町村との交流イベントに参加している	
		5. 広域行政	(1)広域行政の推進	近隣市町村と連携した効率的な行政運営が取り組まれている	-	
			(2)新たな広域連携の検討	-	-	
		第3節 情報公開・情報提供が充実したまちづくり	1. 情報化	(1)情報発信拠点の充実	信濃町総合情報センターが充実している	-
			2. 行政情報	(1)広報活動の充実	町政の情報が入手しやすい地域である	-
				(2)情報の公開	住民の声が町政に届けやすい地域である	-
	第4節 行財政の健全なまちづくり	1. 行政運営	(1)計画行政の推進	効果的で効率的な行政運営が図られている		-
			(2)職員の活性化		-	
			(3)効果的な行政運営		-	
			(4)効率的な行政運営		-	
(5)行政サービスの向上			-			
(6)地方創生への取組			-			
2. 財政運営		(1)健全な財政運営	-	-		
	(2)財源の確保	-	-			

(ア) 度数分布による分析

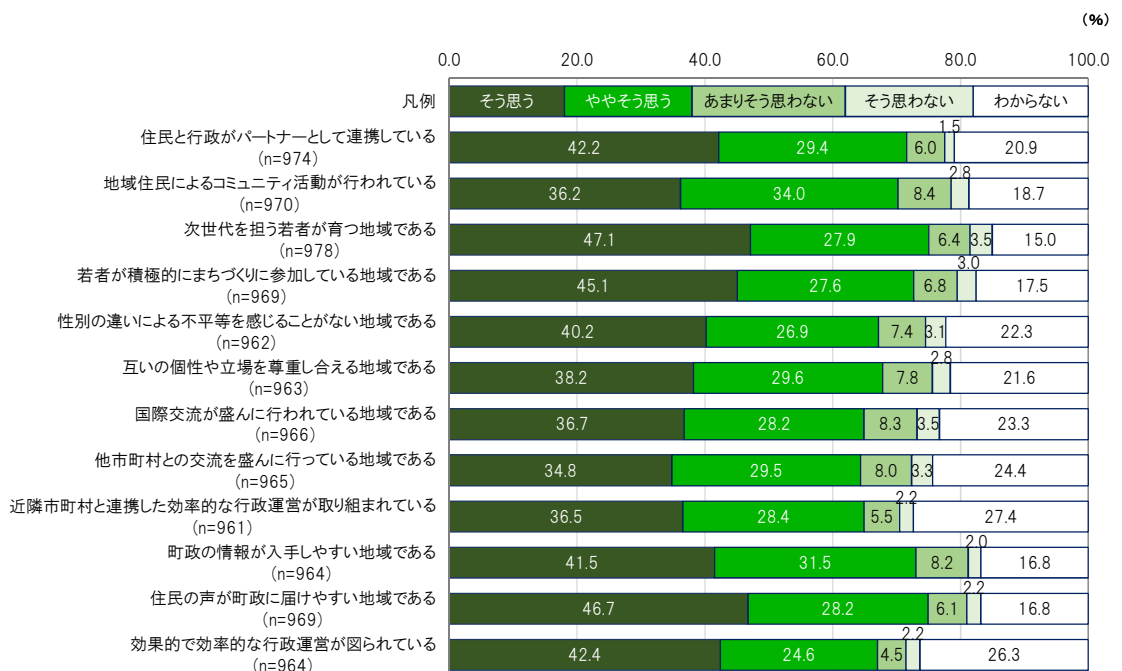
1) 町の環境・体制に対する現状評価の項目

- ・町の環境・体制の現状評価では、どの項目も肯定的評価の割合（「そう思う」、「ややそう思う」を合わせた割合）が40%に満たない。
- ・今後の重要度（さらに進めるべき施策）では、どの項目も「そう思う」、「ややそう思う」を合わせた割合が60%を超えている。
- ・現状評価、今度の重要度のどちらも「次世代を担う若者が育つ地域である」「町政の情報が入手しやすい地域である」「住民の声が町政に届けやすい地域である」以外の項目で「わからない」の割合が高くなっている。

図表 107 **現状評価** 住みたい・住み続けたい住民主体のまちづくり



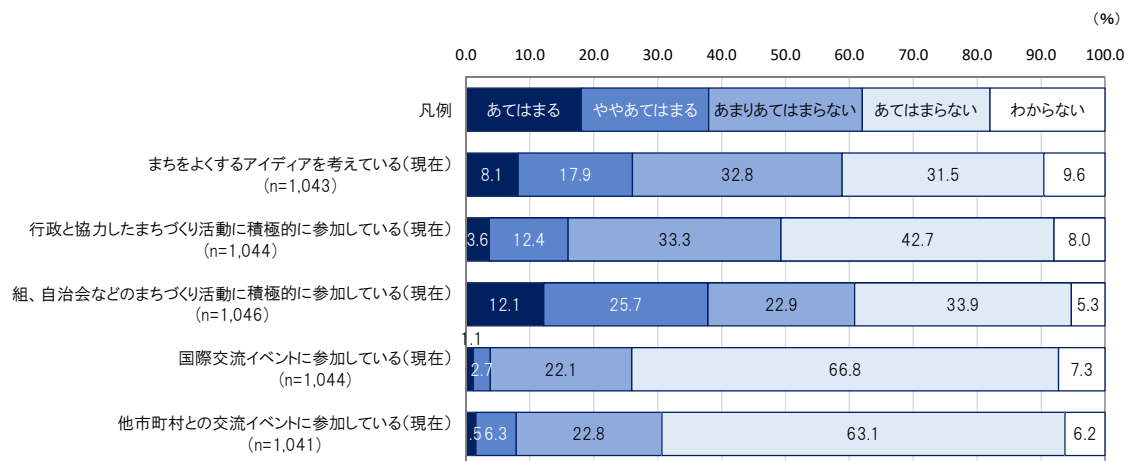
図表 108 **今後の重要度（さらに進めるべきか）** 住みたい・住み続けたい住民主体のまちづくり



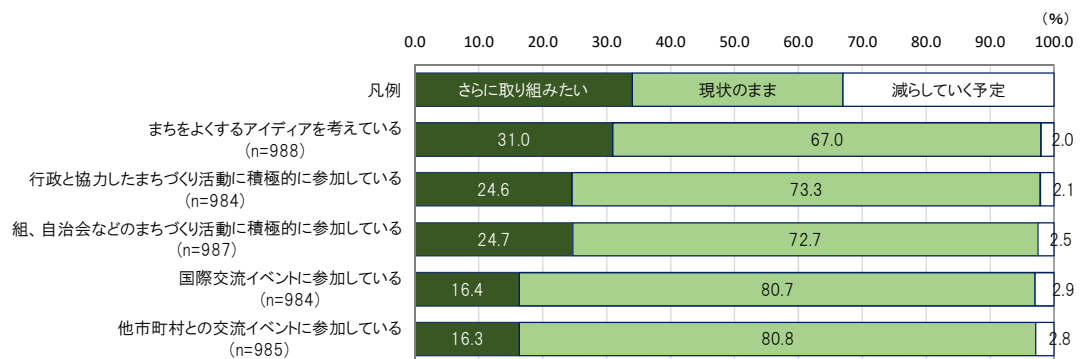
## 2) 住民の行動の現状と意向

- ・現在の住民の行動では、どの項目も「あてはまる」「ややあてはまらない」を合わせた割合が40%に満たない。
- ・今後の意向でも、「さらに取り組みたい」割合が最も高い「まちをよくするアイデアを考えている」でも31.0%にとどまっている。

図表 109 【**現在**】住民の行動 住みたい・住み続けたい住民主体のまちづくり



図表 110 【**今後の意向**】住民の行動 住みたい・住み続けたい住民主体のまちづくり



## (イ)平均点による分析

- 平均点で見ると、「性別の違いによる不平等を感じることがない地域である」は2.5以上であるが、その他の項目は、2.5未満と否定的な評価者が多くなっている。
- 住民の行動では、全ての項目で平均点が2.5未満となっている。「行政と協力したまちづくり活動に積極的に参加している」「国際交流イベントに参加している」「他市町村との交流イベントに参加している」では2.0未満となっている。

※中央値である2.5点より高い場合は肯定的な評価者が多く、中央値以下の場合には否定的な評価者が多い

図表 111 **現状評価と重要度** 住みたい・住み続けたい住民主体のまちづくり

番号	項目	現在の信濃町の状況			更に進めるべきか		
		合計回答数	わからない割合	平均点	合計回答数	わからない割合	平均点
44	住民と行政がパートナーとして連携している	1,037	29.0	2.17	974	20.9	3.42
45	地域住民によるコミュニティ活動が行われている	1,033	23.9	2.44	970	18.7	3.27
46	次世代を担う若者が育つ地域である	1,037	20.7	1.81	978	15.0	3.40
47	若者が積極的にまちづくりに参加している地域である	1,029	24.8	1.89	969	17.5	3.39
48	性別の違いによる不平等を感じることがない地域である	1,033	30.2	2.57	962	22.3	3.34
49	互いの個性や立場を尊重し合える地域である	1,029	30.2	2.39	963	21.6	3.32
50	国際交流が盛んに行われている地域である	1,030	32.8	2.33	966	23.3	3.28
51	他市町村との交流を盛んに行っている地域である	1,029	37.6	2.09	965	24.4	3.27
52	近隣市町村と連携した効率的な行政運営が取り組まれている	1,026	43.4	2.10	961	27.4	3.37
53	町政の情報が入手しやすい地域である	1,035	23.5	2.38	964	16.8	3.35
54	住民の声が町政に届けやすい地域である	1,034	26.1	2.11	969	16.8	3.44
55	効果的で効率的な行政運営が図られている	1,028	39.6	2.08	964	26.3	3.46

図表 112 **住民の取組み状況** 住みたい・住み続けたい住民主体のまちづくり

番号	項目	現在の住民の取組み状況		
		合計回答数	わからない割合	平均点
28	まちをよくするアイデアを考えている	1,043	9.6	2.03
29	行政と協力したまちづくり活動に積極的に参加している	1,044	8.0	1.75
30	組、自治会などのまちづくり活動に積極的に参加している	1,046	5.3	2.17
31	国際交流イベントに参加している	1,044	7.3	1.33
32	他市町村との交流イベントに参加している	1,041	6.2	1.43



## 2. 施策全体の分析

### (1) 町の環境・体制に対する現状評価と重要度の分析

#### ① 全体の動向

##### (ア) 町の環境・体制の現状評価

- ・町の環境・体制に対する現状評価の平均点では、最も高い項目が「②地域において、除排雪の体制が整っている」である。次いで、「③安全で質の高い農産物が生産されている地域である」「②地域において、消防・救急の体制が十分に整っている」である。これらの平均点は3.0以上である。
- ・平均点が最も低い項目は「③遊休荒廃農地が少なくなっている」であった。次いで、「①町内に住みながら、働きたい仕事を見つけられる」である。

図表 113 町の環境・体制の現状評価

項目		平均点	
みんなが健康で安心して暮らせます	1	健康づくりに取り組みやすい環境が整っている	2.45
	2	必要な医療サービスを受けられる体制が整っている	2.30
	3	ご近所で、支え合い、助け合える関係が築かれている	2.55
	4	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる環境が整っている	2.28
	5	高齢者が知識や経験をいかして、生きがいを感じ、豊かに暮らせる環境が整っている	2.28
	6	障がいのある人が安心して生活できる地域である	2.06
	7	障がいのある人が社会参加できる環境が整っている	1.98
	8	生活に困った時に相談できる体制がある	2.28
	9	子どもが安全に楽しく過ごせる環境が整っている	2.55
	10	保育サービスが充実している	2.87
	11	経済的に困っていても子育てしていける環境が整っている	2.27
項目		平均点	
安心安全な生活をおくれるまちづくり	12	湖沼、河川、山林などにおいて豊かな自然環境が保たれている	2.99
	13	身のまわりにおいて、太陽光発電や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える取組が日常的に行われている	1.88
	14	自然、田園環境に溶け込んだ美しいまちなみである	2.99
	15	身のまわりにおいて、ごみの発生を減らす取組が日常的に行われている	2.57
	16	ポイ捨て、不法投棄が少ないまちである	2.36
	17	道路網が整備され、快適に移動ができる環境が整っている	2.45
	18	公共交通により、日常生活に必要な移動ができる環境が整っている	2.01
	19	HP や SNS などにより、行政情報を取得する環境が整っている	2.51
	20	公園・緑地等が整備され、良好な生活環境が整っている	2.13
	21	地域において、除排雪の体制が整っている	3.11
	22	地域において、消防・救急の体制が十分に整っている	3.04
	23	地域において、地震や大雨などへの備えができています	2.33
	24	地域において、防犯の取り組みが行われている	2.45
	25	消費者被害の防止に向けた情報提供が行われている	2.44
	26	交通安全に向けた体制が構築されている	2.54
項目		平均点	
地域の環境を活かした産業の環境をまわります	27	四季を通じて観光客が訪れている	2.34
	28	幅広い世代に喜ばれる観光地がある	2.28
	29	信濃町には、知人、友人に紹介したい特産品、名物がある	2.95
	30	日用品を購入できる商店がある	2.56
	31	町内に住みながら、働きたい仕事を見つけられる	1.78
	32	起業しやすい環境が整っている	1.83
	33	安全で質の高い農産物が生産されている地域である	3.05
	34	遊休荒廃農地が少なくなっている	1.74
	35	森に親しみや癒やしを感じられる地域である	2.87
項目		平均点	
全国に誇れる教育・文化	36	子どもたちが生きていくために必要な力(確かな学力、健康・体力、豊かな人間性)を身につける教育が行われている	2.49
	37	子どもたちが望んだ教育を受けるための経済的な支援体制が整っている	2.36
	38	文化・芸術活動に気軽に参加できる地域である	2.35
	39	地域の文化財や伝統行事が適切に保存・継承・活用されている地域である	2.68
	40	公民館などで学びの機会が提供されている	2.72
	41	世代間の交流によりお互いに学び合える機会が提供されている	2.22
	42	地域において子どもたちの健やかな成長を手助けしている	2.54
	43	スポーツや運動を気軽にできる環境が整っている	2.56
項目		平均点	
住みたい、住み続けたい住民全体	44	住民と行政がパートナーとして連携している	2.17
	45	地域住民によるコミュニティ活動が行われている	2.44
	46	次世代を担う若者が育つ地域である	1.81
	47	若者が積極的にまちづくりに参加している地域である	1.89
	48	性別の違いによる不平等を感じることがない地域である	2.57
	49	互いの個性や立場を尊重し合える地域である	2.39
	50	国際交流が盛んに行われている地域である	2.33
	51	他市町村との交流を盛んにしている地域である	2.09
	52	近隣市町村と連携した効率的な行政運営が取り組まれている	2.10
	53	町政の情報が入手しやすい地域である	2.38
	54	住民の声が町政に届けやすい地域である	2.11
	55	効果的で効率的な行政運営が図られている	2.08

※中央値である2.5点より高い場合は肯定的な評価者が多く、中央値以下の場合には否定的な評価者が多い

(イ)町の環境・体制の現状評価における「わからない」の割合

- ・下表は、町の環境・体制に対する現状評価の項目における「わからない」の回答割合を示したものである。「わからない」の割合が高い場合は、当該施策に関する関心が薄い、重要性を感じていない、もしくは施策の成果が、住民が判断できるほどの水準で周知されていないなどの可能性がある。
- ・まちづくりの柱3「全国に誇れる教育・文化のまちづくり」とまちづくりの柱5「住みたい・住み続けたい住民全体のまちづくり」における項目で「わからない」の割合が高くなっている。

図表 114 町の環境・体制の現状評価における「わからない」の割合

項目			「わからない」の割合
みんなが健康で暮らし安心して暮らせ	1	健康づくりに取り組みやすい環境が整っている	14.23
	2	必要な医療サービスを受けられる体制が整っている	9.34
	3	ご近所で、支え合い、助け合える関係が築かれている	8.23
	4	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる環境が整っている	12.70
	5	高齢者が知識や経験をいかして、生きがいを感じ、豊かに暮らせる環境が整っている	18.41
	6	障がいのある人が安心して生活できる地域である	27.53
	7	障がいのある人が社会参加できる環境が整っている	32.37
	8	生活に困った時に相談できる体制がある	32.25
	9	子どもが安全に楽しく過ごせる環境が整っている	23.42
	10	保育サービスが充実している	38.49
	11	経済的に困っていても子育てしていける環境が整っている	47.10
項目			「わからない」の割合
安心安全な生活をおくれるまちづくり	12	湖沼、河川、山林などにおいて豊かな自然環境が保たれている	6.97
	13	身のまわりにおいて、太陽光発電や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える取組が日常的に行われている	22.48
	14	自然、田園環境に溶け込んだ美しいまちなみである	4.49
	15	身のまわりにおいて、ごみの発生を減らす取組が日常的に行われている	11.91
	16	ポイ捨て、不法投棄が少ないまちである	12.82
	17	道路網が整備され、快適に移動ができる環境が整っている	6.74
	18	公共交通により、日常生活に必要な移動ができる環境が整っている	9.88
	19	HP やSNS などにより、行政情報を取得する環境が整っている	36.72
	20	公園・緑地等が整備され、良好な生活環境が整っている	12.55
	21	地域において、除排雪の体制が整っている	3.41
	22	地域において、消防・救急の体制が十分に整っている	14.77
	23	地域において、地震や大雨などへの備えができています	23.24
	24	地域において、防犯の取り組みが行われている	22.07
	25	消費者被害の防止に向けた情報提供が行われている	26.58
	26	交通安全に向けた体制が構築されている	23.33
項目			「わからない」の割合
地域の環境をまわりのまちづくり	27	四季を通じて観光客が訪れている	10.73
	28	幅広い世代に喜ばれる観光地がある	11.72
	29	信濃町には、知人、友人に紹介したい特産品、名物がある	6.76
	30	日用品を購入できる商店がある	2.46
	31	町内に住みながら、働きたい仕事をみつけられる	13.13
	32	起業しやすい環境が整っている	35.82
	33	安全で質の高い農産物が生産されている地域である	12.50
	34	遊休荒廃農地が少なくなっている	27.12
35	森に親しみや癒やしが感じられる地域である	9.41	
項目			「わからない」の割合
全国に誇れる教育・文化のまちづくり	36	子どもたちが生きていくために必要な力(確かな学力、健康・体力、豊かな人間性)を身につける教育が行われている	35.67
	37	子どもたちが望んだ教育を受けるための経済的な支援体制が整っている	45.04
	38	文化・芸術活動に気軽に参加できる地域である	27.43
	39	地域の文化財や伝統行事が適切に保存・継承・活用されている地域である	22.52
	40	公民館などで学びの機会が提供されている	24.64
	41	世代間の交流によりお互いに学び合える機会が提供されている	33.04
	42	地域において子どもたちの健やかな成長を手助けしている	32.53
43	スポーツや運動を気軽にできる環境が整っている	18.91	
項目			「わからない」の割合
住みたい・住み続けたい住民全体のまちづくり	44	住民と行政がパートナーとして連携している	29.03
	45	地域住民によるコミュニティ活動が行われている	23.91
	46	次世代を担う若者が育つ地域である	20.73
	47	若者が積極的にまちづくりに参加している地域である	24.78
	48	性別の違いによる不平等を感じることがない地域である	30.20
	49	互いの個性や立場を尊重し合える地域である	30.22
	50	国際交流が盛んに行われている地域である	32.82
	51	他市町村との交流を盛んに行っている地域である	37.61
	52	近隣市町村と連携した効率的な行政運営が取り組まれている	43.37
	53	町政の情報が入手しやすい地域である	23.48
	54	住民の声町政に届けやすい地域である	26.11
	55	効果的で効率的な行政運営が図られている	39.59

(ウ)町の環境・体制の今後の重要度

- ・下表は、町の環境・体制に対する重要度（さらに進めるべきか）の平均点である。全ての項目が3.0以上であり、大きな差はみられなかった（全体の平均点は3.39）。
- ・重要度が最も高い項目は、「㊸子どもたちが生きていくために必要な力（確かな学力、健康・体力、豊かな人間性）を身につける教育が行われている」であり、次いで、「㊶ポイ捨て、不法投棄が少ないまちである」「㊷子どもたちが望んだ教育を受けるための経済的な支援体制が整っている」である。
- ・重要度が最も低い項目は、「㊩身のまわりにおいて、太陽光発電や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える取組が日常的に行われている」である。

図表 115 町の環境・体制の今後の重要度（さらに進めるべきか）

項目		平均点	全体の平均点 (3.39)との差
みんなが健康で暮らし、安心して暮らせるまちづくり	1 健康づくりに取り組みやすい環境が整っている	3.36	-0.03
	2 必要な医療サービスを受けられる体制が整っている	3.48	0.07
	3 ご近所で、支え合い、助け合える関係が築かれている	3.20	-0.19
	4 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる環境が整っている	3.44	0.05
	5 高齢者が知識や経験をいかして、生きがいを感じ、豊かに暮らせる環境が整っている	3.30	-0.09
	6 障がいのある人が安心して生活できる地域である	3.37	-0.02
	7 障がいのある人が社会参加できる環境が整っている	3.37	-0.02
	8 生活に困った時に相談できる体制がある	3.37	-0.02
	9 子どもが安全に楽しく過ごせる環境が整っている	3.40	0.01
	10 保育サービスが充実している	3.38	-0.01
	11 経済的に困っていても子育てしていける環境が整っている	3.44	0.05
項目		平均点	全体の平均点 (3.39)との差
安心安全な生活をおくれるまちづくり	12 湖沼、河川、山林などにおいて豊かな自然環境が保たれている	3.48	0.07
	13 身のまわりにおいて、太陽光発電や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える取組が日常的に行われている	3.23	-0.16
	14 自然、田園環境に溶け込んだ美しいまちなみである	3.42	0.03
	15 身のまわりにおいて、ごみの発生を減らす取組が日常的に行われている	3.48	0.07
	16 ポイ捨て、不法投棄が少ないまちである	3.51	0.12
	17 道路網が整備され、快適に移動ができる環境が整っている	3.35	-0.04
	18 公共交通により、日常生活に必要な移動ができる環境が整っている	3.41	0.02
	19 HP やSNS などにより、行政情報を取得する環境が整っている	3.26	-0.13
	20 公園・緑地等が整備され、良好な生活環境が整っている	3.34	-0.05
	21 地域において、除排雪の体制が整っている	3.48	0.09
	22 地域において、消防・救急の体制が十分に整っている	3.43	0.04
	23 地域において、地震や大雨などへの備えができています	3.49	0.10
	24 地域において、防犯の取り組みが行われている	3.42	0.03
	25 消費者被害の防止に向けた情報提供が行われている	3.42	0.03
	26 交通安全に向けた体制が構築されている	3.40	0.01
項目		平均点	全体の平均点 (3.39)との差
地域の環境をまわりのまちづくり	27 四季を通じて観光客が訪れている	3.43	0.04
	28 幅広い世代に喜ばれる観光地がある	3.42	0.03
	29 信濃町には、知人、友人に紹介したい特産品、名物がある	3.50	0.11
	30 日用品を購入できる商店がある	3.35	-0.04
	31 町内に住みながら、働きたい仕事をみつけられる	3.42	0.03
	32 起業しやすい環境が整っている	3.33	-0.06
	33 安全で質の高い農産物が生産されている地域である	3.47	0.08
	34 遊休農地が少なくない	3.32	-0.07
	35 森に親しみや癒やしを感じられる地域である	3.34	-0.05
	項目		平均点
全国に誇れる教育・文化	36 子どもたちが生きていくために必要な力(確かな学力、健康・体力、豊かな人間性)を身につける教育が行われている	3.55	0.16
	37 子どもたちが望んだ教育を受けるための経済的な支援体制が整っている	3.51	0.12
	38 文化・芸術活動に気軽に参加できる地域である	3.31	-0.08
	39 地域の文化財や伝統行事が適切に保存・継承・活用されている地域である	3.33	-0.06
	40 公民館などで学びの機会が提供されている	3.30	-0.09
	41 世代間の交流によりお互いに学び合える機会が提供されている	3.28	-0.11
	42 地域において子どもたちの健やかな成長を手助けしている	3.36	-0.03
43 スポーツや運動を気軽にできる環境が整っている	3.38	-0.01	
項目		平均点	全体の平均点 (3.39)との差
住みたい住み続けたい住民全体	44 住民と行政がパートナーとして連携している	3.42	0.03
	45 地域住民によるコミュニティ活動が行われている	3.27	-0.12
	46 次世代を担う若者が育つ地域である	3.40	0.01
	47 若者が積極的にまちづくりに参加している地域である	3.39	0.00
	48 性別の違いによる不平等を感じることがない地域である	3.34	-0.05
	49 互いの個性や立場を尊重し合える地域である	3.32	-0.07
	50 国際交流が盛んに行われている地域である	3.28	-0.11
	51 他市町村との交流を盛んに行っている地域である	3.27	-0.12
	52 近隣市町村と連携した効率的な行政運営が取り組まれている	3.37	-0.02
	53 町政の情報が入手しやすい地域である	3.35	-0.04
	54 住民の音が町政に届けやすい地域である	3.44	0.05
	55 効果的で効率的な行政運営が図られている	3.48	0.07
			平均点より高い

## (エ) 現状評価と重要度

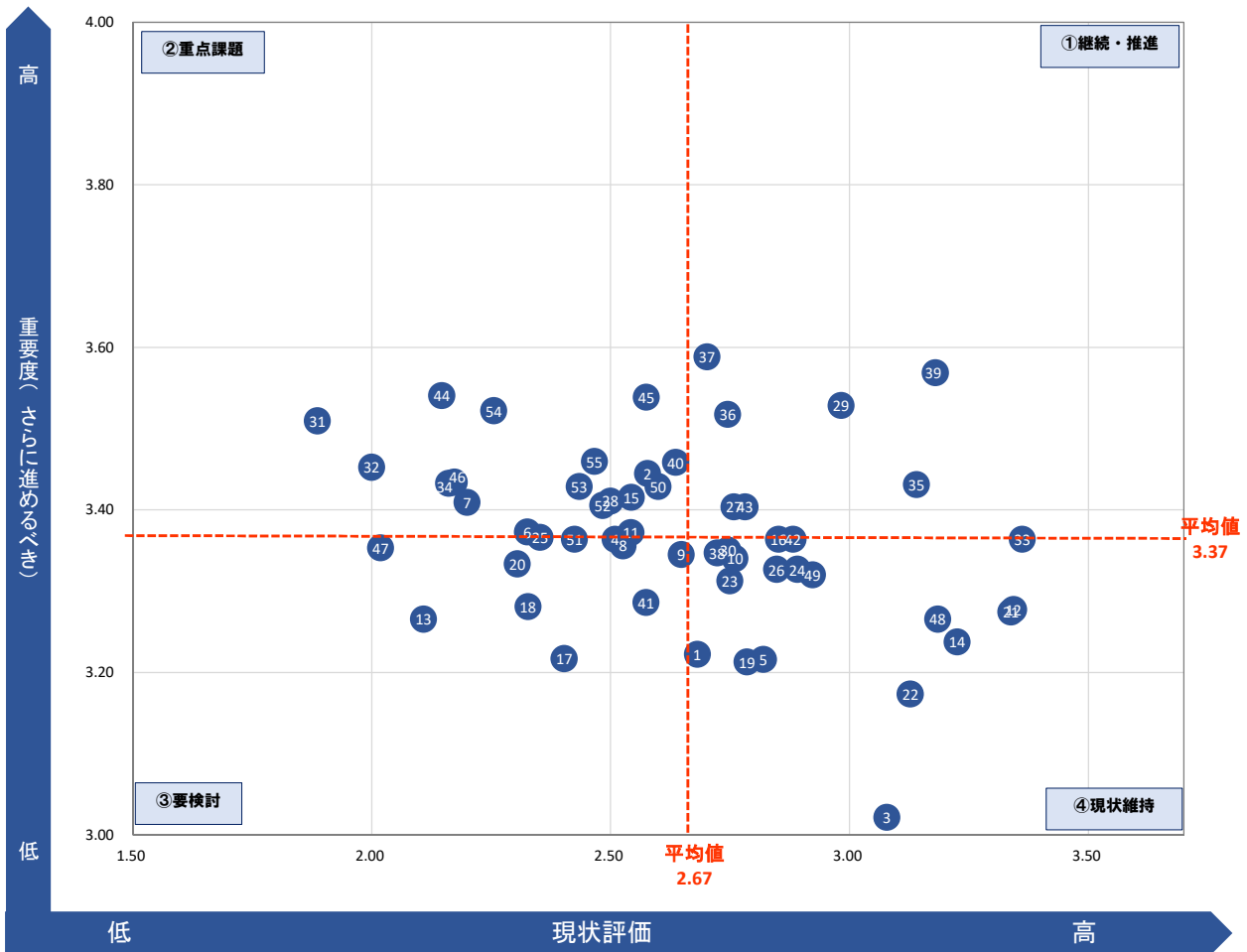
次の図は、項目ごとの各施策の現状評価（横軸）と重要度（縦軸）の平均点を散布図にしたものである。

なお、全ての項目の平均点は、現状評価が 2.41、重要度が 3.39 であった。この全体の平均点によって各項目を下表の 4 つのグループに分類した。

象限	グループ	現状評価、重要度	内容
第 1 象限	継続・推進	重要度、現状評価がどちらも高い	町の強みである。 「さらに強化していくべき施策」と「すでに充分取組がなされているため、拡充の優先順位は低い施策」がある
第 2 象限	重点課題	重要度が高く、現状評価が低い	「重要課題」となる施策群である。
第 3 象限	要検討	重要度、現状評価がどちらも低い	基本的には優先順位が低い施策となる。 ただし、住民が重要視していないことが必ずしも重要でないとはいえない。 これらを踏まえて、当該施策の実施を町が担う必要があるのかを検討する
第 4 象限	現状維持	重要度が低く、現状評価が高い	住民から一定の成果が得られており、優先順位が最も低い施策である。 町が継続的に取り組む必要性を検討する。

- ・現状評価が平均点未満、重要度が平均点以上である「重点課題」に12項目が該当した。
- ・主な重点課題は、産業分野の「②⑦四季を通じて観光客が訪れている」「②⑧幅広い世代に喜ばれる観光地がある」「③①町内に住みながら、働きたい仕事をみつけられる」や住民主体のまちづくり分野の「④⑥次世代を担う若者が育つ地域である」「④⑦若者が積極的にまちづくりに参加している地域である」「⑤④住民の声が町政に届けやすい地域である」である。

図表 116 現状評価と重要度（全回答者）



まちづくりの柱	番号	項目	現在の信濃町の状況	さらに進めるべきか
みんなが健康で安心して暮らせるまちづくり	1	健康づくりに取り組みやすい環境が整っている	2.45	3.36
	2	必要な医療サービスを受けられる体制が整っている	2.30	3.46
	3	ご近所で、支え合い、助け合える関係が築かれている	2.55	3.20
	4	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる環境が整っている	2.28	3.44
	5	高齢者が知識や経験をいかして、生きがいを感じ、豊かに暮らせる環境が整っている	2.28	3.30
	6	障がいのある人が安心して生活できる地域である	2.06	3.37
	7	障がいのある人が社会参加できる環境が整っている	1.98	3.37
	8	生活に困った時に相談できる体制がある	2.28	3.37
	9	子どもが安全に楽しく過ごせる環境が整っている	2.55	3.40
	10	保育サービスが充実している	2.87	3.38
	11	経済的に困っていても子育てしていける環境が整っている	2.27	3.44
安心安全な生活を おくれるまちづくり	12	湖沼、河川、山林などにおいて豊かな自然環境が保たれている	2.99	3.46
	13	身のまわりにおいて、太陽光発電や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える取組が日常的に行われている	1.88	3.23
	14	自然、田園環境に溶け込んだ美しいまちなみである	2.98	3.42
	15	身のまわりにおいて、ごみの発生を減らす取組が日常的に行われている	2.57	3.46
	16	ポイ捨て、不法投棄が少ないまちである	2.36	3.51
	17	道路網が整備され、快適に移動ができる環境が整っている	2.45	3.35
	18	公共交通により、日常生活に必要な移動ができる環境が整っている	2.01	3.41
	19	HP やSNS などにより、行政情報を取得する環境が整っている	2.51	3.26
	20	公園・緑地等が整備され、良好な生活環境が整っている	2.13	3.34
	21	地域において、除排雪の体制が整っている	3.11	3.48
	22	地域において、消防・救急の体制が十分に整っている	3.04	3.43
	23	地域において、地震や大雨などへの備えができています	2.33	3.49
	24	地域において、防犯の取り組みが行われている	2.45	3.42
	25	消費者被害の防止に向けた情報提供が行われている	2.44	3.42
	26	交通安全に向けた体制が構築されている	2.54	3.40
地域の環境を 活かした産業のまちづくり	27	四季を通じて観光客が訪れている	2.34	3.43
	28	幅広い世代に喜ばれる観光地がある	2.28	3.42
	29	信濃町には、知人、友人に紹介したい特産品、名物がある	2.95	3.50
	30	日用品を購入できる商店がある	2.56	3.35
	31	町内に住みながら、働きたい仕事をみつけられる	1.78	3.42
	32	起業しやすい環境が整っている	1.83	3.33
	33	安全で質の高い農産物が生産されている地域である	3.05	3.47
	34	遊休荒廃農地が少なくなっている	1.74	3.32
	35	森に親しみや癒やしが感じられる地域である	2.87	3.34
全国に誇れる 教育・文化のまちづくり	36	子どもたちが生きていくために必要な力(確かな学力、健康・体力、豊かな人間性)を身につける教育が行われている	2.49	3.55
	37	子どもたちが望んだ教育を受けるための経済的な支援体制が整っている	2.36	3.51
	38	文化・芸術活動に気軽に参加できる地域である	2.35	3.31
	39	地域の文化財や伝統行事が適切に保存・継承・活用されている地域である	2.68	3.33
	40	公民館などで学びの機会が提供されている	2.72	3.30
	41	世代間の交流によりお互いに学び合える機会が提供されている	2.22	3.28
	42	地域において子どもたちの健やかな成長を手助けしている	2.54	3.36
	43	スポーツや運動を気軽にできる環境が整っている	2.56	3.38
住みたい・住み続けたい 住民全体のまちづくり	44	住民と行政がパートナーとして連携している	2.17	3.42
	45	地域住民によるコミュニティ活動が行われている	2.44	3.27
	46	次世代を担う若者が育つ地域である	1.81	3.40
	47	若者が積極的にまちづくりに参加している地域である	1.89	3.39
	48	性別の違いによる不平等を感じることがない地域である	2.57	3.34
	49	互いの個性や立場を尊重し合える地域である	2.39	3.32
	50	国際交流が盛んに行われている地域である	2.33	3.28
	51	他市町村との交流を盛んに行っている地域である	2.09	3.27
	52	近隣市町村と連携した効率的な行政運営が取り組まれている	2.10	3.37
	53	町政の情報が入手しやすい地域である	2.38	3.35
	54	住民の声が町政に届けやすい地域である	2.11	3.44
	55	効果的で効率的な行政運営が図られている	2.08	3.46
…②重要課題に該当する施策			全体の平均点未満	全体の平均点以上

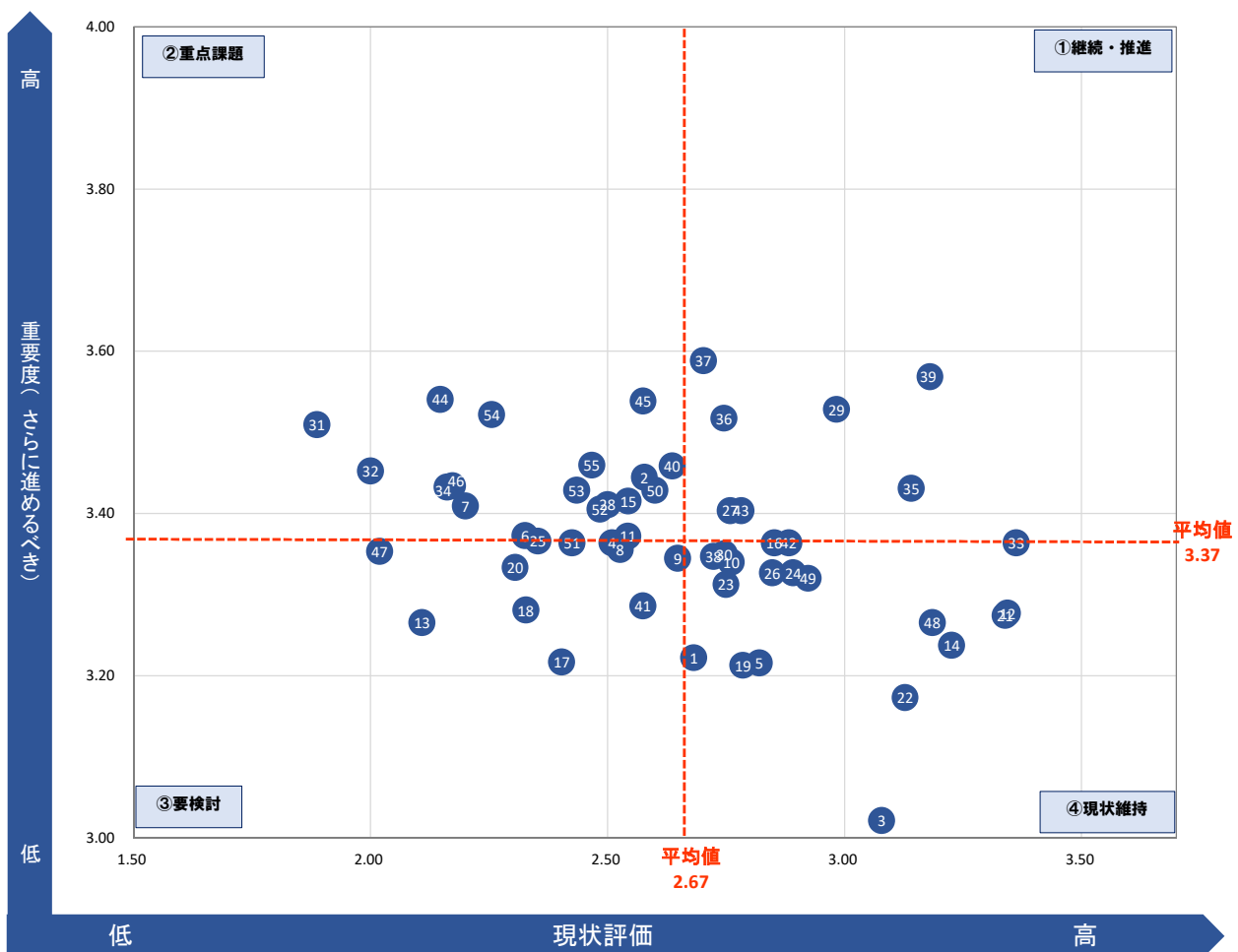
## ②年代別の傾向

ここでは、現状評価と重要度の散布図を年代ごとに示す。

### (ア)15～18歳の現状評価と重要度

- ・15～18歳では、「重点課題」に18項目が該当した。
- ・主な重点課題は、産業分野のうち町内の就業に関する項目である「③①町内に住みながら、働きたい仕事をみつけられる」「③②起業しやすい環境が整っている」である。また「④④住民と行政がパートナーとして連携している」等の住民主体のまちづくり分野の項目も該当している。

図表 117 【15～18歳】現状評価と重要度



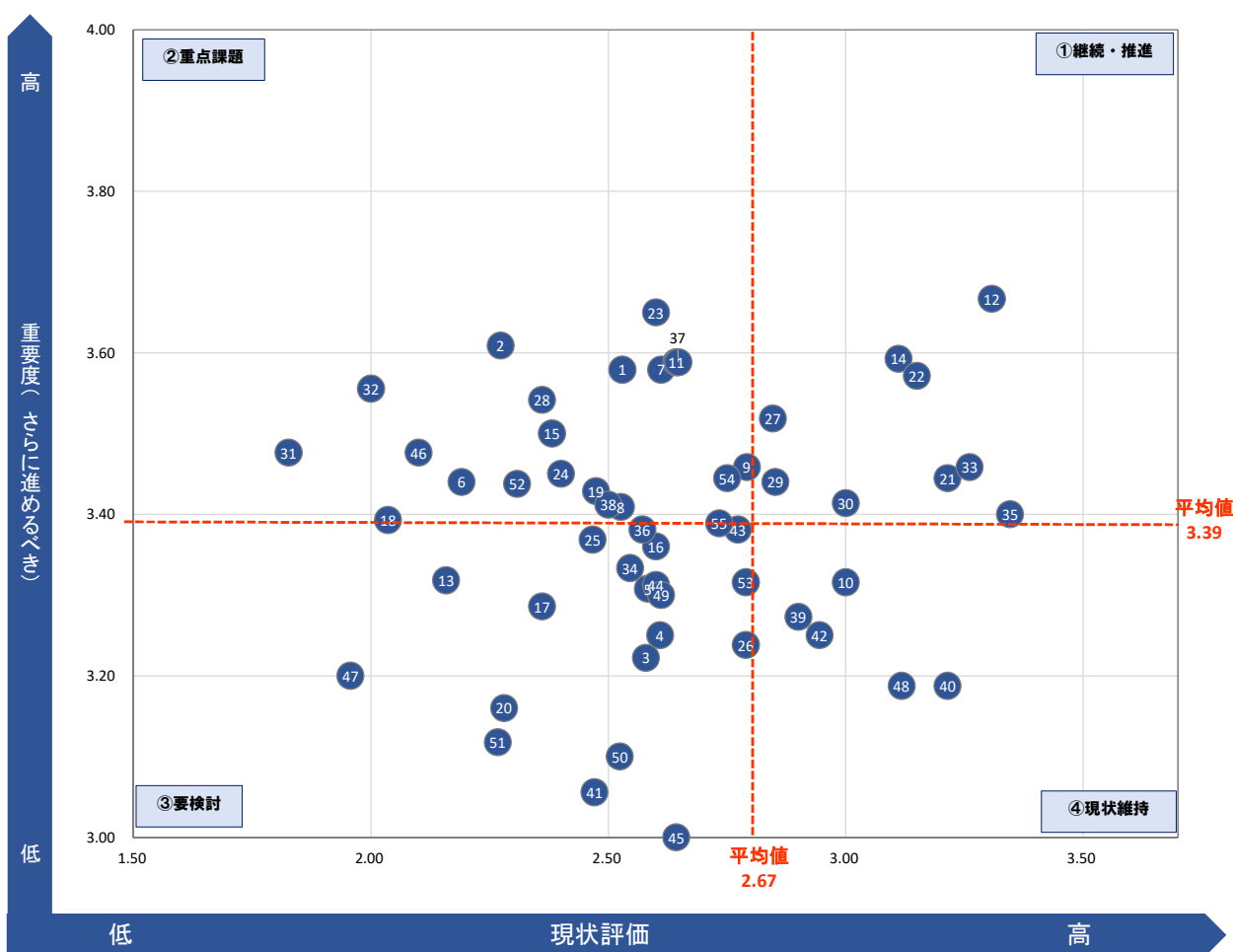
まちづくりの柱	番号	項目	現在の信濃町の状況	さらに進めるべきか
みんなが健康で安心して暮らせるまちづくり	1	健康づくりに取り組みやすい環境が整っている	2.68	3.22
	2	必要な医療サービスを受けられる体制が整っている	2.58	3.44
	3	ご近所で、支え合い、助け合える関係が築かれている	3.08	3.02
	4	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる環境が整っている	2.51	3.36
	5	高齢者が知識や経験をいかして、生きがいを感じ、豊かに暮らせる環境が整っている	2.82	3.22
	6	障がいのある人が安心して生活できる地域である	2.33	3.37
	7	障がいのある人が社会参加できる環境が整っている	2.20	3.41
	8	生活に困った時に相談できる体制がある	2.53	3.36
	9	子どもが安全に楽しく過ごせる環境が整っている	2.65	3.34
	10	保育サービスが充実している	2.76	3.34
	11	経済的に困っていても子育てしていける環境が整っている	2.54	3.37
おくる安全な生活を	12	湖沼、河川、山林などにおいて豊かな自然環境が保たれている	3.34	3.28
	13	身のまわりにおいて、太陽光発電や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える取組が日常的に行われている	2.11	3.27
	14	自然、田園環境に溶け込んだ美しいまちなみである	3.23	3.24
	15	身のまわりにおいて、ごみの発生を減らす取組が日常的に行われている	2.54	3.42
	16	ポイ捨て、不法投棄が少ないまちである	2.85	3.36
	17	道路網が整備され、快適に移動ができる環境が整っている	2.40	3.22
	18	公共交通により、日常生活に必要な移動ができる環境が整っている	2.33	3.28
	19	HP やSNS などにより、行政情報を取得する環境が整っている	2.79	3.21
	20	公園・緑地等が整備され、良好な生活環境が整っている	2.31	3.33
	21	地域において、除排雪の体制が整っている	3.34	3.27
	22	地域において、消防・救急の体制が十分に整っている	3.13	3.17
	23	地域において、地震や大雨などへの備えができています	2.75	3.31
	24	地域において、防犯の取り組みが行われている	2.89	3.33
	25	消費者被害の防止に向けた情報提供が行われている	2.35	3.37
	26	交通安全に向けた体制が構築されている	2.85	3.33
地域の環境をまちづくりした	27	四季を通じて観光客が訪れている	2.76	3.40
	28	幅広い世代に喜ばれる観光地がある	2.50	3.41
	29	信濃町には、知人、友人に紹介したい特産品、名物がある	2.98	3.53
	30	日用品を購入できる商店がある	2.75	3.35
	31	町内に住みながら、働きたい仕事をみつけられる	1.89	3.51
	32	起業しやすい環境が整っている	2.00	3.45
	33	安全で質の高い農産物が生産されている地域である	3.36	3.36
	34	遊休荒廃農地が少なくなっている	2.16	3.43
	35	森に親しみや癒やしが感じられる地域である	3.14	3.43
文化に誇れる教育・	36	子どもたちが生きていくために必要な力(確かな学力、健康・体力、豊かな人間性)を身につける教育が行われている	2.75	3.52
	37	子どもたちが望んだ教育を受けるための経済的な支援体制が整っている	2.70	3.59
	38	文化・芸術活動に気軽に参加できる地域である	2.72	3.35
	39	地域の文化財や伝統行事が適切に保存・継承・活用されている地域である	3.18	3.57
	40	公民館などで学びの機会が提供されている	2.64	3.46
	41	世代間の交流によりお互いに学び合える機会が提供されている	2.57	3.29
	42	地域において子どもたちの健やかな成長を手助けしている	2.88	3.36
	43	スポーツや運動を気軽にできる環境が整っている	2.78	3.40
住みたい・住み続けたい住民全体のまちづくり	44	住民と行政がパートナーとして連携している	2.15	3.54
	45	地域住民によるコミュニティ活動が行われている	2.58	3.54
	46	次世代を担う若者が育つ地域である	2.17	3.43
	47	若者が積極的にまちづくりに参加している地域である	2.02	3.35
	48	性別の違いによる不平等を感じることはない地域である	3.19	3.27
	49	互いの個性や立場を尊重し合える地域である	2.92	3.32
	50	国際交流が盛んに行われている地域である	2.60	3.43
	51	他市町村との交流を盛んに行っている地域である	2.43	3.36
	52	近隣市町村と連携した効率的な行政運営が取り組まれている	2.48	3.41
	53	町政の情報が入手しやすい地域である	2.43	3.43
	54	住民の声が町政に届けやすい地域である	2.26	3.52
	55	効果的で効率的な行政運営が図られている	2.47	3.46



(イ)19~24 歳の現状評価と重要度

- ・19~24 歳では、「重点課題」に 18 項目が該当した。
- ・15~18 歳と同様に、町内の就業に関する項目である「③町内に住みながら、働きたい仕事を見つけられる」「⑫起業しやすい環境が整っている」が該当している。また、安全・安心のまちづくり分野である「⑬地域において、地震や大雨などへの備えができていける」や子育てや教育分野のうち経済的支援に関連する「⑪経済的に困っていても子育てしていける環境が整っている」「⑳子どもたちが望んだ教育を受けるための経済的な支援体制が整っている」が該当している。

図表 118 【19~24 歳】現状評価と重要度



まちづくりの柱	番号	項目	現在の信濃町の状況	さらに進めるべきか
みんなが健康で安心して暮らせるまちづくり	1	健康づくりに取り組みやすい環境が整っている	2.53	3.58
	2	必要な医療サービスを受けられる体制が整っている	2.27	3.61
	3	ご近所で、支え合い、助け合える関係が築かれている	2.58	3.22
	4	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる環境が整っている	2.61	3.25
	5	高齢者が知識や経験をいかして、生きがいを感じ、豊かに暮らせる環境が整っている	2.58	3.31
	6	障がいのある人が安心して生活できる地域である	2.19	3.44
	7	障がいのある人が社会参加できる環境が整っている	2.61	3.58
	8	生活に困った時に相談できる体制がある	2.53	3.41
	9	子どもが安全に楽しく過ごせる環境が整っている	2.79	3.46
	10	保育サービスが充実している	3.00	3.32
	11	経済的に困っていても子育てしていける環境が整っている	2.64	3.59
おくれるまちづくり	12	湖沼、河川、山林などにおいて豊かな自然環境が保たれている	3.31	3.67
	13	身のまわりにおいて、太陽光発電や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える取組が日常的に行われている	2.16	3.32
	14	自然、田園環境に溶け込んだ美しいまちなみである	3.11	3.59
	15	身のまわりにおいて、ごみの発生を減らす取組が日常的に行われている	2.38	3.50
	16	ポイ捨て、不法投棄が少ないまちである	2.60	3.36
	17	道路網が整備され、快適に移動ができる環境が整っている	2.36	3.29
	18	公共交通により、日常生活に必要な移動ができる環境が整っている	2.04	3.39
	19	HP やSNS などにより、行政情報を取得する環境が整っている	2.47	3.43
	20	公園・緑地等が整備され、良好な生活環境が整っている	2.28	3.16
	21	地域において、除排雪の体制が整っている	3.21	3.44
	22	地域において、消防・救急の体制が十分に整っている	3.15	3.57
	23	地域において、地震や大雨などへの備えができています	2.60	3.65
	24	地域において、防犯の取り組みが行われている	2.40	3.45
	25	消費者被害の防止に向けた情報提供が行われている	2.47	3.37
	26	交通安全に向けた体制が構築されている	2.79	3.24
地域の環境をまちづくりした	27	四季を通じて観光客が訪れている	2.85	3.52
	28	幅広い世代に喜ばれる観光地がある	2.36	3.54
	29	信濃町には、知人、友人に紹介したい特産品、名物がある	2.85	3.44
	30	日用品を購入できる商店がある	3.00	3.41
	31	町内に住みながら、働きたい仕事をみつけられる	1.83	3.48
	32	起業しやすい環境が整っている	2.00	3.56
	33	安全で質の高い農産物が生産されている地域である	3.26	3.46
	34	遊休荒廃農地が少なくなっている	2.55	3.33
	35	森に親しみや癒やしが感じられる地域である	3.35	3.40
全国に誇れる教育・文化のまちづくり	36	子どもたちが生きていくために必要な力(確かな学力、健康・体力、豊かな人間性)を身につける教育が行われている	2.57	3.38
	37	子どもたちが望んだ教育を受けるための経済的な支援体制が整っている	2.65	3.59
	38	文化・芸術活動に気軽に参加できる地域である	2.50	3.41
	39	地域の文化財や伝統行事が適切に保存・継承・活用されている地域である	2.90	3.27
	40	公民館などで学びの機会が提供されている	3.21	3.19
	41	世代間の交流によりお互いに学び合える機会が提供されている	2.47	3.06
	42	地域において子どもたちの健やかな成長を手助けしている	2.94	3.25
	43	スポーツや運動を気軽にできる環境が整っている	2.77	3.38
住みたい・住み続けたい住民全体のまちづくり	44	住民と行政がパートナーとして連携している	2.60	3.31
	45	地域住民によるコミュニティ活動が行われている	2.64	3.00
	46	次世代を担う若者が育つ地域である	2.10	3.48
	47	若者が積極的にまちづくりに参加している地域である	1.96	3.20
	48	性別の違いによる不平等を感じる地域ではない	3.12	3.19
	49	互いの個性や立場を尊重し合える地域である	2.61	3.30
	50	国際交流が盛んに行われている地域である	2.52	3.10
	51	他市町村との交流を盛んに行っている地域である	2.27	3.12
	52	近隣市町村と連携した効率的な行政運営が取り組まれている	2.31	3.44
	53	町政の情報が入手しやすい地域である	2.79	3.32
	54	住民の声が町政に届けやすい地域である	2.75	3.44
	55	効果的で効率的な行政運営が図られている	2.73	3.39

…②重要課題に該当する施策

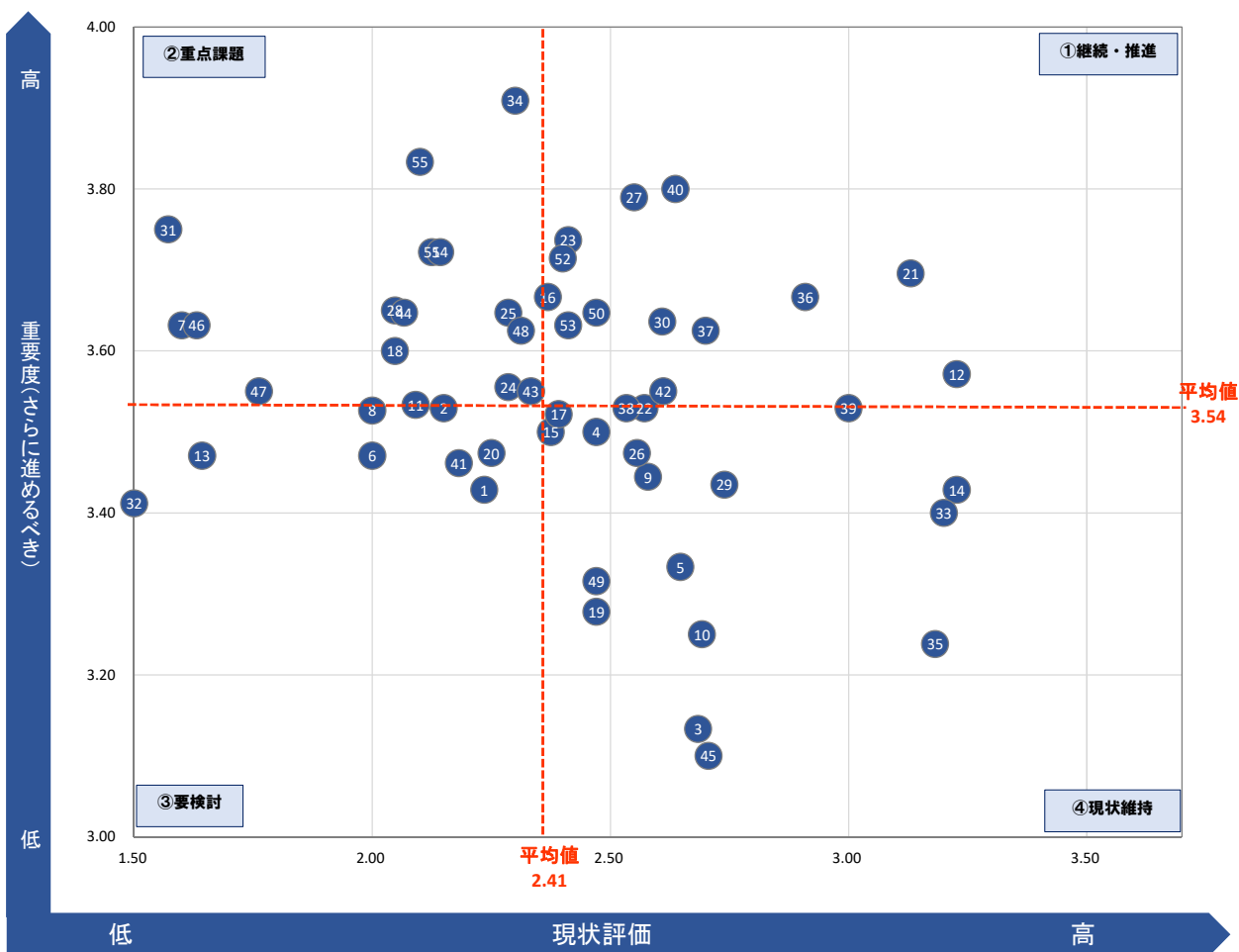
全体の平均点未満

全体の平均点以上

(ウ)25～29 歳の現状評価と重要度

- ・25～29 歳では、「重点課題」に 17 項目が該当した。
- ・15～18 歳、19～24 歳と同様に「⑩町内に住みながら、働きたい仕事をみつけられる」が重点課題に該当している。
- ・主な重点課題のうち「⑦障がいのある人が社会参加できる環境が整っている」「⑩次世代を担う若者が育つ地域である」「⑪若者が積極的にまちづくりに参加している地域である」の現状評価が他の項目と比べて低くなっている。
- ・「⑭遊休荒廃農地が少なくなっている」の重要度（さらに進めるべき施策）が比較的高くなっている。

図表 119 【25～29 歳】現状評価と重要度



まちづくりの柱	番号	項目	現在の信濃町の状況	さらに進めるべきか
みんなが健康で安心して暮らせるまちづくり	1	健康づくりに取り組みやすい環境が整っている	2.24	3.43
	2	必要な医療サービスを受けられる体制が整っている	2.15	3.53
	3	ご近所で、支え合い、助け合える関係が築かれている	2.68	3.13
	4	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる環境が整っている	2.47	3.50
	5	高齢者が知識や経験をいかして、生きがいを感じ、豊かに暮らせる環境が整っている	2.65	3.33
	6	障がいのある人が安心して生活できる地域である	2.00	3.47
	7	障がいのある人が社会参加できる環境が整っている	1.60	3.63
	8	生活に困った時に相談できる体制がある	2.00	3.53
	9	子どもが安全に楽しく過ごせる環境が整っている	2.58	3.44
	10	保育サービスが充実している	2.69	3.25
	11	経済的に困っていても子育てしていける環境が整っている	2.09	3.53
おくれるまちづくり	12	湖沼、河川、山林などにおいて豊かな自然環境が保たれている	3.23	3.57
	13	身のまわりにおいて、太陽光発電や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える取組が日常的に行われている	1.64	3.47
	14	自然、田園環境に溶け込んだ美しいまちなみである	3.23	3.43
	15	身のまわりにおいて、ごみの発生を減らす取組が日常的に行われている	2.38	3.50
	16	ポイ捨て、不法投棄が少ないまちである	2.37	3.67
	17	道路網が整備され、快適に移動ができる環境が整っている	2.39	3.52
	18	公共交通により、日常生活に必要な移動ができる環境が整っている	2.05	3.60
	19	HP やSNS などにより、行政情報を取得する環境が整っている	2.47	3.28
	20	公園・緑地等が整備され、良好な生活環境が整っている	2.25	3.47
	21	地域において、除排雪の体制が整っている	3.13	3.70
	22	地域において、消防・救急の体制が十分に整っている	2.57	3.53
	23	地域において、地震や大雨などへの備えができています	2.41	3.74
	24	地域において、防犯の取り組みが行われている	2.29	3.56
	25	消費者被害の防止に向けた情報提供が行われている	2.29	3.65
	26	交通安全に向けた体制が構築されている	2.56	3.47
地域の環境をまじりながら生活	27	四季を通じて観光客が訪れている	2.55	3.79
	28	幅広い世代に喜ばれる観光地がある	2.05	3.65
	29	信濃町には、知人、友人に紹介したい特産品、名物がある	2.74	3.43
	30	日用品を購入できる商店がある	2.61	3.64
	31	町内に住みながら、働きたい仕事をみつけられる	1.57	3.75
	32	起業しやすい環境が整っている	1.50	3.41
	33	安全で質の高い農産物が生産されている地域である	3.20	3.40
	34	遊休荒廃農地が少なくなっている	2.30	3.91
	35	森に親しみや癒やしが感じられる地域である	3.18	3.24
文化のまちづくり	36	子どもたちが生きていくために必要な力(確かな学力、健康・体力、豊かな人間性)を身につける教育が行われている	2.91	3.67
	37	子どもたちが望んだ教育を受けるための経済的な支援体制が整っている	2.70	3.63
	38	文化・芸術活動に気軽に参加できる地域である	2.53	3.53
	39	地域の文化財や伝統行事が適切に保存・継承・活用されている地域である	3.00	3.53
	40	公民館などで学びの機会が提供されている	2.64	3.80
	41	世代間の交流によりお互いに学び合える機会が提供されている	2.18	3.46
	42	地域において子どもたちの健やかな成長を手助けしている	2.61	3.55
	43	スポーツや運動を気軽にできる環境が整っている	2.33	3.55
住民全体的に、住み続けたい	44	住民と行政がパートナーとして連携している	2.07	3.65
	45	地域住民によるコミュニティ活動が行われている	2.71	3.10
	46	次世代を担う若者が育つ地域である	1.63	3.63
	47	若者が積極的にまちづくりに参加している地域である	1.76	3.55
	48	性別の違いによる不平等を感じることはない地域である	2.31	3.63
	49	互いの個性や立場を尊重し合える地域である	2.47	3.32
	50	国際交流が盛んに行われている地域である	2.47	3.65
	51	他市町村との交流を盛んに行っている地域である	2.13	3.72
	52	近隣市町村と連携した効率的な行政運営が取り組まれている	2.40	3.71
	53	町政の情報が入手しやすい地域である	2.41	3.63
	54	住民の声が町政に届けやすい地域である	2.14	3.72
	55	効果的で効率的な行政運営が図られている	2.10	3.83

…②重要課題に該当する施策

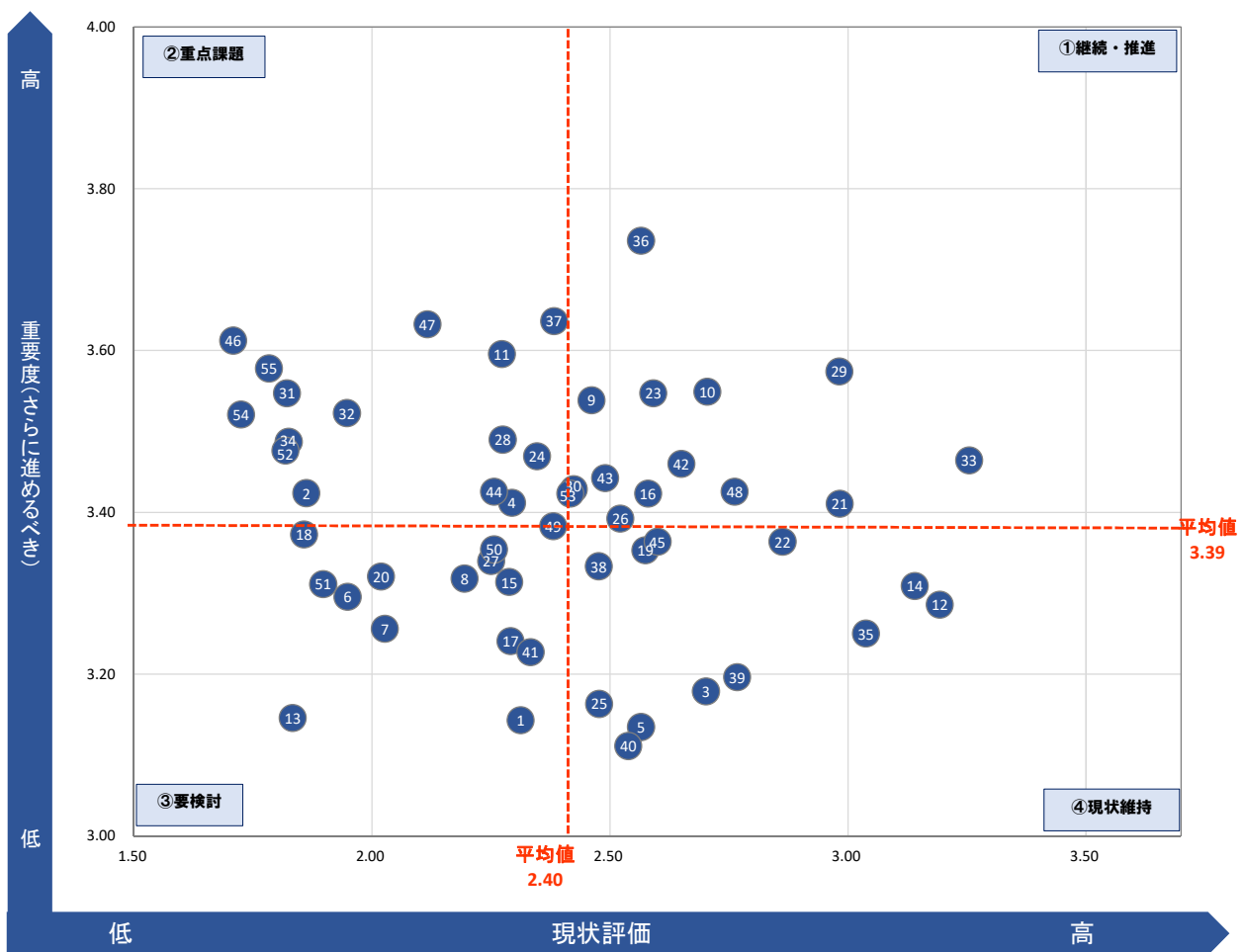
全体の平均点未満

全体の平均点以上

(エ)30代の現状評価と重要度

- ・30代では、「重点課題」に12項目が該当した。
- ・主な重点課題は、「④⑥次世代を担う若者が育つ地域である」「④④住民の声が町政に届けやすい地域である」「⑤⑤効果的で効率的な行政運営が図られている」等の住民主体のまちづくり分野の項目であり、これらの項目は、特に現状評価が低くなっている。

図表 120 【30代】現状評価と重要度



まちづくりの柱	番号	項目	現在の信濃町の状況	さらに進めるべきか
みんなが健康で安心して暮らせるまちづくり	1	健康づくりに取り組みやすい環境が整っている	2.31	3.14
	2	必要な医療サービスを受けられる体制が整っている	1.86	3.42
	3	ご近所で、支え合い、助け合える関係が築かれている	2.70	3.18
	4	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる環境が整っている	2.29	3.41
	5	高齢者が知識や経験をいかして、生きがいを感じ、豊かに暮らせる環境が整っている	2.57	3.13
	6	障がいのある人が安心して生活できる地域である	1.95	3.30
	7	障がいのある人が社会参加できる環境が整っている	2.03	3.26
	8	生活に困った時に相談できる体制がある	2.19	3.32
	9	子どもが安全に楽しく過ごせる環境が整っている	2.46	3.54
	10	保育サービスが充実している	2.70	3.55
	11	経済的に困っていても子育てしていける環境が整っている	2.27	3.60
おくれるまちづくり	12	湖沼、河川、山林などにおいて豊かな自然環境が保たれている	3.19	3.29
	13	身のまわりにおいて、太陽光発電や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える取組が日常的に行われている	1.83	3.15
	14	自然、田園環境に溶け込んだ美しいまちなみである	3.14	3.31
	15	身のまわりにおいて、ごみの発生を減らす取組が日常的に行われている	2.29	3.31
	16	ポイ捨て、不法投棄が少ないまちである	2.58	3.42
	17	道路網が整備され、快適に移動ができる環境が整っている	2.29	3.24
	18	公共交通により、日常生活に必要な移動ができる環境が整っている	1.86	3.37
	19	HP やSNS などにより、行政情報を取得する環境が整っている	2.57	3.35
	20	公園・緑地等が整備され、良好な生活環境が整っている	2.02	3.32
	21	地域において、除排雪の体制が整っている	2.98	3.41
	22	地域において、消防・救急の体制が十分に整っている	2.86	3.36
	23	地域において、地震や大雨などへの備えができています	2.59	3.55
	24	地域において、防犯の取り組みが行われている	2.35	3.47
	25	消費者被害の防止に向けた情報提供が行われている	2.48	3.16
	26	交通安全に向けた体制が構築されている	2.52	3.39
地域の環境をまじりながら生活	27	四季を通じて観光客が訪れている	2.25	3.34
	28	幅広い世代に喜ばれる観光地がある	2.27	3.49
	29	信濃町には、知人、友人に紹介したい特産品、名物がある	2.98	3.57
	30	日用品を購入できる商店がある	2.42	3.43
	31	町内に住みながら、働きたい仕事をみつけられる	1.82	3.55
	32	起業しやすい環境が整っている	1.95	3.52
	33	安全で質の高い農産物が生産されている地域である	3.25	3.46
	34	遊休荒廃農地が少なくなっている	1.83	3.49
	35	森に親しみや癒やしが感じられる地域である	3.04	3.25
文化のまちづくり	36	子どもたちが生きていくために必要な力(確かな学力、健康・体力、豊かな人間性)を身につける教育が行われている	2.57	3.74
	37	子どもたちが望んだ教育を受けるための経済的な支援体制が整っている	2.38	3.64
	38	文化・芸術活動に気軽に参加できる地域である	2.48	3.33
	39	地域の文化財や伝統行事が適切に保存・継承・活用されている地域である	2.77	3.20
	40	公民館などで学びの機会が提供されている	2.54	3.11
	41	世代間の交流によりお互いに学び合える機会が提供されている	2.33	3.23
	42	地域において子どもたちの健やかな成長を手助けしている	2.65	3.46
	43	スポーツや運動を気軽にできる環境が整っている	2.49	3.44
住みたい・住み続けたい	44	住民と行政がパートナーとして連携している	2.26	3.43
	45	地域住民によるコミュニティ活動が行われている	2.60	3.36
	46	次世代を担う若者が育つ地域である	1.71	3.61
	47	若者が積極的にまちづくりに参加している地域である	2.12	3.63
	48	性別の違いによる不平等を感じる地域ではない	2.76	3.43
	49	互いの個性や立場を尊重し合える地域である	2.38	3.38
	50	国際交流が盛んに行われている地域である	2.26	3.35
	51	他市町村との交流を盛んに行っている地域である	1.90	3.31
	52	近隣市町村と連携した効率的な行政運営が取り組まれている	1.82	3.48
	53	町政の情報が入手しやすい地域である	2.42	3.42
	54	住民の声が町政に届けやすい地域である	1.73	3.52
	55	効果的で効率的な行政運営が図られている	1.78	3.58

…②重要課題に該当する施策

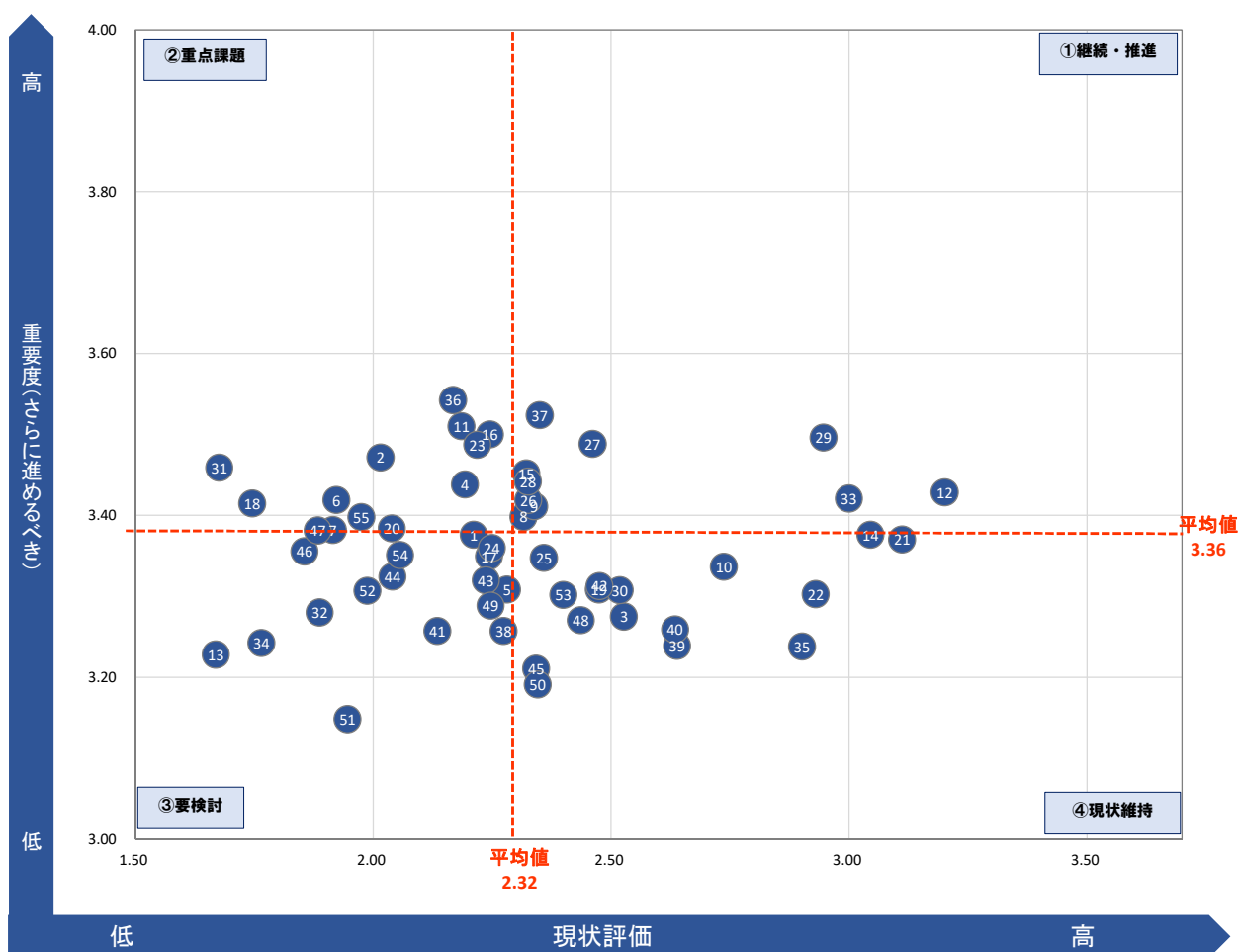
全体の平均点未満

全体の平均点以上

### (オ) 40代の現状評価と重要度

- ・40代では、「重点課題」に14項目が該当した。
- ・主な重点課題のうち、「⑩子どもたちが生きていくために必要な力（確かな学力、健康・体力、豊かな人間性）を身につける教育が行われている」「⑪経済的に困っていても子育てしていける環境が整っている」と教育・子育て分野の重要度が最も高くなっている。
- ・また、「②必要な医療サービスを受けられる体制が整っている」「④高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる環境が整っている」などの医療・福祉分野の重要度も比較的高い。

図表 121 【40代】現状評価と重要度



まちづくりの柱	番号	項目	現在の信濃町の状況	さらに進めるべきか
みんなが健康で安心して暮らせるまちづくり	1	健康づくりに取り組みやすい環境が整っている	2.21	3.38
	2	必要な医療サービスを受けられる体制が整っている	2.02	3.47
	3	ご近所で、支え合い、助け合える関係が築かれている	2.53	3.28
	4	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる環境が整っている	2.19	3.44
	5	高齢者が知識や経験をいかして、生きがいを感じ、豊かに暮らせる環境が整っている	2.28	3.31
	6	障がいのある人が安心して生活できる地域である	1.92	3.42
	7	障がいのある人が社会参加できる環境が整っている	1.92	3.38
	8	生活に困った時に相談できる体制がある	2.32	3.40
	9	子どもが安全に楽しく過ごせる環境が整っている	2.34	3.41
	10	保育サービスが充実している	2.74	3.34
	11	経済的に困っていても子育てしていける環境が整っている	2.19	3.51
安心安全な生活を おくれるまちづくり	12	湖沼、河川、山林などにおいて豊かな自然環境が保たれている	3.20	3.43
	13	身のまわりにおいて、太陽光発電や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える取組が日常的に行われている	1.67	3.23
	14	自然、田園環境に溶け込んだ美しいまちなみである	3.05	3.38
	15	身のまわりにおいて、ごみの発生を減らす取組が日常的に行われている	2.32	3.45
	16	ポイ捨て、不法投棄が少ないまちである	2.25	3.50
	17	道路網が整備され、快適に移動ができる環境が整っている	2.24	3.35
	18	公共交通により、日常生活に必要な移動ができる環境が整っている	1.75	3.41
	19	HP やSNS などにより、行政情報を取得する環境が整っている	2.47	3.31
	20	公園・緑地等が整備され、良好な生活環境が整っている	2.04	3.38
	21	地域において、除排雪の体制が整っている	3.11	3.37
	22	地域において、消防・救急の体制が十分に整っている	2.93	3.30
	23	地域において、地震や大雨などへの備えができています	2.22	3.49
	24	地域において、防犯の取り組みが行われている	2.25	3.36
	25	消費者被害の防止に向けた情報提供が行われている	2.36	3.35
	26	交通安全に向けた体制が構築されている	2.33	3.42
地域の環境を まちづくり に活かした	27	四季を通じて観光客が訪れている	2.46	3.49
	28	幅広い世代に喜ばれる観光地がある	2.33	3.44
	29	信濃町には、知人、友人に紹介したい特産品、名物がある	2.95	3.50
	30	日用品を購入できる商店がある	2.52	3.31
	31	町内に住みながら、働きたい仕事をみつけられる	1.68	3.46
	32	起業しやすい環境が整っている	1.89	3.28
	33	安全で質の高い農産物が生産されている地域である	3.00	3.42
	34	遊休荒廃農地が少なくなっている	1.77	3.24
	35	森に親しみや癒やしが感じられる地域である	2.90	3.24
全国に誇れる 文化のまちづくり	36	子どもたちが生きていくために必要な力(確かな学力、健康・体力、豊かな人間性)を身につける教育が行われている	2.17	3.54
	37	子どもたちが望んだ教育を受けるための経済的な支援体制が整っている	2.35	3.52
	38	文化・芸術活動に気軽に参加できる地域である	2.27	3.26
	39	地域の文化財や伝統行事が適切に保存・継承・活用されている地域である	2.64	3.24
	40	公民館などで学びの機会が提供されている	2.63	3.26
	41	世代間の交流によりお互いに学び合える機会が提供されている	2.14	3.26
	42	地域において子どもたちの健やかな成長を手助けしている	2.48	3.31
	43	スポーツや運動を気軽にできる環境が整っている	2.24	3.32
住民全体的に 住みたい・住み続けたい まちづくり	44	住民と行政がパートナーとして連携している	2.04	3.32
	45	地域住民によるコミュニティ活動が行われている	2.34	3.21
	46	次世代を担う若者が育つ地域である	1.86	3.36
	47	若者が積極的にまちづくりに参加している地域である	1.88	3.38
	48	性別の違いによる不平等を感じることはない地域である	2.44	3.27
	49	互いの個性や立場を尊重し合える地域である	2.25	3.29
	50	国際交流が盛んに行われている地域である	2.35	3.19
	51	他市町村との交流を盛んに行っている地域である	1.95	3.15
	52	近隣市町村と連携した効率的な行政運営が取り組まれている	1.99	3.31
	53	町政の情報が入手しやすい地域である	2.40	3.30
	54	住民の声が町政に届けやすい地域である	2.06	3.35
	55	効果的で効率的な行政運営が図られている	1.98	3.40

…②重要課題に該当する施策

全体の平均点未満

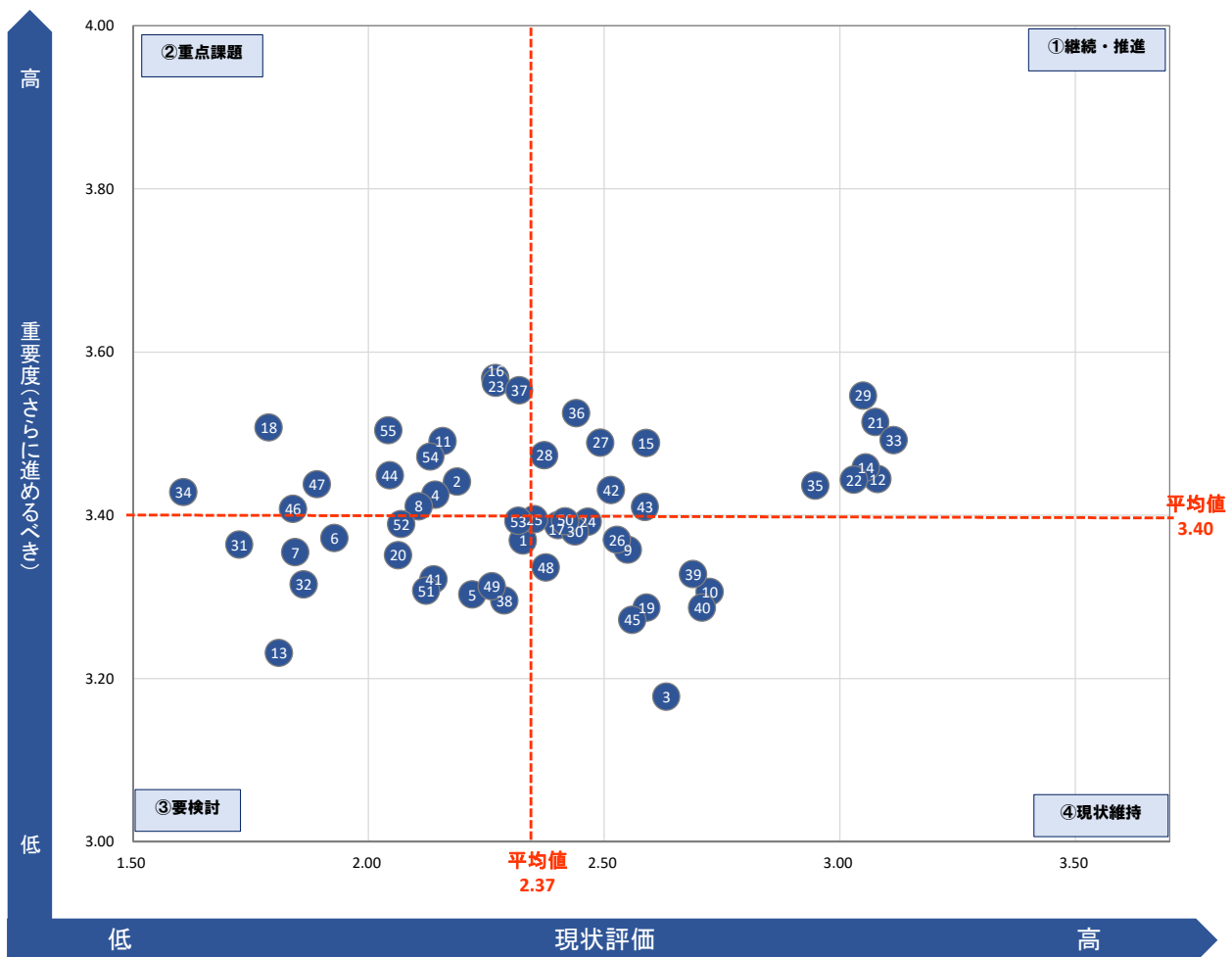
全体の平均点以上



(カ)50代の現状評価と重要度

- ・50代では、「重点課題」に14項目が該当した。
- ・主な重点課題のうち「③遊休荒廃農地が少なくなっている」の現状評価が低くなっている。また、「⑩ポイ捨て、不法投棄が少ないまちである」の重要度（さらに進めるべき施策）が最も高く、「②地域において、地震や大雨などへの備えができて」「子どもたちが望んだ教育を受けるための経済的な支援体制が整っている」が続く。
- ・「④住民と行政がパートナーとして連携している」や「⑥効果的で効率的な行政運営が図られている」など行政改革やまちづくりの分野を重点課題としている者も多い。

図表 122 【50代】現状評価と重要度



まちづくりの柱	番号	項目	現在の信濃町の状況	さらに進めるべきか
みんなが健康で安心して暮らせるまちづくり	1	健康づくりに取り組みやすい環境が整っている	2.33	3.37
	2	必要な医療サービスを受けられる体制が整っている	2.19	3.44
	3	ご近所で、支え合い、助け合える関係が築かれている	2.63	3.18
	4	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる環境が整っている	2.14	3.43
	5	高齢者が知識や経験をいかして、生きがいを感じ、豊かに暮らせる環境が整っている	2.22	3.30
	6	障がいのある人が安心して生活できる地域である	1.93	3.37
	7	障がいのある人が社会参加できる環境が整っている	1.84	3.35
	8	生活に困った時に相談できる体制がある	2.11	3.41
	9	子どもが安全に楽しく過ごせる環境が整っている	2.55	3.36
	10	保育サービスが充実している	2.72	3.31
	11	経済的に困っていても子育てしていける環境が整っている	2.16	3.49
おくれる安全な生活を	12	湖沼、河川、山林などにおいて豊かな自然環境が保たれている	3.08	3.44
	13	身のまわりにおいて、太陽光発電や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える取組が日常的に行われている	1.81	3.23
	14	自然、田園環境に溶け込んだ美しいまちなみである	3.06	3.46
	15	身のまわりにおいて、ごみの発生を減らす取組が日常的に行われている	2.59	3.49
	16	ポイ捨て、不法投棄が少ないまちである	2.27	3.57
	17	道路網が整備され、快適に移動ができる環境が整っている	2.40	3.39
	18	公共交通により、日常生活に必要な移動ができる環境が整っている	1.79	3.51
	19	HP やSNS などにより、行政情報を取得する環境が整っている	2.59	3.29
	20	公園・緑地等が整備され、良好な生活環境が整っている	2.06	3.35
	21	地域において、除排雪の体制が整っている	3.08	3.51
	22	地域において、消防・救急の体制が十分に整っている	3.03	3.44
	23	地域において、地震や大雨などへの備えができています	2.27	3.56
	24	地域において、防犯の取り組みが行われている	2.47	3.39
	25	消費者被害の防止に向けた情報提供が行われている	2.35	3.40
	26	交通安全に向けた体制が構築されている	2.53	3.37
地域の環境をまじりながら	27	四季を通じて観光客が訪れている	2.49	3.49
	28	幅広い世代に喜ばれる観光地がある	2.37	3.47
	29	信濃町には、知人、友人に紹介したい特産品、名物がある	3.05	3.55
	30	日用品を購入できる商店がある	2.44	3.38
	31	町内に住みながら、働きたい仕事をみつけられる	1.73	3.36
	32	起業しやすい環境が整っている	1.86	3.32
	33	安全で質の高い農産物が生産されている地域である	3.11	3.49
	34	遊休荒廃農地が少なくなっている	1.61	3.43
	35	森に親しみや癒やしが感じられる地域である	2.95	3.44
全国に誇れる教育・文化のまちづくり	36	子どもたちが生きていくために必要な力(確かな学力、健康・体力、豊かな人間性)を身につける教育が行われている	2.44	3.53
	37	子どもたちが望んだ教育を受けるための経済的な支援体制が整っている	2.32	3.55
	38	文化・芸術活動に気軽に参加できる地域である	2.29	3.30
	39	地域の文化財や伝統行事が適切に保存・継承・活用されている地域である	2.69	3.33
	40	公民館などで学びの機会が提供されている	2.71	3.29
	41	世代間の交流によりお互いに学び合える機会が提供されている	2.14	3.32
	42	地域において子どもたちの健やかな成長を手助けしている	2.52	3.43
	43	スポーツや運動を気軽にできる環境が整っている	2.59	3.41
住みたい・住み続けたい住民全体のまちづくり	44	住民と行政がパートナーとして連携している	2.05	3.45
	45	地域住民によるコミュニティ活動が行われている	2.56	3.27
	46	次世代を担う若者が育つ地域である	1.84	3.41
	47	若者が積極的にまちづくりに参加している地域である	1.89	3.44
	48	性別の違いによる不平等を感じる地域ではない	2.38	3.34
	49	互いの個性や立場を尊重し合える地域である	2.26	3.31
	50	国際交流が盛んに行われている地域である	2.42	3.39
	51	他市町村との交流を盛んに行っている地域である	2.12	3.31
	52	近隣市町村と連携した効率的な行政運営が取り組まれている	2.07	3.39
	53	町政の情報が入手しやすい地域である	2.32	3.39
	54	住民の声が町政に届けやすい地域である	2.13	3.47
	55	効果的で効率的な行政運営が図られている	2.04	3.50

…②重要課題に該当する施策

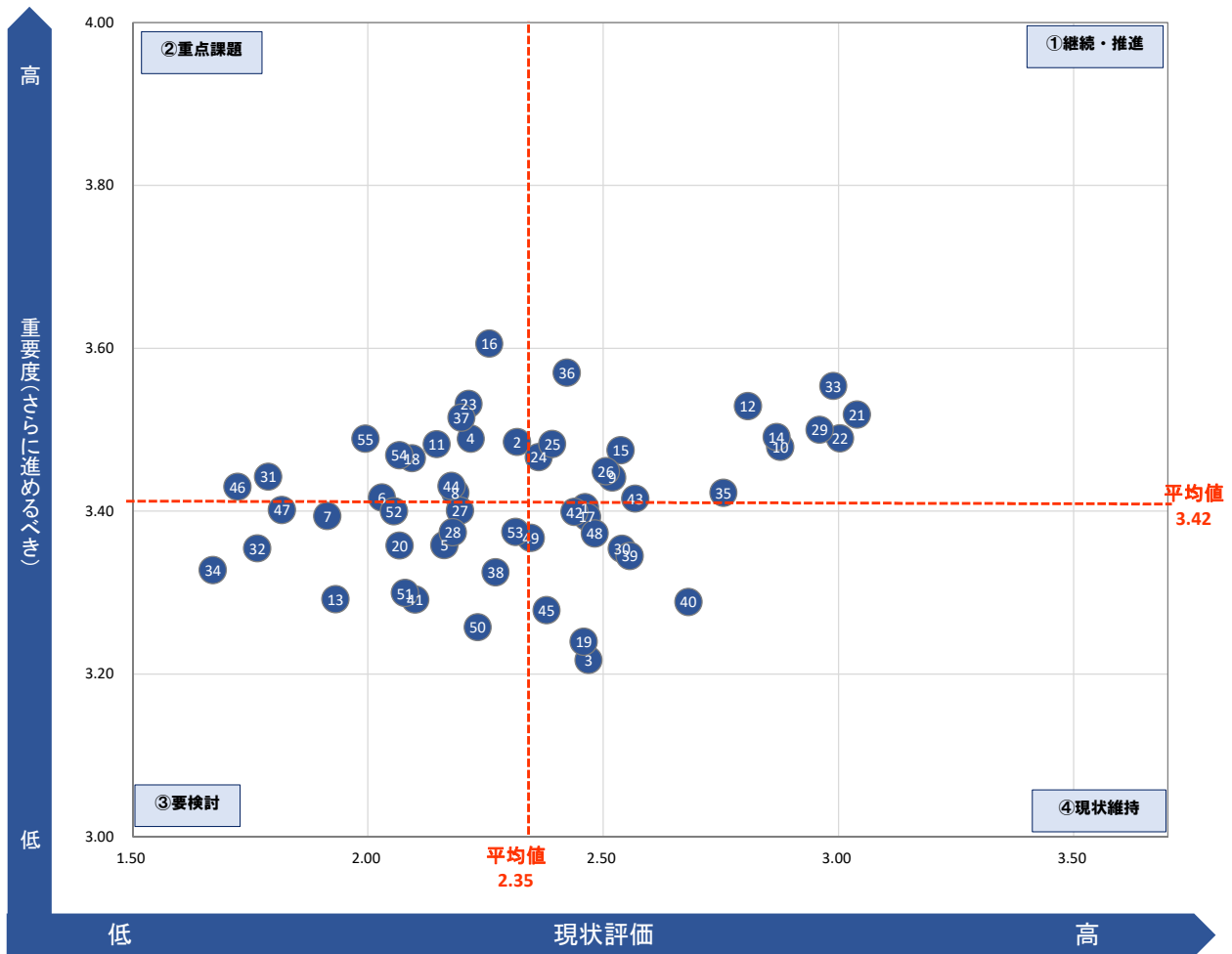
全体の平均点未満

全体の平均点以上

(キ) 60代の現状評価と重要度

- ・60代では、「重点課題」に11項目が該当した。
- ・主な重点課題のうち「④6次世代を担う若者が育つ地域である」「③1町内に住みながら、働きたい仕事をみつけられる」の現状評価が低くなっている。
- ・「②必要な医療サービスを受けられる体制が整っている」「④高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる環境が整っている」などの医療・福祉分野や「⑧公共交通により、日常生活に必要な移動ができる環境が整っている」が重点課題に該当している。

図表 123 【60代以上】現状評価と重要度



まちづくりの柱	番号	項目	現在の信濃町の状況	さらに進めるべきか
みんなが健康で安心して暮らせるまちづくり	1	健康づくりに取り組みやすい環境が整っている	2.46	3.40
	2	必要な医療サービスを受けられる体制が整っている	2.32	3.49
	3	ご近所で、支え合い、助け合える関係が築かれている	2.47	3.22
	4	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる環境が整っている	2.22	3.49
	5	高齢者が知識や経験をいかして、生きがいを感じ、豊かに暮らせる環境が整っている	2.16	3.36
	6	障がいのある人が安心して生活できる地域である	2.03	3.42
	7	障がいのある人が社会参加できる環境が整っている	1.91	3.39
	8	生活に困った時に相談できる体制がある	2.19	3.42
	9	子どもが安全に楽しく過ごせる環境が整っている	2.52	3.44
	10	保育サービスが充実している	2.88	3.48
	11	経済的に困っていても子育てしていける環境が整っている	2.15	3.48
安心安全な生活を おくれるまちづくり	12	湖沼、河川、山林などにおいて豊かな自然環境が保たれている	2.81	3.53
	13	身のまわりにおいて、太陽光発電や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える取組が日常的に行われている	1.93	3.29
	14	自然、田園環境に溶け込んだ美しいまちなみである	2.87	3.49
	15	身のまわりにおいて、ごみの発生を減らす取組が日常的に行われている	2.54	3.48
	16	ポイ捨て、不法投棄が少ないまちである	2.26	3.61
	17	道路網が整備され、快適に移動ができる環境が整っている	2.47	3.39
	18	公共交通により、日常生活に必要な移動ができる環境が整っている	2.09	3.46
	19	HP やSNS などにより、行政情報を取得する環境が整っている	2.46	3.24
	20	公園・緑地等が整備され、良好な生活環境が整っている	2.07	3.36
	21	地域において、除排雪の体制が整っている	3.04	3.52
	22	地域において、消防・救急の体制が十分に整っている	3.00	3.49
	23	地域において、地震や大雨などへの備えができています	2.21	3.53
	24	地域において、防犯の取り組みが行われている	2.36	3.47
	25	消費者被害の防止に向けた情報提供が行われている	2.39	3.48
	26	交通安全に向けた体制が構築されている	2.51	3.45
地域の環境を まちづくり に活かした	27	四季を通じて観光客が訪れている	2.20	3.40
	28	幅広い世代に喜ばれる観光地がある	2.18	3.37
	29	信濃町には、知人、友人に紹介したい特産品、名物がある	2.96	3.50
	30	日用品を購入できる商店がある	2.54	3.35
	31	町内に住みながら、働きたい仕事をみつけられる	1.79	3.44
	32	起業しやすい環境が整っている	1.77	3.35
	33	安全で質の高い農産物が生産されている地域である	2.99	3.55
	34	遊休荒廃農地が少なくなっている	1.67	3.33
	35	森に親しみや癒やしが感じられる地域である	2.76	3.42
全国に誇れる 文化のまちづくり	36	子どもたちが生きていくために必要な力(確かな学力、健康・体力、豊かな人間性)を身につける教育が行われている	2.42	3.57
	37	子どもたちが望んだ教育を受けるための経済的な支援体制が整っている	2.20	3.52
	38	文化・芸術活動に気軽に参加できる地域である	2.27	3.33
	39	地域の文化財や伝統行事が適切に保存・継承・活用されている地域である	2.56	3.34
	40	公民館などで学びの機会が提供されている	2.68	3.29
	41	世代間の交流によりお互いに学び合える機会が提供されている	2.10	3.29
	42	地域において子どもたちの健やかな成長を手助けしている	2.44	3.40
	43	スポーツや運動を気軽にできる環境が整っている	2.57	3.42
住みたい・住み続けたい 住民全体のまちづくり	44	住民と行政がパートナーとして連携している	2.18	3.43
	45	地域住民によるコミュニティ活動が行われている	2.38	3.28
	46	次世代を担う若者が育つ地域である	1.72	3.43
	47	若者が積極的にまちづくりに参加している地域である	1.82	3.40
	48	性別の違いによる不平等を感じることはない地域である	2.48	3.37
	49	互いの個性や立場を尊重し合える地域である	2.35	3.37
	50	国際交流が盛んに行われている地域である	2.23	3.26
	51	他市町村との交流を盛んに行っている地域である	2.08	3.30
	52	近隣市町村と連携した効率的な行政運営が取り組まれている	2.06	3.40
	53	町政の情報が入手しやすい地域である	2.31	3.37
	54	住民の声が町政に届けやすい地域である	2.07	3.47
	55	効果的で効率的な行政運営が図られている	1.99	3.49

…②重要課題に該当する施策

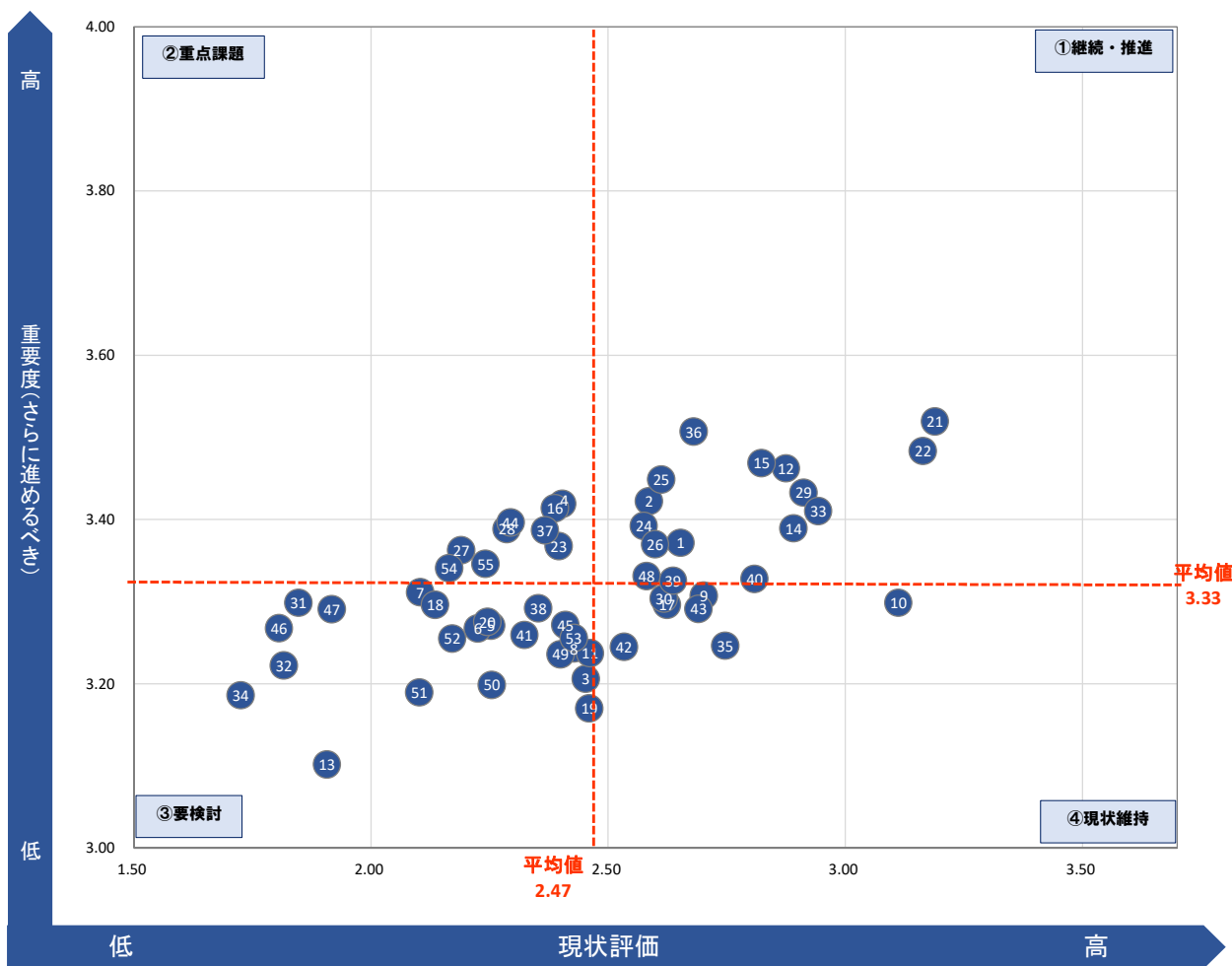
全体の平均点未満

全体の平均点以上

(ク)70代以上の現状評価と重要度

- ・70代以上では、「重点課題」に9項目が該当しており、他の年代に比べて重点課題に該当する項目が少なくなっている。
- ・主な重点課題のうち、「④高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる環境が整っている」「⑩ポイ捨て、不法投棄が少ないまちである」の重要度（さらに進めるべき施策）が高い。
- ・「重点課題」に該当する項目よりも「要検討」に該当する「遊休荒廃農地が少なくなっている」「起業しやすい環境が整っている」「次世代を担う若者が育つ地域である」等の現状評価が低い。

図表 124 【70代以上】現状評価と重要度



まちづくりの柱	番号	項目	現在の信濃町の状況	さらに進めるべきか
みんなが健康で安心して暮らせるまちづくり	1	健康づくりに取り組みやすい環境が整っている	2.65	3.37
	2	必要な医療サービスを受けられる体制が整っている	2.59	3.42
	3	ご近所で、支え合い、助け合える関係が築かれている	2.45	3.21
	4	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる環境が整っている	2.40	3.42
	5	高齢者が知識や経験をいかして、生きがいを感じ、豊かに暮らせる環境が整っている	2.25	3.27
	6	障がいのある人が安心して生活できる地域である	2.23	3.27
	7	障がいのある人が社会参加できる環境が整っている	2.10	3.31
	8	生活に困った時に相談できる体制がある	2.43	3.24
	9	子どもが安全に楽しく過ごせる環境が整っている	2.70	3.31
	10	保育サービスが充実している	3.11	3.30
	11	経済的に困っていても子育てしていける環境が整っている	2.46	3.24
安心安全な生活を おくれるまちづくり	12	湖沼、河川、山林などにおいて豊かな自然環境が保たれている	2.88	3.46
	13	身のまわりにおいて、太陽光発電や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える取組が日常的に行われている	1.91	3.10
	14	自然、田園環境に溶け込んだ美しいまちなみである	2.89	3.39
	15	身のまわりにおいて、ごみの発生を減らす取組が日常的に行われている	2.82	3.47
	16	ポイ捨て、不法投棄が少ないまちである	2.39	3.41
	17	道路網が整備され、快適に移動ができる環境が整っている	2.62	3.30
	18	公共交通により、日常生活に必要な移動ができる環境が整っている	2.14	3.30
	19	HP やSNS などにより、行政情報を取得する環境が整っている	2.46	3.17
	20	公園・緑地等が整備され、良好な生活環境が整っている	2.25	3.28
	21	地域において、除排雪の体制が整っている	3.19	3.52
	22	地域において、消防・救急の体制が十分に整っている	3.16	3.48
	23	地域において、地震や大雨などへの備えができています	2.40	3.37
	24	地域において、防犯の取り組みが行われている	2.58	3.39
	25	消費者被害の防止に向けた情報提供が行われている	2.61	3.45
	26	交通安全に向けた体制が構築されている	2.60	3.37
地域の環境を まちづくり に活かした	27	四季を通じて観光客が訪れている	2.19	3.36
	28	幅広い世代に喜ばれる観光地がある	2.29	3.39
	29	信濃町には、知人、友人に紹介したい特産品、名物がある	2.91	3.43
	30	日用品を購入できる商店がある	2.62	3.30
	31	町内に住みながら、働きたい仕事をみつけられる	1.85	3.30
	32	起業しやすい環境が整っている	1.82	3.22
	33	安全で質の高い農産物が生産されている地域である	2.94	3.41
	34	遊休荒廃農地が少なくなっている	1.73	3.19
	35	森に親しみや癒やしが感じられる地域である	2.75	3.25
全国に誇れる 文化のまちづくり	36	子どもたちが生きていくために必要な力(確かな学力、健康・体力、豊かな人間性)を身につける教育が行われている	2.68	3.51
	37	子どもたちが望んだ教育を受けるための経済的な支援体制が整っている	2.37	3.39
	38	文化・芸術活動に気軽に参加できる地域である	2.35	3.29
	39	地域の文化財や伝統行事が適切に保存・継承・活用されている地域である	2.64	3.33
	40	公民館などで学びの機会が提供されている	2.81	3.33
	41	世代間の交流によりお互いに学び合える機会が提供されている	2.32	3.26
	42	地域において子どもたちの健やかな成長を手助けしている	2.53	3.25
	43	スポーツや運動を気軽にできる環境が整っている	2.69	3.29
住民全体的に 住みたい・住み続けたい まちづくり	44	住民と行政がパートナーとして連携している	2.29	3.40
	45	地域住民によるコミュニティ活動が行われている	2.41	3.27
	46	次世代を担う若者が育つ地域である	1.81	3.27
	47	若者が積極的にまちづくりに参加している地域である	1.92	3.29
	48	性別の違いによる不平等を感じる地域ではない	2.58	3.33
	49	互いの個性や立場を尊重し合える地域である	2.40	3.24
	50	国際交流が盛んに行われている地域である	2.26	3.20
	51	他市町村との交流を盛んに行っている地域である	2.10	3.19
	52	近隣市町村と連携した効率的な行政運営が取り組まれている	2.17	3.26
	53	町政の情報が入手しやすい地域である	2.43	3.26
	54	住民の声が町政に届けやすい地域である	2.16	3.34
	55	効果的で効率的な行政運営が図られている	2.24	3.35

…②重要課題に該当する施策

全体の平均点未満

全体の平均点以上

## (2) 住民の行動と今後意向に関する分析

### ① 全体の傾向

#### (ア) 現在の住民の取組状況

- ・下表は現在の住民の行動（取組状況）の平均点を一覧にしたものである。
- ・「家の周りの除雪をしている」が最も高い項目であり、次いで、「自動車の運転マナーを意識している」「ごみの分別を徹底し、リサイクルに取り組んでいる」となっている。これらの項目は3.0点を超えている。

図表 125 現在の住民の行動

項目		平均点	
しみながら暮らせる健康まちづくり	1	健康づくりに継続的に取り組んでいる	2.61
	2	ご近所同士で交流し、困った時に助け合える関係を築いている	2.58
	3	ご近所の高齢者を温かく見守り、必要な時には手助けしている	2.56
	4	自分の経験や知識をいかして社会に参加している	2.15
	5	障がいのある人が必要としているときに手助けをしている	2.27
	6	ご近所の子どもをあたたく見守り、必要に応じてサポートしている	2.33
	7	地域で子どもの健全育成に携わっている	1.85
項目		平均点	
安心安全な生活をおくれるまちづくり	8	自然について学び触れ合うなど、自然環境保全を意識している	2.39
	9	太陽光利用や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える暮らしをしている	2.03
	10	家のまわりの手入れを行うなど、景観保全を心がけている	2.90
	11	簡易包装されたものを選択して買うなど、ごみの発生を減らしている	2.74
	12	ごみの分別を徹底し、リサイクルに取り組んでいる	3.30
	13	公共交通を積極的に利用している	1.81
	14	家の周りの除雪をしている	3.40
	15	自主防災活動に参加している	2.10
16	自動車の運転マナーを意識している	3.38	
項目		平均点	
の活かし地域環境をまちづくり	17	町外の知人や友人などに地域の四季の魅力を伝えている	2.59
	18	観光客に快く対応している	2.73
	19	食材や日用品は町内のお店で購入するようにしている	2.46
	20	地元産の農作物を意識的に食べている	2.96
項目		平均点	
全国に誇れる教育・文化	21	文化・芸術に参加したり、鑑賞したりしている	2.07
	22	地域の伝統的な行事に参加している	2.32
	23	公民館などで提供されている学びの場に参加している	1.76
	24	積極的に世代間交流をしている	1.94
	25	地域・学校と連携した教育活動に参加している	1.73
	26	地域の子どもたちにあいさつや声かけをしている	2.84
	27	日ごろ、スポーツや運動を行っている	2.19
項目		平均点	
けなしたい住民全体のまちづくり	28	まちをよくするアイデアを考えている	2.03
	29	行政と協力したまちづくり活動に積極的に参加している	1.75
	30	組、自治会などのまちづくり活動に積極的に参加している	2.17
	31	国際交流イベントに参加している	1.33
	32	他市町村との交流イベントに参加している	1.43

(イ) 今後の取組意向

- ・下表は、住民の「さらに取組みたい」と回答した割合（今後の取組意向）を一覧にしたものである。
- ・「ごみの分別を徹底し、リサイクルに取り組んでいる」の割合が最も高く、次いで、「自動車の運転マナーを意識している」「簡易包装されたものを選択して買うなど、ごみの発生を減らしている」となっている。これらの項目は50%を超えている。
- ・「さらに取組みたい」と回答した割合が低い項目は「他市町村との交流イベントに参加している」「国際交流イベントに参加している」である。これらは10%台にとどまっている。

図表 126 住民の今後の取組意向

項目			「さらに取組みたい」割合
しみんが暮らさる健康でまち安づくり	1	健康づくりに継続的に取り組んでいる	44.5
	2	ご近所同士で交流し、困った時に助け合える関係を築いている	41.0
	3	ご近所の高齢者を温かく見守り、必要な時には手助けしている	42.9
	4	自分の経験や知識をいかして社会に参加している	32.9
	5	障がいのある人が必要としているときに手助けをしている	40.0
	6	ご近所の子どもをあたたく見守り、必要に応じてサポートしている	38.4
	7	地域で子どもの健全育成に携わっている	29.9
項目			「さらに取組みたい」割合
安心安全なまちづくり	8	自然について学び触れ合うなど、自然環境保全を意識している	35.4
	9	太陽光利用や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える暮らしをしている	35.1
	10	家のまわりの手入れを行うなど、景観保全を心がけている	47.9
	11	簡易包装されたものを選択して買うなど、ごみの発生を減らしている	51.1
	12	ごみの分別を徹底し、リサイクルに取り組んでいる	57.7
	13	公共交通を積極的に利用している	23.4
	14	家の周りの除雪をしている	41.7
	15	自主防災活動に参加している	30.5
16	自動車の運転マナーを意識している	52.1	
項目			「さらに取組みたい」割合
地域の魅力を活かした環境づくり	17	町外の知人や友人などに地域の四季の魅力を伝えている	36.7
	18	観光客に快く対応している	36.5
	19	食材や日用品は町内のお店で購入するようにしている	26.6
	20	地元産の農作物を意識的に食べている	42.2
項目			「さらに取組みたい」割合
全国に誇れる教育・文化	21	文化・芸術に参加したり、鑑賞したりしている	25.1
	22	地域の伝統的な行事に参加している	25.0
	23	公民館などで提供されている学びの場に参加している	20.6
	24	積極的に世代間交流をしている	22.2
	25	地域・学校と連携した教育活動に参加している	21.8
	26	地域の子どもたちにあいさつや声かけをしている	39.7
	27	日ごろ、スポーツや運動を行っている	36.8
項目			「さらに取組みたい」割合
住みたい住み続けたい住民全体のまちづくり	28	まちをよくするアイデアを考えている	31.0
	29	行政と協力したまちづくり活動に積極的に参加している	24.6
	30	組、自治会などのまちづくり活動に積極的に参加している	24.7
	31	国際交流イベントに参加している	16.4
	32	他市町村との交流イベントに参加している	16.3



### (ウ) 現在の取組状況と今後の取組意向

次の図は、各施策に関連する住民の行動について、現在の取組状況（横軸）の平均点と今後の取組意向（「さらに取り組みたいと回答した割合」）（縦軸）を散布図にしたものである。

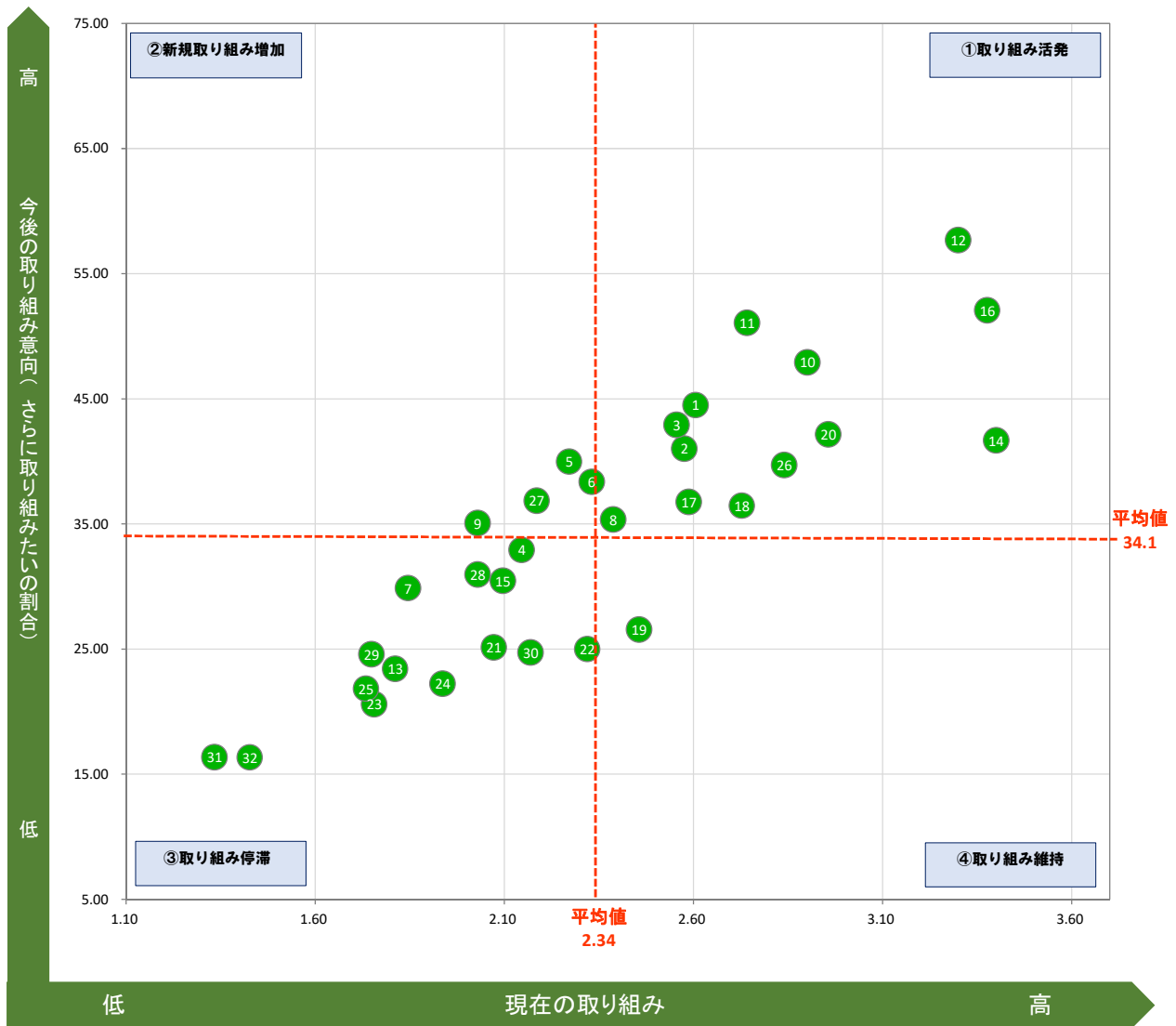
項目ごとの平均点を全体の平均点、取組意向によって、下表の4つのグループに分類した。

なお、全体の平均は、現在の取組状況が2.34点、今後の取組意向は34.1%であった。

象限	グループ	現在の取組状況	今後の取組意向	今後の方向性
第1象限	取り組み活発	平均点以上	平均点以上	住民が取り組みを進めている。後押しをすることでさらに取り組みは進むと考えられる。
第2象限	新規取り組み増加	平均点未満	平均点以上	現在は取り組んでいないが、今後取り組みたい住民が多い。支援体制を整えることにより、取り組みが増える可能性がある。
第3象限	取り組み停滞	平均点未満	平均点未満	住民の取り組みは進まない可能性が高く、住民の行動変容や協働が重要である施策は、さらに働きかけを行うことが必要である。
第4象限	取り組み維持	平均点以上	平均点未満	すでに取り組みが行われている。現在の取り組みが継続的に行われるような後押しが必要である。

- ・「取り組み活発」には「⑫ごみの分別を徹底し、リサイクルに取り組んでいる」「⑭家の周りの除雪をしている」「⑯自動車の運転マナーを意識している」等が該当している。
- ・「新規取り組み増加」には「⑤障がいのある人が必要としているときに手助けをしている」「⑥ご近所の子どもをあたたかく見守り、必要に応じてサポートしている」「⑨太陽光利用や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える暮らしをしている」「⑳日ごろ、スポーツや運動を行っている」の5項目が該当しており、取組増加に向けた支援が必要である。
- ・「取り組み停滞」に該当している項目のうち「⑳国際交流イベントに参加している」「㉑他市町村との交流イベントに参加している」は特に現在の取組も今後の取組意向も低くなっている。
- ・「取り組み維持」には「⑲食材や日用品は町内のお店で購入するようにしている」のみ該当している。

図表 127 現在の取組状況と今後の取組意向



まちづくりの柱	番号	項目	現在の取組平均点	「さらに取り組みたい」割合
しみてみんなが暮らせる健康でまち安づく心	1	健康づくりに継続的に取り組んでいる	2.61	44.50
	2	ご近所同士で交流し、困った時に助け合える関係を築いている	2.58	41.01
	3	ご近所の高齢者を温かく見守り、必要な時には手助けしている	2.56	42.92
	4	自分の経験や知識をいかして社会に参加している	2.15	32.92
	5	障がいのある人が必要としているときに手助けをしている	2.27	39.98
	6	ご近所の子どもをあたたく見守り、必要に応じてサポートしている	2.33	38.37
	7	地域で子どもの健全育成に携わっている	1.85	29.86
安心安全な生活をおくれるまちづくり	8	自然について学び触れ合うなど、自然環境保全を意識している	2.39	35.36
	9	太陽光利用や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える暮らしをしている	2.03	35.08
	10	家のまわりの手入れを行うなど、景観保全を心がけている	2.90	47.92
	11	簡易包装されたものを選択して買うなど、ごみの発生を減らしている	2.74	51.06
	12	ごみの分別を徹底し、リサイクルに取り組んでいる	3.30	57.68
	13	公共交通を積極的に利用している	1.81	23.42
	14	家の周りの除雪をしている	3.40	41.68
	15	自主防災活動に参加している	2.10	30.45
地域の環境を 活かしたまちづくり	16	自動車の運転マナーを意識している	3.38	52.07
	17	町外の知人や友人などに地域の四季の魅力を伝えている	2.59	36.75
	18	観光客に快く対応している	2.73	36.46
	19	食材や日用品は町内のお店で購入するようにしている	2.46	26.57
全国に誇れる教育・文化のまちづくり	20	地元産の農作物を意識的に食べている	2.96	42.16
	21	文化・芸術に参加したり、鑑賞したりしている	2.07	25.13
	22	地域の伝統的な行事に参加している	2.32	25.00
	23	公民館などで提供されている学びの場に参加している	1.76	20.60
	24	積極的に世代間交流をしている	1.94	22.22
	25	地域・学校と連携した教育活動に参加している	1.73	21.84
	26	地域の子どもたちにあいさつや声かけをしている	2.84	39.70
	27	日ごろ、スポーツや運動を行っている	2.19	36.85
住みたい住み続けたい住民全体の続	28	まちをよくするアイデアを考えている	2.03	30.97
	29	行政と協力したまちづくり活動に積極的に参加している	1.75	24.59
	30	組、自治会などのまちづくり活動に積極的に参加している	2.17	24.72
	31	国際交流イベントに参加している	1.33	16.36
	32	他市町村との交流イベントに参加している	1.43	16.35
		・・・②新規取り組み増加に該当する項目	全体の平均点未満	全体の平均点以上

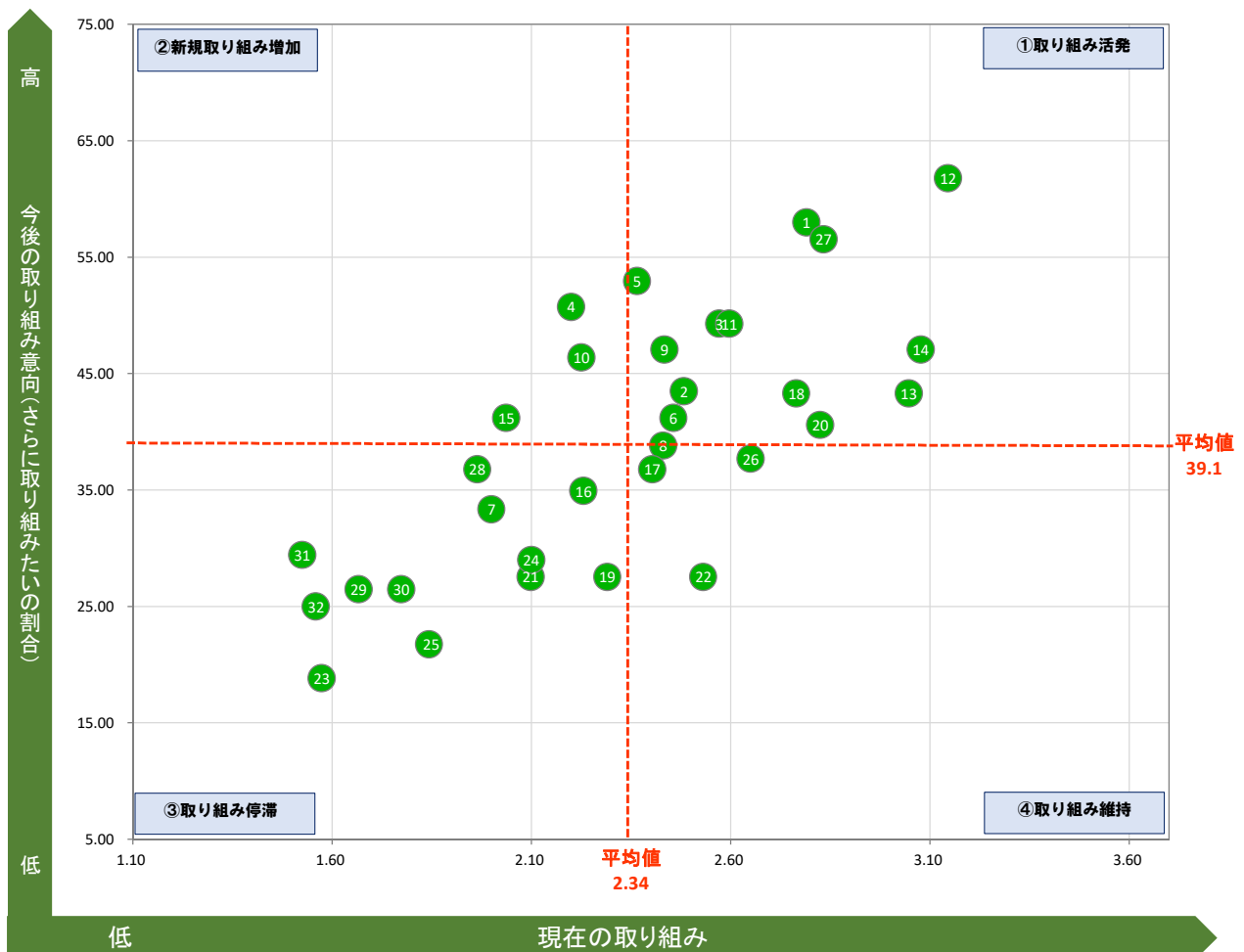
## ② 年代別の傾向

以下に、年代ごとの現在の取組状況と今後の取組意向を示す。

### (ア) 15～18 歳の現在の取組状況と今後の取組意向

- ・ 15～18 歳では、取組状況の平均点は他の年代より低い、今後の取組意向は他の年代より高い。
- ・ 「新規取組み増加」に該当する項目は、「④自分の経験や知識をいかして社会に参加している」「⑩家のまわりの手入れを行うなど、景観保全を心かけている」「⑮自主防災活動に参加している」の3項目であり、今後の取組の増加に向けた支援が必要である。
- ・ 「取組み停滞」には、「⑳まちをよくするアイデアを考えている」「㉑行政と協力したまちづくり活動に積極的に参加している」などの住民主体のまちづくりに関する項目が含まれている。

図表 128 【15～18 歳】現在の取組状況と今後の取組意向

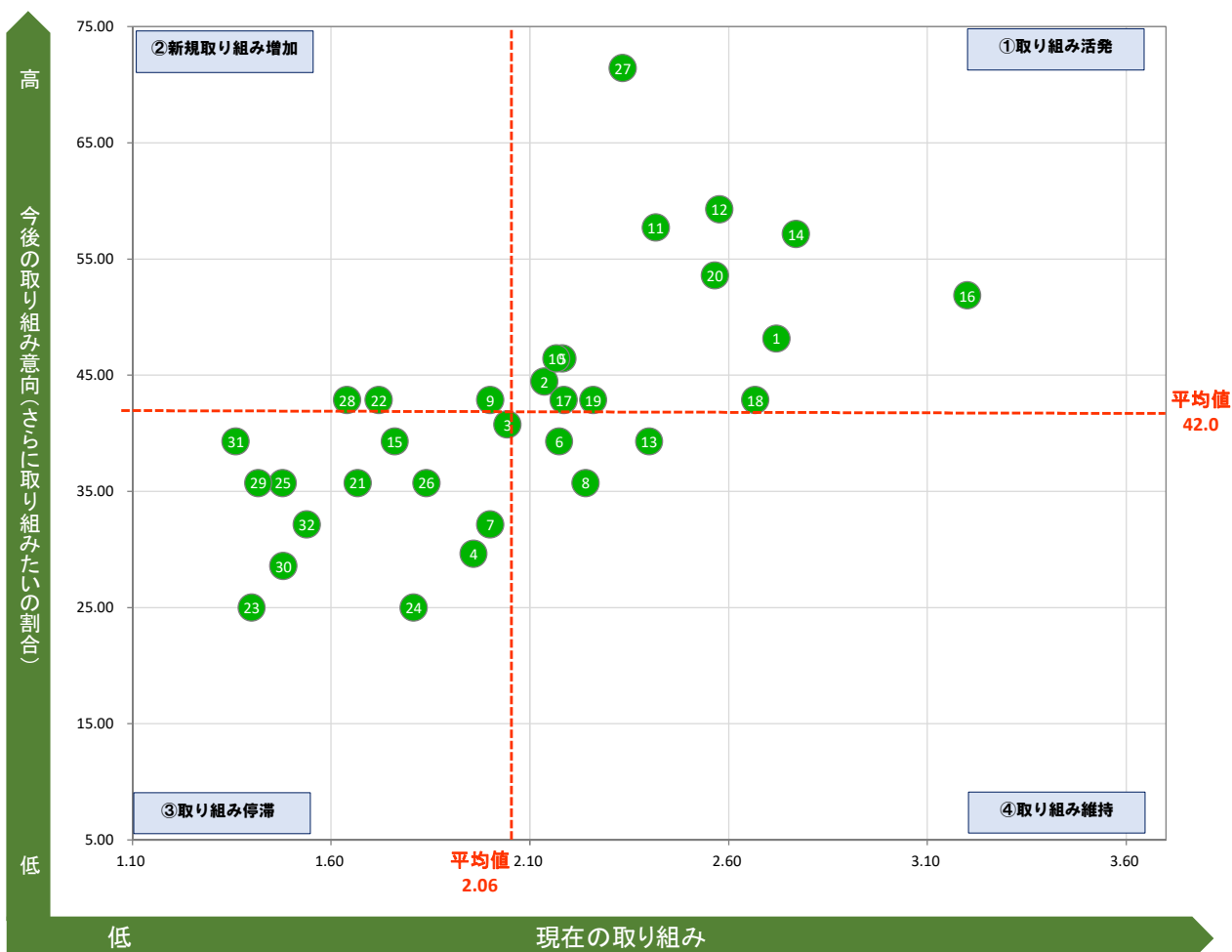


まちづくりの柱	番号	項目	現在の取組平均点	「さらに取組みたい」割合
心み しん な が ち づ く り せ ら れ る ま ち づ く り	1	健康づくりに継続的に取り組んでいる	2.79	57.97
	2	ご近所同士で交流し、困った時に助け合える関係を築いている	2.48	43.48
	3	ご近所の高齢者を温かく見守り、必要な時には手助けしている	2.57	49.28
	4	自分の経験や知識をいかして社会に参加している	2.20	50.72
	5	障がいのある人が必要としているときに手助けをしている	2.37	52.94
	6	ご近所の子どもをあたたかく見守り、必要に応じてサポートしている	2.46	41.18
	7	地域で子どもの健全育成に携わっている	2.00	33.33
安 心 な ま ち づ く り	8	自然について学び触れ合うなど、自然環境保全を意識している	2.43	38.81
	9	太陽光利用や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える暮らしをしている	2.43	47.06
	10	家のまわりの手入れを行うなど、景観保全を心がけている	2.23	46.38
	11	簡易包装されたものを選択して買うなど、ごみの発生を減らしている	2.60	49.28
	12	ごみの分別を徹底し、リサイクルに取り組んでいる	3.15	61.76
	13	公共交通を積極的に利用している	3.05	43.28
	14	家の周りの除雪をしている	3.08	47.06
	15	自主防災活動に参加している	2.04	41.18
	16	自動車の運転マナーを意識している	2.23	34.92
地 域 の 環 境 を ま ち づ く り に つ な げ る	17	町外の知人や友人などに地域の四季の魅力を伝えている	2.40	36.76
	18	観光客に快く対応している	2.76	43.28
	19	食材や日用品は町内のお店で購入するようにしている	2.29	27.54
	20	地元産の農作物を意識的に食べている	2.82	40.58
全 国 に 誇 れ る ま ち づ く り	21	文化・芸術に参加したり、鑑賞したりしている	2.10	27.54
	22	地域の伝統的な行事に参加している	2.53	27.54
	23	公民館などで提供されている学びの場に参加している	1.57	18.84
	24	積極的に世代間交流をしている	2.10	28.99
	25	地域・学校と連携した教育活動に参加している	1.84	21.74
	26	地域の子どもたちにあいさつや声かけをしている	2.65	37.68
	27	日ごろ、スポーツや運動を行っている	2.83	56.52
住 民 の ま ち づ く り	28	まちをよくするアイデアを考えている	1.96	36.76
	29	行政と協力したまちづくり活動に積極的に参加している	1.67	26.47
	30	組、自治会などのまちづくり活動に積極的に参加している	1.77	26.47
	31	国際交流イベントに参加している	1.53	29.41
	32	他市町村との交流イベントに参加している	1.56	25.00
		・・・②新規取り組み増加に該当する項目	全体の平均点未満	全体の平均点以上

(イ) 19～24 歳の現在の取組状況と今後の取組意向

- ・ 19 歳～24 歳では、「27 日ごろ、スポーツや運動を行っている」の今後の取組意向が非常に高くなっている。
- ・ 新規取組み増加に該当する項目は、「9 太陽光利用や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える暮らしをしている」「22 地域の伝統的な行事に参加している」「28 まちをよくするアイデアを考えている」である。
- ・ 取組み停滞に該当する項目には、「23 公民館などで提供されている学びの場に参加している」「24 積極的に世代間交流をしている」「29 地域・学校と連携した教育活動に参加している」などが含まれている。

図表 129 【19～24 歳】現在の取組状況と今後の取組意向

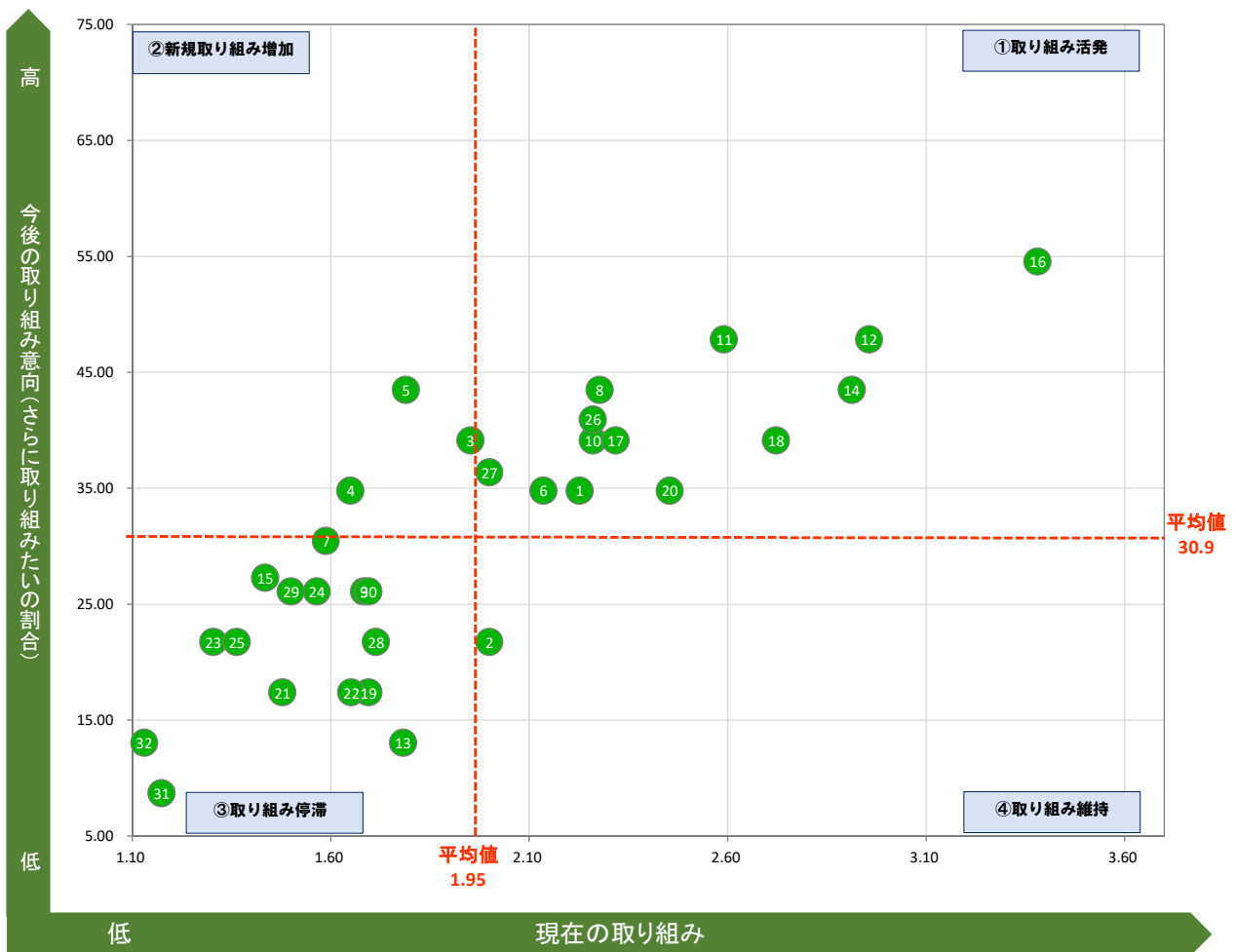


まちづくりの柱	番号	項目	現在の取組平均点	「さらに取り組みたい」割合
心み しん な が ち づ く ら せ ら れ る ま ち づ く り	1	健康づくりに継続的に取り組んでいる	2.72	48.15
	2	ご近所同士で交流し、困った時に助け合える関係を築いている	2.14	44.44
	3	ご近所の高齢者を温かく見守り、必要な時には手助けしている	2.04	40.74
	4	自分の経験や知識をいかして社会に参加している	1.96	29.63
	5	障がいのある人が必要としているときに手助けをしている	2.18	46.43
	6	ご近所の子どもをあたたかく見守り、必要に応じてサポートしている	2.17	39.29
	7	地域で子どもの健全育成に携わっている	2.00	32.14
安 心 な ま ち づ く り	8	自然について学び触れ合うなど、自然環境保全を意識している	2.24	35.71
	9	太陽光利用や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える暮らしをしている	2.00	42.86
	10	家のまわりの手入れを行うなど、景観保全を心がけている	2.17	46.43
	11	簡易包装されたものを選択して買うなど、ごみの発生を減らしている	2.42	57.69
	12	ごみの分別を徹底し、リサイクルに取り組んでいる	2.58	59.26
	13	公共交通を積極的に利用している	2.40	39.29
	14	家の周りの除雪をしている	2.77	57.14
	15	自主防災活動に参加している	1.76	39.29
	16	自動車の運転マナーを意識している	3.20	51.85
地 域 の 環 境 を 活 か し た ま ち づ く り	17	町外の知人や友人などに地域の四季の魅力を伝えている	2.19	42.86
	18	観光客に快く対応している	2.67	42.86
	19	食材や日用品は町内のお店で購入するようにしている	2.26	42.86
	20	地元産の農作物を意識的に食べている	2.57	53.57
全 国 に 誇 れ る ま ち づ く り ・ 文	21	文化・芸術に参加したり、鑑賞したりしている	1.67	35.71
	22	地域の伝統的な行事に参加している	1.72	42.86
	23	公民館などで提供されている学びの場に参加している	1.40	25.00
	24	積極的に世代間交流をしている	1.81	25.00
	25	地域・学校と連携した教育活動に参加している	1.48	35.71
	26	地域の子どもたちにあいさつや声かけをしている	1.84	35.71
	27	日ごろ、スポーツや運動を行っている	2.33	71.43
住 み た い に ま ち づ く り ・ 住 民 全 体	28	まちをよくするアイデアを考えている	1.64	42.86
	29	行政と協力したまちづくり活動に積極的に参加している	1.42	35.71
	30	組、自治会などのまちづくり活動に積極的に参加している	1.48	28.57
	31	国際交流イベントに参加している	1.36	39.29
	32	他市町村との交流イベントに参加している	1.54	32.14
		・・・②新規取り組み増加に該当する項目	全体の平均点未満	全体の平均点以上

(ウ)25～29 歳の現在の取組状況と今後の取組意向

- ・25～29 歳では、現在の取組の平均点が 1.95 点と最も低い。今後の取組意向も 2 番目に低くなっている。
- ・新規取り組み増加に該当する項目としては、「③ご近所の高齢者を温かく見守り、必要な時には手助けしている」「④自分の経験や知識をいかして社会に参加している」「⑤障がいのある人が必要としているときに手助けをしている」がある。身の回りで困っている高齢者、障がい者の手助けに組みたい意向がある。
- ・取り組み停滞に該当する項目である「⑩国際交流イベントに参加している」「⑫他市町村との交流イベントに参加している」は、現在の取組、今後の取組意向どちらも非常に低くなっている。

図表 130 【25～29 歳】現在の取組状況と今後の意向



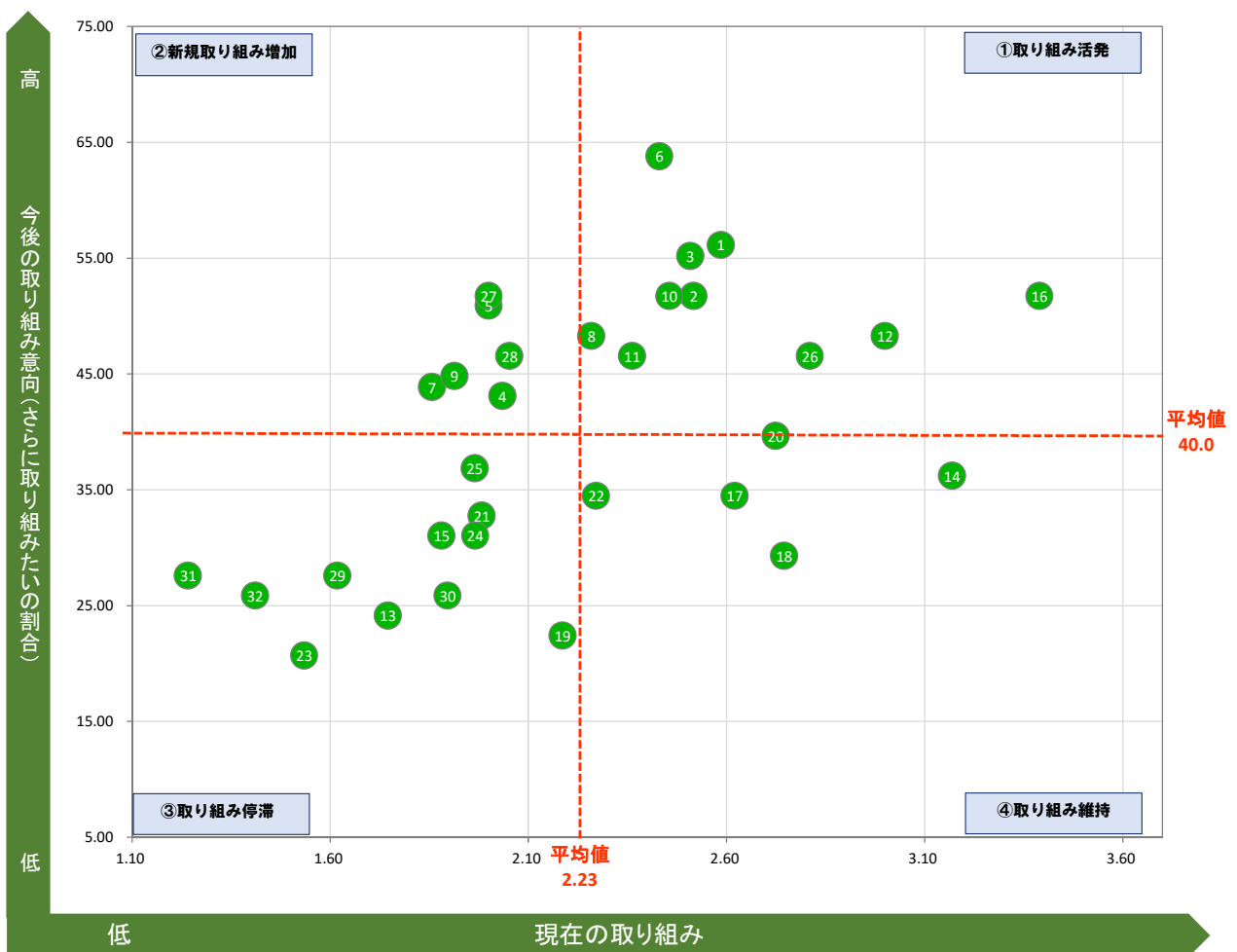


まちづくりの柱	番号	項目	現在の取組平均点	「さらに取組みたい」割合
心み しん な が ち づ く り せ ら れ る ま ち づ く り	1	健康づくりに継続的に取り組んでいる	2.23	34.78
	2	ご近所同士で交流し、困った時に助け合える関係を築いている	2.00	21.74
	3	ご近所の高齢者を温かく見守り、必要な時には手助けしている	1.95	39.13
	4	自分の経験や知識をいかして社会に参加している	1.65	34.78
	5	障がいのある人が必要としているときに手助けをしている	1.79	43.48
	6	ご近所の子どもをあたたかく見守り、必要に応じてサポートしている	2.14	34.78
	7	地域で子どもの健全育成に携わっている	1.59	30.43
安 心 な ま ち づ く り	8	自然について学び触れ合うなど、自然環境保全を意識している	2.28	43.48
	9	太陽光利用や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える暮らしをしている	1.68	26.09
	10	家のまわりの手入れを行うなど、景観保全を心がけている	2.26	39.13
	11	簡易包装されたものを選択して買うなど、ごみの発生を減らしている	2.59	47.83
	12	ごみの分別を徹底し、リサイクルに取り組んでいる	2.96	47.83
	13	公共交通を積極的に利用している	1.78	13.04
	14	家の周りの除雪をしている	2.91	43.48
	15	自主防災活動に参加している	1.43	27.27
	16	自動車の運転マナーを意識している	3.38	54.55
地 域 の 環 境 を ま ち づ く り	17	町外の知人や友人などに地域の四季の魅力を伝えている	2.32	39.13
	18	観光客に快く対応している	2.72	39.13
	19	食材や日用品は町内のお店で購入するようにしている	1.70	17.39
	20	地元産の農作物を意識的に食べている	2.45	34.78
全 国 に 誇 れ る ま ち づ く り	21	文化・芸術に参加したり、鑑賞したりしている	1.48	17.39
	22	地域の伝統的な行事に参加している	1.65	17.39
	23	公民館などで提供されている学びの場に参加している	1.30	21.74
	24	積極的に世代間交流をしている	1.57	26.09
	25	地域・学校と連携した教育活動に参加している	1.36	21.74
	26	地域の子どもたちにあいさつや声かけをしている	2.26	40.91
	27	日ごろ、スポーツや運動を行っている	2.00	36.36
住 民 の ま ち づ く り	28	まちをよくするアイデアを考えている	1.71	21.74
	29	行政と協力したまちづくり活動に積極的に参加している	1.50	26.09
	30	組、自治会などのまちづくり活動に積極的に参加している	1.70	26.09
	31	国際交流イベントに参加している	1.17	8.70
	32	他市町村との交流イベントに参加している	1.13	13.04
		・・・②新規取り組み増加に該当する項目	全体の平均点未満	全体の平均点以上

(エ)30代の現在の取組状況と今後の取組意向

- ・30代では、取り組み活発に該当する項目である「⑥ご近所の子どもをあたたかく見守り、必要に応じてサポートしている」の今後の取組意向が非常に高くなっている。
- ・「新規取り組み増加」には「②7日ごろ、スポーツや運動を行っている」「⑤障がいのある人が必要としているときに手助けをしている」「⑧まちをよくするアイデアを考えている」があがっている。
- ・25～29歳と同様に、「取り組み停滞」に該当する「⑩国際交流イベントに参加している」「⑫他市町村との交流イベントに参加している」は、現在の取組、今後の取組意向どちらも低くなっている。また、「公民館などで提供されている学びの場に参加している」も非常に低くなっている。

図表 131 【30代】現在の取組状況と今後の取組意向

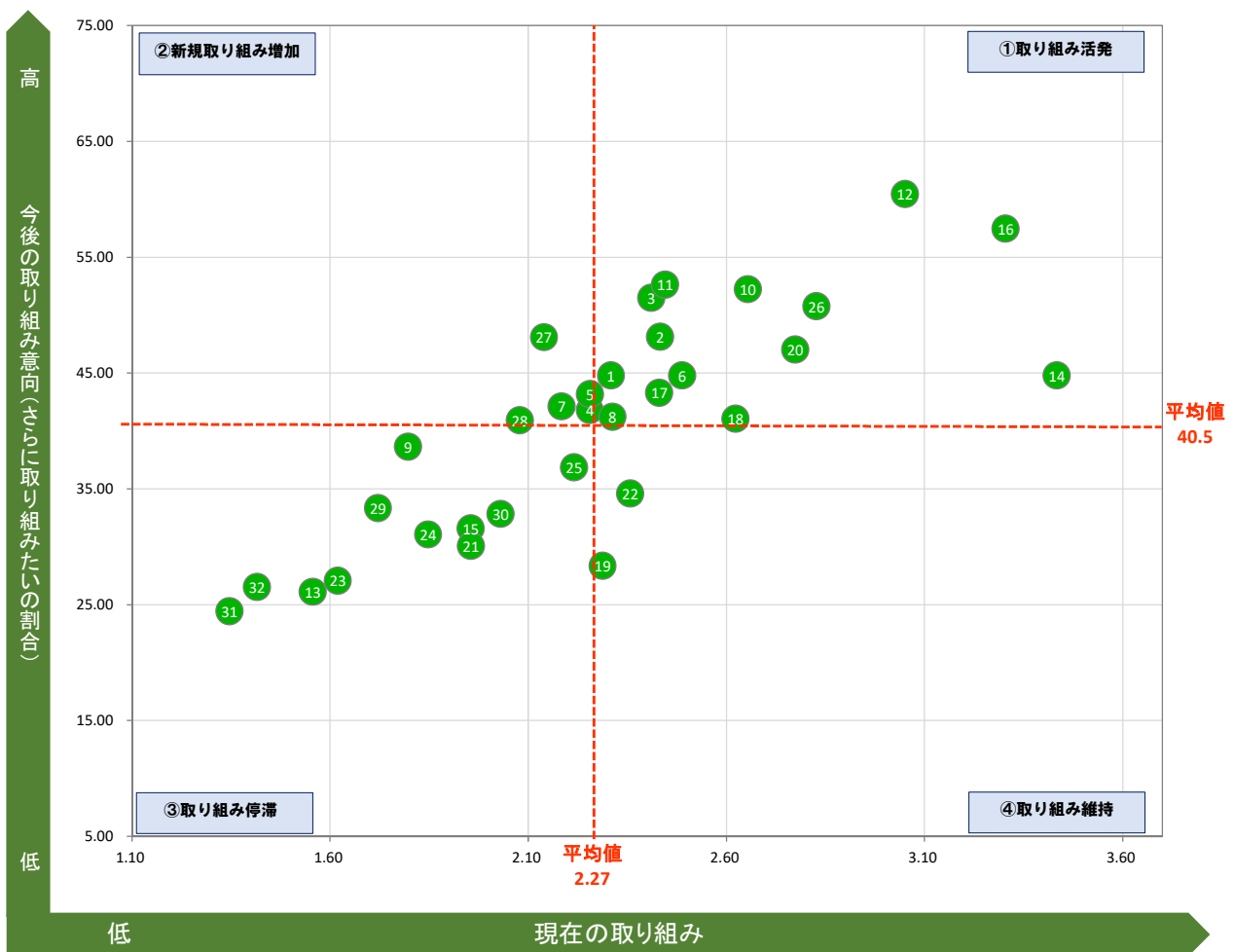


まちづくりの柱	番号	項目	現在の取組平均点	「さらに取組みたい」割合
心み しん な が ち づ く り せ ら れ る ま ち づ く り	1	健康づくりに継続的に取り組んでいる	2.59	56.14
	2	ご近所同士で交流し、困った時に助け合える関係を築いている	2.52	51.72
	3	ご近所の高齢者を温かく見守り、必要な時には手助けしている	2.51	55.17
	4	自分の経験や知識をいかして社会に参加している	2.04	43.10
	5	障がいのある人が必要としているときに手助けをしている	2.00	50.88
	6	ご近所の子どもをあたたかく見守り、必要に応じてサポートしている	2.43	63.79
	7	地域で子どもの健全育成に携わっている	1.86	43.86
安 心 な ま ち づ く り	8	自然について学び触れ合うなど、自然環境保全を意識している	2.26	48.28
	9	太陽光利用や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える暮らしをしている	1.91	44.83
	10	家のまわりの手入れを行うなど、景観保全を心がけている	2.46	51.72
	11	簡易包装されたものを選択して買うなど、ごみの発生を減らしている	2.36	46.55
	12	ごみの分別を徹底し、リサイクルに取り組んでいる	3.00	48.28
	13	公共交通を積極的に利用している	1.75	24.14
	14	家の周りの除雪をしている	3.17	36.21
	15	自主防災活動に参加している	1.88	31.03
	16	自動車の運転マナーを意識している	3.39	51.72
地 域 の 環 境 を ま ち づ く り	17	町外の知人や友人などに地域の四季の魅力を伝えている	2.62	34.48
	18	観光客に快く対応している	2.75	29.31
	19	食材や日用品は町内のお店で購入するようにしている	2.19	22.41
	20	地元産の農作物を意識的に食べている	2.72	39.66
全 国 に 誇 れ る ま ち づ く り	21	文化・芸術に参加したり、鑑賞したりしている	1.98	32.76
	22	地域の伝統的な行事に参加している	2.27	34.48
	23	公民館などで提供されている学びの場に参加している	1.53	20.69
	24	積極的に世代間交流をしている	1.97	31.03
	25	地域・学校と連携した教育活動に参加している	1.96	36.84
	26	地域の子どもたちにあいさつや声かけをしている	2.81	46.55
	27	日ごろ、スポーツや運動を行っている	2.00	51.72
住 民 の ま ち づ く り	28	まちをよくするアイデアを考えている	2.05	46.55
	29	行政と協力したまちづくり活動に積極的に参加している	1.62	27.59
	30	組、自治会などのまちづくり活動に積極的に参加している	1.90	25.86
	31	国際交流イベントに参加している	1.24	27.59
	32	他市町村との交流イベントに参加している	1.41	25.86
		・・・②新規取り組み増加に該当する項目	全体の平均点未満	全体の平均点以上

(オ)40代の現在の取組状況と今後の取組意向

- ・40代の回答では、新規取組み増加に「④自分の経験や知識をいかして社会に参加している」「⑤障がいのある人が必要としているときに手助けをしている」「⑦地域で子どもの健全育成に携わっている」等が該当している。現在の取組は平均点に近くなっており、町による働きかけによって取組が活発になる可能性が高い。
- ・25～29歳、30代と同様に、取組み停滞に該当する「⑩国際交流イベントに参加している」「⑫他市町村との交流イベントに参加している」は、現在の取組、今後の取組意向どちらも低くなっている。  
 「⑬公共交通を積極的に利用している」「⑭公民館などで提供されている学びの場に参加している」も非常に低くなっている。

図表 132 【40代】現在の取組状況と今後の取組意向

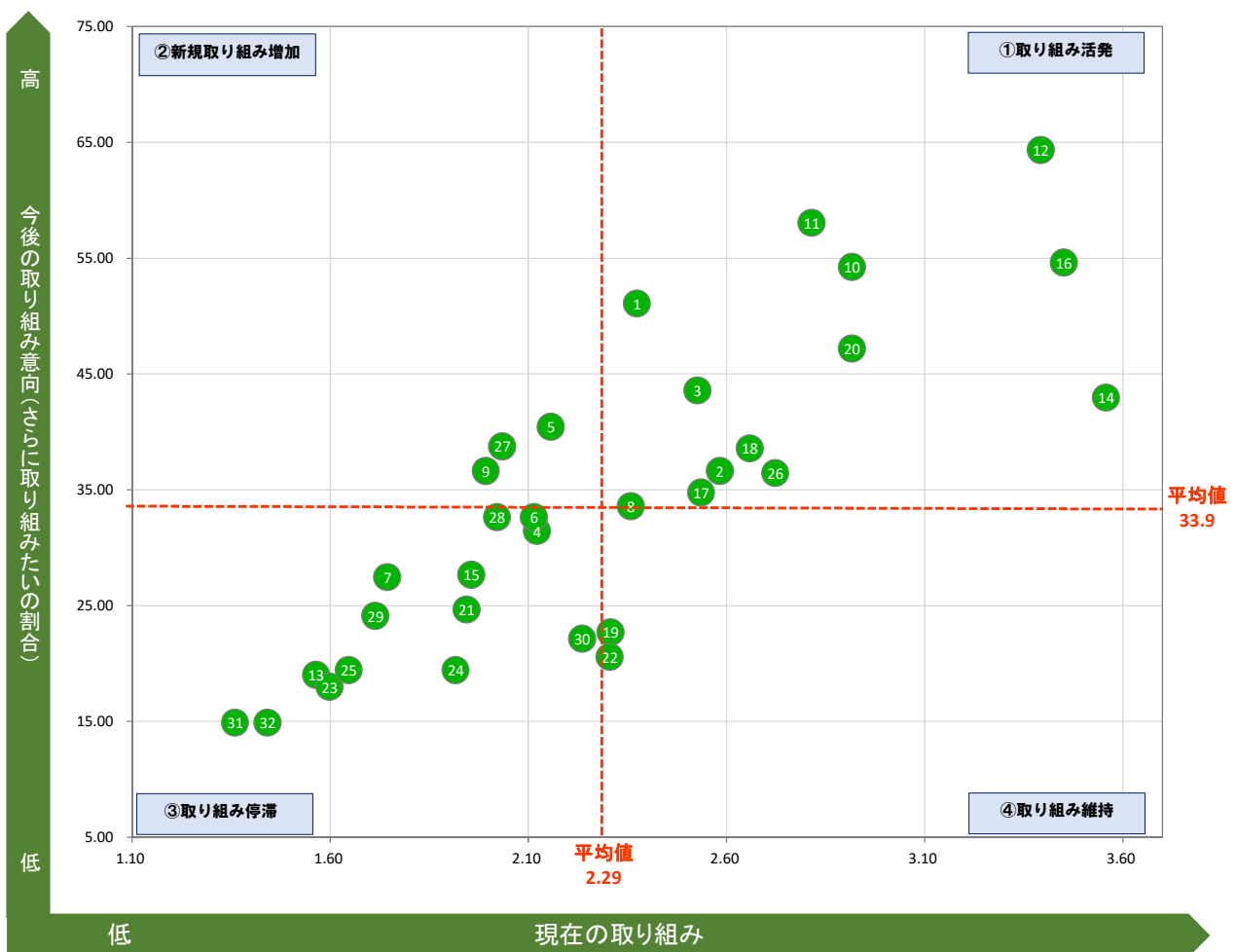


まちづくりの柱	番号	項目	現在の取組平均点	「さらに取り組みたい」割合
心み しん な が ち づ く ら せ ら れ る ま ち づ く り	1	健康づくりに継続的に取り組んでいる	2.31	44.78
	2	ご近所同士で交流し、困った時に助け合える関係を築いている	2.43	48.12
	3	ご近所の高齢者を温かく見守り、必要な時には手助けしている	2.41	51.49
	4	自分の経験や知識をいかして社会に参加している	2.26	41.79
	5	障がいのある人が必要としているときに手助けをしている	2.26	43.18
	6	ご近所の子どもをあたたかく見守り、必要に応じてサポートしている	2.49	44.78
	7	地域で子どもの健全育成に携わっている	2.18	42.11
安 心 な ま ち づ く り	8	自然について学び触れ合うなど、自然環境保全を意識している	2.31	41.22
	9	太陽光利用や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える暮らしをしている	1.80	38.64
	10	家のまわりの手入れを行うなど、景観保全を心がけている	2.65	52.24
	11	簡易包装されたものを選択して買うなど、ごみの発生を減らしている	2.45	52.63
	12	ごみの分別を徹底し、リサイクルに取り組んでいる	3.05	60.45
	13	公共交通を積極的に利用している	1.56	26.12
	14	家の周りの除雪をしている	3.43	44.78
	15	自主防災活動に参加している	1.95	31.58
	16	自動車の運転マナーを意識している	3.30	57.46
地 域 の 環 境 を 活 か し た ま ち づ く り	17	町外の知人や友人などに地域の四季の魅力を伝えている	2.43	43.28
	18	観光客に快く対応している	2.62	41.04
	19	食材や日用品は町内のお店で購入するようにしている	2.29	28.36
	20	地元産の農作物を意識的に食べている	2.77	47.01
全 国 に 誇 れ る ま ち づ く り ・ 文	21	文化・芸術に参加したり、鑑賞したりしている	1.96	30.08
	22	地域の伝統的な行事に参加している	2.36	34.59
	23	公民館などで提供されている学びの場に参加している	1.62	27.07
	24	積極的に世代間交流をしている	1.85	31.06
	25	地域・学校と連携した教育活動に参加している	2.22	36.84
	26	地域の子どもたちにあいさつや声かけをしている	2.83	50.75
	27	日ごろ、スポーツや運動を行っている	2.14	48.09
住 み た い に ま ち づ く り ・ 住 民 全 体	28	まちをよくするアイデアを考えている	2.08	40.91
	29	行政と協力したまちづくり活動に積極的に参加している	1.72	33.33
	30	組、自治会などのまちづくり活動に積極的に参加している	2.03	32.82
	31	国際交流イベントに参加している	1.35	24.43
	32	他市町村との交流イベントに参加している	1.42	26.52
		・・・②新規取り組み増加に該当する項目	全体の平均点未満	全体の平均点以上

(カ)50代の現在の取組状況と今後の取組意向

- ・50代では、「新規取り組み増加」に「⑤障がいのある人が必要としているときに手助けをしている」「⑨太陽光利用や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える暮らしをしている」「⑳日ごろ、スポーツや運動を行っている」の3項目が該当している。
- ・25～29歳、30代、40代と同様に、「取り組み停滞」には「⑪国際交流イベントに参加している」「⑫他市町村との交流イベントに参加している」「⑬公共交通を積極的に利用している」「⑭公民館などで提供されている学びの場に参加している」の項目が該当しており、現在の取組、今後の取組意向どちらも「⑮地域・学校と連携した教育活動に参加している」も非常に低くなっている。

図表 133 【50代】現在の取組状況と今後の意向

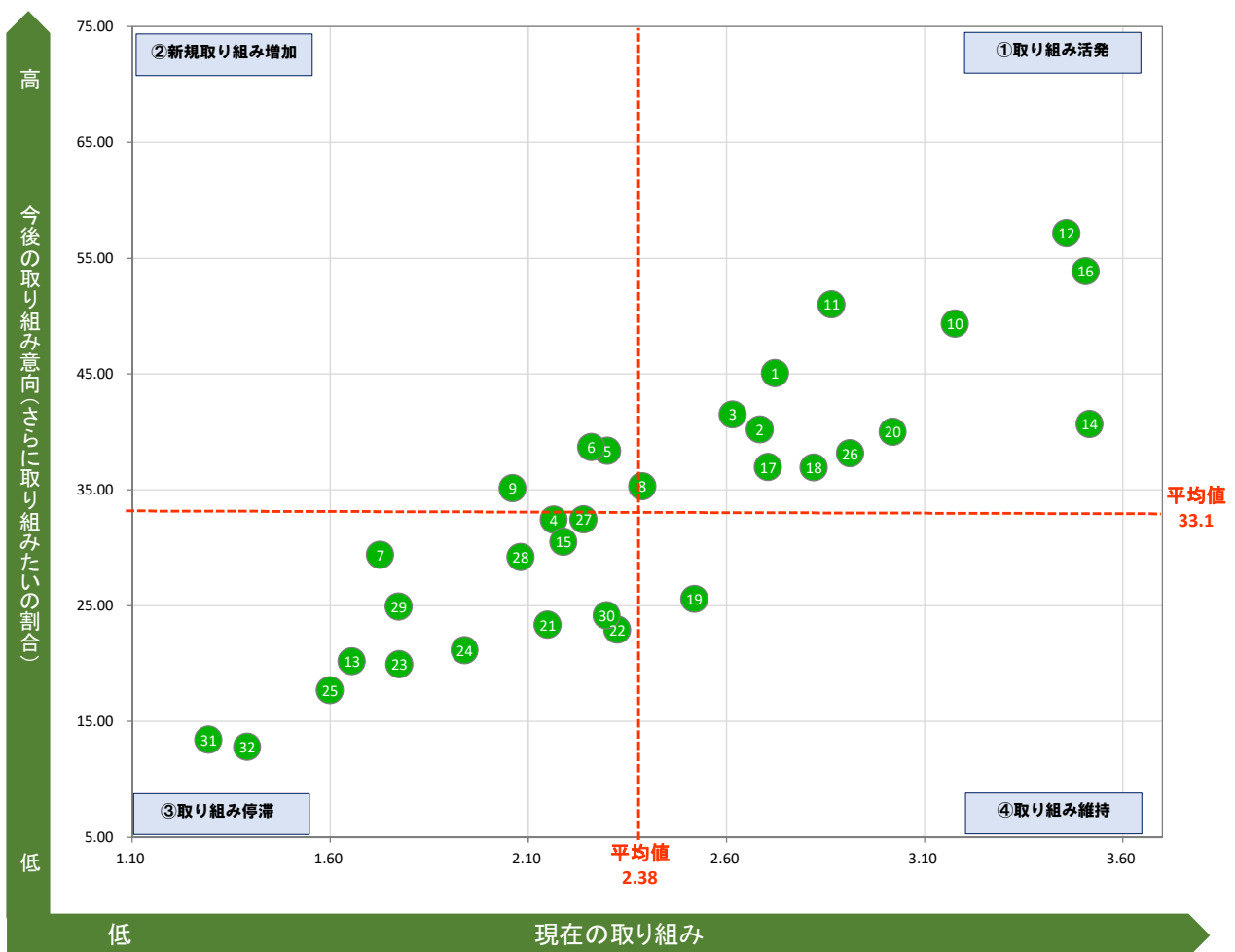


まちづくりの柱	番号	項目	現在の取組平均点	「さらに取組みたい」割合
心み しん な が ち づ く り せ ら れ る ま ち づ く り	1	健康づくりに継続的に取り組んでいる	2.37	51.08
	2	ご近所同士で交流し、困った時に助け合える関係を築いている	2.58	36.62
	3	ご近所の高齢者を温かく見守り、必要な時には手助けしている	2.53	43.57
	4	自分の経験や知識をいかして社会に参加している	2.12	31.43
	5	障がいのある人が必要としているときに手助けをしている	2.16	40.43
	6	ご近所の子どもをあたたかく見守り、必要に応じてサポートしている	2.11	32.62
	7	地域で子どもの健全育成に携わっている	1.74	27.46
安 心 な ま ち づ く り	8	自然について学び触れ合うなど、自然環境保全を意識している	2.36	33.57
	9	太陽光利用や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える暮らしをしている	1.99	36.62
	10	家のまわりの手入れを行うなど、景観保全を心がけている	2.92	54.23
	11	簡易包装されたものを選択して買うなど、ごみの発生を減らしている	2.82	58.04
	12	ごみの分別を徹底し、リサイクルに取り組んでいる	3.39	64.34
	13	公共交通を積極的に利用している	1.56	19.01
	14	家の周りの除雪をしている	3.56	42.96
	15	自主防災活動に参加している	1.96	27.66
	16	自動車の運転マナーを意識している	3.45	54.61
地 域 の 環 境 を ま ち づ く り	17	町外の知人や友人などに地域の四季の魅力を伝えている	2.54	34.75
	18	観光客に快く対応している	2.66	38.57
	19	食材や日用品は町内のお店で購入するようにしている	2.31	22.70
	20	地元産の農作物を意識的に食べている	2.92	47.18
全 国 に 誇 れ る ま ち づ く り	21	文化・芸術に参加したり、鑑賞したりしている	1.94	24.65
	22	地域の伝統的な行事に参加している	2.31	20.57
	23	公民館などで提供されている学びの場に参加している	1.60	17.99
	24	積極的に世代間交流をしている	1.92	19.42
	25	地域・学校と連携した教育活動に参加している	1.65	19.42
	26	地域の子どもたちにあいさつや声かけをしている	2.72	36.43
	27	日ごろ、スポーツや運動を行っている	2.03	38.73
住 み た た い づ く り	28	まちをよくするアイデアを考えている	2.02	32.62
	29	行政と協力したまちづくり活動に積極的に参加している	1.71	24.11
	30	組、自治会などのまちづくり活動に積極的に参加している	2.24	22.14
	31	国際交流イベントに参加している	1.36	14.89
	32	他市町村との交流イベントに参加している	1.44	14.89
		・・・②新規取り組み増加に該当する項目	全体の平均点未満	全体の平均点以上

(キ)60代の現在の取組状況と今後の取組意向

- ・60代では、「新規取組み増加」に「⑤障がいのある人が必要としているときに手助けをしている」「⑥ご近所の子どもをあたたかく見守り、必要に応じてサポートしている」「⑨太陽光利用や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える暮らしをしている」の3項目が該当している。
- ・50代と同様に、「取組み停滞」に該当する「⑩国際交流イベントに参加している」「⑪他市町村との交流イベントに参加している」「⑫公共交通を積極的に利用している」「⑬公民館などで提供されている学びの場に参加している」「⑭地域・学校と連携した教育活動に参加している」は、現在の取組、今後の取組意向のどちらも比較的低い。

図表 134 【60代】現在の取組状況と今後の意向



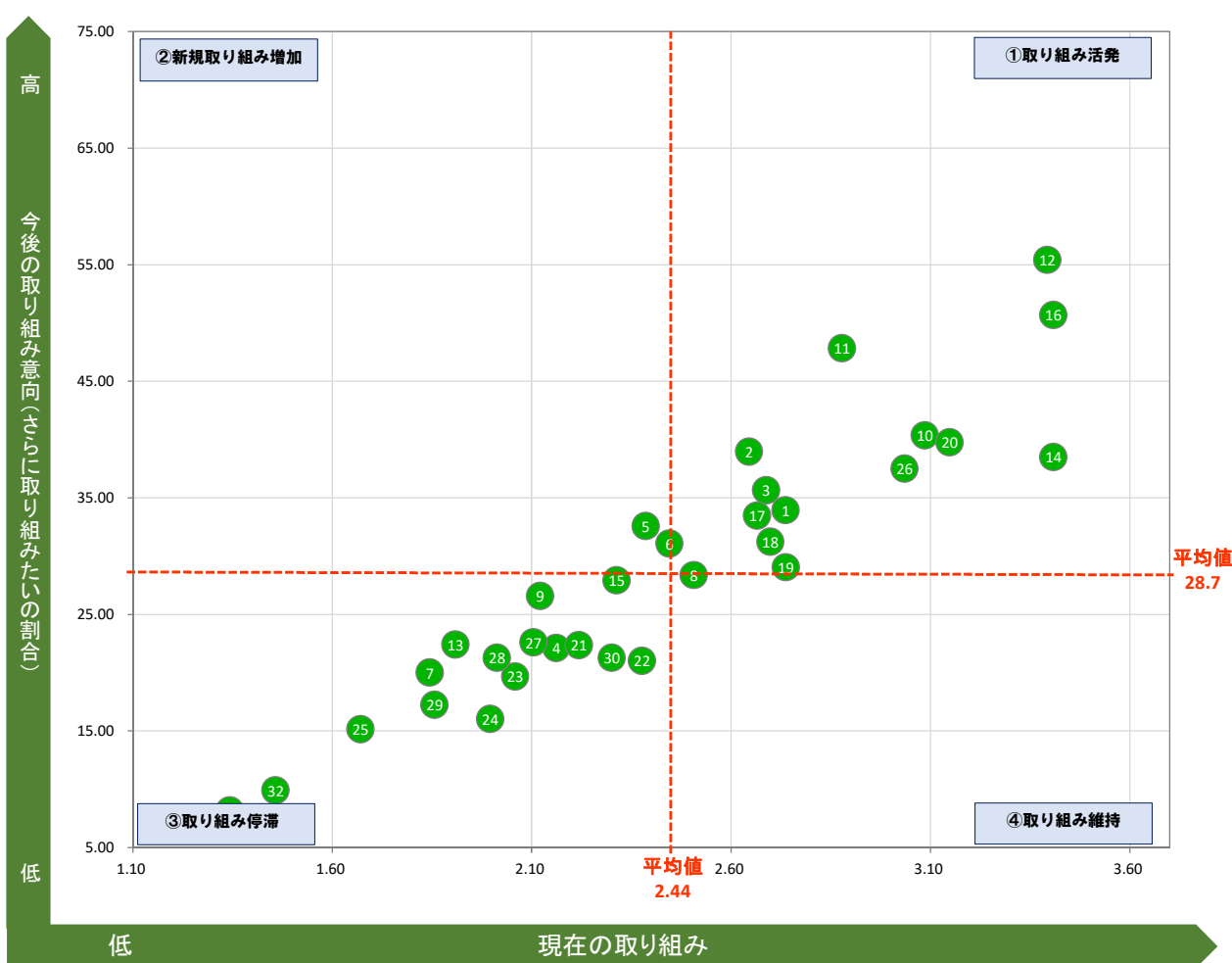


まちづくりの柱	番号	項目	現在の取組平均点	「さらに取組みたい」割合
心み しん な が ち づ く り せ ら れ る で ま 安	1	健康づくりに継続的に取り組んでいる	2.72	45.07
	2	ご近所同士で交流し、困った時に助け合える関係を築いている	2.68	40.20
	3	ご近所の高齢者を温かく見守り、必要な時には手助けしている	2.62	41.50
	4	自分の経験や知識をいかして社会に参加している	2.16	32.42
	5	障がいのある人が必要としているときに手助けをしている	2.30	38.36
	6	ご近所の子どもをあたたく見守り、必要に応じてサポートしている	2.26	38.68
	7	地域で子どもの健全育成に携わっている	1.73	29.37
安 心 な ま ち づ く り	8	自然について学び触れ合うなど、自然環境保全を意識している	2.39	35.29
	9	太陽光利用や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える暮らしをしている	2.06	35.14
	10	家のまわりの手入れを行うなど、景観保全を心がけている	3.18	49.33
	11	簡易包装されたものを選択して買うなど、ごみの発生を減らしている	2.87	51.00
	12	ごみの分別を徹底し、リサイクルに取り組んでいる	3.46	57.14
	13	公共交通を積極的に利用している	1.65	20.20
	14	家の周りの除雪をしている	3.52	40.68
	15	自主防災活動に参加している	2.19	30.51
	16	自動車の運転マナーを意識している	3.51	53.87
地 域 の 環 境 を ま ち づ く り に つ な げ る	17	町外の知人や友人などに地域の四季の魅力を伝えている	2.70	36.96
	18	観光客に快く対応している	2.82	36.91
	19	食材や日用品は町内のお店で購入するようにしている	2.52	25.57
	20	地元産の農作物を意識的に食べている	3.02	40.00
全 国 に 誇 れ る ま ち づ く り の 文 化	21	文化・芸術に参加したり、鑑賞したりしている	2.15	23.36
	22	地域の伝統的な行事に参加している	2.32	22.92
	23	公民館などで提供されている学びの場に参加している	1.77	19.93
	24	積極的に世代間交流をしている	1.94	21.14
	25	地域・学校と連携した教育活動に参加している	1.60	17.69
	26	地域の子どもたちにあいさつや声かけをしている	2.91	38.16
	27	日ごろ、スポーツや運動を行っている	2.24	32.45
住 民 の 体 質 を ま ち づ く り に つ な げ る	28	まちをよくするアイデアを考えている	2.08	29.19
	29	行政と協力したまちづくり活動に積極的に参加している	1.77	24.92
	30	組、自治会などのまちづくり活動に積極的に参加している	2.30	24.16
	31	国際交流イベントに参加している	1.29	13.42
	32	他市町村との交流イベントに参加している	1.39	12.79
		・・・②新規取り組み増加に該当する項目	全体の平均点未満	全体の平均点以上

(ク)70代以上の現在の取組状況と今後の取組意向

- ・70代以上では、「さらに取り組みたい」割合が最も低い。
- ・「新規取り組み増加」に「⑤障がいのある人が必要としているときに手助けをしている」のみ該当している。
- ・「取り組み停滞」に該当する「⑩国際交流イベントに参加している」「⑫他市町村との交流イベントに参加している」「⑮地域・学校と連携した教育活動に参加している」は、現在の取組、今後の取組意向どちらも低くなっている。
- ・「取り組み維持」に該当する項目はない。

図表 135 【70代以上】現在の取組状況と今後の意向



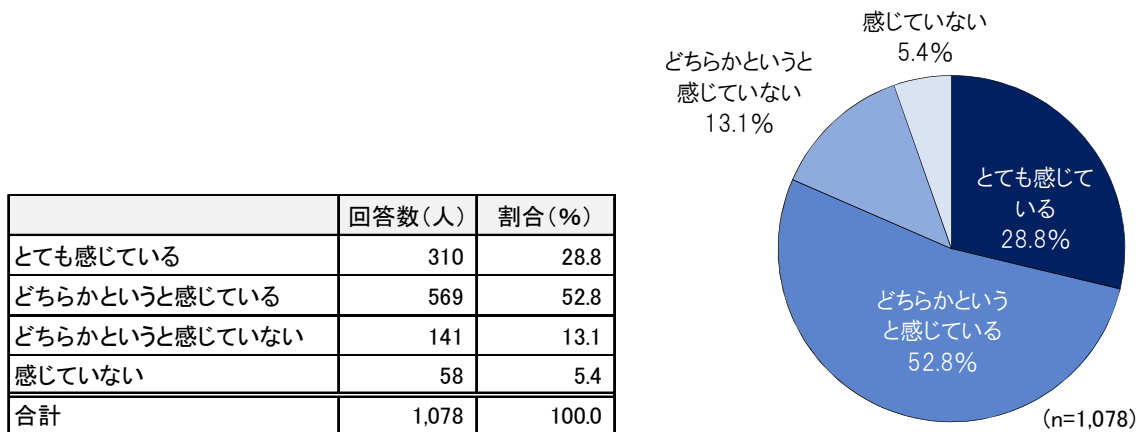
まちづくりの柱	番号	項目	現在の取組平均点	「さらに取組みたい」割合
心み しん な が ち づ く り せ ら れ る ま ち づ く り	1	健康づくりに継続的に取り組んでいる	2.74	33.93
	2	ご近所同士で交流し、困った時に助け合える関係を築いている	2.65	38.96
	3	ご近所の高齢者を温かく見守り、必要な時には手助けしている	2.69	35.65
	4	自分の経験や知識をいかして社会に参加している	2.16	22.12
	5	障がいのある人が必要としているときに手助けをしている	2.39	32.58
	6	ご近所の子どもをあたたかく見守り、必要に応じてサポートしている	2.45	31.08
	7	地域で子どもの健全育成に携わっている	1.84	20.00
安 心 な ま ち づ く り	8	自然について学び触れ合うなど、自然環境保全を意識している	2.51	28.37
	9	太陽光利用や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える暮らしをしている	2.12	26.58
	10	家のまわりの手入れを行うなど、景観保全を心がけている	3.09	40.35
	11	簡易包装されたものを選択して買うなど、ごみの発生を減らしている	2.88	47.83
	12	ごみの分別を徹底し、リサイクルに取り組んでいる	3.39	55.41
	13	公共交通を積極的に利用している	1.91	22.42
	14	家の周りの除雪をしている	3.41	38.50
	15	自主防災活動に参加している	2.31	27.93
	16	自動車の運転マナーを意識している	3.41	50.68
地 域 の ま ち づ く り	17	町外の知人や友人などに地域の四季の魅力を伝えている	2.67	33.47
	18	観光客に快く対応している	2.70	31.22
	19	食材や日用品は町内のお店で購入するようにしている	2.74	29.05
	20	地元産の農作物を意識的に食べている	3.15	39.75
全 国 に 誇 れ る ま ち づ く り	21	文化・芸術に参加したり、鑑賞したりしている	2.22	22.36
	22	地域の伝統的な行事に参加している	2.38	21.01
	23	公民館などで提供されている学びの場に参加している	2.06	19.67
	24	積極的に世代間交流をしている	2.00	16.03
	25	地域・学校と連携した教育活動に参加している	1.67	15.15
	26	地域の子どもたちにあいさつや声かけをしている	3.04	37.50
	27	日ごろ、スポーツや運動を行っている	2.10	22.59
住 み た た い づ く り	28	まちをよくするアイデアを考えている	2.01	21.28
	29	行政と協力したまちづくり活動に積極的に参加している	1.86	17.24
	30	組、自治会などのまちづくり活動に積極的に参加している	2.30	21.28
	31	国際交流イベントに参加している	1.34	8.19
	32	他市町村との交流イベントに参加している	1.46	9.91
		・・・②新規取り組み増加に該当する項目	全体の平均点未満	全体の平均点以上

### 3. 信濃町への意識や暮らし全般に関する分析

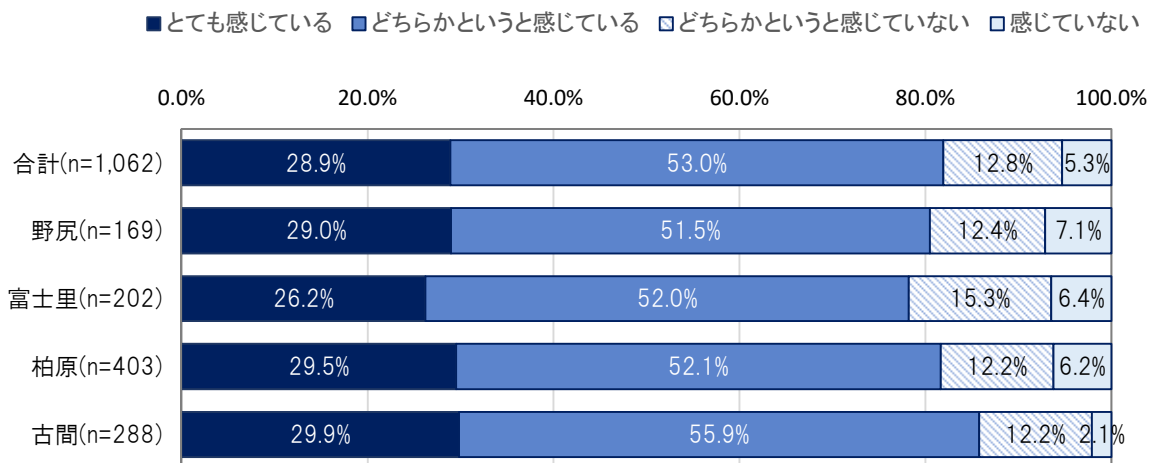
#### (1) 信濃町への愛着

- ・信濃町に対する愛着を感じている割合（「とても感じている」、「どちらかというと感じている」を合わせた割合）は81.6%である。
- ・居住地区別でみると富士里で愛着を感じている割合がやや低くなっている。古間では愛着を感じている割合が全体よりも高くなっている。
- ・年代別にみると、45～59歳においては愛着を感じている割合が比較的低い。

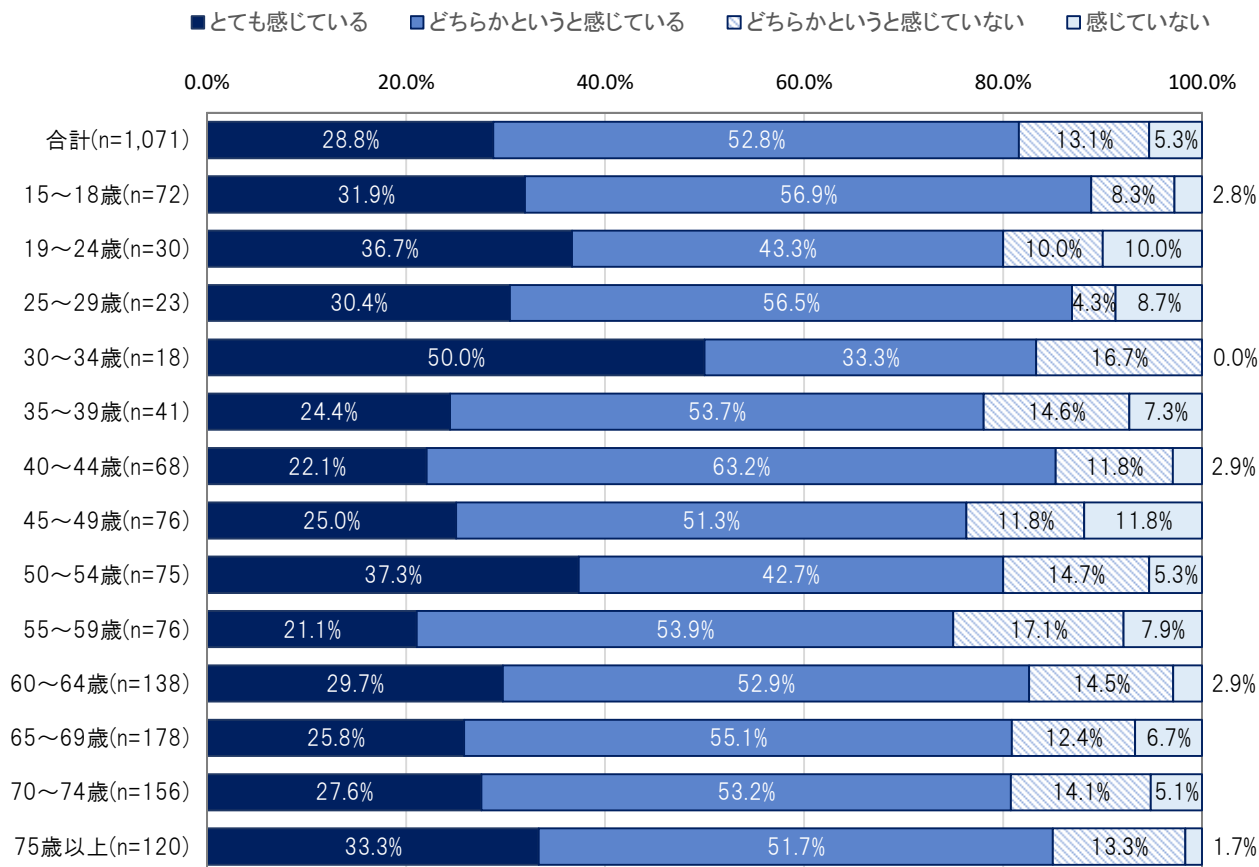
図表 136 信濃町への愛着



図表 137 【居住地区別】信濃町への愛着



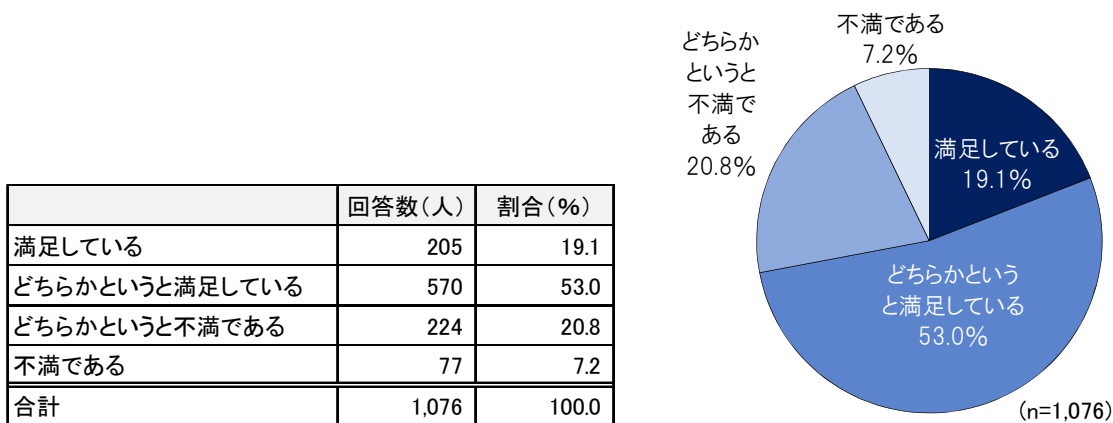
図表 138 【年代別】信濃町への愛着



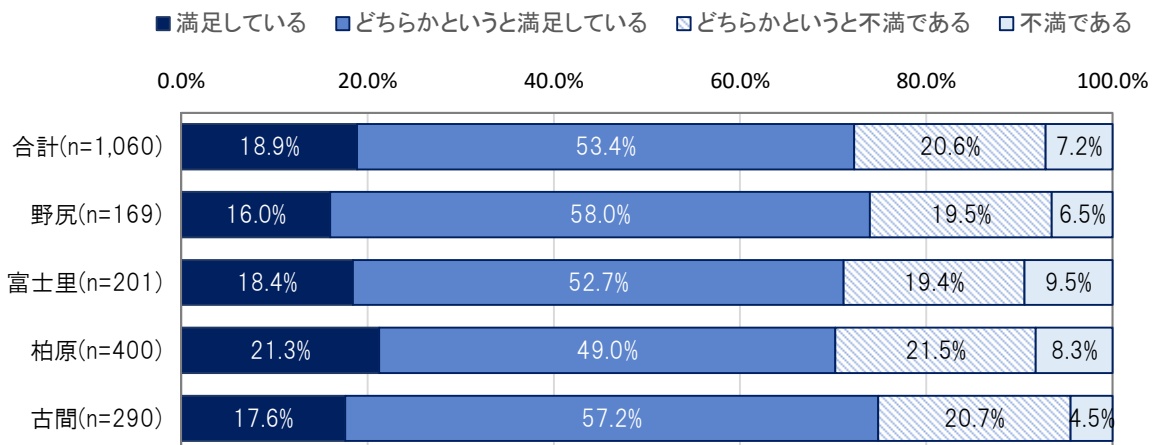
## (2) 信濃町での暮らしの満足度

- ・信濃町の暮らしに満足している割合（「満足している」、「どちらかという満足している」を合わせた割合）は72.1%である。
- ・地域別では、野尻、古間において暮らしに満足している割合が全体よりもやや高くなっている。柏原では暮らしに満足している割合がやや低くなっているが、「満足している」割合は最も高くなっている。
- ・年代別では、15～18歳で満足している割合が最も高い。また、60歳以上でも満足している割合が高くなっている。
- ・19歳～59歳では40～44歳を除いて満足している割合が低くなっている。

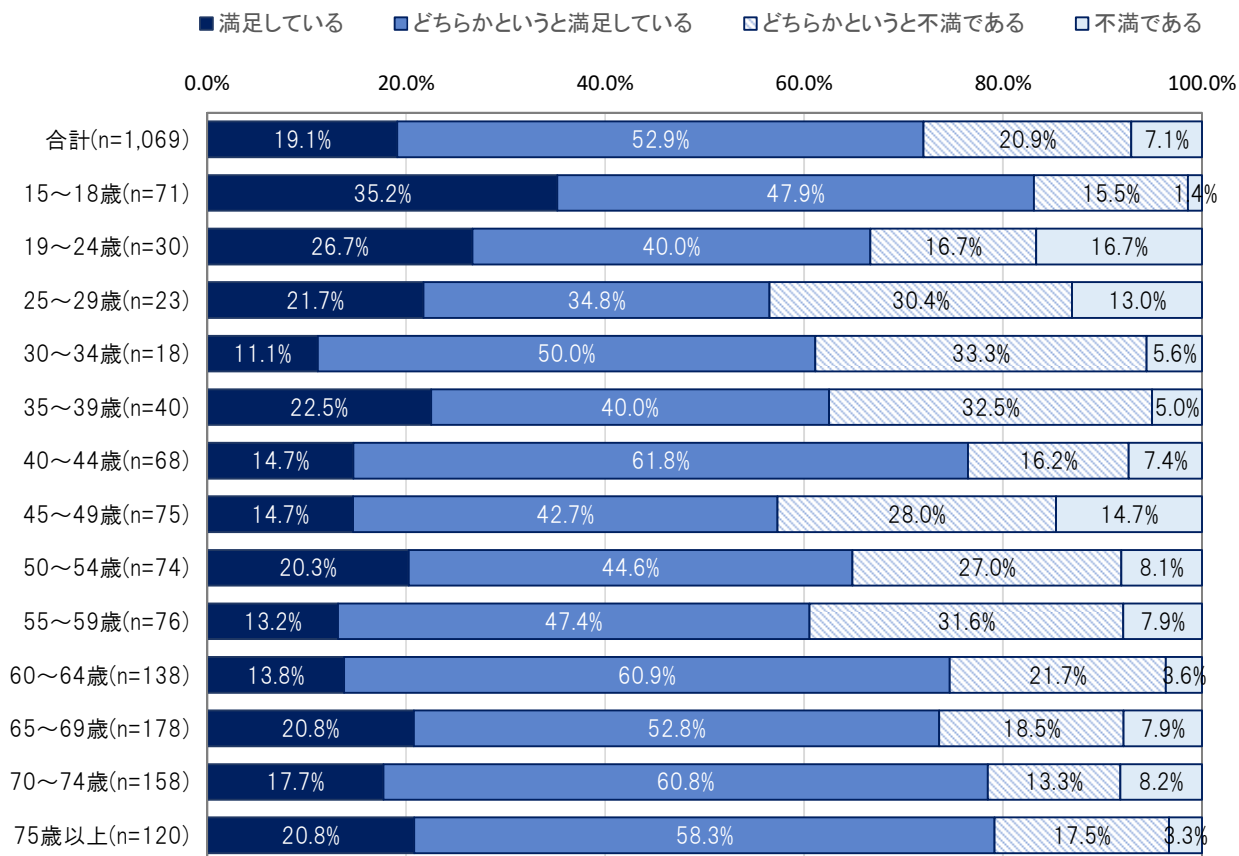
図表 139 信濃町の暮らしの満足度



図表 140 【居住地区別】信濃町の暮らしの満足度



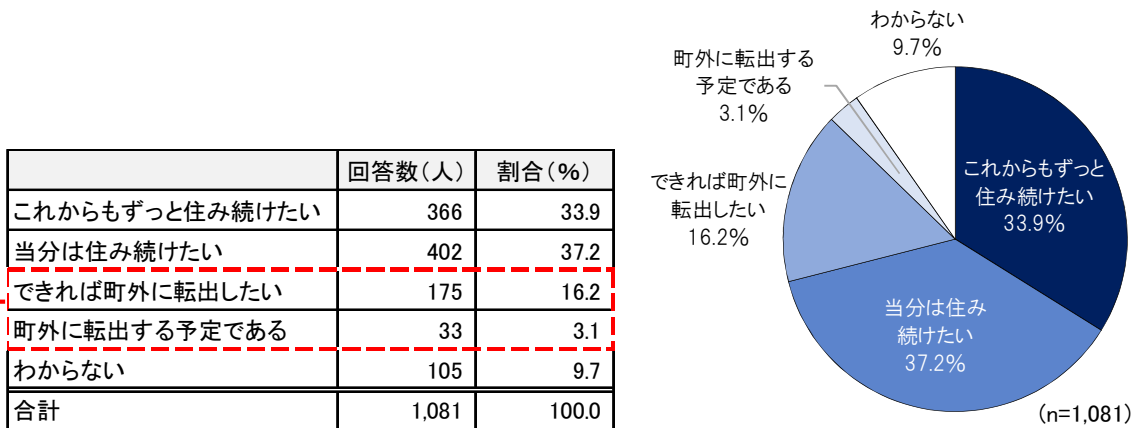
図表 141 【年代別】信濃町の暮らしの満足度



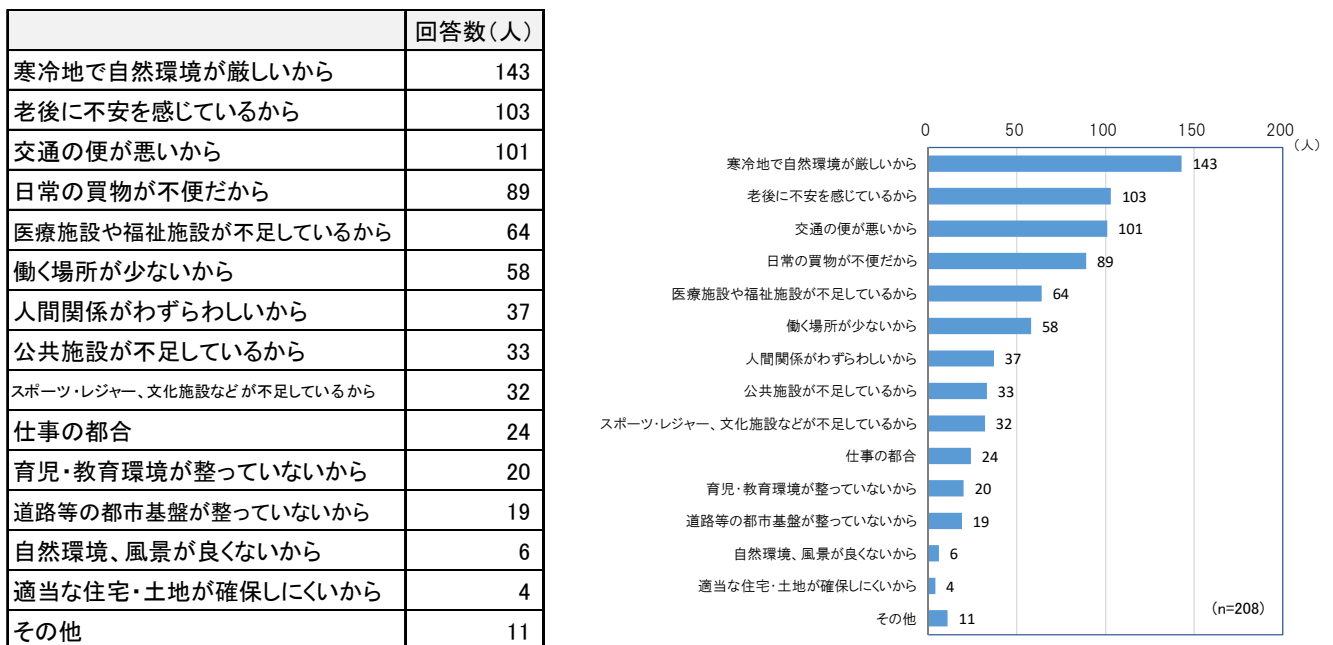
### (3) 信濃町への定住意向

- ・信濃町への定住意向では、住み続けたい割合（「これからもずっと住み続けたい」、「当分は住み続けたい」を合わせた割合）は71.1%であった。
- ・「できれば町外に転出したい」「町外に転出する予定である」の理由としては、「寒冷地で自然環境が厳しいから」が143人で最も多く、次いで「老後に不安を感じているから」が103人、「交通の便が悪いから」101人、「日常の買物が不便だから」が89人となっている。

図表 142 信濃町に住み続けたいか



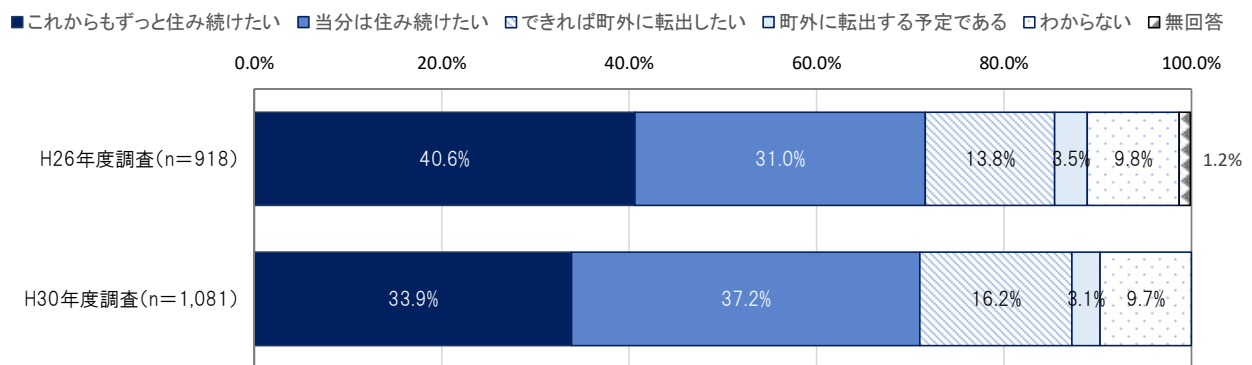
図表 143 【「できれば転出したい」「市外に転出する予定がある」方】 転出したいと思う理由 [複数回答]



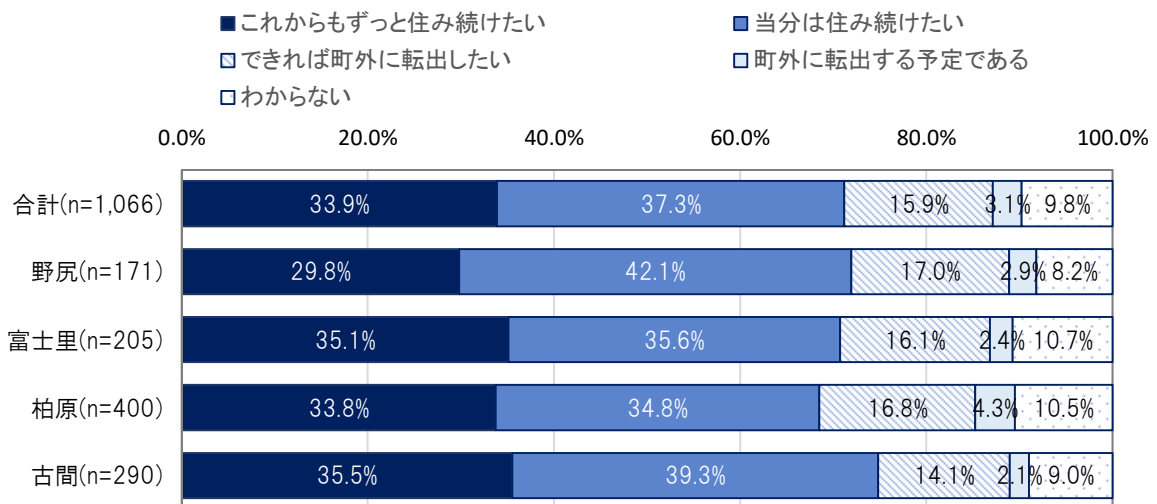


- ・信濃町への定住意向を平成 26 年度調査と比較すると、今回調査では「これからもずっと住み続けたい」の回答割合が低下している一方で、「当分は住み続けたい」の回答割合が上昇している。
- ・地域別にみると、古間で住み続けたい割合がやや高くなっている。柏原では割合がやや低くなっている。
- ・年代別にみると、年代が上がるほどに住み続けたい割合が高くなっている。15～18 歳では「これからも住み続けたい」が 5.6%にとどまるが、年代が上がるにつれ高くなる。
- ・年代別に「これからもずっと住み続けたい」の回答割合を平成 26 年度調査と比較すると 30 代以下で上昇している。

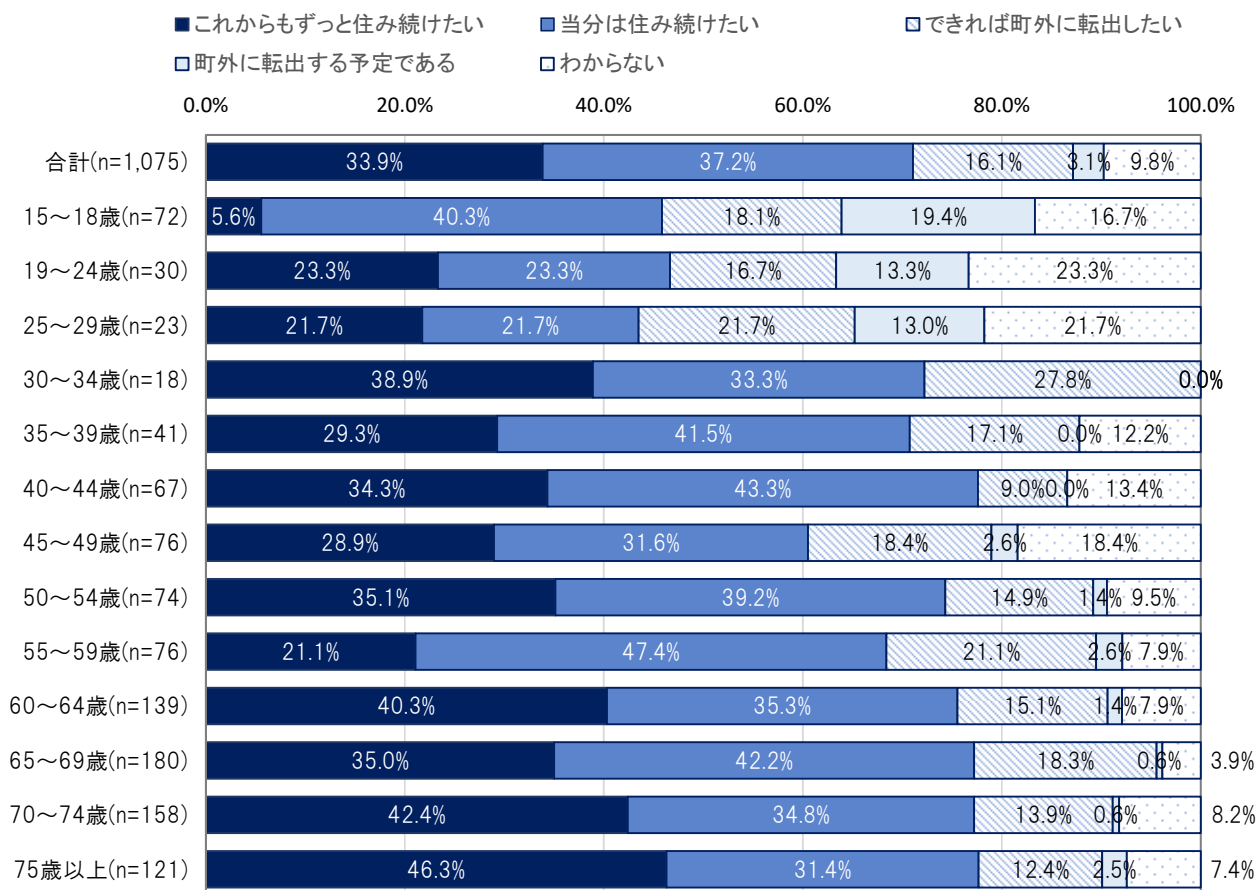
図表 144 【経年比較】定住意向（再掲）



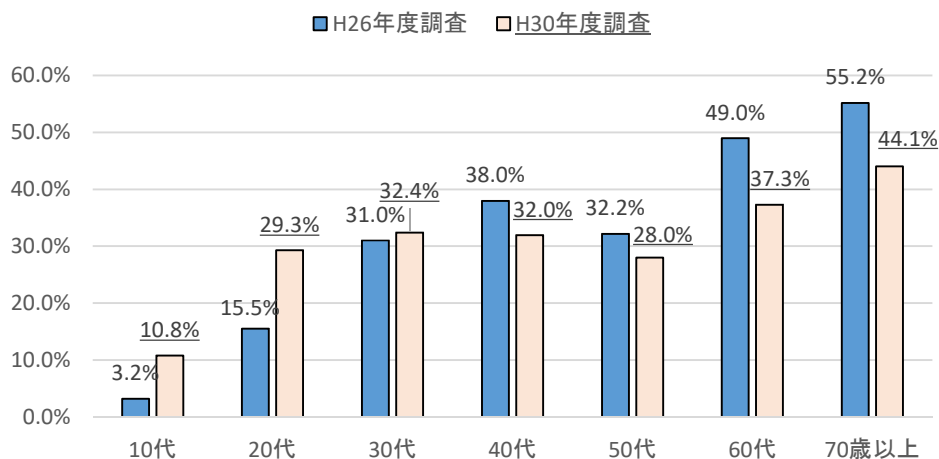
図表 145 【居住地区別】信濃町に住み続けたいか



図表 146 【年代別】信濃町に住み続けたいか

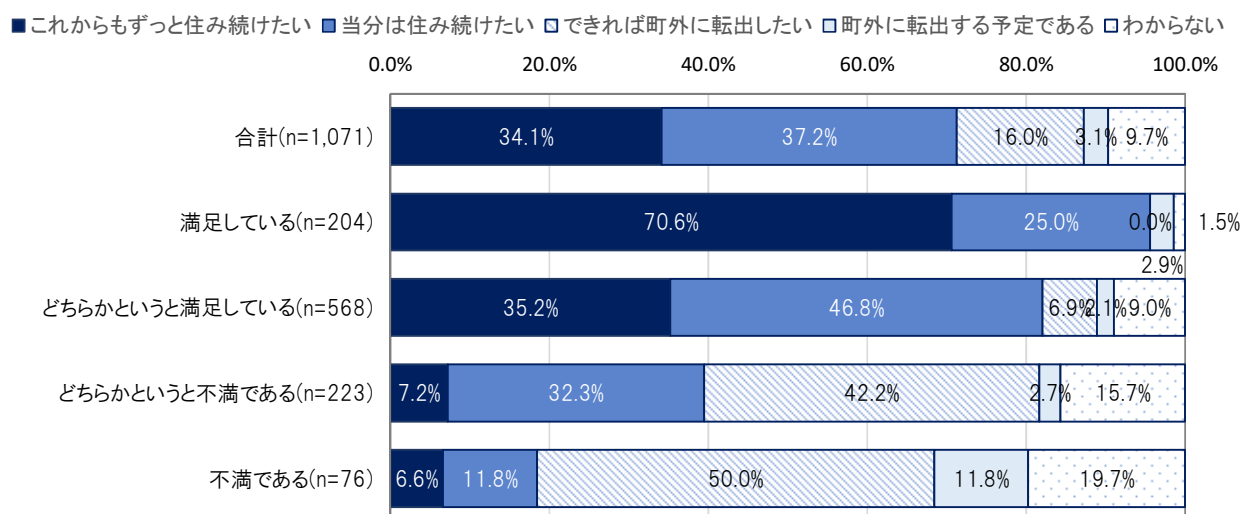


図表 147 【経年比較】年代別「これからもずっと住み続けたい」と回答した割合（再掲）

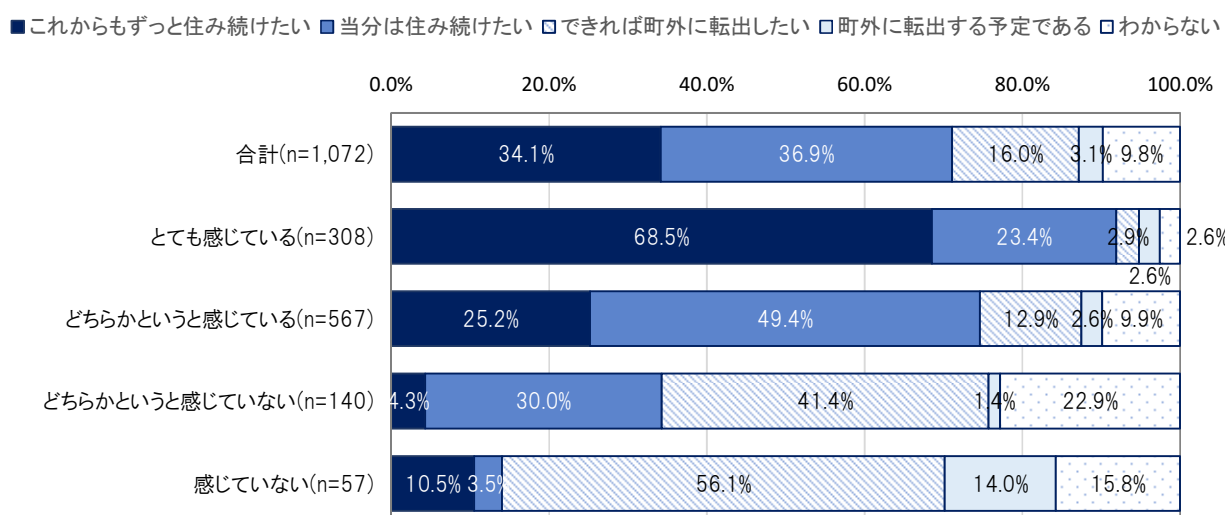


※平成 26 年度調査では、今回の調査にはない「どちらともいえない」という選択肢がある。  
また、集計に「無回答」を加えているなどの違いがあるため、単純な比較はできない

図表 148 暮らしの満足度別 定住意向（再掲）



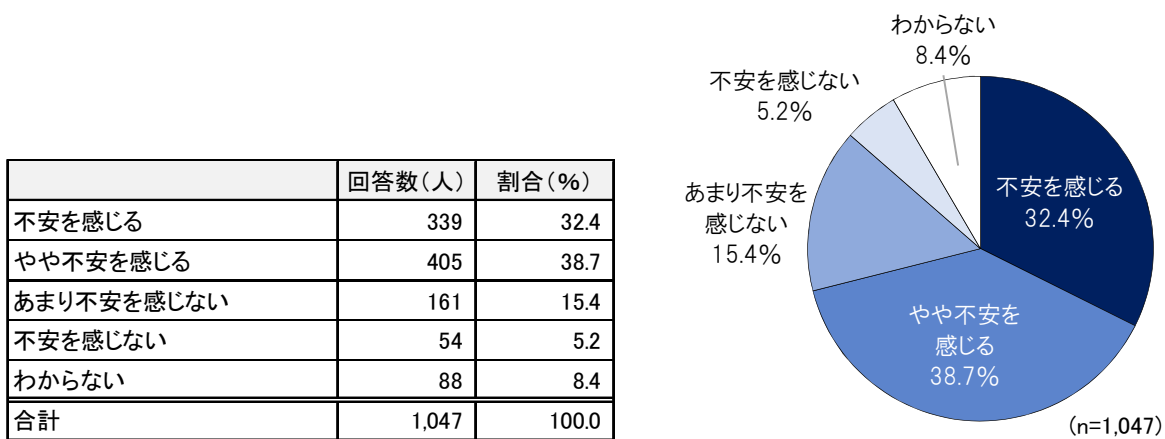
図表 149 愛着度別 定住意向（再掲）



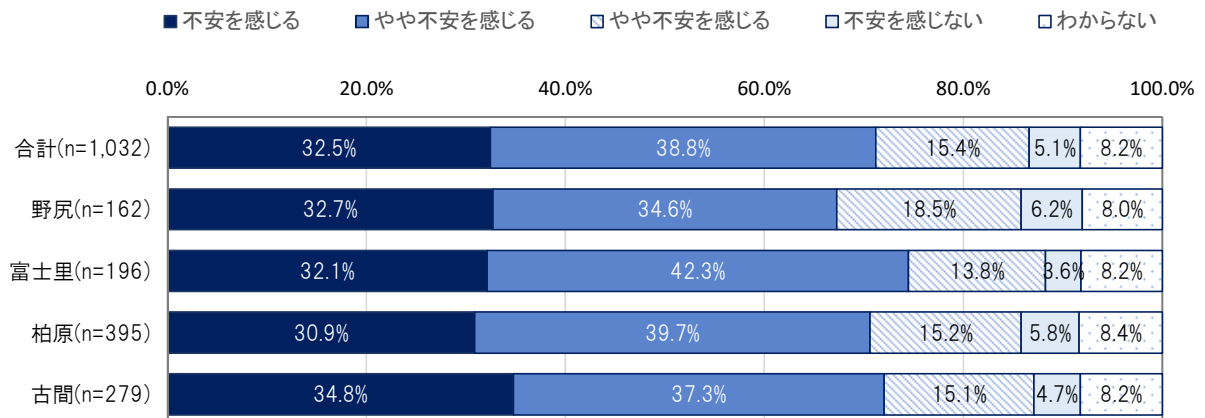
#### (4) 今後の暮らしに対する不安

- ・今後の暮らしに対する不安を感じている割合（「不安を感じる」、「やや不安を感じる」を合わせた割合）は71.1%である。
- ・地域別では、富士里で不安を感じている割合が高くなっている。野尻では不安を感じている割合が比較的低くなっている。
- ・年代別では、年代があがるにつれて不安を感じている割合が増加する。不安を感じている割合が高いのは50～64歳の年代でいずれも80%を超えている。

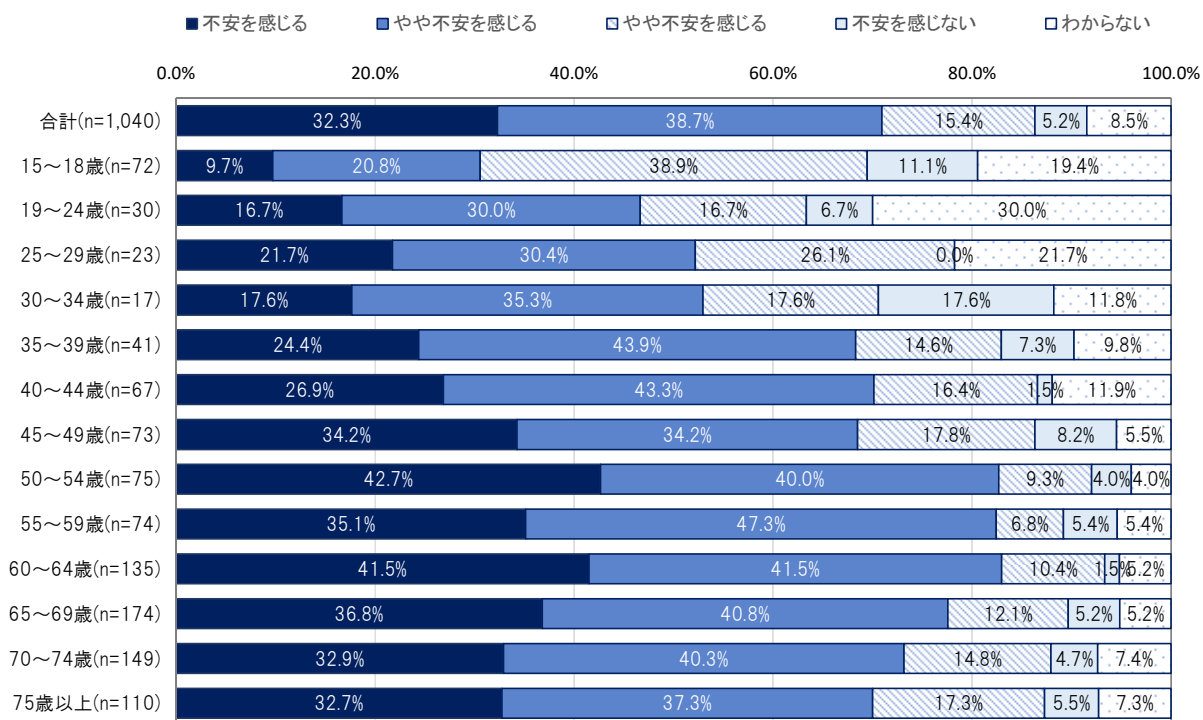
図表 150 今後の暮らしに対する不安



図表 151 【居住地区別】今後の暮らしに対する不安



図表 152 【年代別】今後の暮らしに対する不安

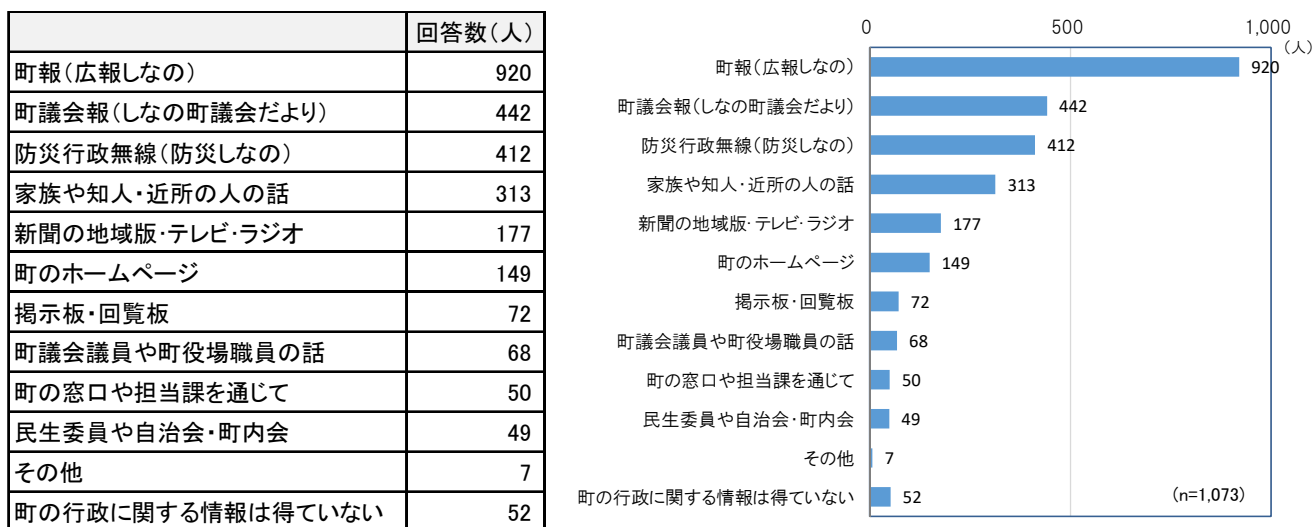


## 町政の情報収集に関する分析

### (1) 町政に関する情報収集

- ・ 行政に関する情報の入手先としては、「町報（広報しなの）」が 920 人ともっとも多くなっている。次いで「町議会報（しなの町議会だより）」が 442 人、「防災行政無線（防災しなの）」が 412 人と続く。
- ・ 年代別にみると、全ての年代で「町報」が最も多く、「町議会報」は 45 歳以上において多い。「家族や知人・近所の人のお話」「町のホームページ」は 49 歳以下で多くなっている。
- ・ 「行政に関する情報を得ていない」は 24 歳以下で多くなっており、町政への関心が低くなっている。

図表 153 町政に関する情報の入手先〔複数回答〕



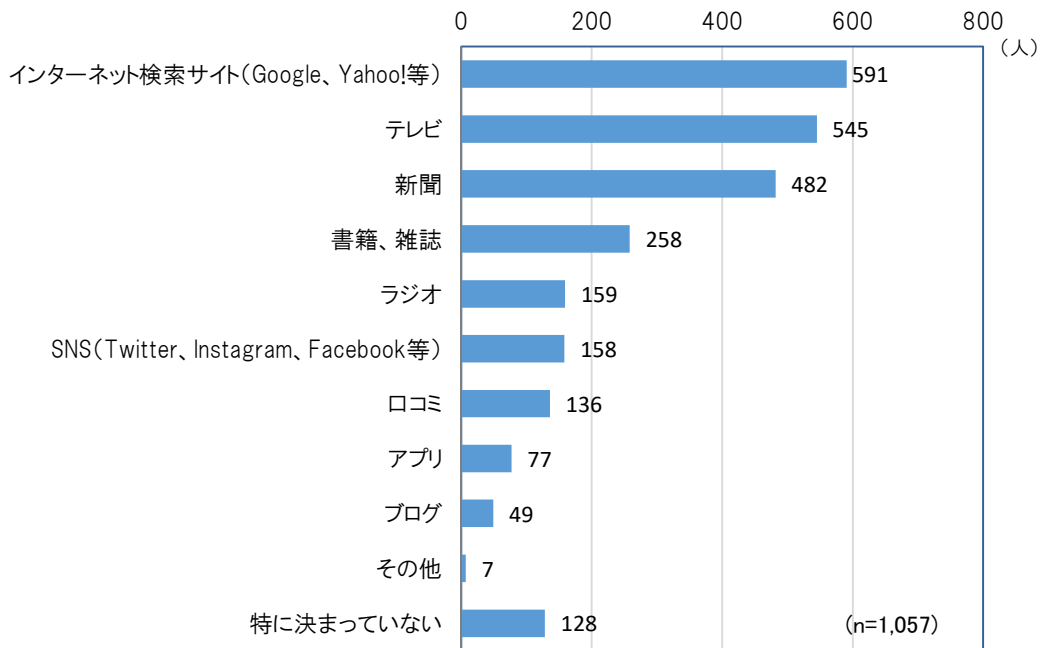
図表 154 年代別町政に関する情報の入手先〔複数回答〕

	町報(広報しなの)	町議会報(しなの町議会だより)	防災行政無線(防災しなの)	家族や知人・近所の人のお話	新聞の地域版・テレビ・ラジオ	町のホームページ	掲示板・回覧板	町議会議員や町役場職員の話	町の窓口や担当課を通じて	民生委員や自治会・町内会	その他	町の行政に関する情報は得ていない
合計	914	437	409	311	174	148	72	68	50	48	7	51
15~18歳	48	6	13	25	4	5	2	0	0	1	0	8
19~24歳	16	3	3	13	3	4	2	0	0	0	0	6
25~29歳	17	4	9	12	3	8	0	0	1	0	0	2
30~34歳	14	1	6	7	2	6	0	0	0	0	0	3
35~39歳	32	10	12	17	3	12	1	2	3	0	0	3
40~44歳	55	13	31	17	3	13	1	3	4	1	0	4
45~49歳	62	25	21	23	10	17	6	8	2	3	1	5
50~54歳	65	28	29	15	6	14	7	5	4	5	0	4
55~59歳	70	27	31	14	11	9	5	2	3	1	0	2
60~64歳	124	60	61	51	28	22	14	13	6	11	1	5
65~69歳	167	102	77	37	38	24	16	11	12	11	0	7
70~74歳	143	91	64	53	36	10	8	16	11	12	1	2
75歳以上	101	67	52	27	27	4	10	8	4	3	4	0

## (2) 普段の情報収集

- ・趣味、興味があることに関する情報入手先では、「インターネット検索サイト」「テレビ」「新聞」が多くなっている。
- ・年代別でみると「インターネット検索サイト」は、64歳以下で多くなっているが、65歳以上では他の情報源よりも少なくなっている。「テレビ」「新聞」は60歳以上で多くなっている。また、「SNS」は39歳以下で比較的が多くなっているが、40歳以上では少ない。

図表 155 趣味、興味があることについての情報の入手先 [複数回答]



図表 156 年代別趣味、興味があることについての情報の入手先 [複数回答]

		インターネット検索サイト(Google, Yahoo!等)	ブログ	アプリ	SNS (Twitter, Instagram, Facebook等)	テレビ	ラジオ	新聞	書籍、雑誌	口コミ	その他	特に決まっていない
合計	度数(人)	587	49	77	157	539	157	478	256	135	7	128
15～18歳	度数(人)	63	4	18	37	29	3	8	12	3	0	2
19～24歳	度数(人)	23	2	4	20	13	0	2	8	1	0	1
25～29歳	度数(人)	22	4	9	11	7	2	4	5	2	0	0
30～34歳	度数(人)	16	1	3	10	8	1	6	9	4	0	1
35～39歳	度数(人)	36	7	7	19	18	6	14	13	3	0	1
40～44歳	度数(人)	61	7	4	10	27	9	14	12	5	0	5
45～49歳	度数(人)	59	5	6	9	35	5	23	18	11	0	4
50～54歳	度数(人)	62	5	5	13	34	8	30	20	6	0	4
55～59歳	度数(人)	52	4	7	7	37	18	32	17	8	0	7
60～64歳	度数(人)	80	3	7	6	79	24	72	42	17	1	22
65～69歳	度数(人)	64	4	4	8	89	37	104	48	30	5	34
70～74歳	度数(人)	40	2	3	6	84	29	98	30	23	1	26
75歳以上	度数(人)	9	1	0	1	69	15	71	22	22	0	21

#### 4. 18歳以下の意向に関する分析

18歳以下の住民のみを対象とした以下の設問の分析結果を示す。

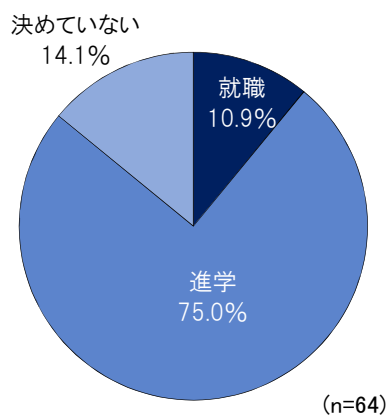
- ・希望する進路 ・就職／進学したい地域 ・将来の職業と仕事観 ・Uターン意向 ・ふるさと学習

##### (1) 今後の進路と将来の仕事（高校生のみ）

- ・高校卒業後、希望する進路としては、「進学」が75.0%で最も多い。次いで、「決めていない」14.1%、「就職」が10.9%と続く。
- ・就職・進学したい地域としては、「信濃町」が1.8%、信濃町近郊（「信濃町以外の北信」「北信以外の県内」「新潟県上越地方」の合計）が25.5%、県外（「首都圏」「その他県外」の合計）が34.5%となっている。
- ・信濃町または信濃町に比較的近い地域で就職・進学をしたい理由は「行きたい会社、学校がある」が最も多く42.9%である。次いで、「実家の近くで暮らしたい」が28.6%で続く。
- ・信濃町から比較的と遠い地域で就職・進学をしたい理由としては「働きたい職場がない」「希望する進学先がない」が合わせて52.4%と半数以上を占めている。次いで「今の地域が生活に不便」が19.0%で続く。
- ・町外へ転出を希望するものに、将来戻る意向があるか確認したところ「戻ってきたい」「いずれ戻りたい」が合わせて63.6%となっている。一方で、「あまり戻るつもりはない」「戻るつもりはない」が合わせて36.4%である。

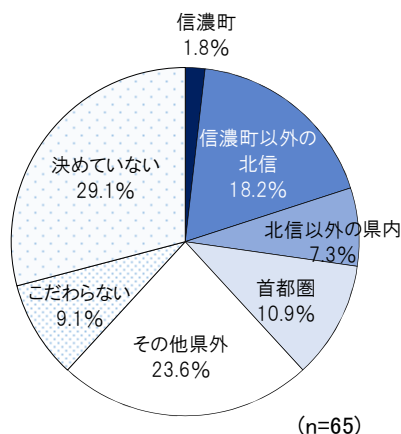
図表 157 希望する進路

	回答数(人)	割合(%)
就職	7	10.9
進学	48	75.0
決めていない	9	14.1
合計	64	100.0



図表 158 【就職または進学と回答した者のみ】 就職・進学をしたい地域

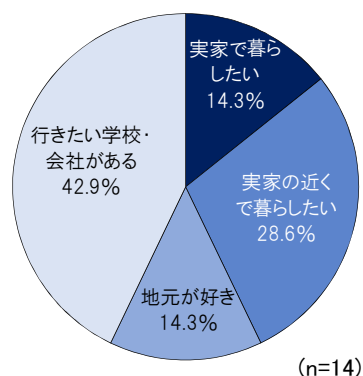
	回答数(人)	割合(%)
信濃町	1	1.8
信濃町以外の北信	10	18.2
北信以外の県内	4	7.3
首都圏	6	10.9
その他県外	13	23.6
こだわらない	5	9.1
決めていない	16	29.1
合計	55	100.0





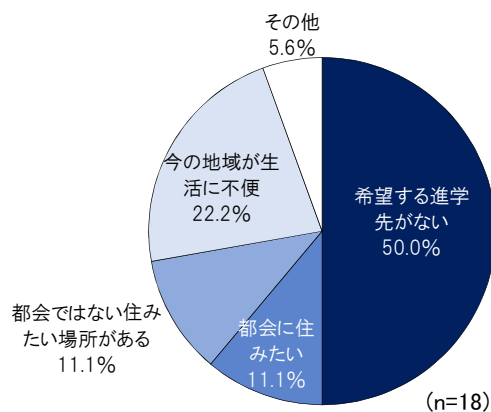
図表 159 【就職・進学したい地域を「信濃町」「信濃町以外の北信」「北信以外の県内」「新潟県上越地方」と回答した者のみ】信濃町、信濃町に比較的近い地域での就職・進学を希望する理由

	回答数(人)	割合(%)
実家で暮らしたい	2	14.3
実家の近くで暮らしたい	4	28.6
地元が好き	2	14.3
行きたい学校・会社がある	6	42.9
合計	14	100.0



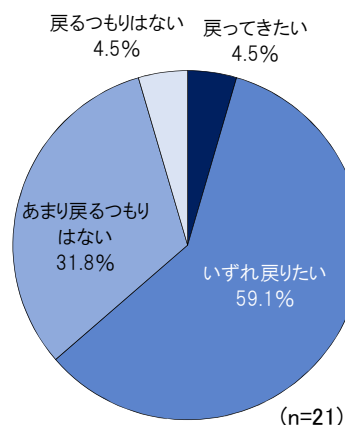
図表 160 【就職・進学したい地域を「首都圏」「中京圏」「北陸」「県外」と回答した者のみ】信濃町、信濃町から比較的遠い地域での就職・進学を希望する理由

	回答数(人)	割合(%)
希望する進学先がない	9	50.0
都会に住みたい	2	11.1
都会ではない住みたい場所がある	2	11.1
今の地域が生活に不便	4	22.2
その他	1	5.6
合計	18	100.0



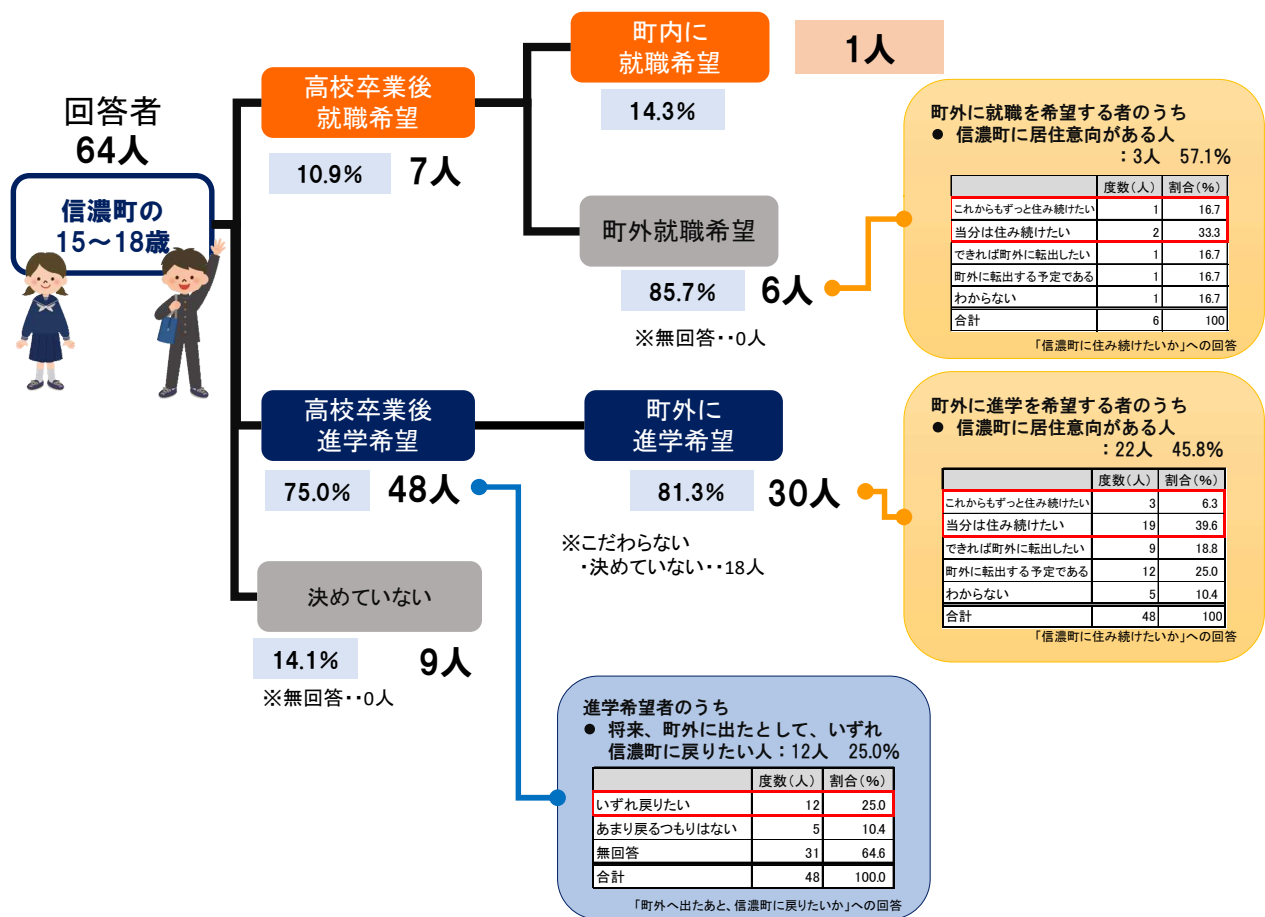
図表 161 【就職・進学したい地域を「首都圏」「中京圏」「北陸」「県外」と回答した者のみ】将来、信濃町に戻りたい意向

	回答数(人)	割合(%)
戻ってきたい	1	4.5
いずれ戻りたい	13	59.1
あまり戻らつもりはない	7	31.8
戻らつもりはない	1	4.5
合計	22	100.0



- ・下図は、高校生の回答から高校卒業後の進路をまとめたものである。
- ・回答者 64 人中、町内に就職を希望するのは 1 人とどまる。
- ・町外への就職を希望する者は 6 人である。そのうち「信濃町に住み続けたい」と回答している者は 3 人であった。町内から通勤可能な場所の就職先を希望しているものと推測される。
- ・町外への進学を希望する者は 30 人である。そのうち「信濃町に住み続けたい」と回答している者は 22 人であった。町内から通学可能な場所の進学先を希望している、あるいは、信濃町に住み続けたものの、進学のために町を離れることを希望しているものと推測される。
- ・また、進学希望者のうち進学や卒業後就職で町外に出たとしても「信濃町にいずれ戻りたい」と回答している（Uターン意向がある）者は、12 人（25.0%）である。

図表 162 高校卒業後の進路の全体図



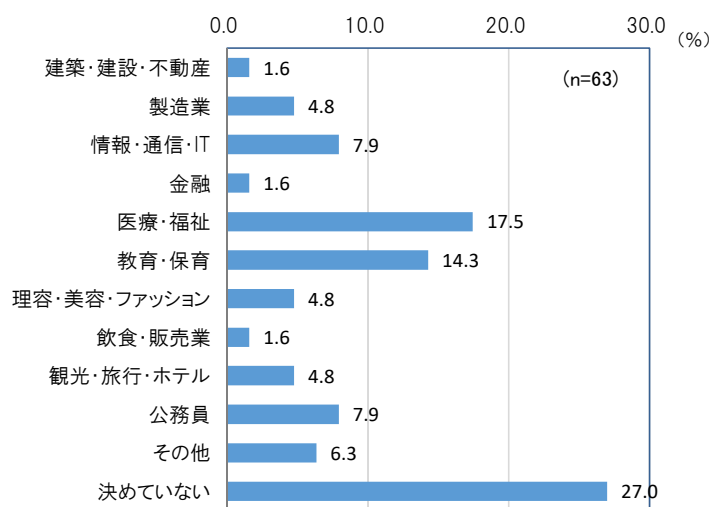
※「町外に就職（進学）」は、ここでは就業地、通学地が町外であることを意味しており、町内に住みながら就職（進学）することを意味している

## (2) 将来の職業と仕事観

- ・将来就きたい職業としては、「決めていない」が27.0%で最も多くなっている。次いで「医療・福祉」「教育・保育」が続く。
- ・仕事を選ぶうえでもっとも重視することは「面白さ・やりがい」が36.5%と最も多い。次いで、「技能・経験を生かせる」が22.2%となっている。
- ・希望する働き方としては「会社に縛られず技能を活かす働き方」が42.9%と最も多く、次いで、「責任ある仕事を任せられ会社の中心となる働き方」「仕事以外の自分の時間を大切にしている働き方」が続く。

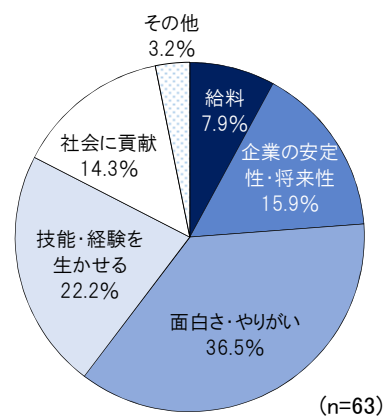
図表 163 将来就きたい職業

	回答数(人)	割合(%)
建築・建設・不動産	1	1.6
製造業	3	4.8
情報・通信・IT	5	7.9
金融	1	1.6
医療・福祉	11	17.5
教育・保育	9	14.3
理容・美容・ファッション	3	4.8
飲食・販売業	1	1.6
観光・旅行・ホテル	3	4.8
公務員	5	7.9
その他	4	6.3
決めていない	17	27.0
合計	63	100.0



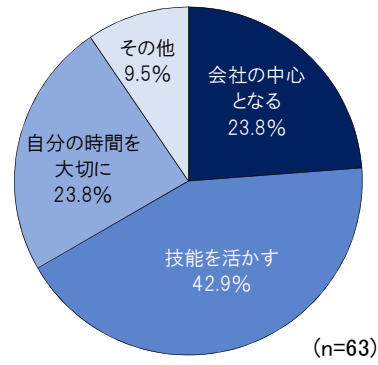
図表 164 仕事を選ぶうえでもっとも重視すること

	回答数(人)	割合(%)
給料	5	7.9
企業の安定性・将来性	10	15.9
面白さ・やりがい	23	36.5
技能・経験を生かせる	14	22.2
社会に貢献	9	14.3
その他	2	3.2
合計	63	100.0



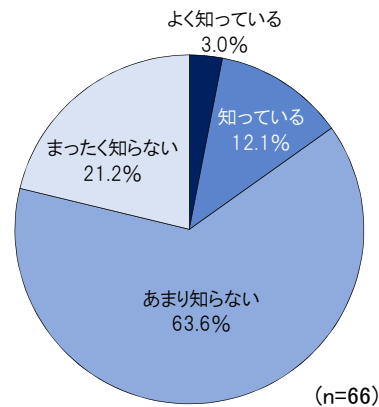
図表 165 希望する働き方

	回答数(人)	割合(%)
会社の中心となる	15	23.8
技能を活かす	27	42.9
自分の時間を大切に	15	23.8
その他	6	9.5
合計	63	100.0



図表 166 信濃町・信濃町近郊にある会社の認知度

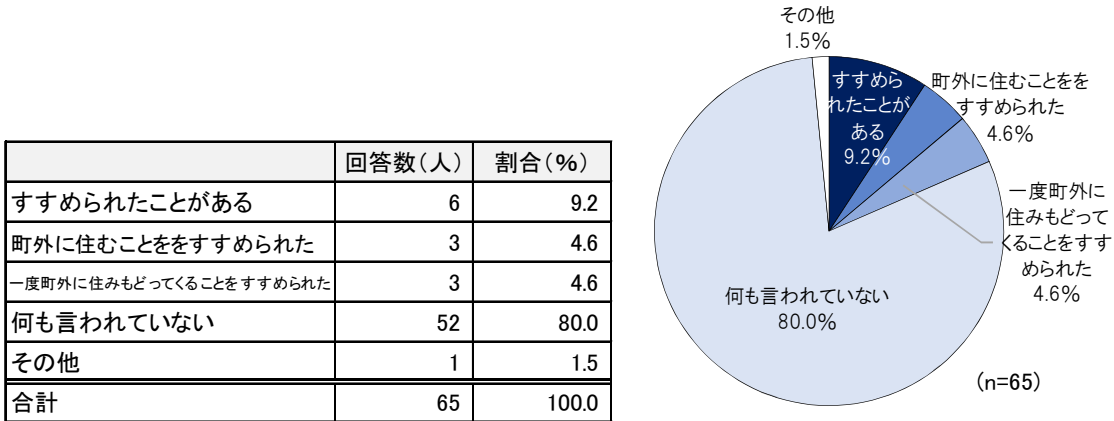
	回答数(人)	割合(%)
よく知っている	2	3.0
知っている	8	12.1
あまり知らない	42	63.6
まったく知らない	14	21.2
合計	66	100.0



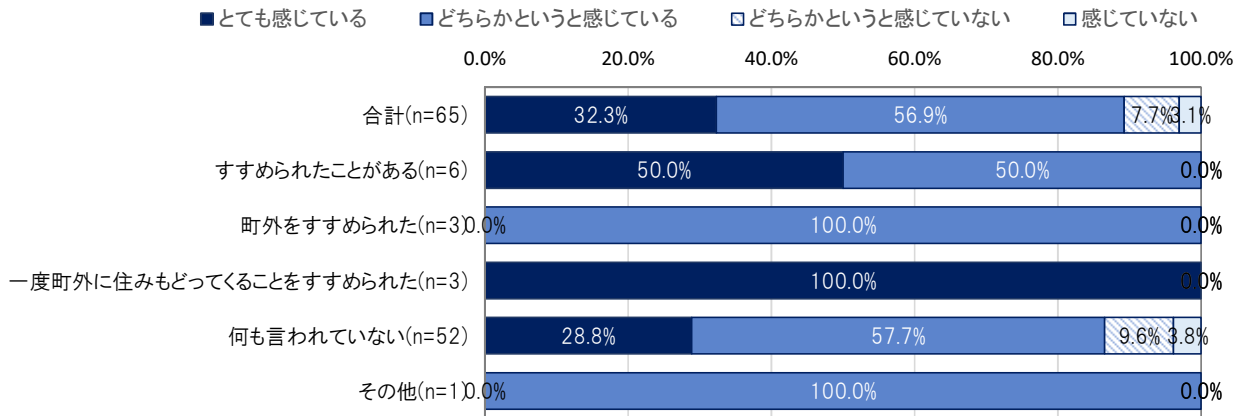
### (3) 家族からの定住のすすめの有無

- ・家族から将来、信濃町に住み続けることを「すすめられたことがある」割合は9.2%と低い。回答者のうち80.0%は「何も言われていない」と回答している。
- ・信濃町に住み続けることを家族から「すすめられたことがある」または、「一度町外に住み戻って帰ることをすすめられたことがある」と回答した者の信濃町への愛着度は、「町外へ転出することをすすめられたことがある」または、「何も言われていない」と回答した者よりも高くなっている。
- ・信濃町に住み続けることを家族から「すすめられたことがある」と回答した者の定住意向は、「何も言われていない」と回答した者よりも高くなっている。
- ・以上のことから、家族からのすすめや働きかけによって愛着度や定住意向を高めることができる可能性がある※。※回答者数が少ないため、参考値であることに留意

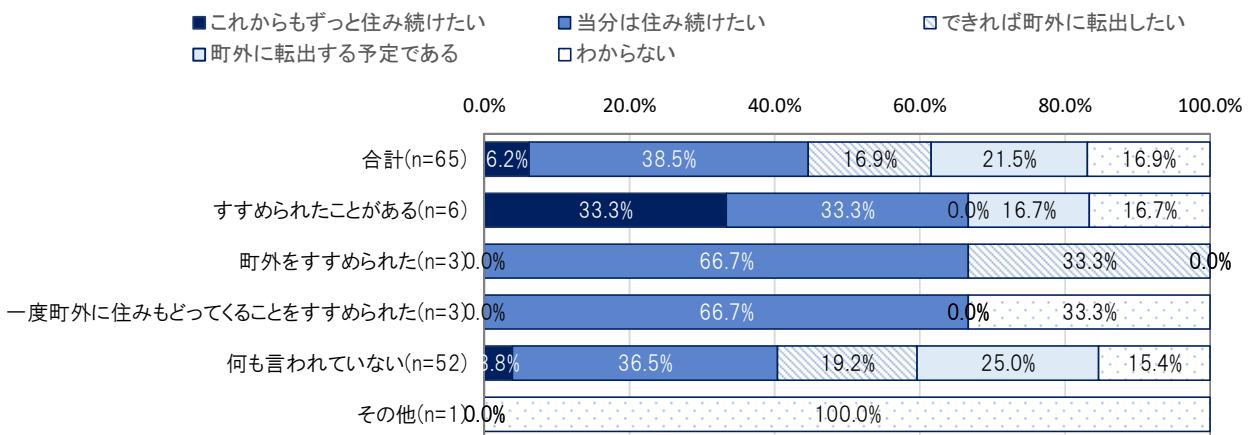
図表 167 家族に、将来、信濃町に住み続けることをすすめられたことはあるか



図表 168 信濃町に住み続けることをすすめられた経験の有無と町に対する愛着度



図表 169 信濃町に住み続けることをすすめられた経験の有無と定住意向



(4) 信濃町から引っ越した若い人たちが戻ってきたいまちとするためのアイデア (自由記述)

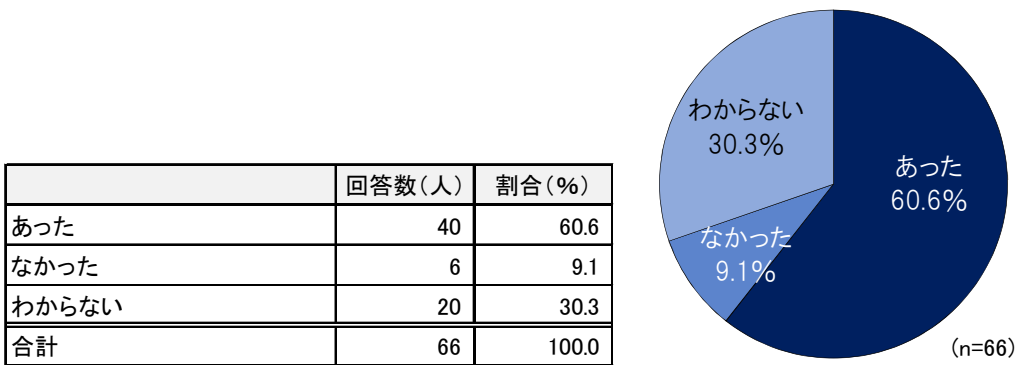
地域の人、自分がすること
まず自分が「信濃町に住み続けたい」という意思を持つ。
信濃町に住みながら仕事が出来ないか、これからの進路をよく考える。
いつ帰ってきてても温かく迎え入れられるようにする。
個人で出来る自然保護
この町ならではの自然豊かな環境を保てるようにする。
今の環境を維持又は良くしていくための活動を考え、実行していく。
協力しながら畑や田んぼの維持
子ども議会で出された案が全く活かしたり、伸ばされない。子どもたちから意見を聞く。
イベントや行事などに積極的に参加する。
伝統行事の継承
お互い困っていたら助け合えるような関係を築く。
どうすればより良くなるか考える。
自分の出来る事を考える。

町ができること
施設を作る(買物出来たり、遊んだりできる場所)。
買物が楽にできる。
娯楽施設を増やす。
保育園の整備。
気軽に集える場所を作る等
サービスを増やす。
支援制度の充実
住む特典(制度)を作る。
信濃町に住む利点をアピール
地域の人、自分達が行おうとしている、考えている事のサポート
何かもっと交流の場を作ってみる。イベントや行事を増やす。職場を増やす。
働く場所の確保
過疎化を止める。
自然はそのまま
自然をもっと活かす。
自然を活かした町の人や県外、海外の方も楽しめる場所を作る。
また来たいと思えるような魅力のあるところをひとつでも作る。
交通機関を便利にして移動しやすくする。

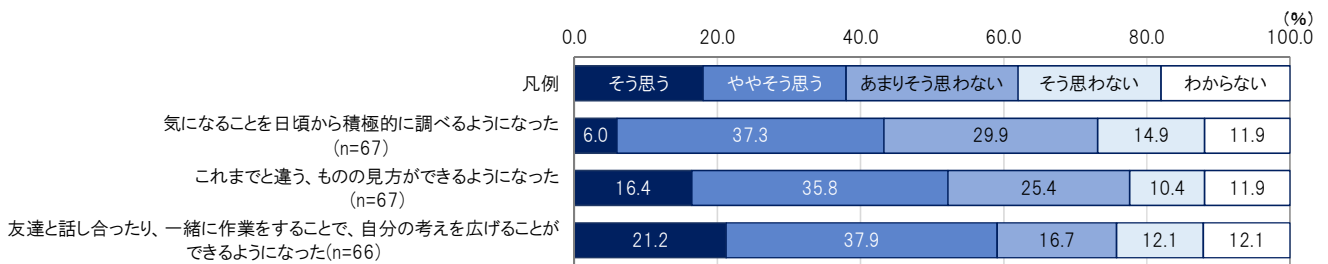
(5) ふるさと学習について

- ・学校でのふるさと学習によって、地域について新たにわかったことが「あった」と回答した割合は60.6%である。「なかった」は9.1%、「わからない」は30.3%である。
- ・ふるさと学習による自身の変化としては、「これまでと違うものを見方ができるようになった」「友達と話し合ったり、一緒に作業をすることで、自分の考えを広げることができるようになった」という評価が50%を超えている。
- ・信濃町について関心がある、もっと知りたいことでは「特にない」と回答した者が22人と最も多いが、次いで「文化・伝統」「産業・経済」があげられている。

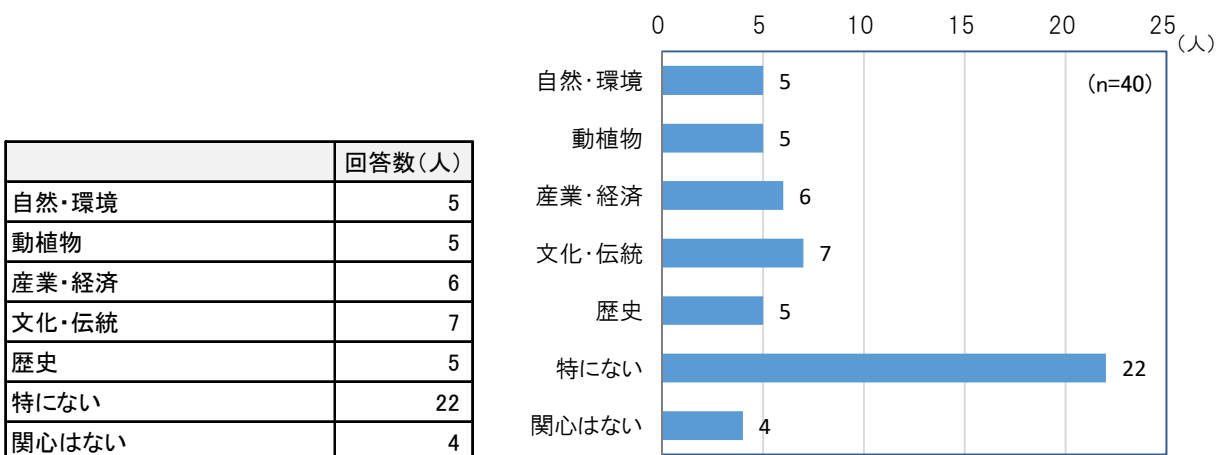
図表 170 地域について新たにわかったこと



図表 171 ふるさと学習による自身の変化



図表 172 信濃町について関心がある、もっと知りたいこと



## 5. 地域における支え合いに関する分析

第4期信濃町地域福祉計画の策定に向けて、住民の地域福祉に対する意識、地域での支え合いの状況・意向を把握するため、以下の設問について行った分析結果を示す。

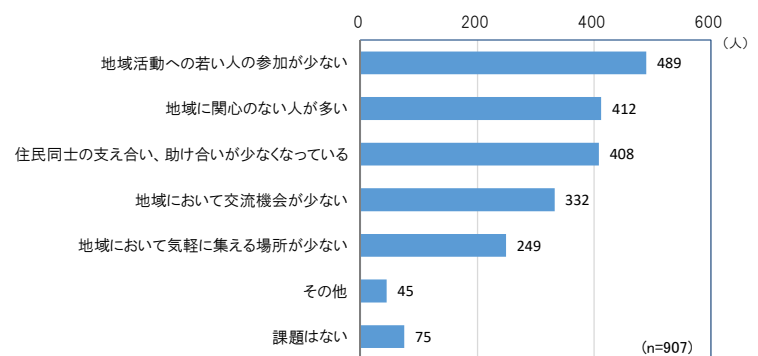
- ・住民同士の関わりにおける課題
- ・日常生活の困りごと
- ・日常生活での助け合いの状況
- ・住民同士の支え合いに対する意識

### (1) 住民同士の関わりにおける課題

・住民同士の関わりにおける課題としては「地域活動への若い人の参加が少ない」が最も多くなっている。次いで、「地域に関心のない人が多い」「住民同士の支え合い、助け合いが少なくなっている」が多い。

図表 173 住民同士の関わりにおける課題 [複数回答]

	回答数(人)
地域活動への若い人の参加が少ない	489
地域に関心のない人が多い	412
住民同士の支え合い、助け合いが少なくなっている	408
地域において交流機会が少ない	332
地域において気軽に集える場所が少ない	249
その他	45
課題はない	75

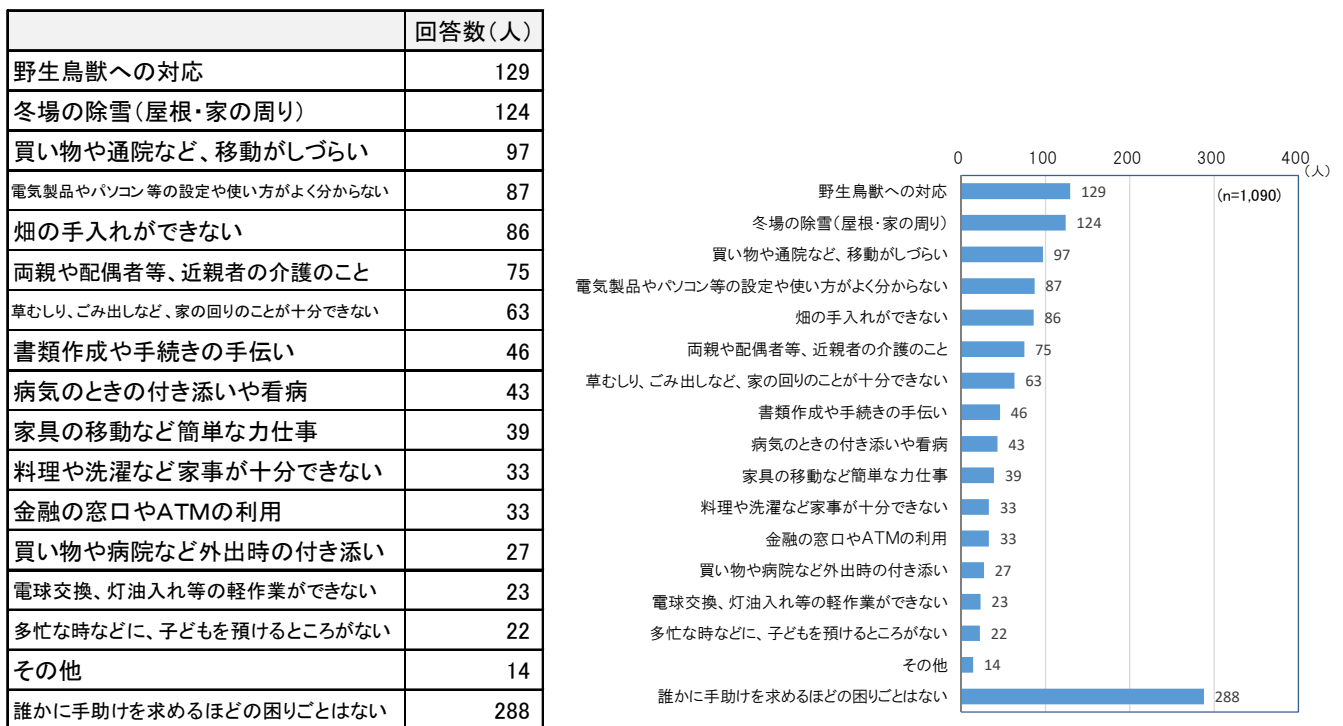




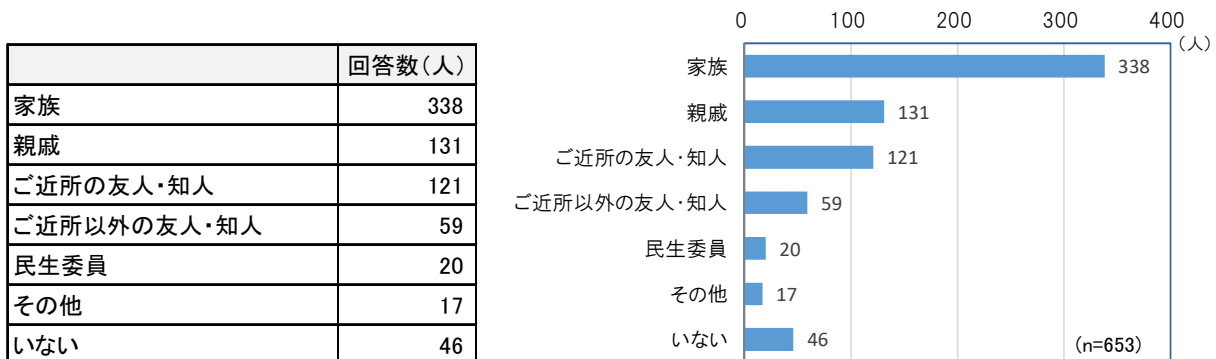
## (2) 現在と10年後の日常生活での困りごと

- ・現在の日常生活での困りごとでは、「誰かに手助けを求めるほどの困りごとはない」が最も多く、次いで、「野生鳥獣への対応」「冬場の除雪」「買い物や通院など、移動がしづらい」となっている。
- ・困ったときに助けてくれる人としては「家族」が最も多い。次いで、「親戚」「近所の友人・知人」が続く。一方で、助けてくれる人が「いない」者もいる。
- ・10年後、日常生活で手助けが必要になりそうなことでは、「冬場の除雪」が最も多く、次いで「両親や配偶者等、近親者の介護のこと」「買い物や通院など、移動がしづらい」が続く。
- ・現在の困りごとと10年後に手助けが必要になりそうなことを比べると、「誰かに手助けを求めるほどの困りごとはない」が減少し、そのほかの項目が増加している。

図表 174 現在の日常生活での困りごと [複数回答]

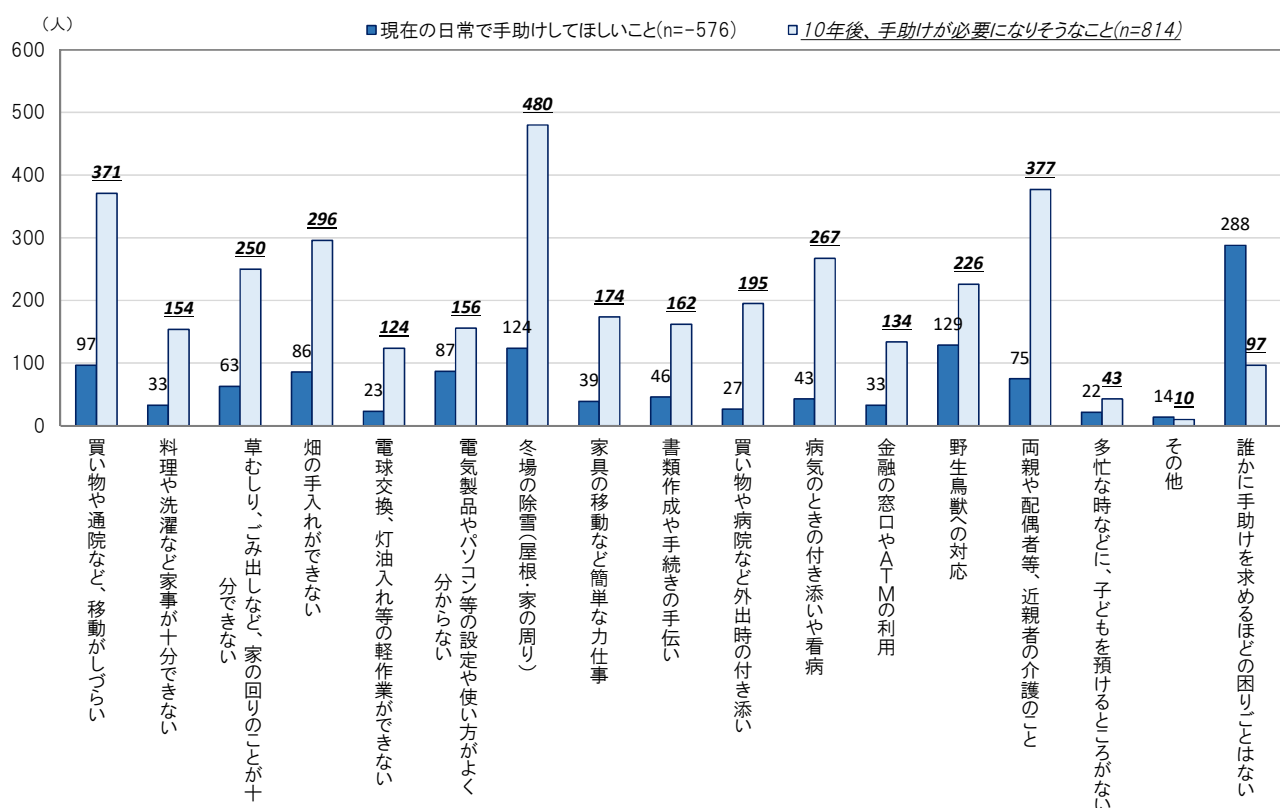
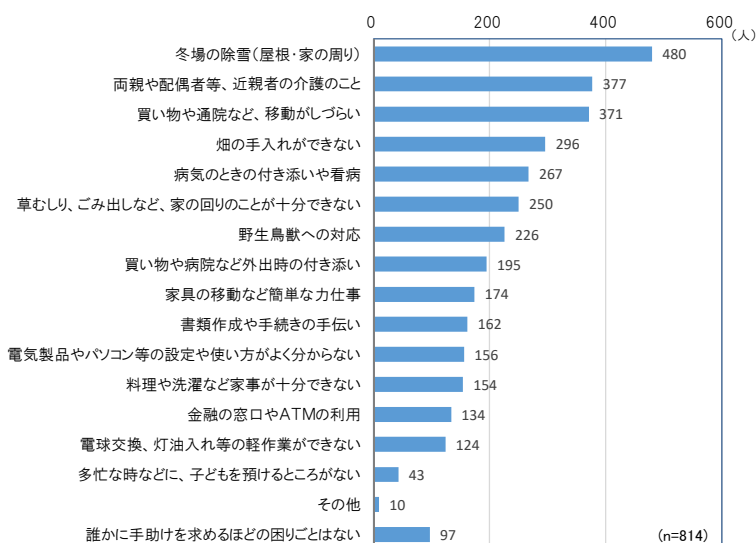


図表 175 日常生活で困ったときに助けてくれる人 [複数回答]



図表 176 10年後、日常生活で手助けが必要になりそうなこと [複数回答]

	回答数(人)
冬場の除雪(屋根・家の周り)	480
両親や配偶者等、近親者の介護のこと	377
買い物や通院など、移動がしづらい	371
畑の手入れができない	296
病気のときの付き添いや看病	267
草むしり、ごみ出しなど、家の回りのことが十分できない	250
野生鳥獣への対応	226
買い物や病院など外出時の付き添い	195
家具の移動など簡単な力仕事	174
書類作成や手続きの手伝い	162
電気製品やパソコン等の設定や使い方がよく分からない	156
料理や洗濯など家事が十分できない	154
金融の窓口やATMの利用	134
電球交換、灯油入れ等の軽作業ができない	124
多忙な時などに、子どもを預けるところがない	43
その他	10
誰かに手助けを求めるほどの困りごとはない	97



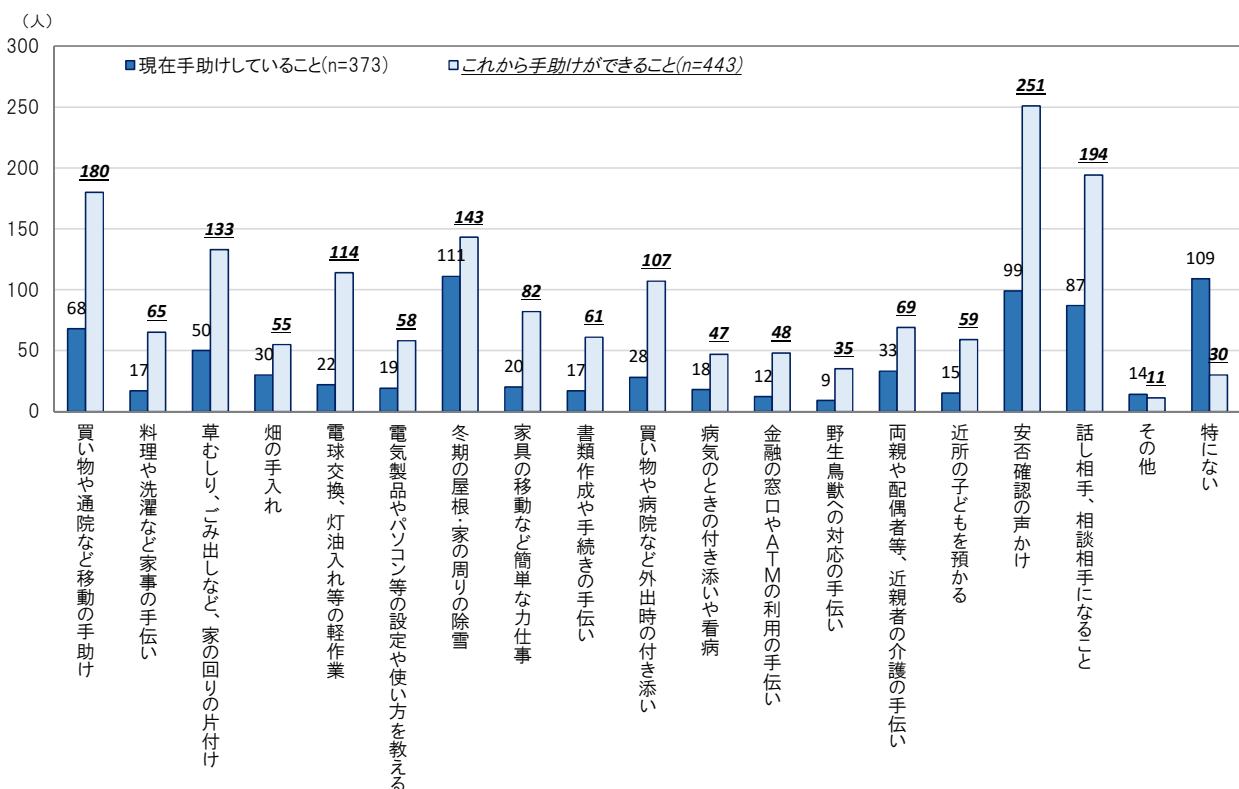
### (3) 手助けの意向

- ・手助けの意向を確認したところ「できる範囲で「ちょっとした手助け」をしたい」が57.1%でもっとも多くなっている。次いで、「「ちょっとした手助け」をしたいが、自分のことで精一杯で余裕がない」が多い。
- ・現在手助けしていることでは、「冬期の屋根・家周りの除雪」が111人で最も多く、次いで、「安否確認の声かけ」「話し相手、相談相手になること」が続く。一方、「特にない」も109人と多い。
- ・これから手助けできることとしては「安否確認の声かけ」「話し相手、相談相手になること」が多くなっている。
- ・「現在、手助けしていること」「これから手助けできること」にどちらも「特にない」と回答した者に手助けできないことがない理由を確認したところ「まわりに手助けを必要とする人がいない」が最も多く、次いで、「まわりに手助けが必要な人がいるかどうかわからない」が多かった。

図表 177 手助け意向

	回答数(人)	割合(%)
近所に住む者として、できる範囲で「ちょっとした手助け」をしたい	524	57.1
「ちょっとした手助け」をしたいが、自分のことで精一杯で余裕がない	249	27.1
「ちょっとした手助け」は主に行政が行うことなので、近所の者はしなくてもよい	8	0.9
余計なお世話になってしまうので、「ちょっとした手助け」はしないと思う	89	9.7
あまり関わりたくないの、「ちょっとした手助け」はしないと思う	29	3.2
その他	19	2.1
合計	918	100.0

図表 178 【「できる範囲で「ちょっとした手助け」をしたい」と回答した者のみ】  
現在手助けしていることとこれから手助けできること



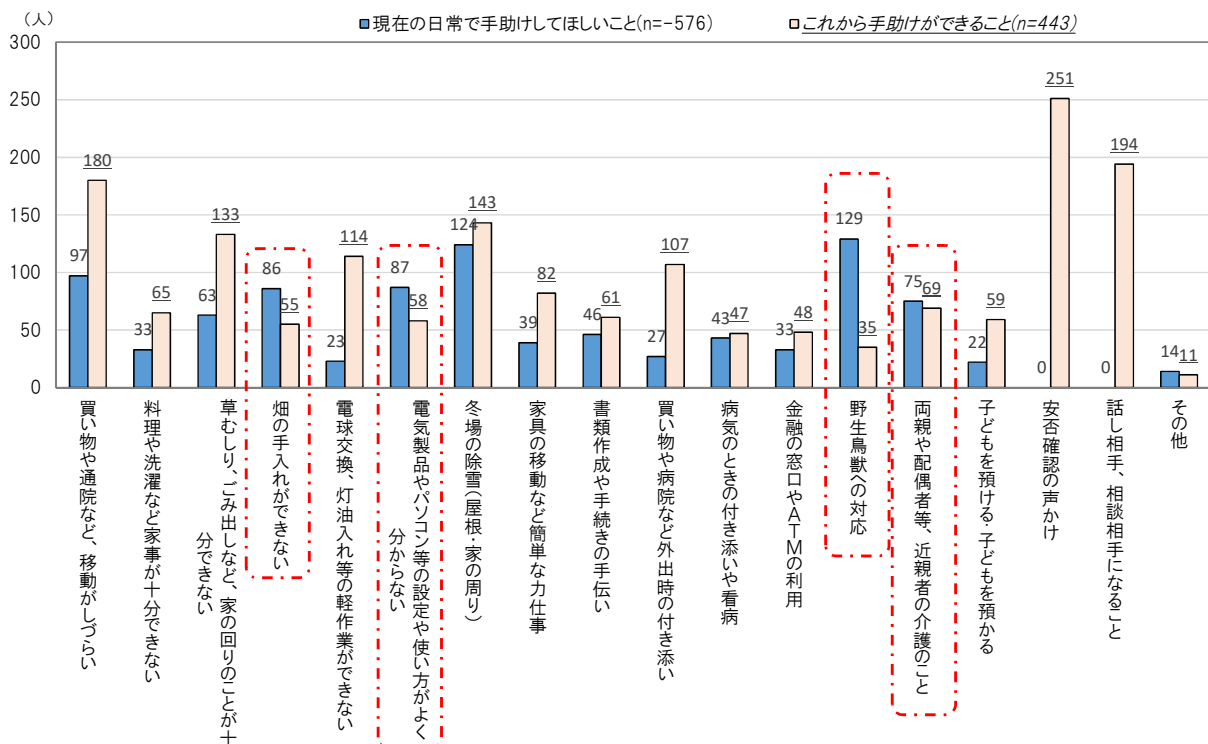
図表 179 【「現在、手助けしていること」「これから手助けできること」にどちらも「特にない」と回答した者のみ】手助けできない理由

	回答数(人)	割合(%)
まわりに手助けを必要とする人はいるが、何から始めてよいかわからない	1	4.0
まわりに手助けを必要とする人がいるかどうかわからない	10	40.0
まわりに手助けを必要とする人がいない	11	44.0
その他	3	12.0
合計	25	100.0

#### (4) 住民同士の支え合い

- ・下図は、手助けしてほしいこと（ニーズ量）と、これから手助けできること（住民同士の支え合いでサポートできる量）を比較したものである。
- ・「冬の除雪」や「買い物や通院など、移動がしづらい」など、サポート量がニーズを上回っている項目については、住民同士の支え合いで対応できるものと考えられる。
- ・他方、「野生鳥獣への対応」「畑の手入れができない」などについては、サポート量がニーズを下回っていることから、行政による介入が必要と考えられる。

図表 180 手助けしてほしいことと手助けしていること [複数回答]



### (5) 住民同士の支え合いにおける住民と行政の関係

- ・住民同士の支え合いにおける住民と行政の関係では「家庭や地域において、住民同士が助け合い、手の届かない部分は行政が支援する」が59.6%でもっとも多い。次いで「行政にあまり頼らず、自分でできることは自分でやる」が22.6%で続く。
- ・「住民を支える役割は行政にあり、住民が協力することはあまりない」は2.6%にとどまる。

図表 181 住民同士の支え合いにおける住民と行政の関係

	回答数(人)	割合(%)
行政にあまり頼らず、自分でできることは自分でやる	206	22.6
家庭や地域において、住民同士が助け合い、手の届かない部分は行政が支援する	544	59.6
住民を支える役割は行政にあり、住民が協力することはあまりない	41	4.5
その他	24	2.6
わからない	97	10.6
合計	912	100.0

### (6) 住民同士の助け合いにおける報酬の考え方

- ・住民同士の支え合いにおける報酬については「お互いさまなので、報酬の支払いはなくてもよい」が47.2%でもっとも多い。次いで「報酬ではなく、実費を支払う程度でよい」が24.1%で続く。
- ・「労働力を提供しているので、報酬の支払はあるべきである」は9.6%であった。

図表 182 住民同士の支え合いにおける報酬の考え方

	回答数(人)	割合(%)
お互いさまなので、報酬の支払いはなくてもよい	434	47.2
労働力を提供しているので、報酬の支払はあるべきである	88	9.6
報酬ではなく、実費を支払う程度でよい	222	24.1
その他	33	3.6
わからない	143	15.5
合計	920	100.0

(7) 住民同士の助け合いに対する意見（自由記述）

① 住民同士の助け合いに否定的な意見

支え合うことは難しい
人口が減少し、組の組織そのものが維持できなくなりつつあるので、昔のように住民同士で支え合うことがもうできない。これだけ人がいなくなってきている今になっては、もう無理ではないか。
隣同士であっても冬の雪片付けで問題が生じている中で、住民同士の支え合いと言っても難しいと思う。
今後高齢化が進むので他人を支え合うのは難しいと思う。理想と現実はなかなか合致しないと思うが……
住民の高齢化と町民の減少している中で、住民同士の支え合いの話はいかがなものか。信濃町はとにかく住みにくい。雪も多いし寒い。他に何か町が活気づくようなものはないものか、いつも考える。
近所でも関係は希薄になっていて、昔のようにやれというのは難しいと思う。
手助けしたいと思うが、皆自分の事でいっぱいであり、まわりに手助けを必要とする人もいない。
ご近所関係が昔とは変化して、希薄になっているのも事実ですが、いろんな環境も整ってきて、昔ほどご近所に頼らなければならない事も少なくなっているように感じます。会社を退職しても働き続ける方が多く、家にいる事も少ないと、なかなか手助けするのも時間などの兼ね合いもあるので難しいのでは。
住民同士の悪口が多く、ぎすぎすしている。
家にいて生活が出来るまでは自分達のことでは精一杯が現状です。
身の回りで精いっぱいのところもある。今後、少子高齢化する中では支え合いも成り立つか分からない。

住民同士の関係がよくない
地域活動はありますが、形だけです。地域に魅力がなくなり、気迫もなくなりつつあります。高齢者が多くなったせいかも。交流にはお金も時間もかかり、地域活動もそのうち無くなると思います。
草刈りの仲間に入れてくれない。協力すると言っているのに仲間に入れてくれない。
気の合う人、合わない人等の問題は難しい。それ以外は大丈夫だと思う。
人と人なので、合う合わないは必ずあるので人を選ぶが、自分が助けたいと思う人は助ける。
区員に入らない人、抜ける人がいるので住民同士支え合えない。
住民同士の関係がない人もいる。
小さい頃から知っているような間柄であれば心配はなく無条件の信頼がある。それ以外はなかなか難しいと思う。
普段からよいつきあい方をしていれば自然と住民同士の支え合いはできてくるものと思います。
特に、高齢者と若者との町への温度差の度はかなりあると思う。
若者は、できるだけ関わりたくないです。無駄に、支え合い、とか言わないでください。めんどうですよ。
新たに転入した人の中に地域の行事や作業に参加しない者がいる。
移住した際、とてもいじわるされたので支え合える環境を作れなかった。今は年をとり交流したいという考えが薄らいでいる。でも信濃町は大好きです。

どのように支え合いに参加すればいいかわからない
支え合いは大事だが、内容によってはどうしてよいかかわからない。
近所の方が何を手伝ってほしいのかお互いに分からない状態です。でも、手が必要な時はいつでも言える状態、お付き合いが必要だと感じにはいられないです。
支え合いもどこまで手を出して良いのか、余計なお世話となってしまう事もあり、難しい問題だと思います。
時代の流れにより近所でも声を掛けにくい状況である。地域の役員でもしていれば声を掛けることは出来るが、以外はおせっかい、または、変り者と言われる傾向にある。行政の介入なくして解決しない課題である。
身のまわりに1人暮らしの方がいるが、どうしていけばいいのかわからない。
隣、ご近所はわりと良好な関係と思うが、お願い事や頼み事はしづらい。支え合いというのは、どこまでなのかわからない。精神的なものなのか。
住民同士だと言えない事もあると思う。

## ② 住民同士の助け合いに肯定的な意見

### (ア) 助け合い実現に必要なこと

身近に考えることが必要
明日は我が身と思い意識して助け合うこと
何人にも尊敬を持って接するべき、人間は仲間、共存共生の精神を忘れてはいけない。
行政にすべてを依存するのではなく、住民である私たち自身が自ら支え合いの必要性を認識し、自分たちの地域に合った活動をすすめられると良いと思います。

行政のサポートが必要
やってもらってあたりまえ、やってくれないのがいけないではダメ。自立のための学習が大切 一方、自立して生きていくための公的制度は必要。サポートあつての自立だと思う。
「個人情報保護」行政はもっと弾力的に運用してほしい。例えば・・・転入者の情報。近隣の住民として接して、協力して、助け合っていくのだから
手の届かない部分は行政が支援することは大切なことと思いますが、手の届かない部分の把握をいかにするかが課題と考えます。実際にそのような部分があっても声を上げられない住民の多いと個人的に感じています。
まず、公助があつて、それから自助、共助だ。財政的に厳しいからと公助をおろそかにしてはならない。自信を持って、まず、行政はこれだけのことはすると宣言してほしい。
行政や住民が幸せを共感できるビジョンを打ち出さないと住民同士が支え合おうとする意志が生まれません。世界から人が集う町になるよう、頑張ってもらいたいと感じます。
住民同士の支え合いと言っても遠慮がちになったりする。一人暮らし又老人夫婦の場合、行政が一声かけないと無理です。一声かけてほしいです。
住民同士での支えあい、地域でできることは大切だと思うけれど、町のほうでもそこに甘えずやるべきこと、介入するときはきちんとやってほしい。

<b>場が必要</b>
とりあえず住民同士のオープンで共通の場所が必要と思う。
夏、野菜がたくさんとれた場合、他の方に食べてもらえるよう、野菜提供しておける場所があればいいと思う。それも、歩いてゆけるような場所がよい野菜を介しての支え合いがあればいいね。
知らない方とのコミュニケーションをとれる場がほしい。
一人暮らしの人達が皆で協力して一か所で暮らせる場があると良いと思います。お互いに出来ることをして暮らせたらいいなあとと思います。手助けする人たちもまとまっていた方が助かると思うのですが。
料理作り・お菓子作りなど誘い合って参加できるものを計画して、会話のある関係をつくっていく。
農産物、料理の差し入れ、交換等は気軽な交流の場となる。
住民同士で支え合いやすい環境整備を、行政にしていきたい。
町民と行政の一体感を持った取組みが必要と思う。

<b>組織、仕組みが必要</b>
組単位の活動の活性化がポイントだと思います。
支え合いのガイドラインの様なものがあれば、気がねなく助けあいが出来ると思う。
住民同士の助け合いの前に、家族がいる場合はまず家族が助けると思っているが、住民同士の助け合いが必要になってくる時代が、すぐそこまできているのだと思うけどまだなれていないし、どの様にするのかとまどってしまうので助け合いのやりかたや、事例を示し指導が必要になると思う。

<b>手助けを必要としている人と手助けできる人とのマッチングが必要</b>
手助けしてほしい人が気軽に助けを求められる情報発信元があればきっかけになる。
「手助けの必要な人」と「手助けをできる人・してもよい人」のマッチングをする行政のシステムがあるとよいと思う。

<b>報酬が必要</b>
報酬がないとかえって頼みにくい。悪いと思って遠慮してしまう。
通院などの場合は両方で納得できる支払いがあってもよいが、お互い言いづらかったり、拒めなかったりするので、ある程度の参考価格があればよい。
住民同士で助け合い、支え合いを継続する前提であれば実費の支払いは必要と考えます。報酬を支払うのであればそれなりの事業者へ委託する方が、メリットがあるのではないかと。
支え合いに関して、地域通貨を導入し、町から予算を支出する。
報酬は信濃町の地域通貨で支払い、買い物にも使用できるようになればと思う。例えば、名称はモモ。1モモ100円ぐらいで利用できるようなれば 草むしり1モモなど



<b>地域にリーダーが必要</b>
住民同士が支え合っているところもありますが、住民個々が自己主張をするようになって来て、協調性が欠けて来た面が見られます。以前は目上の者がリーダー役をしていましたが、近頃はそういう人も少なくなりました。
リーダーとなる、声を出す人がいない。
支え合いのリーダーシップを取る人の養成が必要だと思う。

<b>町に住民同士で助け合っている状況を知ってもらいたい</b>
こんな風に助けてもらっている…という人の意見を行政がちゃんと知っていること。次の一手につながる。
支え合うとか助け合うに関して、区とか組の集まりなどに行政の人がコーディネーター？的に参加して、提案したり、話し合うきっかけづくりをしていったら良いと思う。例をあげたりしてもらおうと分かりやすい。

(イ) これからしたい助け合い、すでに取り組んでいる助け合い

<b>まず、できることをしたい</b>
自分のできることを無理なくするあげること、楽しみながらできれば最高だと思います。また、人として、必要とされていることは幸福なことだと思います。
住民同士での支え合いはとても難しい課題です。しかし、現状は少人数の家族が多いので、地域での支え合いは大切だとは感じます。とりあえずは、自分でできることはしっかりと、自分自身で生活が安定をするように努力したいです。
何でも無理矢理は良くない。できる人がやれるような環境が重要
まず、自分のできる事は、できるかぎり頑張る。それ以上は望まない。支えてもらう時がきたら最低限度の支えでお互い気を使わないで生きたい。
もっとかかわりを持ち、自分ができることを、やっていけたらいいなと思う。
買物や通院の手助けは、仕事をしているので難しいが、自分の時間が空いている時にできる手伝いであれば、ちょっとならできかなと思う。
今はまだ支えられますが、高齢者だけの地区になったらどうして良いか、今のうちに考えたいです。

声掛けをしている
住民同士助け合うのも必要ですが、その時により余計なお世話になってしまうので、毎回声かけをするようにしている。
日常生活でも、いつも声かけをしていく事が大事である。
会った時に声かけをし、話をする。
子どもがいない家族は近所との関りが少なく特に冬は家にとじこもりがちでもっと声かけをするよう心がけたい
隣近所あまり気をつかわないで、気楽に話しかけられる環境になるといい
まずはコミュニケーションから、その支えることが見えてくる自分にできることをしてやること
2年前から、ひとり暮らしになった方が近くにいらっしゃいます。これまで忙しがっていてあまり交流もなかったけれど、時々伺って話などまずしたいなと思う。はじめの一步です。
普段からお互いに声をかける事を意識している。
気軽に声かけをして貰いたい

## 第2節 中学生アンケート結果

---

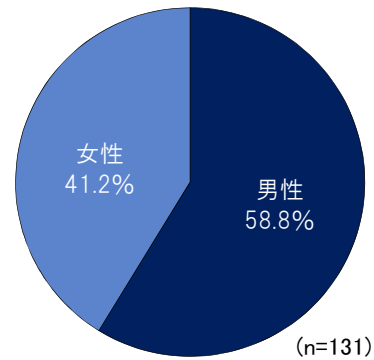


## 1. 回答者の属性

- ・回答者の性別は、「男性」58.8%、「女性」41.2%とほぼ同数である。
- ・学年では、9年生の回答が多く、53.8%となっている。
- ・居住地では、柏原と古間の回答が多くなっている。

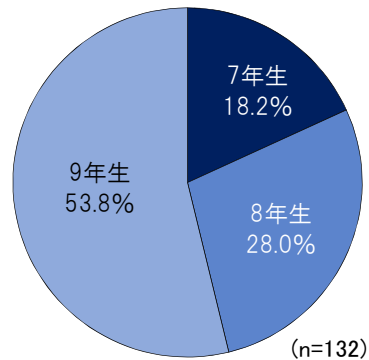
図表 183 性別

	回答数(人)	割合(%)
男性	77	58.8
女性	54	41.2
合計	131	100.0



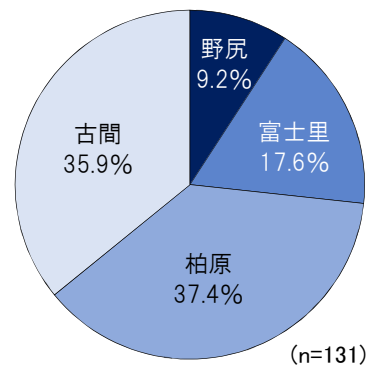
図表 184 学年

	回答数(人)	割合(%)
7年生	24	18.2
8年生	37	28.0
9年生	71	53.8
合計	132	100.0



図表 185 居住地

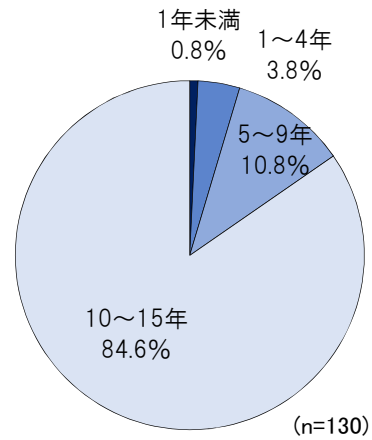
	回答数(人)	割合(%)
野尻	12	9.2
富士里	23	17.6
柏原	49	37.4
古間	47	35.9
合計	131	100.0



・信濃町での居住年数は「10～15年」が最も多い。長く住んでいる場所は信濃町である。

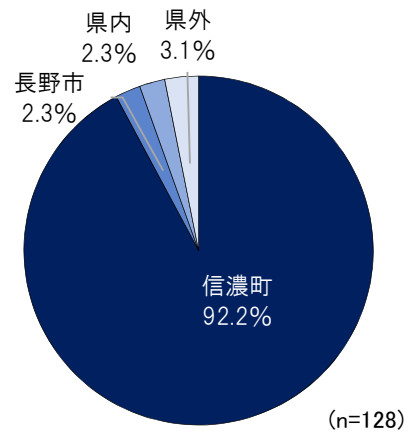
図表 186 居住年数

	回答数(人)	割合(%)
1年未満	1	0.8
1～4年	5	3.8
5～9年	14	10.8
10～15年	110	84.6
合計	130	100.0



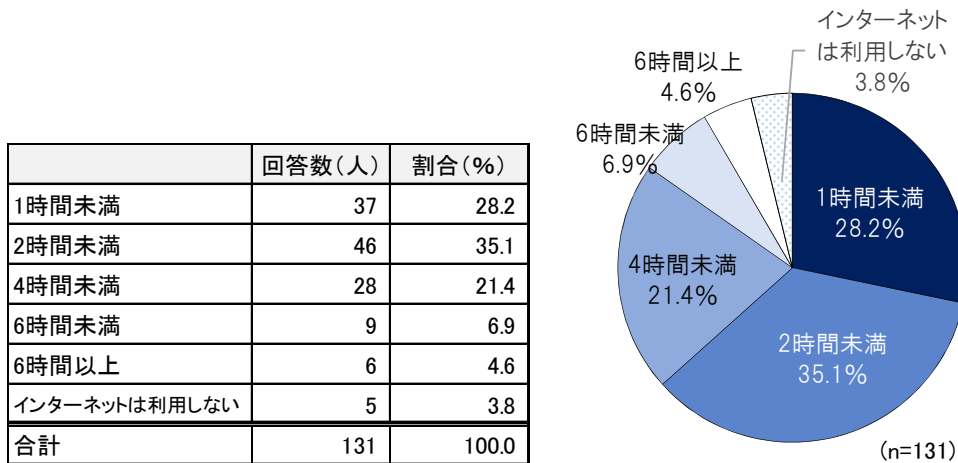
図表 187 もっとも長く住んでいる場所

	回答数(人)	割合(%)
信濃町	118	92.2
長野市	3	2.3
県内	3	2.3
県外	4	3.1
合計	128	100.0

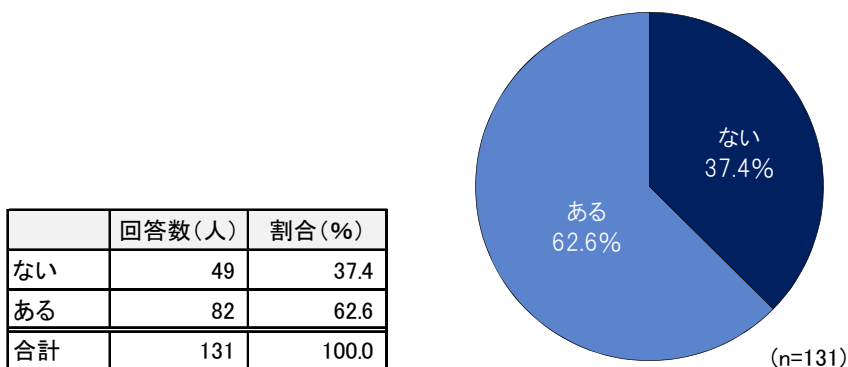


- ・インターネットを利用する時間では「2時間未満」が35.1%と最も多い。「1時間未満」と「2時間未満」を合わせると63.3%を占めている。15歳以上の住民に対する調査結果よりもインターネットを長時間利用している。
- ・本を読む習慣が「ある」割合は62.6%である。
- ・本を読む習慣がある者のひと月あたりに読む本の冊数は、「2～3冊」が46.3%で最も多い。次いで、「4～5冊」「6～10冊」が続く。

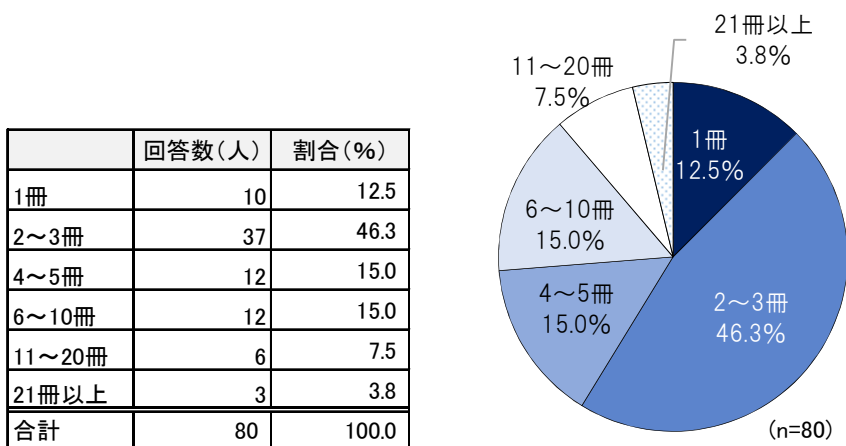
図表 188 インターネットを利用する時間



図表 189 本を読む習慣の有無



図表 190 ひと月あたりに読む冊数【本を読む習慣が「ある」と回答した者のみ】

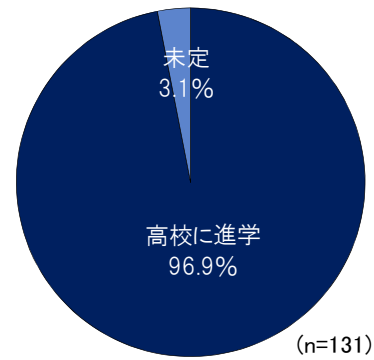


## 2. 中学卒業後の進路

- ・ 中学卒業後の進路としては「高校に進学」が 96.9%となっている。
- ・ 高校卒業後の希望進路は「大学に進学」が 25.8%と最も多い。次いで「就職」「専門学校へ進学」が続く。「未定」も 32.8%である。

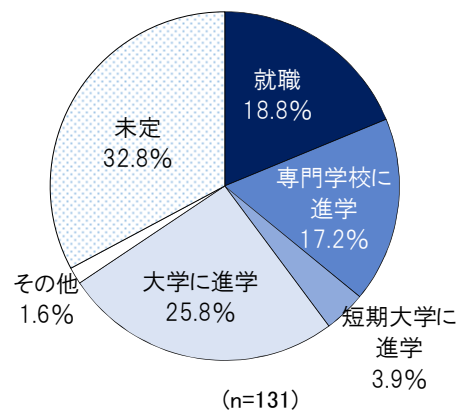
図表 191 卒業後の希望進路

	回答数(人)	割合(%)
高校に進学	127	96.9
未定	4	3.1
合計	131	100.0



図表 192 高校卒業後、希望する進路【高校に進学したいと回答した者のみ】

	回答数(人)	割合(%)
就職	24	18.8
専門学校に進学	22	17.2
短期大学に進学	5	3.9
大学に進学	33	25.8
その他	2	1.6
未定	42	32.8
合計	128	100.0

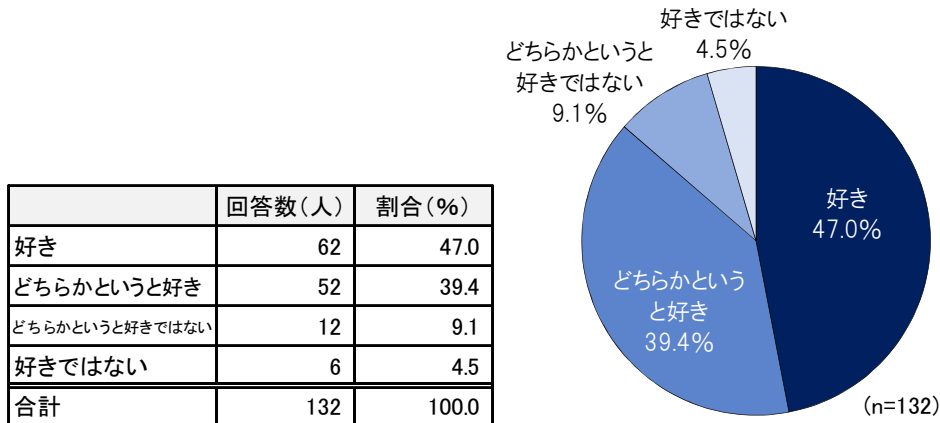




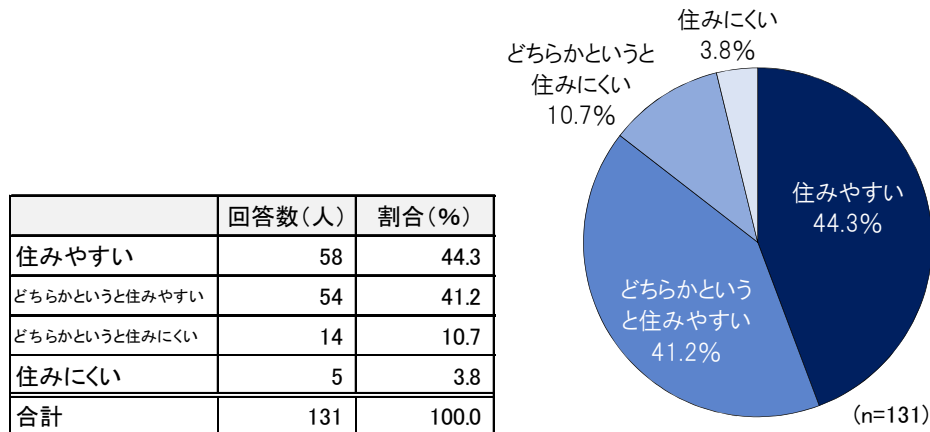
### 3. 信濃町に対する意識

- ・信濃町を「好き」が47.0%、「どちらかという好き」が39.4%であり、合わせて86.4%を占める。
- ・住みやすさでは、「住みやすい」が44.3%、「どちらかという住みやすい」が41.2%となっている。
- ・住みやすさを平成26年度調査と比較すると「住みやすい」「どちらかという住みやすい」が上昇している。

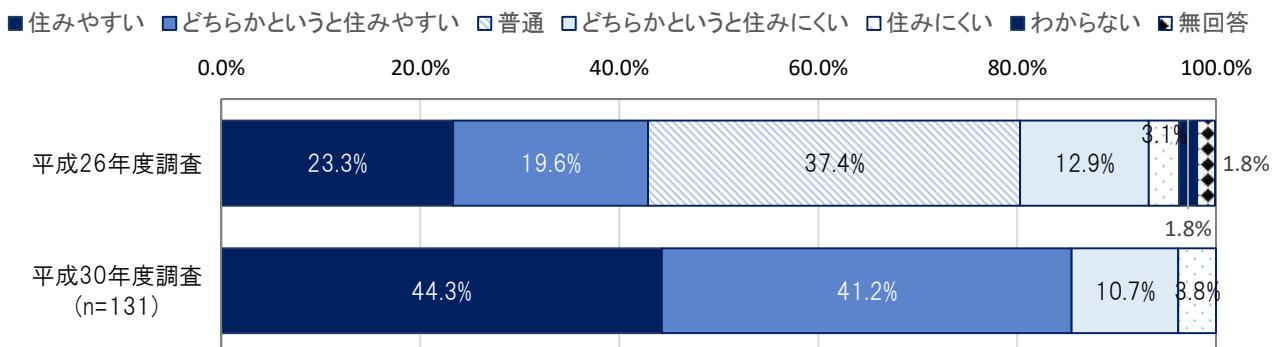
図表 193 信濃町が好きか



図表 194 信濃町の住みやすさ



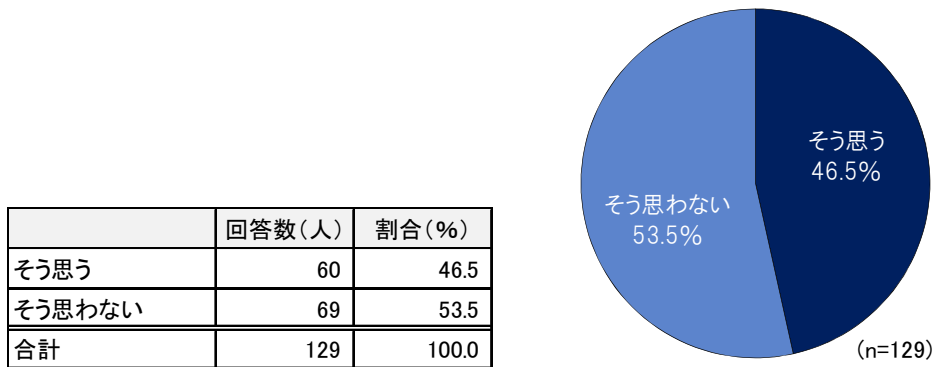
図表 195 【経年比較】信濃町の住みやすさ



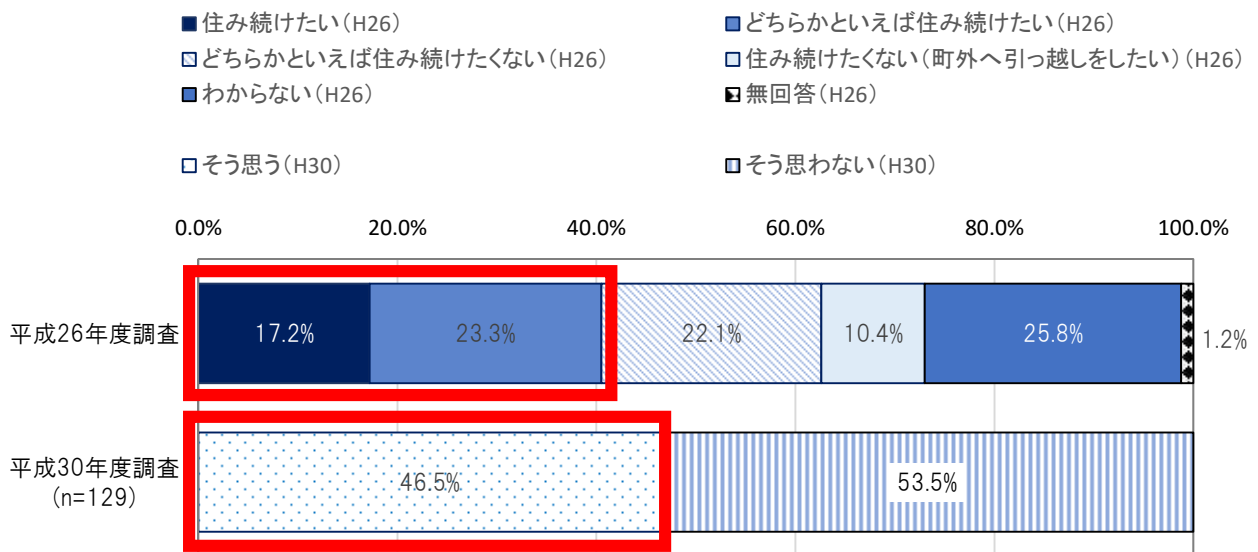
※平成26年度調査では、本調査にはない「普通」「わからない」という選択肢がある。また、集計に「無回答」が含まれるなどの違いがあるため、単純な比較はできない

- ・信濃町で住み続けたいかどうかでは「そう思わない」が 53.5%となっており、「そう思う」が 46.5%となっている。
- ・平成 26 年度調査結果では、「住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」を合わせた割合が 40.5%である。選択肢が異なるため単純な比較ができないものの、定住意向としてはやや上昇したと考えることができる
- ・信濃町に住み続けるつもりがない理由としては「都会の生活への憧れ」が 26.5%、「独り立ちしたい」が 20.6%となっている。

図表 196 信濃町で住み続けたいか



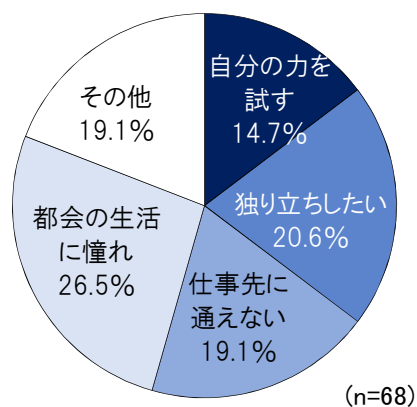
図表 197 【経年比較】信濃町での定住意向



※平成 26 年度調査では、本調査選択肢が異なることや、集計に「無回答」が含まれるなどの違いがあるため、単純な比較はできない

図表 198 住み続けるつもりがない理由【住み続けたいかに「そう思わない」と回答した者のみ】

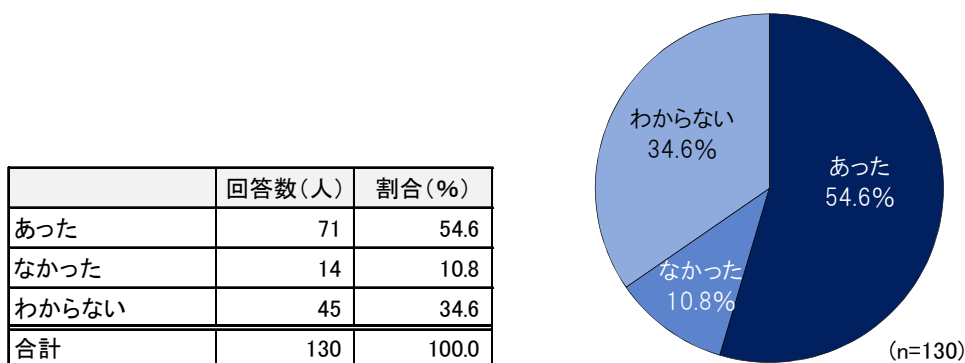
	回答数(人)	割合(%)
自分の力を試す	10	14.7
独立立ちたい	14	20.6
仕事先に通えない	13	19.1
都会の生活に憧れ	18	26.5
その他	13	19.1
合計	68	100.0



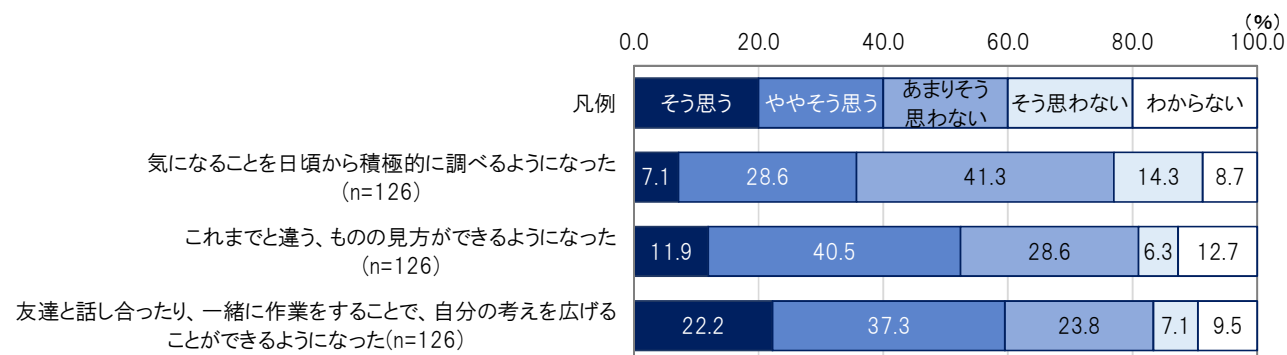
#### 4. ふるさと学習について

- ・ふるさと学習を通じて、地域のことで新たに分かったことが「あった」と回答した者は54.6%となっている。
- ・ふるさと学習を通じた自身の変化としては、「これまでと違うものの見方ができるようになった」「友達と話し合ったり、一緒に作業をすることで、自分の考えを広げることができるようになった」に「そう思う」「ややそう思う」と回答した者が半数を超えている。
- ・信濃町について関心がある、もっと知りたいことでは「特にない」が最も多いが、次いで「動植物」「自然環境」があげられている。

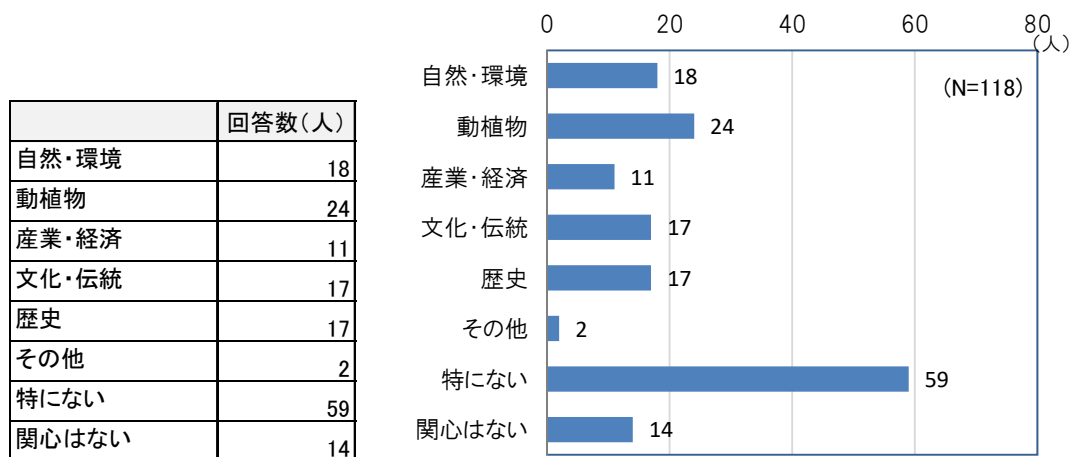
図表 199 地域のことについて新たにわかったこと



図表 200 ふるさと学習による自身の変化

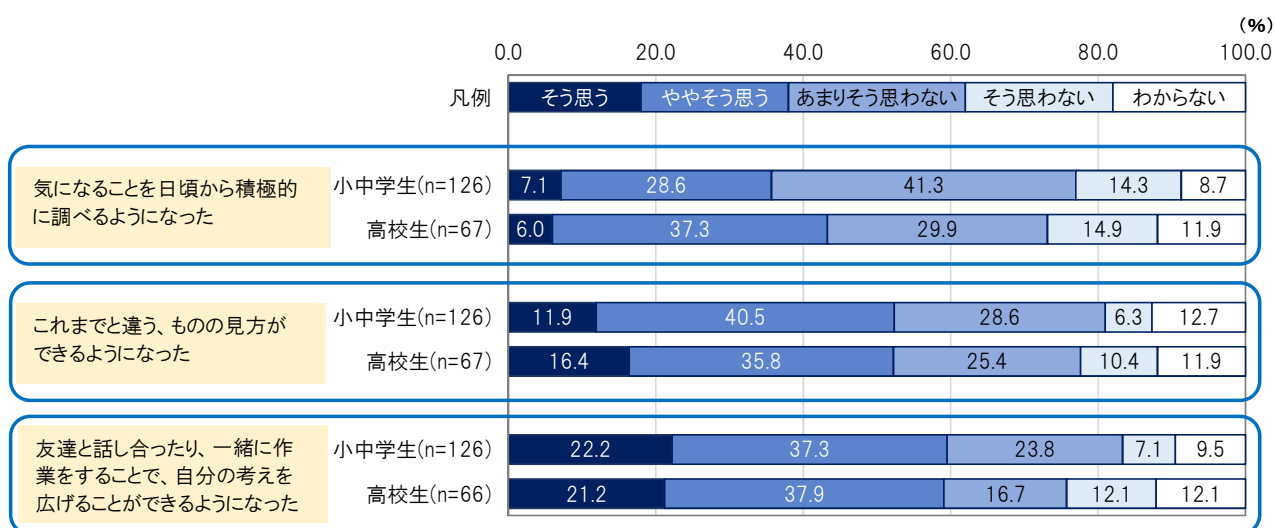


図表 201 信濃町について関心がある、もっと知りたいこと



- ・ふるさと学習による自身の変化について、中学生の回答と16歳～18歳（高校生）の回答とを比較すると、「これまでと違う、もの見方ができるようになった」「友達と話し合ったり、一緒に作業をすることで、自分の考えを広げることができるようになった」については、概ね同様の傾向がみられる。
- ・「気になることを日頃から積極的に調べるようになった」については、中学生よりも高校生の方が「そう思う」「ややそう思う」と回答した者が多く、ふるさと学習が自ら学ぶ意識を身につけることに寄与している可能性がある。
- ・各項目とも「そう思わない」と回答した者は高校生の方が多くなっている。

図表 202 ふるさと学習による自身の変化【中学生と高校生の回答の比較】







## 卷末資料：調查票





## 信濃町 第6次長期振興計画策定に係る町民意識調査のお願い

町民の皆様には、日頃から町政につきましてご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、本町では今後10年間のまちづくりの方針を示す「信濃町第6次長期振興計画（以下「計画」という。）」を策定いたします。

この計画は、町政の根幹となる計画であり、町民の皆様にとって身近な福祉、教育、まちづくり、産業振興など、さまざまな分野を網羅したものとなります。策定にあたっては、町民の皆様のお考え・ご意見等が重要となりますので、本アンケート調査を実施いたします。

本アンケートは、町内にお住まいの19歳以上（平成30年4月1日時点）の2,300人の皆様を無作為に抽出させていただき、ご協力をお願いいたしました。お忙しいところ誠に恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

平成30年7月 信濃町長 横川 正知

### <ご記入にあたってのお願い>

- 本アンケートは無記名でお答えいただくものです。結果は統計的に処理いたしますので、個人が特定されたり、個人に関する情報が公表されたりすることはありません。率直なご意見をお書きください。
- **必ず「宛名のご本人」様がお答えください。**なお、無作為抽出のため、体調不良等で、ご回答いただけない方にも届いてしまう場合がございます。その際はご容赦くださいますようお願いいたします。
- ご記入が終わりましたら、同封いたしました返信用封筒（切手不要）に入れ、**平成30年7月29日(日)まで**にお近くのポストへ投函をしていただきますようお願い申し上げます。
- WEBサイトでも回答ができます。  
ご希望の方は、<https://questant.jp/q/shinanomachi>までアクセスの上、ご回答ください。  
右のQRコードからもアクセスできます。  
**※回答の際に、封筒に記したパスワードが必要です。**



<このアンケート調査のお問い合わせ先>  
信濃町役場 総務課 まちづくり企画係  
電話：026-255-5920  
Eメール：kikaku@town.shinano.lg.jp

## 1 あなたやご家族のことについて

問1-1 あなたの性別をお答えください。

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問1-2 あなたの年齢をお答えください。(1つに○)

- |           |            |            |           |
|-----------|------------|------------|-----------|
| 1. 19～24歳 | 2. 25～29歳  | 3. 30～34歳  | 4. 35～39歳 |
| 5. 40～44歳 | 6. 45～49歳  | 7. 50～54歳  | 8. 55～59歳 |
| 9. 60～64歳 | 10. 65～69歳 | 11. 70～74歳 | 12. 75歳以上 |

問1-3 主に従事している職業等をお答えください。(1つに○)

- |                                |            |            |
|--------------------------------|------------|------------|
| 1. 農林水産業（専業）                   | 2. 自営業・事業主 | 3. 勤め人（常勤） |
| 4. 勤め人<br>（パート・アルバイト、派遣等）      | 5. 専業主婦・主夫 | 6. 高校生     |
| 7. 高校生以外の学生                    | 8. 無職      |            |
| 9. その他（ <input type="text"/> ） |            |            |

問1-4 お住まいの地区をお答えください。(1つに○)

- |       |        |       |       |
|-------|--------|-------|-------|
| 1. 野尻 | 2. 富士里 | 3. 柏原 | 4. 古間 |
|-------|--------|-------|-------|

問1-5 信濃町での居住年数をお答えください。(1つに○)

※実際に生活した期間の合計年数をお答えください。

- |           |          |         |           |
|-----------|----------|---------|-----------|
| 1. 1年未満   | 2. 1～4年  | 3. 5～9年 | 4. 10～19年 |
| 5. 20～29年 | 6. 30年以上 |         |           |

問1-6 出身地についてお答えください。(1つに○)

※本調査では、15歳までの期間に最も長く住んだ場所を出身地とします。

- |                                                                   |        |                                         |
|-------------------------------------------------------------------|--------|-----------------------------------------|
| 1. 信濃町                                                            | 2. 長野市 | 3. 信濃町、長野市以外の県内（ <input type="text"/> ） |
| 4. 県外（ <input type="text"/> 都・道・府・県 <input type="text"/> 市・区・町・村） |        |                                         |

問1-7 お住まいの状況をお答えください。(1つに○)

- |                                |                    |
|--------------------------------|--------------------|
| 1. 持ち家（自己所有／家族所有）              | 2. 公営住宅（県営・町営住宅など） |
| 3. 民営の賃貸住宅                     | 4. 社宅・寮・公務員住宅      |
| 5. その他（ <input type="text"/> ） |                    |

問1-8 町内の農地（自己所有／家族所有）の所有状況をお答えください。(1つに○)

- |           |            |
|-----------|------------|
| 1. 所有している | 2. 所有していない |
|-----------|------------|

問1-1 世帯の状況をお答えください。(1つに○)

- |                      |                    |                    |
|----------------------|--------------------|--------------------|
| 1. 一人暮らし             | 2. 夫婦で二人暮らし        | 3. 二世帯同居 (あなた-子)   |
| 4. 二世帯同居 (親-あなた)     | 5. 三世帯同居 (あなた-子-孫) | 6. 三世帯同居 (親-あなた-子) |
| 7. 三世帯同居 (祖父母-親-あなた) | 8. その他 ( )         |                    |

問1-2 現在、結婚していますか。(1つに○)

- |           |                    |
|-----------|--------------------|
| 1. 結婚している | 2. 結婚していない (死別を含む) |
|-----------|--------------------|

問1-3 あなたを含め、同居しているご家族の中に以下の方はおられますか。(○はいくつでも)

- |                  |            |                 |
|------------------|------------|-----------------|
| 1. 65歳以上～74歳以下の方 | 2. 75歳以上の方 | 3. 障害者手帳を持っている方 |
| 4. 介護認定を受けている方   | 5. いずれもない  |                 |

問1-4 同居しているあなたのお子さんの中に以下の方はおられますか。(○はいくつでも)

※お孫さんは含みません

- |                             |                      |            |
|-----------------------------|----------------------|------------|
| 1. 保育園・幼稚園・認定こども園に入園する前の子ども |                      |            |
| 2. 保育園・幼稚園・認定こども園に通っている子ども  |                      | 3. 小学生の子ども |
| 4. 中学生の子ども                  | 5. 高校生以上のお子さん (成人含む) | 6. いずれもない  |

問1-5 世帯の年間収入は以下のどれにあたりますか。(1つに○)

- |                    |                  |                  |
|--------------------|------------------|------------------|
| 1. 300万円未満         | 2. 300万円～500万円未満 | 3. 500万円～700万円未満 |
| 4. 700万円～1,000万円未満 | 5. 1,000万円以上     |                  |

問1-6 5年前と比べて、経済的にあなたの暮らし向きはどのように変わったと感じますか。

(1つに○)

- |             |          |                |          |
|-------------|----------|----------------|----------|
| 1. ゆとりが出てきた | 2. 変わらない | 3. ゆとりがなくなってきた | 4. わからない |
|-------------|----------|----------------|----------|

問1-7 仕事、勉強以外で1日にPC、スマホ、タブレット等でインターネットを利用する時間はどのくらいですか。(1つに○)

- |          |                  |          |          |
|----------|------------------|----------|----------|
| 1. 1時間未満 | 2. 2時間未満         | 3. 4時間未満 | 4. 6時間未満 |
| 5. 6時間以上 | 7. インターネットは利用しない |          |          |

問1-8 日頃、本を読む習慣がありますか。(1つに○) 本を読む習慣が「ある」と回答された方は1ヶ月あたりに読む本の冊数を教えてください。

- |       |                             |
|-------|-----------------------------|
| 1. ない | 2. ある→→1ヶ月あたり読む冊数 およそ ( ) 冊 |
|-------|-----------------------------|

問1-1 道の駅にある信濃町総合情報センターで観光情報が発信されていることを知っていますか。(1つに○)

- |          |           |
|----------|-----------|
| 1. 知っている | 2. 知らなかった |
|----------|-----------|

## II 信濃町に対する意識について

問2-1 信濃町に愛着を感じていますか。(1つに○)

- |                   |                  |
|-------------------|------------------|
| 1. とても感じている       | 2. どちらかというと感じている |
| 3. どちらかというと感じていない | 4. 感じていない        |

問2-2 信濃町での暮らしに満足していますか。(1つに○)

- |                 |                  |
|-----------------|------------------|
| 1. 満足している       | 2. どちらかという満足している |
| 3. どちらかという不満である | 4. 不満である         |

問2-3 今後も信濃町に住み続けたいですか。(1つに○)

- |                   |                 |
|-------------------|-----------------|
| 1. これからもずっと住み続けたい | 2. 当分は住み続けたい    |
| 3. できれば町外に転出したい   | 4. 町外に転出する予定である |
| 5. わからない          |                 |

**【問2-3で「3. できれば町外に転出したい」、「4. 町外に転出する予定である」と回答された方にうかがいます】**

問2-3-2 転出したいと思う理由は何ですか。(○はいくつでも)

- |                              |                      |
|------------------------------|----------------------|
| 1. 適当な住宅・土地が確保しにくいから         | 2. 仕事の都合             |
| 3. 寒冷地で自然環境が厳しいから            | 4. 自然環境、風景が良くないから    |
| 5. 交通の便が悪いから                 | 6. 道路等の都市基盤が整っていないから |
| 7. 日常の買物が不便だから               | 8. 公共施設が不足しているから     |
| 9. スポーツ・レジャー、文化施設などが不足しているから |                      |
| 10. 医療施設や福祉施設が不足しているから       | 11. 働く場所が少ないから       |
| 12. 人間関係がわずらわしいから            | 13. 育児・教育環境が整っていないから |
| 14. 老後に不安を感じているから            | 15. その他              |
|                              | ( )                  |

問2-4 今後の暮らしについて不安を感じていますか。(1つに○)

不安を感じる方は、どのようなことに不安を感じているかお書きください。

- |           |             |               |            |
|-----------|-------------|---------------|------------|
| 1. 不安を感じる | 2. やや不安を感じる | 3. あまり不安を感じない | 4. 不安を感じない |
| 5. わからない  |             |               |            |

どのようなことに不安を感じていますか。具体的にお書きください。

[ ]

問2-1 信濃町の行政に関する情報の入手方法は以下のうちどれですか。(〇はいくつでも)

- |                   |                      |                   |
|-------------------|----------------------|-------------------|
| 1. 町報 (広報しなの)     | 2. 町議会報 (しなの町議会だより)  | 3. 防災行政無線 (防災しなの) |
| 4. 町のホームページ       | 5. 町の窓口や担当課を通じて      | 6. 掲示板・回覧板        |
| 7. 新聞の地域版・テレビ・ラジオ | 8. 民生委員や自治会・町内会      |                   |
| 9. 町議会議員や町役場職員の話  | 10. 家族や知人・近所の人の話     |                   |
| 11. その他 ( )       | 12. 町の行政に関する情報は得ていない |                   |

問2-2 趣味、興味があることについての情報の入手方法は以下のうちどれですか。(〇はいくつでも)

- |                                      |               |        |
|--------------------------------------|---------------|--------|
| 1. インターネット検索サイト (Google、Yahoo!等)     | 2. ブログ        | 3. アプリ |
| 4. SNS (Twitter、Instagram、Facebook等) | 5. テレビ        | 6. ラジオ |
| 7. 新聞                                | 8. 書籍、雑誌      | 9. 口コミ |
| 10. その他 ( )                          | 11. 特に決まっていない |        |

### III 信濃町の状況・環境について

問3 以下の項目について、「①現在、信濃町で生活する中でどのように感じているか」と「②今後、信濃町として取り組みをさらに進めるべきか」という2つの視点で、記入例を参考にしながら、あなたのお考えに最も近い番号に、それぞれ1つ〇をつけてください。

		①現在の信濃町の状況					②さらに進めるべきか					
		そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	
<b>【設問番号】</b> (記入例)		<b>1</b>	2	3	4	0	1	2	<b>3</b>	4	0	
健康づくり・医療・福祉	1	健康づくりに取り組みやすい環境が整っている	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	2	必要な医療サービスを受けられる体制が整っている	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	3	ご近所で、支え合い、助け合える関係が築かれている	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0

設問番号1～3の「①現在の信濃町の状況」について、「3 あまりそう思わない」「4 そう思わない」と回答された項目のうち、特に理由がある方は設問番号とその内容をお書きください。

設問番号	理由・ご意見等
記入例) 3	ご近所関係が以前より希薄になっているから

以下の項目について、「①現在、信濃町で生活する中でどのように感じているか」と「②今後、信濃町として取り組みをさらに進めるべきか」という2つの視点で、あなたのお考えに最も近い番号に、それぞれ1つ○をつけてください。

		①現在の信濃町の状況					②さらに進めるべきか					
		そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	
<b>【設問番号】</b> (記入例)		<b>1</b>	2	3	4	0	1	2	<b>3</b>	4	0	
健康づくり・医療・福祉	4	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる環境が整っている	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	5	高齢者が知識や経験をいかして、生きがいを感じ、豊かに暮らせる環境が整っている	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	6	障がいのある人が安心して生活できる地域である	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	7	障がいのある人が社会参加できる環境が整っている	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	8	生活に困った時に相談できる体制がある	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	9	子どもが安全に楽しく過ごせる環境が整っている	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	10	保育サービスが充実している	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
自然環境	11	経済的に困っていても子育てしていける環境が整っている	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	12	湖沼、河川、山林などにおいて豊かな自然環境が保たれている	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	13	身のまわりにおいて、太陽光発電や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える取組が日常的に行われている	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	14	自然、田園環境に溶け込んだ美しいまちなみである	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	15	身のまわりにおいて、ごみの発生を減らす取組が日常的に行われている	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
生活環境	16	ポイ捨て、不法投棄が少ないまちである	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	17	道路網が整備され、快適に移動ができる環境が整っている	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	18	公共交通により、日常生活に必要な移動ができる環境が整っている	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0

以下の項目について、「①現在、信濃町で生活する中でどのように感じているか」と「②今後、信濃町として取り組みをさらに進めるべきか」という2つの視点で、あなたのお考えに最も近い番号に、それぞれ1つ○をつけてください。

		①現在の信濃町の状況					②さらに進めるべきか					
		そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	
生活環境	19	HP や SNS などにより、行政情報を取得する環境が整っている	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	20	公園・緑地等が整備され、良好な生活環境が整っている	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	21	地域において、除排雪の体制が整っている	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	22	地域において、消防・救急の体制が十分に整っている	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	23	地域において、地震や大雨などへの備えができています	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	24	地域において、防犯の取り組みが行われている	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	25	消費者被害の防止に向けた情報提供が行われている	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	26	交通安全に向けた体制が構築されている	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
産業・雇用	27	四季を通じて観光客が訪れている	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	28	幅広い世代に喜ばれる観光地がある	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	29	信濃町には、知人、友人に紹介したい特産品、名物がある	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	30	日用品を購入できる商店がある	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0

設問番号 4～30 の「①現在の信濃町の状況」について、「3 あまりそう思わない」「4 そう思わない」と回答された項目のうち、特に理由がある方は設問番号とその内容をお書きください。

設問番号	理由・ご意見等
記入例) 17	舗装のされていない道が多く見られるから



以下の項目について、「①現在、信濃町で生活する中でどのように感じているか」と「②今後、信濃町として取り組みをさらに進めるべきか」という2つの視点で、あなたのお考えに最も近い番号に、それぞれ1つ○をつけてください。

		①現在の信濃町の状況					②さらに進めるべきか					
		そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	
<b>【設問番号】</b>												
産業・雇用	31	町内に住みながら、働きたい仕事をみつ けられる	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	32	起業しやすい環境が整っている	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	33	安全で質の高い農産物が生産されてい る地域である	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	34	遊休荒廃農地が少なくなっている	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	35	森に親しみや癒やしが感じられる地域 である	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
教育・文化	36	子どもたちが生きていくために必要な 力（確かな学力、健康・体力、豊かな人 間性）を身につける教育が行われている	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	37	子どもたちが望んだ教育を受けるため の経済的な支援体制が整っている	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	38	文化・芸術活動に気軽に参加できる地域 である	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	39	地域の文化財や伝統行事が適切に保存・ 継承・活用されている地域である	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	40	公民館などで学びの機会が提供されて いる	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	41	世代間の交流によりお互いに学び合え る機会が提供されている	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	42	地域において子どもたちの健やかな成 長を手助けしている	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	43	スポーツや運動を気軽にできる環境が 整っている	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0

以下の項目について、「①現在、信濃町で生活する中でどのように感じているか」と「②今後、信濃町として取り組みをさらに進めるべきか」という2つの視点で、あなたのお考えに最も近い番号に、それぞれ1つ○をつけてください。

		①現在の信濃町の状況					②さらに進めるべきか					
		そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	
<b>【設問番号】</b>												
コミュニティ活動・町改善	44	住民と行政がパートナーとして連携している	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	45	地域住民によるコミュニティ活動が行われている	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	46	次世代を担う若者が育つ地域である	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	47	若者が積極的にまちづくりに参加している地域である	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	48	性別の違いによる不平等を感じることがない地域である	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	49	互いの個性や立場を尊重し合える地域である	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	50	国際交流が盛んに行われている地域である	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	51	他市町村との交流を盛んに行っている地域である	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	52	近隣市町村と連携した効率的な行政運営が取り組まれている	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	53	町政の情報が入手しやすい地域である	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	54	住民の声が町政に届けやすい地域である	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
55	効果的で効率的な行政運営が図られている	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0	

設問番号 31～55 の「①現在の信濃町の状況」について、「3 あまりそう思わない」「4 そう思わない」と回答された項目のうち、特に理由がある方は設問番号とその内容をお書きください。

設問番号	理由・ご意見等
記入例) 34	身の回りでは、遊休荒廃農地が増えているから

## IV あなたご自身の取り組みについて

問4 以下の項目について、普段のあなたの行動を思い出し、「①あなたの現在の取り組み状況」と「②あなたの今後の取り組み意向」について、記入例を参考にしながら、あてはまる回答番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

【設問番号】	(記入例)	①あなたの現在の取り組み状況					②あなたの今後の意向			
		あてはまる	あてはまる やや	あまり あてはまらない	あてはまらない	わからない	たい さらに取り組み	現状のまま	予定 減らしていく	
		1	2	3	4	0	1	2	3	
1	健康づくりに継続的に取り組んでいる	1	2	3	4	0	1	2	3	
2	ご近所同士で交流し、困った時に助け合える関係を築いている	1	2	3	4	0	1	2	3	
3	ご近所の高齢者を温かく見守り、必要な時には手助けしている	1	2	3	4	0	1	2	3	
4	自分の経験や知識をいかして社会に参加している	1	2	3	4	0	1	2	3	
5	障がいのある人が必要としているときに手助けをしている	1	2	3	4	0	1	2	3	
6	ご近所の子どもをあたたかく見守り、必要に応じてサポートしている	1	2	3	4	0	1	2	3	
7	地域で子どもの健全育成に携わっている	1	2	3	4	0	1	2	3	
8	自然について学び触れ合うなど、自然環境保全を意識している	1	2	3	4	0	1	2	3	
9	太陽光利用や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える暮らしをしている	1	2	3	4	0	1	2	3	
10	家のまわりの手入れを行うなど、景観保全を心がけている	1	2	3	4	0	1	2	3	
11	簡易包装されたものを選択して買うなど、ごみの発生を減らしている	1	2	3	4	0	1	2	3	
12	ごみの分別を徹底し、リサイクルに取り組んでいる	1	2	3	4	0	1	2	3	
13	公共交通を積極的に利用している	1	2	3	4	0	1	2	3	
14	家の周りの除雪をしている	1	2	3	4	0	1	2	3	
15	自主防災活動に参加している	1	2	3	4	0	1	2	3	
16	自動車の運転マナーを意識している	1	2	3	4	0	1	2	3	

以下の項目について、普段のあなたの行動を思い出し、「①あなたの現在の取り組み状況」と「②あなたの今後の取り組み意向」について、あてはまる回答番号にそれぞれ1つ〇をつけてください。

【設問番号】		①あなたの現在の取り組み状況					②あなたの今後の意向		
		あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	わからない	さらに取り組みたい	現状のまま	減らしていく予定
17	町外の知人や友人などに地域の四季の魅力を伝えている	1	2	3	4	0	1	2	3
18	観光客に快く対応している	1	2	3	4	0	1	2	3
19	食材や日用品は町内のお店で購入するようにしている	1	2	3	4	0	1	2	3
20	地元産の農作物を意識的に食べている	1	2	3	4	0	1	2	3
21	文化・芸術に参加したり、鑑賞したりしている	1	2	3	4	0	1	2	3
22	地域の伝統的な行事に参加している	1	2	3	4	0	1	2	3
23	公民館などで提供されている学びの場に参加している	1	2	3	4	0	1	2	3
24	積極的に世代間交流をしている	1	2	3	4	0	1	2	3
25	地域・学校と連携した教育活動に参加している	1	2	3	4	0	1	2	3
26	地域子どもたちにあいさつや声かけをしている	1	2	3	4	0	1	2	3
27	日ごろ、スポーツや運動を行っている	1	2	3	4	0	1	2	3
28	まちをよくするアイデアを考えている	1	2	3	4	0	1	2	3
29	行政と協力したまちづくり活動に積極的に参加している	1	2	3	4	0	1	2	3
30	組、自治会などのまちづくり活動に積極的に参加している	1	2	3	4	0	1	2	3
31	国際交流イベントに参加している	1	2	3	4	0	1	2	3
32	他市町村との交流イベントに参加している	1	2	3	4	0	1	2	3

## V 今後のまちづくりについて

問5-1 10年後、20年後、30年後も残したい信濃町の良いところをご自由にお書きください。

問5-2 10年後、20年後、30年後に向けて改善していきたい信濃町の課題があれば、ご自由にお書きください。

問5-3 10年後、20年後、30年後に信濃町はどのようなまちになってほしいと思いますか。ご自由にお書きください。

## VI 地域における支え合いについて

問6-1 住民同士のかかわりにおいて課題として感じていることすべてに○をつけてください。

- |                            |                   |
|----------------------------|-------------------|
| 1. 住民同士の支え合い、助け合いが少なくなっている | 2. 地域に関心のない人が多い   |
| 3. 地域活動への若い人の参加が少ない        | 4. 地域において交流機会が少ない |
| 5. 地域において気軽に集える場所が少ない      | 6. その他 ( )        |
| 7. 課題はない                   |                   |

問6-1 現在、日常生活で困っていて、誰かに手助けしてほしいことはありますか。また、10年後に日常生活を送るうえで、手助けが必要になりそうなこと（不安なこと）はありますか。

それぞれ1～17のうち、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

項目	現在日常生活で困っていて、手助けをしてほしいこと	10年後、日常生活で、手助けが必要になりそうなこと（不安なこと）
買い物や通院など、移動がしづらい	1	1
料理や洗濯など家事が十分できない	2	2
草むしり、ごみ出しなど、家の回りのことが十分できない	3	3
畑の手入れができない	4	4
電球交換、灯油入れ等の軽作業ができない	5	5
電気製品やパソコン等の設定や使い方がよく分からない	6	6
冬場の除雪（屋根・家の周り）	7	7
家具の移動など簡単な力仕事	8	8
書類作成や手続きの手伝い	9	9
買い物や病院など外出時の付き添い	10	10
病気のときの付き添いや看病	11	11
金融の窓口やA T Mの利用	12	12
野生鳥獣への対応	13	13
両親や配偶者等、近親者の介護のこと	14	14
多忙な時などに、子どもを預ける場所がない	15	15
その他（ <input type="text"/> ）	16	16
誰かに手助けを求めるほどの困りごとはない	17	17

誰かの手助けが必要なることを1～17のあてはまる番号すべてに「○」をつけてください。

**【問6-2で手助けしてほしいこと、いずれか1つ以上に○をつけた方のみ】**

問6-2-2 現在、誰かに手助けしてほしい困りごとがある方にうかがいます。日常生活の中で、困ったときに助けてくれる人はいますか。（○はいくつでも）

1. 家族	2. 親戚	3. ご近所の友人・知人
4. ご近所以外の友人・知人	5. 民生委員	
6. その他（ <input style="width: 150px;" type="text"/> ）	7. いない	

問6-1 ご近所で何らかの支援を必要としている方への「ちょっとした手助け」について、あなたの考えに最も近いものを選んでください。(1つに○)

1. 近所に住む者として、できる範囲で「ちょっとした手助け」をしたい
2. 「ちょっとした手助け」をしたいが、自分のことで精一杯で余裕がない
3. 「ちょっとした手助け」は主に行政が行うことなので、近所の者はしなくてもよい
4. 余計なお世話になってしまうので、「ちょっとした手助け」はしないと思う
5. あまり関わりたくないので、「ちょっとした手助け」はしないと思う
6. その他 ( )

【問6-3で近所に住む者として、できる範囲で「ちょっとした手助け」をしたい」と回答した方のみ】

問6-3-2 地域内での日常生活の助け合いについて、あなたが、現在している手助けは何ですか。また、これから手助けできると思うことはありますか。それぞれ1～19から、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

項目	現在手助けしていること	これから手助けできると思うこと
買い物や通院など移動の手助け	1	1
料理や洗濯など家事の手伝い	2	2
草むしり、ごみ出しなど、家の回りの片付け	3	3
畑の手入れ	4	4
電球交換、灯油入れ等の軽作業	5	5
電気製品やパソコン等の設定や使い方を教える	6	6
冬期の屋根・家の周りの除雪	7	7
家具の移動など簡単な力仕事	8	8
書類作成や手続きの手伝い	9	9
買い物や病院など外出時の付き添い	10	10
病気のときの付き添いや看病	11	11
金融の窓口やATMの利用の手伝い	12	12
野生鳥獣への対応の手伝い	13	13
両親や配偶者等、近親者の介護の手伝い	14	14
近所の子どもを預かる	15	15
安否確認の声かけ	16	16
話し相手、相談相手になること	17	17
その他 ( )	18	18
特になし	19	19

手助けしていること、これからできることを1～19の「○」をすべてつけてください。

問6-3-2で、「現在、手助けしていること」、「これから手助けできると思うこと」どちらも【特  
にない】と回答した方のみ】

問6-3-3 「現在、手助けしていること」、「これから手助けできると思うこと」どちらも「特にない」と回答した理由を教えてください。(1つに○)

1. まわりに手助けを必要とする人はいるが、何から始めてよいかわからない
2. まわりに手助けを必要とする人がいるかどうかわからない
3. まわりに手助けを必要とする人がいない
4. 手助けしたいと思わない
5. その他 ( )

問6-1 今後、厳しい行財政が見込まれることから、住民同士での支え合いがますます重要となります。住民同士の支え合いを充実させていくうえで、住民と行政との関係はどうあるべきだとお考えですか。(1つに○)

1. 行政にあまり頼らず、自分でできることは自分でやる
2. 家庭や地域において、住民同士が助け合い、手の届かない部分は行政が支援する
3. 住民を支える役割は行政にあり、住民が協力することはあまりない
4. その他 ( )
5. わからない

問6-2 住民同士の助け合いを実施する場合に、あなたの考えに最も近いものを選んでください。(1つに○)

1. お互いさまなので、報酬の支払いはなくてもよい
2. 労働力を提供しているので、報酬の支払はあるべきである
3. 報酬ではなく、実費を支払う程度でよい
4. その他 ( )
5. わからない

問6-3 住民同士での支え合いに関してご意見があれば、自由にご記入ください。

アンケートへのご協力、ありがとうございました。  
返送前に今一度、記入漏れ等がないか、ご確認いただき、同封している  
返信用封筒に入れ、7月29日(日)までにお送りください。  
(切手は不要です。そのままポストに投函してください。また、役場に直  
接お持ちいただいても構いません。)



## 信濃町 第6次長期振興計画策定に係る町民意識調査のお願い

町民の皆様には、日頃から町政につきましてご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、本町では今後10年間のまちづくりの方針を示す「信濃町第6次長期振興計画（以下「計画」という。）」を策定いたします。

この計画は、町政の根幹となる計画であり、町民の皆様にとって身近な福祉、教育、まちづくり、産業振興など、さまざまな分野を網羅したものとなります。策定にあたっては、町民の皆様のお考え・ご意見等が重要となりますので、本アンケート調査を実施いたします。

本アンケートは、町内にお住まいの15歳から17歳（平成30年4月1日時点）の皆様にご協力をお願いいたしました。お忙しいところ誠に恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

平成30年7月 信濃町長 横川 正知

### <ご記入にあたってのお願い>

- 本アンケートは無記名でお答えいただくものです。結果は統計的に処理いたしますので、個人が特定されたり、個人に関する情報が公表されたりすることはありません。率直なご意見をお書きください。
- **必ず「宛名のご本人」様がお答えください。**なお、無作為抽出のため、体調不良等で、ご回答いただけない方にも届いてしまう場合がございます。その際はご容赦くださいますようお願いいたします。
- ご記入が終わりましたら、同封いたしました返信用封筒（切手不要）に入れ、**平成30年7月29日(日)まで**にお近くのポストへ投函をしていただきますようお願い申し上げます。
- WEBサイトでも回答ができます。

ご希望の方は、<https://questant.jp/q/shinanomachi>までアクセスの上、ご回答ください。

右のQRコードからもアクセスできます。

**※回答の際に、封筒に記したパスワードが必要です。**



<このアンケート調査のお問い合わせ先>  
信濃町役場 総務課 まちづくり企画係  
電話：026-255-5920  
Eメール：kikaku@town.shinano.lg.jp

# 1 あなたやご家族のことについて

問1-1 あなたの性別をお答えください。

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問1-2 あなたの年齢をお答えください。(1つに○)

- |        |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 15歳 | 2. 16歳 | 3. 17歳 | 4. 18歳 |
|--------|--------|--------|--------|

問1-3 主に従事している職業等をお答えください。(1つに○)

- |                           |            |            |
|---------------------------|------------|------------|
| 1. 農林水産業（専業）              | 2. 自営業・事業主 | 3. 勤め人（常勤） |
| 4. 勤め人<br>（パート・アルバイト、派遣等） | 5. 専業主婦・主夫 | 6. 高校生     |
| 7. 高校生以外の学生               | 8. 無職      |            |
| 9. その他（                   |            | ）          |

問1-4 お住まいの地区をお答えください。(1つに○)

- |       |        |       |       |
|-------|--------|-------|-------|
| 1. 野尻 | 2. 富士里 | 3. 柏原 | 4. 古間 |
|-------|--------|-------|-------|

問1-5 信濃町での居住年数をお答えください。(1つに○)

※実際に生活した期間の合計年数をお答えください。

- |           |          |         |           |
|-----------|----------|---------|-----------|
| 1. 1年未満   | 2. 1～4年  | 3. 5～9年 | 4. 10～19年 |
| 5. 20～29年 | 6. 30年以上 |         |           |

問1-6 出身地についてお答えください。(1つに○)

※本調査では、15歳までの期間に最も長く住んだ場所を出身地とします。

- |        |         |                  |   |
|--------|---------|------------------|---|
| 1. 信濃町 | 2. 長野市  | 3. 信濃町、長野市以外の県内（ | ） |
| 4. 県外（ | 都・道・府・県 | 市・区・町・村          | ） |

問1-7 お住まいの状況をお答えください。(1つに○)

- |                   |                    |
|-------------------|--------------------|
| 1. 持ち家（自己所有／家族所有） | 2. 公営住宅（県営・町営住宅など） |
| 3. 民営の賃貸住宅        | 4. 社宅・寮・公務員住宅      |
| 5. その他（           | ）                  |

問1-8 町内の農地（自己所有／家族所有）の所有状況をお答えください。(1つに○)

- |           |            |
|-----------|------------|
| 1. 所有している | 2. 所有していない |
|-----------|------------|

問1-1 世帯の状況をお答えください。(1つに○)

- |                      |                    |                    |
|----------------------|--------------------|--------------------|
| 1. 一人暮らし             | 2. 夫婦で二人暮らし        | 3. 二世帯同居 (あなた-子)   |
| 4. 二世帯同居 (親-あなた)     | 5. 三世帯同居 (あなた-子-孫) | 6. 三世帯同居 (親-あなた-子) |
| 7. 三世帯同居 (祖父母-親-あなた) | 8. その他 ( )         |                    |

問1-2 あなたを含め、同居しているご家族の中に以下の方はおられますか。(○はいくつでも)

- |                  |            |                 |
|------------------|------------|-----------------|
| 1. 65歳以上～74歳以下の方 | 2. 75歳以上の方 | 3. 障害者手帳を持っている方 |
| 4. 介護認定を受けている方   | 5. いずれもない  |                 |

問1-3 世帯の年間収入は以下のどれにあたりますか。(1つに○)

- |                    |                  |                  |
|--------------------|------------------|------------------|
| 1. 300万円未満         | 2. 300万円～500万円未満 | 3. 500万円～700万円未満 |
| 4. 700万円～1,000万円未満 | 5. 1,000万円以上     |                  |

問1-4 5年前と比べて、経済的にあなたの暮らし向きはどのように変わったと感じますか。

(1つに○)

- |             |          |                |          |
|-------------|----------|----------------|----------|
| 1. ゆとりが出てきた | 2. 変わらない | 3. ゆとりがなくなってきた | 4. わからない |
|-------------|----------|----------------|----------|

問1-5 仕事、勉強以外で1日にPC、スマホ、タブレット等でインターネットを利用する時間はどのくらいですか。(1つに○)

- |          |                  |          |          |
|----------|------------------|----------|----------|
| 1. 1時間未満 | 2. 2時間未満         | 3. 4時間未満 | 4. 6時間未満 |
| 5. 6時間以上 | 7. インターネットは利用しない |          |          |

問1-6 日頃、本を読む習慣がありますか。(1つに○) 本を読む習慣が「ある」と回答された方は1ヶ月あたりに読む本の冊数を教えてください。

- |       |                             |
|-------|-----------------------------|
| 1. ない | 2. ある→→1ヶ月あたり読む冊数 およそ ( ) 冊 |
|-------|-----------------------------|

問1-7 道の駅にある信濃町総合情報センターで観光情報が発信されていることを知っていますか。(1つに○)

- |          |           |
|----------|-----------|
| 1. 知っている | 2. 知らなかった |
|----------|-----------|

## II 信濃町に対する意識について

問2-1 信濃町に愛着を感じていますか。(1つに○)

- |                   |                  |
|-------------------|------------------|
| 1. とても感じている       | 2. どちらかというと感じている |
| 3. どちらかというと感じていない | 4. 感じていない        |

問2-2 信濃町での暮らしに満足していますか。(1つに○)

- |                 |                  |
|-----------------|------------------|
| 1. 満足している       | 2. どちらかという満足している |
| 3. どちらかという不満である | 4. 不満である         |

問2-3 今後も信濃町に住み続けたいですか。(1つに○)

- |                   |                 |
|-------------------|-----------------|
| 1. これからもずっと住み続けたい | 2. 当分は住み続けたい    |
| 3. できれば町外に転出したい   | 4. 町外に転出する予定である |
| 5. わからない          |                 |

【問2-3で「3. できれば町外に転出したい」、「4. 町外に転出する予定である」と回答された方にうかがいます】

問2-3-2 転出したいと思う理由は何ですか。(○はいくつでも)

- |                              |                      |
|------------------------------|----------------------|
| 1. 適当な住宅・土地が確保しにくいから         | 2. 仕事の都合             |
| 3. 寒冷地で自然環境が厳しいから            | 4. 自然環境、風景が良くないから    |
| 5. 交通の便が悪いから                 | 6. 道路等の都市基盤が整っていないから |
| 7. 日常の買物が不便だから               | 8. 公共施設が不足しているから     |
| 9. スポーツ・レジャー、文化施設などが不足しているから |                      |
| 10. 医療施設や福祉施設が不足しているから       | 11. 働く場所が少ないから       |
| 12. 人間関係がわずらわしいから            | 13. 育児・教育環境が整っていないから |
| 14. 老後に不安を感じているから            | 15. その他              |
|                              | ( )                  |

問2-4 今後の暮らしについて不安を感じていますか。(1つに○)

不安を感じる方は、どのようなことに不安を感じているかお書きください。

- |           |             |               |            |
|-----------|-------------|---------------|------------|
| 1. 不安を感じる | 2. やや不安を感じる | 3. あまり不安を感じない | 4. 不安を感じない |
| 5. わからない  |             |               |            |

どのようなことに不安を感じていますか。具体的にお書きください。

[ ]

問2-1 信濃町の行政に関する情報の入手方法は以下のうちどれですか。(〇はいくつでも)

- |                   |                      |                   |
|-------------------|----------------------|-------------------|
| 1. 町報 (広報しなの)     | 2. 町議会報 (しなの町議会だより)  | 3. 防災行政無線 (防災しなの) |
| 4. 町のホームページ       | 5. 町の窓口や担当課を通じて      | 6. 掲示板・回覧板        |
| 7. 新聞の地域版・テレビ・ラジオ | 8. 民生委員や自治会・町内会      |                   |
| 9. 町議会議員や町役場職員の話  | 10. 家族や知人・近所の人の話     |                   |
| 11. その他 ( )       | 12. 町の行政に関する情報は得ていない |                   |

問2-2 趣味、興味があることについての情報の入手方法は以下のうちどれですか。(〇はいくつでも)

- |                                      |               |        |
|--------------------------------------|---------------|--------|
| 1. インターネット検索サイト (Google、Yahoo!等)     | 2. ブログ        | 3. アプリ |
| 4. SNS (Twitter、Instagram、Facebook等) | 5. テレビ        | 6. ラジオ |
| 7. 新聞                                | 8. 書籍、雑誌      | 9. 口コミ |
| 10. その他 ( )                          | 11. 特に決まっていない |        |

### III 信濃町の状況・環境について

問3 以下の項目について、「①現在、信濃町で生活する中でどのように感じているか」と「②今後、信濃町として取り組みをさらに進めるべきか」という2つの視点で、記入例を参考にしながら、あなたのお考えに最も近い番号に、それぞれ1つ〇をつけてください。

【設問番号】	(記入例)	①現在の信濃町の状況					②さらに進めるべきか				
		そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
		1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
1	健康づくりに取り組みやすい環境が整っている	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
2	必要な医療サービスを受けられる体制が整っている	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
3	ご近所で、支え合い、助け合える関係が築かれている	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0

設問番号1～3の「①現在の信濃町の状況」について、「3 あまりそう思わない」「4 そう思わない」と回答された項目のうち、特に理由がある方は設問番号とその内容をお書きください。

設問番号	理由・ご意見等
記入例) 3	ご近所関係が以前より希薄になっているから

以下の項目について、「①現在、信濃町で生活する中でどのように感じているか」と「②今後、信濃町として取り組みをさらに進めるべきか」という2つの視点で、あなたのお考えに最も近い番号に、それぞれ1つ○をつけてください。

		①現在の信濃町の状況					②さらに進めるべきか				
		そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
【設問番号】 (記入例)		1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
健康づくり・医療・福祉	4	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	5	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	6	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	7	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	8	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	9	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	10	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
自然環境	11	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	12	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	13	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	14	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	15	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	16	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
生活環境	17	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	18	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0

以下の項目について、「①現在、信濃町で生活する中でどのように感じているか」と「②今後、信濃町として取り組みをさらに進めるべきか」という2つの視点で、あなたのお考えに最も近い番号に、それぞれ1つ○をつけてください。

			①現在の信濃町の状況					②さらに進めるべきか				
			そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
生活環境	19	HP や SNS などにより、行政情報を取得する環境が整っている	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	20	公園・緑地等が整備され、良好な生活環境が整っている	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	21	地域において、除排雪の体制が整っている	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	22	地域において、消防・救急の体制が十分に整っている	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	23	地域において、地震や大雨などへの備えができています	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	24	地域において、防犯の取り組みが行われている	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	25	消費者被害の防止に向けた情報提供が行われている	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	26	交通安全に向けた体制が構築されている	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
産業・雇用	27	四季を通じて観光客が訪れている	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	28	幅広い世代に喜ばれる観光地がある	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	29	信濃町には、知人、友人に紹介したい特産品、名物がある	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	30	日用品を購入できる商店がある	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0

設問番号 4～30 の「①現在の信濃町の状況」について、「3 あまりそう思わない」「4 そう思わない」と回答された項目のうち、特に理由がある方は設問番号とその内容をお書きください。

設問番号	理由・ご意見等
記入例) 17	舗装のされていない道が多く見られるから

以下の項目について、「①現在、信濃町で生活する中でどのように感じているか」と「②今後、信濃町として取り組みをさらに進めるべきか」という2つの視点で、あなたのお考えに最も近い番号に、それぞれ1つ○をつけてください。

		①現在の信濃町の状況					②さらに進めるべきか					
		そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	
<b>【設問番号】</b>												
産業・雇用	31	町内に住みながら、働きたい仕事をみつ けられる	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	32	起業しやすい環境が整っている	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	33	安全で質の高い農産物が生産されてい る地域である	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	34	遊休荒廃農地が少なくなっている	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	35	森に親しみや癒やしが感じられる地域 である	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
教育・文化	36	子どもたちが生きていくために必要な 力（確かな学力、健康・体力、豊かな人 間性）を身につける教育が行われている	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	37	子どもたちが望んだ教育を受けるため の経済的な支援体制が整っている	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	38	文化・芸術活動に気軽に参加できる地域 である	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	39	地域の文化財や伝統行事が適切に保存・ 継承・活用されている地域である	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	40	公民館などで学びの機会が提供されて いる	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	41	世代間の交流によりお互いに学び合え る機会が提供されている	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	42	地域において子どもたちの健やかな成 長を手助けしている	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	43	スポーツや運動を気軽にできる環境が 整っている	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0



以下の項目について、「①現在、信濃町で生活する中でどのように感じているか」と「②今後、信濃町として取り組みをさらに進めるべきか」という2つの視点で、あなたのお考えに最も近い番号に、それぞれ1つ○をつけてください。

		①現在の信濃町の状況					②さらに進めるべきか					
		そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	
<b>【設問番号】</b>												
コミュニティ活動・町交番	44	住民と行政がパートナーとして連携している	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	45	地域住民によるコミュニティ活動が行われている	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	46	次世代を担う若者が育つ地域である	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	47	若者が積極的にまちづくりに参加している地域である	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	48	性別の違いによる不平等を感じることがない地域である	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	49	互いの個性や立場を尊重し合える地域である	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	50	国際交流が盛んに行われている地域である	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	51	他市町村との交流を盛んに行っている地域である	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	52	近隣市町村と連携した効率的な行政運営が取り組まれている	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	53	町政の情報が入手しやすい地域である	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
	54	住民の声が町政に届けやすい地域である	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0
55	効果的で効率的な行政運営が図られている	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0	

設問番号 30～54 の「①現在の信濃町の状況」について、「3 あまりそう思わない」「4 そう思わない」と回答された項目のうち、特に理由がある方は設問番号とその内容をお書きください。

設問番号	理由・ご意見等
記入例) 34	身の回りでは、遊休荒廃農地が増えているから

## IV あなたご自身の取り組みについて

問4 以下の項目について、普段のあなたの行動を思い出し、「①あなたの現在の取り組み状況」と「②あなたの今後の取り組み意向」について、記入例を参考にしながら、あてはまる回答番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

【設問番号】	(記入例)	①あなたの現在の取り組み状況					②あなたの今後の意向		
		あてはまる	あてはまる やや	あまり あてはまらない	あてはまらない	わからない	たい さらに取り組み	現状のまま	予定 減らしていく
		1	2	3	4	0	1	2	3
1	健康づくりに継続的に取り組んでいる	1	2	3	4	0	1	2	3
2	ご近所同士で交流し、困った時に助け合える関係を築いている	1	2	3	4	0	1	2	3
3	ご近所の高齢者を温かく見守り、必要な時には手助けしている	1	2	3	4	0	1	2	3
4	自分の経験や知識をいかして社会に参加している	1	2	3	4	0	1	2	3
5	障がいのある人が必要としているときに手助けをしている	1	2	3	4	0	1	2	3
6	ご近所の子どもをあたたかく見守り、必要に応じてサポートしている	1	2	3	4	0	1	2	3
7	地域で子どもの健全育成に携わっている	1	2	3	4	0	1	2	3
8	自然について学び触れ合うなど、自然環境保全を意識している	1	2	3	4	0	1	2	3
9	太陽光利用や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える暮らしをしている	1	2	3	4	0	1	2	3
10	家のまわりの手入れを行うなど、景観保全を心がけている	1	2	3	4	0	1	2	3
11	簡易包装されたものを選択して買うなど、ごみの発生を減らしている	1	2	3	4	0	1	2	3
12	ごみの分別を徹底し、リサイクルに取り組んでいる	1	2	3	4	0	1	2	3
13	公共交通を積極的に利用している	1	2	3	4	0	1	2	3
14	家の周りの除雪をしている	1	2	3	4	0	1	2	3
15	自主防災活動に参加している	1	2	3	4	0	1	2	3
16	自動車の運転マナーを意識している	1	2	3	4	0	1	2	3

以下の項目について、普段のあなたの行動を思い出し、「①あなたの現在の取り組み状況」と「②あなたの今後の取り組み意向」について、あてはまる回答番号にそれぞれ1つ〇をつけてください。

【設問番号】		①あなたの現在の取り組み状況					②あなたの今後の意向		
		あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	わからない	さらに取り組みたい	現状のまま	減らしていく予定
17	町外の知人や友人などに地域の四季の魅力を伝えている	1	2	3	4	0	1	2	3
18	観光客に快く対応している	1	2	3	4	0	1	2	3
19	食材や日用品は町内のお店で購入するようにしている	1	2	3	4	0	1	2	3
20	地元産の農作物を意識的に食べている	1	2	3	4	0	1	2	3
21	文化・芸術に参加したり、鑑賞したりしている	1	2	3	4	0	1	2	3
22	地域の伝統的な行事に参加している	1	2	3	4	0	1	2	3
23	公民館などで提供されている学びの場に参加している	1	2	3	4	0	1	2	3
24	積極的に世代間交流をしている	1	2	3	4	0	1	2	3
25	地域・学校と連携した教育活動に参加している	1	2	3	4	0	1	2	3
26	地域子どもたちにあいさつや声かけをしている	1	2	3	4	0	1	2	3
27	日ごろ、スポーツや運動を行っている	1	2	3	4	0	1	2	3
28	まちをよくするアイデアを考えている	1	2	3	4	0	1	2	3
29	行政と協力したまちづくり活動に積極的に参加している	1	2	3	4	0	1	2	3
30	組、自治会などのまちづくり活動に積極的に参加している	1	2	3	4	0	1	2	3
31	国際交流イベントに参加している	1	2	3	4	0	1	2	3
32	他市町村との交流イベントに参加している	1	2	3	4	0	1	2	3

## V 今後のまちづくりについて

問5-1 10年後、20年後、30年後も残したい信濃町の良いところをご自由にお書きください。

問5-2 10年後、20年後、30年後に向けて改善していきたい信濃町の課題があれば、ご自由にお書きください。

問5-3 10年後20年後、30年後に信濃町はどのようなまちになってほしいと思いますか。ご自由にお書きください。

## VI 地域における支え合いについて

問6-1 住民同士のかかわりにおいて課題として感じていることすべてに○をつけてください。

- |                            |                   |
|----------------------------|-------------------|
| 1. 住民同士の支え合い、助け合いが少なくなっている | 2. 地域に関心のない人が多い   |
| 3. 地域活動への若い人の参加が少ない        | 4. 地域において交流機会が少ない |
| 5. 地域において気軽に集える場所が少ない      | 6. その他 ( )        |
| 7. 課題はない                   |                   |

問6-1 現在、日常生活で困っていて、誰かに手助けしてほしいことはありますか。また、10年後に日常生活を送るうえで、手助けが必要になりそうなこと（不安なこと）はありますか。

それぞれ1～17のうち、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

項目	現在日常生活で困っていて、手助けをしてほしいこと	10年後、日常生活で、手助けが必要になりそうなこと（不安なこと）
買い物や通院など、移動がしづらい	1	1
料理や洗濯など家事が十分できない	2	2
草むしり、ごみ出しなど、家の回りのことが十分できない	3	3
畑の手入れができない	4	4
電球交換、灯油入れ等の軽作業ができない	5	5
電気製品やパソコン等の設定や使い方がよく分からない	6	6
冬場の除雪（屋根・家の周り）	7	7
家具の移動など簡単な力仕事	8	8
書類作成や手続きの手伝い	9	9
買い物や病院など外出時の付き添い	10	10
病気のときの付き添いや看病	11	11
金融の窓口やA T Mの利用	12	12
野生鳥獣への対応	13	13
両親や配偶者等、近親者の介護のこと	14	14
多忙な時などに、子どもを預けるところがない	15	15
その他（ <input type="text"/> ）	16	16
誰かに手助けを求めるほどの困りごとはない	17	17

誰かの手助けが必要なることを1～17のあてはまる番号すべてに「○」をつけてください。

**【問6-2で手助けしてほしいこと、いずれか1つ以上に○をつけた方のみ】**

問6-2-2 現在、誰かに手助けしてほしい困りごとがある方にうかがいます。日常生活の中で、困ったときに助けてくれる人はいますか。（○はいくつでも）

1. 家族	2. 親戚	3. ご近所の友人・知人
4. ご近所以外の友人・知人	5. 民生委員	
6. その他（ <input style="width: 150px;" type="text"/> ）	7. いない	

問7-1 もっとも就職・進学したい場所はどこですか。(1つに○)

- |              |              |            |            |
|--------------|--------------|------------|------------|
| 1. 信濃町       | 2. 信濃町以外の北信  | 3. 北信以外の県内 | 4. 新潟県上越地方 |
| 5. 首都圏       | 6. 中京圏       | 7. 北陸地方    | 8. その他県外   |
| 9. 場所にこだわらない | 10. まだ決めていない |            |            |

【問7-2で、「信濃町」「信濃町以外の北信」「北信以外の県内」「新潟県上越地方」と回答した方のみ】

問7-2-2 信濃町、信濃町に比較的近い地域での就職・進学を希望する理由を教えてください。(1つに○)

- |                        |                  |             |
|------------------------|------------------|-------------|
| 1. 実家で暮らしたいから          | 2. 実家の近くで暮らしたいから | 3. 地元が好きだから |
| 4. 地元で友人・知人が多いから       | 5. 親に負担をかけたくないから |             |
| 6. 行きたい学校や就職したい会社があるから | 7. 家業を継ぐ必要があるから  |             |
| 8. その他 ( )             |                  |             |

【問7-2で、「首都圏」「中京圏」「北陸」「県外」と回答した方のみ】

問7-2-3 信濃町から比較的遠い地域での就職・進学を希望する理由は何ですか。(1つに○)

- |                         |                            |                  |
|-------------------------|----------------------------|------------------|
| 1. 働きたい職場がないから          | 2. 希望する進学先がないから            | 3. 都会的な場所に住みたいから |
| 4. 都会ではないが他に住みたい場所があるから | 5. 今住んでいる地域が生活に不便だから       |                  |
| 6. 今住んでいる地域に魅力がないから     | 7. 今住んでいる地域の間人間関係がわずらわしいから |                  |
| 8. 特に理由はない              | 9. その他 ( )                 |                  |

【問7-2で、「首都圏」「中京圏」「北陸」「県外」と回答した方のみ】

問7-2-4 一度、町外へ出た後、信濃町に戻りたいと考えていますか。(1つに○)

- |                |             |
|----------------|-------------|
| 1. 戻ってきたい      | 2. いずれ戻りたい  |
| 3. あまり戻らつもりはない | 4. 戻らつもりはない |
| 5. その他 ( )     |             |

問7-3 将来、もっとも就きたい仕事の種類は、以下のうちどれですか。(1つに○)

- |                |                   |            |
|----------------|-------------------|------------|
| 1. 農林業・漁業・畜産関係 | 2. 建築・建設関係        | 3. 製造業関係   |
| 4. 情報・通信・IT関係  | 5. 金融関係           | 6. 医療・福祉関係 |
| 7. 教育・保育関係     | 8. 理容・美容・ファッション関係 | 9. 報道・芸能関係 |
| 10. 飲食・販売業関係   | 11. 観光・旅行・ホテル関係   | 12. 公務員    |
| 13. その他 ( )    | 14. まだ決めていない      |            |

問7-3-2 将来、就きたい仕事が決まっていれば、教えてください。

--

問7-4 あなたが、将来、仕事を選ぶ上でもっとも重視することは、以下のうちどれですか。(1つに○)

1. 給料のよさ	2. 勤務地	3. 企業の安定性・将来性
4. 企業の知名度	5. 自分のキャリアアップにつながる事	6. 仕事の面白さややりがい
7. 自分の技能、経験を生かせること	8. 社会に貢献できること	
9. 子育てに理解がある職場環境であること	10. その他 ( )	

問7-5 あなたは、将来、どのような働き方をしたいと思いますか。(1つに○)

1. 責任ある仕事を任せられ会社の中心となる働き方	2. 会社に縛られず技能を活かす働き方
3. 仕事以外の自分の時間を大切にしている働き方	
4. その他 ( )	

問7-6 あなたは、信濃町、信濃町近郊にある会社について、どの程度知っていますか。(1つに○)

1. よく知っている	2. 知っている
3. あまり知らない	4. まったく知らない

問7-7 家族に、将来、信濃町に住み続けることをすすめられたことはありますか。(1つに○)

1. すすめられたことがある	2. 町外に住むことをすすめられた
3. 一度、町外に住み、戻ってくることをすすめられた	
4. 何も言われていない	5. その他 ( )

問7-8 信濃町から引っ越した若い人たちが戻ってきたいまちとするために、ずっと住み続けたまちとするために、どのようなことができると思いますか。アイデアでも構いませんので、地域の人・自分、町がそれぞれすべきだと思うことをご自由にお書きください。

地域の人・自分	
町	

## VII 信濃町の教育について

信濃小中学校のふるさと学習に対する考えを教えてください。

問8-1 ふるさと学習において、信濃町のことや地域のことについて新たにわかったことがありましたか。(1つに○)

- |        |         |          |
|--------|---------|----------|
| 1. あった | 2. なかった | 3. わからない |
|--------|---------|----------|

問8-2 ふるさと学習によって、以下の変化があなたにあったと思いますか。あてはまる回答番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
気になることを日頃から積極的に調べるようになった	1	2	3	4	0
これまでと違う考え方、ものの見方ができるようになった	1	2	3	4	0
友達と話し合ったり、一緒に作業をすることで、自分の考えを広げることができるようになった	1	2	3	4	0

問8-3 信濃町の以下の事柄について、関心がある、もっと知りたいことがありますか。また、具体的にどのようなことが知りたいか教えてください。

知りたいことに○をつけてください(○はいくつでも)	具体的に知りたい内容
1. 自然・環境	
2. 動植物	
3. 産業・経済	
4. 文化・伝統	
5. 歴史	
6. その他 ( )	
7. 特に知りたいことはない	
8. 関心はない	

**アンケートへのご協力、ありがとうございました。**  
**返送前に今一度、記入漏れ等がないか、ご確認いただき、同封している返信用封筒に入れ、7月29日(日)までにお送りください。**  
**(切手は不要です。そのままポストに投函してください。また、役場に直接お持ちいただいても構いません。)**



### 3 小中学生に対する調査票

信濃町 第6次長期振興計画策定に係る信濃小中学生の意識調査

## 1 あなたやご家族のことについて

問1-1 あなたの性別をお答えください。

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問1-2 あなたの学年をお答えください。(1つに○)

- |        |        |        |
|--------|--------|--------|
| 1. 7年生 | 2. 8年生 | 3. 9年生 |
|--------|--------|--------|

問1-3 お住まいの地区をお答えください。(1つに○)

- |       |        |       |       |
|-------|--------|-------|-------|
| 1. 野尻 | 2. 富士里 | 3. 柏原 | 4. 古間 |
|-------|--------|-------|-------|

問1-4 信濃町での居住年数をお答えください。(1つに○)

※実際に生活した期間の合計年数をお答えください。

- |           |         |         |           |
|-----------|---------|---------|-----------|
| 1. 1年より短い | 2. 1～4年 | 3. 5～9年 | 4. 10～15年 |
|-----------|---------|---------|-----------|

問1-5 これまでの期間に最も長く住んだ場所を教えてください。(1つに○)

- |                               |        |                           |
|-------------------------------|--------|---------------------------|
| 1. 信濃町                        | 2. 長野市 | 3. 信濃町、長野市以外の県内 ( ) 市・町・村 |
| 4. 県外 ( ) 都・道・府・県 ( ) 町・区・町・村 |        |                           |

問1-6 勉強以外で1日にPC、スマホ、タブレット等でインターネットを利用する時間はどのくらいですか。(1つに○)

- |            |                  |         |         |
|------------|------------------|---------|---------|
| 1. 1時間より短い | 2. ～2時間          | 3. ～4時間 | 4. ～6時間 |
| 5. 6時間より長い | 6. インターネットは利用しない |         |         |

問1-7 日頃、本を読む習慣がありますか。(1つに○) 本を読む習慣が「ある」と回答された方は1ヶ月あたりに読む本の冊数を教えてください。

- |       |                             |
|-------|-----------------------------|
| 1. ない | 2. ある→→1ヶ月あたり読む冊数 およそ ( ) 冊 |
|-------|-----------------------------|

問1-8 小中学校を卒業後、希望する進路を教えてください。(1つに○)

- |            |          |             |
|------------|----------|-------------|
| 1. 高校に進学する | 2. 進学しない | 3. まだ決めていない |
|------------|----------|-------------|

**【問1-8で「高校に進学する」と回答した方にうかがいます】**

問1-9 高校を卒業後、希望する進路を教えてください。(1つに○)

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 1. 働きたい       | 2. 専門学校に進学したい |
| 3. 短期大学に進学したい | 4. 大学に進学したい   |
| 5. その他 ( )    | 6. まだ決めていない   |

## II 信濃町に対する意識について

問2-1 信濃町が好きですか。(1つに○)

- |                    |                   |
|--------------------|-------------------|
| 1. 好きである           | 2. どちらかというとき好きである |
| 3. どちらかというとき好きではない | 4. 好きではない         |

問2-2 信濃町は住みやすいところだと思いますか。(1つに○)

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| 1. 住みやすい         | 2. どちらかといえば住みやすい |
| 3. どちらかといえば住みにくい | 4. 住みにくい         |

**【問2-2で「3.どちらかといえば住みにくい」、「4.住みにくい」と回答された方にうかがいます】**

問2-2-2 住みにくいと思う理由を教えてください。

------------------

問2-3 将来、信濃町に住み続けたいと思いますか。(1つに○)

- |                                                       |
|-------------------------------------------------------|
| 1. そう思う<br>(※専門学校・大学への進学、就職で一度信濃町を離れても、戻ってきたい場合を含みます) |
| 2. そう思わない                                             |

**【問2-3で「1. そう思う」と回答された方にうかがいます】**

問2-3-2 信濃町に住み続けたいと思う主な理由は何ですか。(1つに○)

- |                      |                  |
|----------------------|------------------|
| 1. 生まれ育った場所を離れたくないから | 2. 家族や友人が住んでいるから |
| 3. 希望する仕事があるから       | 4. 家・家業をつぐため     |
| 5. その他 ( )           |                  |

**【問2-3で「2. そう思わない」と回答された方にうかがいます】**

問2-3-3 信濃町に住み続けたくないと思う理由は何ですか。(1つに○)

- |                                 |                    |
|---------------------------------|--------------------|
| 1. 町外で自分の力を試したいから               | 2. 親から離れ、独り立ちしたいから |
| 3. 信濃町から通える範囲に働きたいと思っている仕事がないから |                    |
| 4. 都会での生活にあこがれるから               |                    |
| 5. その他 ( )                      |                    |

### Ⅲ 信濃小中学校について

信濃小中学校のふるさと学習に対する考えを教えてください。

問3-1 ふるさと学習において、信濃町のことや地域のことについて新たにわかったことがありますか。(1つに○)

- |        |         |          |
|--------|---------|----------|
| 1. あった | 2. なかった | 3. わからない |
|--------|---------|----------|

問3-2 ふるさと学習によって、以下の変化があなたにあったと思いますか。あてはまる回答番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	そう思う	ややそう思う	あまり そう思わない	そう思わない	わからない
気になることを日頃からよく調べるようになった	1	2	3	4	0
これまでと違う考え方、ものの見方ができるようになった	1	2	3	4	0
友達と話し合ったり、一緒に作業をすることで、自分の考えを広げることができるようになった	1	2	3	4	0

問3-3 信濃町の以下の事柄について、関心がある、もっと知りたいことがありますか。また、具体的にどのようなことが知りたいか教えてください。

知りたいことに○をつけてください (○はいくつでも)	具体的に知りたい内容
1. 自然	
2. 動植物	
3. 産業・経済	
4. 文化・伝統	
5. 歴史	
6. その他 ( )	
7. 特に知りたいことはない	
8. 関心はない	

## IV まちづくりについて

問4-1 信濃町外から友だちが訪ねてきた場合、あなたなら、信濃町のどんなところ（どんなもの）を自慢・紹介しますか。物、人、場所、イベント、食べ物、歴史、方言など何でもかまいません。ご自由にお書きください。

問4-2 10年後、20年後、30年後の未来に信濃町をどのようなまちにしたいと考えますか。ご自由にお書きください。

問4-3 現在住んでいる地域や信濃町のことについて、日頃感じていること、10年後、20年度、30年後の未来のまちづくりに向けての意見・アイデアなどをご自由にお書きください。

---

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

もう一度、回答もれ、記入もれがないか、確認して、

封筒に入れ、担任の先生に提出してください。

---